

資料群名	資料名	年	月日	事項	備考2 (分隊名)
韓国・ソウル大	新聞切抜	1935		「政治・行政」 2 61.3/17 (注)	ファイル10
韓国・ソウル大	新聞切抜	1935		「司法・警察」 4	ファイル10
韓国・ソウル大	新聞切抜	1936		「司法・警察」 1 3	ファイル10
韓国・ソウル大	新聞切抜	1937		「司法・警察」 9	ファイル10
韓国・ソウル大	新聞切抜	1938		「司法・警察」 8	ファイル10
韓国・ソウル大	新聞切抜	1939		「行政／司法・警察」 7	ファイル10
韓国・ソウル大	新聞切抜	1940		「行政／司法・警察」 1 2	ファイル10

韓国・ソウル大 (1935-1940)

昭和15年以降

Y113 (1). 1928-1940

新聞切抜、新聞関係 (京址・中国・日本・海外・経済・政治・司法・警察・行政・教育・文化・スポーツ・その他)

60.9.19 労働問題、労働争議 53.9 (L)

小作問題、小作争議 53.9.5 (LL)

人口、移民問題 53.9.5 (U)

政治 53.9 (F)

社会政策、社会制度 53.9 (S)

9.19 政治 55 (L)

56 (1)

(1) 56-1

9.27 政治 56-1 (L)

9.27 政治 56-1 (L)

9.27 政治 56-1 (L)

9.27 政治 56-1 (L)

9.27 政治 56-1 (L)

9.27 政治 56-1 (L)

9.27 政治 56-1 (L)

9.27 政治 56-1 (L)

9.27 政治 56-1 (L)

9.27 政治 56-1 (L)

9.27 政治 56-1 (L)

61.3.2 昭和三十二年新聞関係司法警察(二) (注)

昭和三十二年新聞関係司法警察(二) (注)

昭和三十二年新聞関係司法警察(二) (注)

昭和三十二年新聞関係司法警察(二) (注)

昭和三十二年新聞関係司法警察(二) (注)

昭和三十二年新聞関係司法警察(二) (注)

昭和三十二年新聞関係司法警察(二) (注)

昭和三十二年新聞関係司法警察(二) (注)

昭和三十二年新聞関係司法警察(二) (注)

昭和三十二年新聞関係司法警察(二) (注)

昭和三十二年新聞関係司法警察(二) (注)

昭和三十二年新聞関係司法警察(二) (注)

昭和三十二年新聞関係司法警察(二) (注)

昭和三十二年新聞関係司法警察(二) (注)

昭和三十二年新聞関係司法警察(二) (注)

昭和三十二年新聞関係司法警察(二) (注)

昭和三十二年新聞関係司法警察(二) (注)

昭和三十二年新聞関係司法警察(二) (注)

昭和三十二年新聞関係司法警察(二) (注)

昭和三十二年新聞関係司法警察(二) (注)

新聞切抜

朝鮮關係

P

政治

昭和六年

2

Y Y

13 (1)

# 京畿道議會

毎

第四日目 (二十七日) 朝 6. 3. 1

午後一時より開議に日程に入  
議費豫算に關す、第一讀を聞く  
元應常君(京城) 勸業費豫算編成  
の概況如何

金産業部長 農務施設第一主眼を  
とつた旨をのべ詳細に説明し  
元君 新規事業の分収造林の内容

如何  
金部長 砂防工事の植林は當該地  
主に對しては無償であるが今同  
の計畫は植林後十數年経過後伐  
採する現今に其代償の一部分を  
地方費に返却せしむるのである  
と説明し

金泰進君(始興) 田作獎勵に可  
れども豊作の組合に於ける對策  
は如何又穀倉暴落に對する當局  
の施設方策ありや以検査手數料  
撤廢の意志なきか、施肥方針如  
何産業課新設の意志なきか  
と各般に質問を試み

金部長 米價の下落は世界的不況  
の原因に依るもので田作の獎勵  
は即ち麥粟の増收を圖るにあつ  
養蠶も亦同様である豊作になれ  
ば即ち農家の家計は裕福にな  
るである金肥よりも緑肥堆肥の  
増産に主力をおいた  
と眞摯の明晰なる處を示してと

とのべ

金産業部長(坡州) 肥料獎勵費や林  
業治費の増額の理由蠶組組合の  
獎勵状況を問ふ  
金部長 京城における蠶卵の需  
は一年約二千萬個を要し目下

に二萬個の生産にすぎないので  
組合に對する補助を増加した  
朴箕煥君(廣州) 林業、蠶業の隆  
盛に對する當局の方策の誤れ  
る所以を繰々のふれども論旨薄  
弱、語稍不明なる爲すこしも徹  
底しない、議論漸くダレ氣味と

なる  
金部長 蠶々と獎勵方針の内容を  
説明し、是は農家の生活安定を基  
礎としてあるものでその是非に  
ついては議論だから答辭を避け  
ると申して長約十分間の休憩  
を宣す時に二時三十分

二時四十五分再開  
姜錫祥君(富川) 種苗場を他縣に  
移轉する意志はないか、水産業  
に對する獎勵施設が極めて不徹  
底である。産業施設上に於ける人  
件費の節約は出来ぬか  
金部長 種苗場は大正六年に來現  
在の地點にありて何等不便はな  
いので目下の所他に移轉の意志  
なし水産業に對しても相當補助  
を爲して居るし今後調査の上著  
々獎勵する方針である人件費の  
節約は却て事業の縮少を意味す  
るから困難である

# 京畿道評議會新

## 第四日目議事

6. 3. 1

京畿道評議會第五日目は二十八日午後一時より開會  
道地方費歳入出豫算中勸業臨時に對する前日に引續き第一議案に入る

▲成松綠氏(京城) 砂防工費が一町歩四百二十圓を要することになつてゐるがこれは現在の林野價額に比し高きに失する感がある國家的見地より砂防工事以上緊急を要する事業がある  
と猛烈なる諷刺的質問を試みれば金産業部長 林野價額に比較して工費が高いといふのは見解の相違で當局は考へてゐない  
更に掛樹山林課長より砂防植林に對する長時間に亘つて説明あり議場漸く情氣漂ふ  
▲成松議員 砂防工事につき見解の相違とて片附られては困る當局は今少し親切に説明を願ひたい  
代つて  
▲韓相龍氏(京城) 米價調節に對する農業倉庫の効果を最近疑はれるに到つた農業倉庫に對する管下各地の利用状況並に現在露西その他では移動倉庫が實際して相當の効果を擧げてゐるが當局としてはこれを施行する意思はないか  
その他分集造林勸業獎勵等に對す

る質問を試み此れに對して  
▲八尋農務課長 農業倉庫の實際的効果は今後を待たなければならぬと思ふ又現在における農倉の利用は餘り振はず僅かに三千二百石の収容としてゐるに過ぎない然し當局としては一般農民に對し出來得る限りその利用をなさしめる事に努める方針である又移動倉庫の施行に對しては當局としては今の處何も考へてゐない  
▲肥後議員(京城) 大體京畿道の一般産業に對する利益は全鮮各道に比べて非常に少ないがこれは産業開發をはかるかその施設上に於て何等かの缺陷があるのではないか詳細なる説明を願ひたい  
▲八尋農務課長 大體京畿道の産業は全鮮各道に比較して第七八位と云ふ所である各産業が振ふず他より収入が少なくと云ふのは産業に對する農民の智識程度が低く又農民の六割迄が小作人で進取的氣象に乏しいからである當局としては出來得る限り多くの技術員を管下各地に派して指導開發に努める方針である  
更に金産業部長よりも同様の説明をなし議長十分間の休憩を宣し此時議員の退場者十數名に及び議場も振はず時に二時四十分

## 再開

午後三時十分再開

沈圭澤氏（利川）本道では二十餘年前から養蠶開發をはかるため桑の植栽獎勵を行つてゐるが今日尙成績が學らないやうに思ふ

金産業課長 併合後今日までに植栽した桑は六千萬本である此の間道當局としては極力肥培管理指導に努めて來たが一般農民が養蠶を理解せずこれに重きを置かなかつた爲に當局が努力した程成績を收め得なかつたが最近漸く一般農民が自覺し着々豫期の効果を收めつゝある

朴箕煥氏（廣州）畜産組合に對する事務取扱が意を得てゐない

黃祐天氏（江華）産業開發をはかる上に於て總ての事情からみて朝鮮人技手を置いては如何閉金産業部長 朝鮮人を使ふ内地人と云ふ品別的な方針はない只適當な人物があれば内鮮人何れを問はず使用してゐる

尹成烈氏（楊平）から植栽獎勵費増加問題其他二三議員から質問出たが八尋學務課長簡單に説明しこゝに勸業費第一議會を終り議長會を宣す時に四時十分午後二日は教育費に對する第一議會に入る

# 京畿道議會

毎朝 3.1

二十八日午後開會 6.

京畿道評議會は二十八日午後二時より開議  
成金君(京城)農村不況の現状に就て金肥を奨励せずして手として自給肥料に依らんとするの可なれども地方の状況によりては堆肥の原料たる乾草が不足してはるないか豊永價落によりて農村の飼養戸数が減少した事實はないか砂防工事費が他の費目に比較して高きに失することはないか  
森田組合の奨励方針が却て林業者の反感を買つてゐる事實はないか

金産業部長 自給肥料は農村の現状として最も當局が力こぶを入れたる問題では否かと重たな關係があるもので極力肥料堆肥の奨励を爲して居る半草が不足であるとの説は極めて一部分の地方のことで済全體として極めて豊富である畜産の飼養戸数が減少した事實はないと思ふ目下の農村では養蠶は僅なる副業であつて之によつて多少とも收入を増加すればよいのである林業保護に對する方針が誤つて居るとは思はぬ常に養蠶者の意見を聞き荒山の緑化に努力してゐる

韓相龍君(京城)農産倉庫に對する地方費補助の内容並に農食利用の程度貯米の四月以後の對策如何ロシアに於ける移動テン

ト倉庫運用の意志なきや農工の補助金は間接補助であつて個人的補助費がない即ち小工業者を窮地に陥れる所以である  
八尋農務課長 米價對策上に於ける本府の方針を説明し農倉の使命をのべ京畿道のそれは平澤に設けたものであるからその地方民が多く利用してゐる現在の農倉利用の狀態は極めて不成績である  
農倉 三、二六七石  
商會 七、六四八  
金組 五四、四一五  
水組 三二、〇五二  
其他 一六、六七四  
計 一八二、四五六  
この貸出し金高は八十七萬六千三百二圓である  
金部長 商工奨励費は出来るだけ多額を望むが現在の所之れ以上増額は不可能である  
矢島部長 家内工業の奨励方針について述べる所ある  
肥塚正太君(京城)京畿道が他道に比して産業の興隆せざる所以は何處にあるか之れに對する具體策は如何産業組合が同業組合の範圍を脱せざるは甚だ遺憾である  
八尋課長 田作畑作とも南六道に比して農産物價格上少きは種々の原因はあらうが大體肥料の使用が少いこと小作人が農業者の八割を占め地主が多く京城に住

んで所謂不在地主と小作人との調和が不完全である、將來集約的農耕を試み積極的施設を爲す方針である三時四十五分休憩

# 京畿道評議會

## 勸業費關係質問終る

### 一日から教育費審議

6. 3. 1

京畿道評議會第五日は二十八日午後一時十分より道廳會議室にて開會、直ちに日程諮問案第一號六年度豫算中勸業費關係の第一讀會を上程。

▲成松線氏（京城）砂防工事費が一町歩四百廿圓を要することになつてゐるが、これは現在の林野價格に比べて高きに失する觀がある。國家的見地より砂防工事以上に緊急を要する事業があるではないか

と當局に肉迫する

▲金産業部長 林野價格に比較して工事費が高いからといふのは見解の相違である當局はそんなに考へてはゐない

と反駁し、掛場山林課長よりも治水對砂防工事の關係を長々と演繹して成松氏より『簡單々々』など彌次が飛びお上品な評議會には今まで見られなかつた情景を現出し小日比谷座の觀あり

▲成松氏 見解の相違あればとて諮問機關の存在意義をどうするのか。答辯に適確なる點だけ分明にいつて戴きたいものだ。答辯以外のことはどうでもよいと金産業部長等にいやがらせをいへども當局取り合はず

▲韓相龍氏（京城）農業倉庫に對する補助の容およびその利用程度はどうであるか。野積は四

月以降どうするか。商業補助は間接補助で個人補助がないのはどういふ譯か

その他副業獎勵、米價對策等につき意向を質す、これに對し八尋農務課長より第一項、第二項と答へ更に野積米は三月頃まで保管し得るとになつてゐるが例年四月には出廻りが一時に殺到し米價に影響する恐れがあるから且下賃金を五月頃まで延長してこの弊を防ぐことに計畫をすゝめてゐると答へる

▲肥塚正太氏（京城）わが京畿道の産業に關する統計から推して産業狀態をみると甚だ有用のものであるかと思へば反對に無用のものもある

と農家の収益を數字的に表し、道

民全體が總動員で農家の振興をやるにはもう少し考へて貰ひたいものがある、この邊疆たる方策を承りたい

▲八尋農務課長 大體京畿道の各産業は全鮮の第七番、第八番に當つてゐてお耻しい状態であるが、この原因は農民の智識が低く收穫物の増收方法をよく知らない。まだ本道農民の六割は小作民で且つ不在地主が多いため一般農民に進取の氣象が少い。それで當局としては技術員を出來るだけ派遣して各種收穫物の増加を獎勵すると同時に農民の智識開發、誘導の途を講習會その他で行ひ又小作慣行法の改善などにより適宜行ふこととしてゐる

これにて一時休憩に入る、三時十分再開すれどすでに重要な質問は済んだので缺席者も多くあちこちの議員番號札は倒されて八ツの空席があり先刻まで彌次つてゐた成松君も何時の間にか姿を消してゐる李義榮（抱川）沈圭澤（利川）の二君より勸業獎勵につき質問あり主務部長、課長よりの答辯あり

▲朴箕煥氏（廣州）畜産組合事務取扱ひが當を得てゐない、殊に取引が上手にいつてゐないやうであるが如何

▲八尋農務課長 組合の人手が足りないため凡ゆる方面に手を廻されたいこともあるが大體圓滑を期し農家經濟に扶益せしめてゐる

▲黃祐天氏（江華）勸業獎勵の第一線に立つ産業技手は大部分内地人であり、殊に専門語など出て一般農民は折角獎勵に來ても語が分らず甚だ能率が上らぬ憾みがある

▲金部長 産業技手は過去に比べて随分鮮語の出來るものがあり圓滑に行つてゐるものと思つてゐる

本日の日程はこゝにて打切り勸業費關係の第一讀會を終了、引續き明後二日教育費に關する第一讀會を開くことに定め午後四時散會

# 全北評議會

新 1

第六日目——二十六日

〔全州〕 全北道評議會第六日（二十六日）は午前十時三十分開會、議長日程は歳出入總部、時部の残り全部の一、二讀會及歳出の第三讀會なほ時間があった更に進めたいと告げ、缺席議員二名の報告、柳直蒼（全州）人力車税の撤廃、自轉車税の減額をされてあるがそれよりも細民の負擔を軽減する方法として荷牛馬車税を免ぜよと理由をとき修正を要求、又河川使用方法及許可出願手續きの説明を要求

▲趙在敦氏（金堤） 社會事業費中救恤費の説明を求め、該項目中に細民救恤費を設け、助産施設の方法を望む、原田地方之に説明、▲全祖錫氏（鎮安） 戸税一戸平均一圓五十錢は一圓位が適當及歳入金全部において百三十一萬六千五百七十二圓の増加、緊縮時代に不當と突込む、位原財務原田地方を歸、▲橋本央氏（金堤） 河川敷地使用許可に就ては農務課土木課との連絡の必要を例をあげて意見を述べ、大森土木を歸、▲黃仁杓氏（長水） 不動産收入貨

家料免除の理由説明、賣却代不品、銀、現代窮民救濟事業公債の内容説明を求め、原田地方説明、▲金英武氏（淳昌） 戸税の累進率に忠道の例を引いて意見を述べ、又車輻税中人力車税を廢し、自轉車税を減したるに拘らず六千圓の増収、又不動産取得税においても六千圓の増収であるか、見解過大に過ぎざるやと説明を求め、▲信原財務部長 戸税の進率に關する意見、拜聴なほ車輻税、不動産取得税の收入見積りは過大でない、自心がある御懸念なき様と答、▲光富嘉人氏（群山） 人力車税撤廃に就き之れを細民負擔軽減の意味に反する、人力車營業者は皆資本家であるそれに換子は税金がなくなつたからと營業主に交渉せんか、失業者の多い時期、解雇される様な事があるからわから

ぬ又府面としては附加収入に  
響する事當局の御考慮を望むと  
急所を突込む議員側では鳴さい

▲信原財務部長 人力車税全廢と  
いへ雖も四百圓程度で之れに就  
ては他道にも實施せられありな  
ほ細民救済の意味もあると苦し  
い答辯之れに對し光富議員細民  
救済になるといふ事は意に解せ  
ないと突込む答辯に入らぬ中晝  
食休憩

午後一時三十分再開

▲吉兼浩氏(錦山) 穀物検査規則  
の中に販賣額をも検査する様に  
なほ面經費の關係上面の適合を  
難行されたし更に部落垣根を利  
用することの意見を述べ  
▲調農務課長 穀物の生産検査は實  
際すべく研究中である

▲松下内務部長 面廢合に就ては  
意見拜聴と答辯

▲金相鎬氏(高敞) 社會事業費を  
増加して改良模範部落増設を要

望なほ特別市場税の増徴要求

▲松下内務部長、信原財務部長答辯  
▲柳鎮雄氏(釜山) 車輦税の内荷  
牛馬税が徴收困難から經常に計  
上するか不合理となほ荷牛馬  
車は道路を損傷するといふこと  
であるが返つて路面をかためる  
ものであると思ふ依つて税の輕  
減を望む

▲信原財務部長 荷牛馬車税の經  
費如何は研究する又税率は他道  
に比して高率でない

▲機部謙哉氏(靜山) 昨年は米作  
の大増收に穀物検査手数料を一  
萬圓も減額せる理由説明を望む

▲調農務課長 穀物検査手数料は  
過去三年の實績により計上した  
もの

▲朴碩奎氏(井邑) 色服宣傳は生  
活改善上最も必要なものである  
から色服獎勵宣傳費の増額を望  
むこれに對し松下内務部長賛意

を以て答辯

▲金烈一氏(南原) 道評議會の會  
期を十日以上にして議員の要望  
する處を述べる時間を與へられ  
ん事を望むなほ評議會費も他の  
人件費節約を叫んだ以上節約さ  
れて差支ないと思慮した  
議長 問打明りを請ひ議長これ  
地方歳入出豫算全部の第一、二讀  
會を終ります

▲議長 これから地方費歳入出全  
部の三讀會に移りますこの豫算  
通り御賛成の御方は起立を願ひ  
ます  
全員起立

▲議長 南陽起立昭和六年度全羅  
北道地方費豫算はこれで成立し  
ました御同様に堪へません

引續き諮問案第一、四、五、六號  
を除いた他の諮問案第一、二讀會  
に移り賛成第三讀會に移  
り満場一致の賛成(午後三時六分  
閉會)

# 平北評議會

新 1

第六日目 二期 七月 3. 6.

(新義州) 平北道評議會第六日、  
二十七日午前十時四十五分開會

▲議長 前日に引續き諮問第一號  
案に對する第二議會を開きます

▲姜鳳瑞氏(昌城) 社會事業費

中廳託費及部落改善費の増額計

上を希望するものであります即

ち地方巡回講演の如きは其の實

績に徴し願ふ効果を擧げてゐる

ものであるに拘らず僅々一部落

に對し五十圓位の支出ではあま

りに寡少であると信じます依つ

て百圓位の増額は至當であらう

と思ひます次に勸業費中昌城の

機業組合及講習所には未だ補助

がないから他郡同様補助を交附

されたいのであります又新設乾

鹹場二ヶ所に對しても補助がな

いのは頗る遺憾であります交附

される様計上を願ひます而して

義州公立農業學校へ新設せんと

する畜産科はむしろこれを將來

新設さるべき山間郡地方におけ

る農林を校併置するが至當と考

へられます即ち義州は地理的關

係上畜産科よりも農藝科設置が

適當と認めるものであります

▲金聖根氏(寧邊) 寧邊公立農業

學校の内容充實は最も急務であ

るといふ見地から教職員の選擇

は勿論寄附金の移轉新築費等に

の改善理化學實驗室等の施設完

備を要望いたします(以下略)

▲金聖烈氏(雲達) 國境道路の完

成を望みその促進を計られたい

のであります本件は大正十年以

來建議してゐますが未だ完成の

域に達しないのは頗る遺憾であ

ります又自治感念養成發達を期

するため普通校内に公民教育

科を新設してもらひたいなほ巡

回診療は過去の實績に徴して殆

ど効果を認められないからこれ

を廢止されんことを希望いたし

ます

▲飯島榮太郎氏(龍川) 副議長

議長は午後零時四十分休憩を宣

上に關しては當局の考慮を煩は

したいのであります即ち農家の

副業として本道の如きは氣候風

土の關係上養蠶蠶繭並に蠶の培

養等は最も有利であると信じま

すこれ等に對し施設と指導宜敷

を得たならばその効果は甚大に

ものであらうと思ひます又普通  
學校の一面一校制を實現される  
に當りては先づ先決問題として  
面議の合を斷行して戴きたいと  
思ふのであります(以下略)

▲崔昌朝氏(新義州) 窮民救済士  
本事業施行に當つては慣例に依  
る下請負は絶対に認めない否下  
請負は斷じてさせないといふ方  
針で進行してもらひたいのです  
元來請負人間には賠償額があつ  
て當初請負契約の際は下請負を  
させないといふ條件でありなが  
ら彼等は現場監督その他の名義  
で事實上の下請負をする結果と  
なり遂には人夫に對する勞銀支  
拂上に種々の紛擾をかもす例は  
多々ありますか、當局はその間  
の事情を考慮し救済事業の趣旨  
を徹底せし救済の實を擧ぐる  
様適切な方法を講ぜられんこと  
を切望いたします

▲洪淳龍氏(博川) 本議會に提出  
される議案は今後開會前一週間  
位前において各議員に配布し充  
分研究の餘地を與へられんこと  
を希望いたします現在の如く開  
會當日配布を受くる様では何等  
内容を検討するの餘裕なく従つ

て一議會や二議會において種々  
混同した質問、意見が續出し議  
事の進行を妨げる結果となりま  
す

▲金昌治君(順川) 火田民救済の  
一策として國有林野中の耕作に  
適する部分を貸與して耕作せし  
め監督指導宜敷を得たなら最も  
有意義であらうと信じます(そ  
の他略)

▲崔鳳浚氏(宣川) 高等普通學校  
の生徒收容力は現在五百名が定  
員となつてゐるそうですが實際  
收容してゐる數は約三百六七十  
名位にしか過ぎないのは甚だ遺  
憾でありますこれは是非其時勢  
に鑑みて定員に達するだけ收容  
してもらひたい而して通學校  
の授業料減額については多數議  
員より要望がありました私が私  
むしろこれを全廢することを主  
張するものであります

▲吉田雅一氏(龍川) 農具購入費  
中へ農具及び漁具と二字を加へ  
ていたゞことに修正を希望し  
更に貧困兒童の救済費に四千七  
百圓に増加計上することにこれ  
亦修正を望むものであります  
以上の如き意見陳述を終り議長  
問案第一號農具購入費部臨時部  
豫算並に特別會計豫算の第三議會  
に入る旨宣し採決の結果議場一致  
原案を承認し午後六時散會

# 黃海評議會 新 1

第四日目 (二月二十三日) 6日3.

(海州) 黃海道評議會第四日目は二月二十五午前十時十分議長開會を宣し書記本日の日程を報告後

△朱成鎮君(谷山) 森林組合費負擔額が多きと思ふが低減の方法なきや、綠故林の内樹のよくない箇所は一單儘き拂つて火田とし而して後好き樹を植える様にしては如何、世界的不況の影響は礦價の暴落を來してゐるが之ハ等生産者に對し相當補助を與へては如何

▲産業課長 森林組合費の件は御意見として承つて置く火田に植樹する方案は適當ならず之れは火田民の行き場所を定め置いての後でなければならぬ

▲農務課長 礦價暴落をした昨年の農家が礦價の収入は反當り十五圓以上に達してゐる之れを以てしても農家の副収入としては僅少ではない一時的礦價の暴落により補助を増すといふ事は相當考慮を要すると思ふ

▲總務課長 谷山平野の開墾には科学的土壤改良を要するは此の土壤には水稻が適するが河床低き爲に灌溉の設備が必要で經費多額を要する關係上實現が遅れてゐるなは養蠶を行はしむる計畫のもとに試驗的に桑を植へる事にしてゐる

▲李鍾駿君(鳳山) 本道農村振興と農民の生活安定は最も必要であるが農業倉庫は各地の細農に利する様にしたと思ふなほこれは多數のみでなく各農作物を收容する事にされは如何農業倉庫の一施設として各市場に簡易なる取扱ひ所を設けては如何各農村の副業品の共同販賣所を設けられ度いと思ふが當局はこ

れ等に對し何等の豫算の計上なき様であるがその方針如何、副業獎勵は農村振興上缺く事の出來ない事だが當局は必要を認めずして豫算に計上せざりしや又必要は認めるが經費なき爲め豫算の計上を見ざりしや

▲内務部長 農業倉庫の必要に應じ六年度において本府は十ヶ所の農業倉庫を設くるが本道にも一ヶ所を設ける事になつてゐるが之れが實際は如何なるものかは將來に待たなければならぬい而して之れを信用に設置した理由は動力、交通、經費の關係を考慮した爲めである  
と述べその他質問に對し一々詳細に亘つて答辯を與へる、李鍾駿君なほも執拗に質問を續けたが内務部長再び起つて軽く答辯を與へた後議長より本議題の一讀會打切りては如何と諮り議論百出後議長休座を宣す

▲總務秀一君(黃州) 谷山平野は二萬四五千町歩もあつて而も農女地として開發する必要があるが之れに對し當局の方針を定められありや

# 咸南道評議會山 1

## 第四日の議事 (廿四日) 3.

咸南道評議會第四日は午前十時二十分開會前日に引續き土木費の質問に入る

△さい童律君(新興)から労働者の使用方針に就き質し甘庶内務部長これに答へ

△林昌虎君(長津)賦役は概ね細民である救済事業はこれを均てんせしむる事は出来ぬか、尠くせざれば窮民は増加するばかりだ、現在の賦役を一日五十銭に換算すると長津の一部だけで二萬五千圓位になつてゐる、何とか善處の方法はないか、山地帯なるが故に當局は準備するのではないか

△種谷土木課長 咸興慈城線は國費で施工される事になつてゐる、救済事業は絶対に下請を許さぬから心配はないと思ふ

△林昌虎君 平地帯は道路其他早く施設するに反し山地帯は遅れる理由何か、火田調査費六百圓は尠くないか

△甘庶内務部長 道路改修は經濟價值を基準とするのでやむを得ぬ事情にある火田は試験的調査に着手したい考へから計上したのである

△さい漢てい君(永興)元禁線は經濟的價值あるに何故施工せぬ、平南は既に改修を終つてゐるではいか、永興水道は面貫負擔が多

いと思ふ如何、橋れう及堤防等はどうするか

△種谷土木課長 元禁線未改修は八里で約五十萬圓を要するので手がでない、地方費に於て相當の負擔をしてゐるから永興面の負擔は過重でない、橋梁及堤防は龍興江改修と共に施される事になつてゐる

△さい相玉君(咸興)尙審議すべき事項は澤山あるから此邊で土木費一審會を打ち切つては如何

△姜ひつ成君(元山)賛成で勸議成立

議長は賛否を起立に賛成多數に就き質問を打ちきる旨を宣す、時午後零時二十分ちう食の爲に休會午後一時三十分再開、議長は咸興出張部及臨時部の勸業費と之れに附隨する補助費、繼續費並びに問案第九號同十四、十五號を一括議題となす旨を述べて質問に入るに先立ち特種事項のみ劉産業課長、岡田農務課長より説明あり

△さい相玉君(咸興)綠肥の關係は尾種子更新、種牛、植桑補助費、蠶業取締所等につき施設上のけつ陥はないが又土地改良疎に水利組合は不良である、其方面の技術者を充實する必要はないか明太手繰發動の取締如何

△岡田農務課長 農閑期を利用し

て作付する關係上ヘーセイベツチを採用した龜の尾は三ヶ年の更新となつてゐる、種牛は種付の關係から保護を要するのでやむを得ぬ植桑に就いては九十五パーセントの好績を示してゐる、蠶業取締所の不完全から蠶の病害は出ぬ蠶繭もまた然りである、土地改良は永遠の事業で一、二年の成績で斷ずるは早計である、二百町歩以上の水組は本府に屬する故現職員で十分である

△りう産業課長 嚴重取締は勵行してゐる現に本年も四十七隻を檢

舉それぐ嚴密に處した、五分間休憩三時四十分開會

△洪聖淵君(咸興)さい議員の如く虚言を以て公開しては困る注意ありたし、と議長に迫る、議長は直に事實にわたらざる事は注意されたい、さい君につぐ

以下金基協(洪原)の希望に次いで議長より授産費外一項を日程に繰入る旨をつけ更に弘周(甲山)より希望事項があり午後五時過散會

# 咸南評議會 新 1

第四日目——廿五日午後五分

咸南評議會第四日は二十五日午  
前に引續き午後一時四十分再開  
▲姜南成君(德源) 一般入件費  
に對する意見として昇給、賞與  
金等の處理方について述べ次に  
産業合理化問題について當局の  
意圖を問いたし

▲内務部長 第一問は御意見のや  
うですから有難く承つて置き  
ます第二の産業の合理化といふ  
ことについては既に農會と畜産  
組合とが合併した例もあります  
ので總督府の方針がこれを利益  
とすれば將來は左様なることと

が累年後にのこした民負荷を過現況を繰返し所期の目的達成を重らすのであるから他の方法に請負ふた午後三時半劉知事からたより地方債によらず救済する方法はなきや

米價對策として農業倉庫を設置してゐるがロレダケの恩恵があるかその収容量と融通金額を細かに示せ而してその効果をのぞき

積み貸付はその當座だけで追々返還期に迫り穀價は依然として昂らず困憊愈々深し對策如何

農業政策の百萬圓目標の實現は一定不變で進行してゐるが穀價安は飼育熱を冷却し植桑を忌み堀返して薪にするもの多し

之で所期の成績が挙げ得るか鮮米協會に本年も八百圓補助になつてゐるが最早その必要なしと思ふ中止しては如何

窮民救済の中に論山大田の上水道、公州の下水道が計上されてゐるが之は特殊技術を要するの

で一般的救済にはなるまい ▲高武内務 健實なる借金即ち還當範圍内において諸種の事業を完成し労働民救済を感込んだもの

で本道の財政上左様不安はない最も負擔輕減は當局も同感であるが現在のところ國の方針以外良策はない

鮮米協會補助は宣傳轉送の實績から益々その必要がある必ず有効に使用されてゐる

と繰々實情を述べた 上下水道工事も文化的施設の實現と衛生上の見地から必要で而も窮民に最も力あるからやるのである

なほ高橋農務質問條項全般に亘り効果の實績を示し計數を擧げて詳細且懇切に答へた養蠶計畫も經

済江文流改修と大田醫院收入問題

取れず記者席を窮らせた ▲高武内務 大田醫院は目下獨立

設置は能に不可能である但し確定した収益ある場合は準備する必要があるが何年後實現するか

全く不明、済江文流改修も相當努力してゐるが五百萬圓以上を要するので一寸六つかしい

▲増野農 地稅附加稅戶稅附加稅に關して繰々説明した

存じます、之れから林業技術員が少くないといふ御意見ですが本年

が少くないといふ御意見ですが本年が少くないといふ御意見ですが本年が少くないといふ御意見ですが本年

が少くないといふ御意見ですが本年が少くないといふ御意見ですが本年が少くないといふ御意見ですが本年

が少くないといふ御意見ですが本年が少くないといふ御意見ですが本年が少くないといふ御意見ですが本年

が少くないといふ御意見ですが本年が少くないといふ御意見ですが本年が少くないといふ御意見ですが本年

が少くないといふ御意見ですが本年が少くないといふ御意見ですが本年が少くないといふ御意見ですが本年

が少くないといふ御意見ですが本年が少くないといふ御意見ですが本年が少くないといふ御意見ですが本年

が少くないといふ御意見ですが本年が少くないといふ御意見ですが本年が少くないといふ御意見ですが本年

が少くないといふ御意見ですが本年が少くないといふ御意見ですが本年が少くないといふ御意見ですが本年

が少くないといふ御意見ですが本年が少くないといふ御意見ですが本年が少くないといふ御意見ですが本年

が少くないといふ御意見ですが本年が少くないといふ御意見ですが本年が少くないといふ御意見ですが本年

幹部の任命はあつたがその後何等沙汰はない、のみならず豫算面にも現れてゐないが一體如何なつてゐるものか

▲内務部長 會の趣旨も至極結構であり且其事も賛成されてゐるので印刷に布し各員に送附した筈であります、本年度豫算の實際はあつたが僅な豫算では却つて不成績に終るだらうといふので適當な財源を得る迄は地方に付て着々序を以て調査研究することにして本年度は計上いたしませんでした

▲杉野多市君（元山） 勸業費補助費の増額は誠に意を強ふするにたるものがありますが、多く組合に補助の意向であるらしいが直接補助の向はなきや、本年はやむを得ずとするも將來に對する考へ如何

▲内務部長 勿論費用の許す限り補助したいのですこの問題は豫算編成の際にも考へたことですが何分現狀では如何共出來得ないのであります、將來は何とか財源を得まして都合をつける考へであります

▲南白祐君（元山） 勸業政策について一言……昨午評議會の際、蠶絲暴落の兆あるのでこのことを尋ねたがその場合は對策があるといふことでは過ぎました果して蠶繭はともかく秋蠶に至つて養蠶家に大恐慌を來たしたのであります加ふるに輸出先の米國亦物價暴落のためその輸出は止まり現に横濱港に二十萬担の大荷が集積してあるといふことである、然るになほ多額の費要をかけて蠶業を奨励する意向

か次に漁産、かにに付ての加工とは如何なることか、第三に漁業検査規定及び樹苗検査規定の七日以内といふ期限は短い

▲内務部長 歐米各國の模倣は當時つけてゐなかつたことで誠に止を得ないことと存じます獨り蠶網の如き外國對照物ばかりではありませんそれで獎勵については現在も將來も益々獎勵する考へであります暴落は一般から見ても農作物の指數よりも却つてよいのであります又地方にまいりまして蠶繭は豊年であつたとの聲すら聞いてゐるのでした、今のかんがへでは益々獎勵するのかがへであります

▲岡田農務課長 他の農産物に比して蠶繭の結果は過去も現在も將來も決して懸念非難してゐないものでありますと前提して一々數字を以て詳細に説明して蠶糸の將來に懸念を及ぼすことは團體にないことを信じてゐます

▲殖産課長 從來の間に蠶繭に對し兎も角外國から掛難があるものでその缺點を補ふものであります次に蠶業検査規定は何にも定めてゐます

▲殖産課長 更に規定により豫備検査をもしてゐますし成るだけ早く検査することに成つてゐます而して必ず七日以内に出來ると信じます（五分間休憩）三時半開會、教育費經常部臨時部を通じて第一議會に入る

▲崔漢植君（永興） 一面一校計畫の成は何時か、本年度の新設箇所はどこなるか、近來初等學校を通じて閉休が激發するがその原因に二ある、一つは教員

の不良一教授の不良である、次に兒童學生に停學退學等を命ずるは不可、最後に永興補習學校の昇格問題について詳細に述べた

▲植學務課長 過去における新設實數を示して説明し補習學校の昇格問題については農卒と補卒との比較及び現在農村の狀況に鑑みて補習學校で置く方が却つてよいのではないから永興の補習學校は頗る好成绩を納めてゐるのである、力をより以上に注ぐ様せられたし

▲視學官 學校の臨時閉校は教授訓練が不徹底であるからでないかの御質問であるが、これに對しては道として十二分であると思ふ程の法策をたてゐますが今こゝで僅の時間で申し上げる事が出來得ませんから別室においてでも御希望なれば御話申します次は訓の問題ですが、これも何も強て行ふものではないがいはゆる愛が根本であるのであります最も盲目的な愛ではなからせん將來兒童のための同情ある愛でなければなりません

ゆゑ大愛でなければなりませんこの大愛を以て進むには止を得ず訓も必要である即ち言ふ可なり子に施させよの例であつて孫には停學もあります止を得ません

▲金基協君（洪原） 教育費の一萬三千六百五十六圓は前年に比して増額と見てゐることは誠に感謝に堪へません、もつと多くしてもよいが例の一面一校計畫が一向に完成しないが如何したのか、本年の増額も昨年同様で

矢張増設もなくその儘になるの

だろふそれよりは私立學校の方

にもつと力を入れてもらひたい

と増加してもよいといふ御意

見ですが道地方費としては精一

ぱいである、一面一校計畫は樹

立以來鋭意つとめて増設してゐ

る、すでに五年度においては八

校の新設を見終る二校も年度末

迄には完成の見込である全道に

おける完成は昭和十一年であり

ます、なほ私立學校補助費に附

ては御希望通りいたしたいが、

これも道としては目下の處精一

ぱいであります何れ着々何とか

考慮いたします

▲朱觀植君（豊山） 學校費の内

雜費が少ないので薪炭が充分に

とれないので昨年の如き疹症に

かゝつた児童があつた、當時當

局に向つて陳情したことですが

何とか考へて頂きたいといふ

都合が出来なければ高級學校長

を七、八級位の低級校長にかへ

てその俸給の差額を雜費に當て

る方法をとつては如何次ぎに授

業料は教員に集めさせないでこ

れを而長に徴集せしめたい云々

▲檜原學務課長 道でかつて調査

をした時に豊山地方は山地帯で

薪炭は比較的安價であるといふ

報告であつたのでその意を汲ん

で計上してある、次ぎに學校長

は單に學校教育のみならずその

地方の教化中心人物たるを要す

るので相當經驗と手腕を要する

こと故若い人や又學校卒業した

ての經驗不足の人では困難の獨

合が少くないので自然俸給低い

人を以てこれに充てるといふこ

とは事實上不可能である

▲金鳳聖君（高原） 中等學校へ

の入學難についてもつと中等學

校を増加してもらひたい、次に

六學年を編成して學校は當郡に

は邑内にたい一校あるのみであ

る、六年制延長増加を望む、最

後に授業料半減法を實施せられ

たし

▲檜原學務課長 中等學校入學難

を緩和する方法は色々あるが差

當り中等學校増設は困難である

次に色々の關係から昭和十一年

の一面一校計畫完成までは成る

べく學年延長は差控へることに

してこの儘行きたいのです理由

としては普及を先にし内容充實

を後にしたい考へである

▲最後の授業料問題に對しては道

當局としても相當考慮したので

ありまして各地を實際に調査し

たのでありますが昨年十二月末

現在で道内總退學者數一千七百

名からあります、が家庭の移動そ

の他で止む得ざる事情のために

退學したものも多くて授業料の

ための退學は六百そこ／＼であ

ります極めて少數に思はれ

ます、次ぎに半減問題につきま

しては、これは教育費財源に大な

る關係があるのであります即ち

全豫算の三割を占めてゐるとい

ふ現狀でありますから若しこれ

を半減するとすれば大なる影響

があるのでありますから絕對不

可能なことと思ひます

▲崔鍾律君（新興） 工業教育の

施設案なきや

▲内務部長 最も大問題である、

言々も同意である、現今學校に

おける實業教育は大分判りとし

て參りました、業に商業に……

本道などもその一つである、工

業教育を主とし組織を替へての

學校のことは道としても考へ、

ゐるのです實は本年度豫算編成

の際にも語はありましたが經費

の關係上一定の財源を得る迄は

……といふことで止したのであ

ります六年度においてか或は近

き將來において實現の時が来る

と信じます

▲盧弘周君（甲山） 先程視學官

から社會教化事業として云々と

お話がありましたがその方法は

如何

▲視學官 此問題は常に考へてゐる

ことです道當局としてはたゞ學

務のみならず警察その他のあら

ゆる方面と協力し學校と共に社

會の教化に當る考へです幸昨年

より視學機關も充實しましたし

各地に出向いて地方の情勢も視

察し又その地の有識者とも相談

し出來得限りの力を盡す考へで

あります

▲盧弘周君（甲山） 私等の平素

考へてゐる事ですすがその方法に

學校職員を當てることは最も良

いことです而して社會の青年の

思想を善導するに限るがそれに

は學校職員を烈しく異動させる

ことはよろしくない

▲檜原學務課長 勿論同意であり

ます出來得る限り同一學校に動

員せしめその地に専らつかせた

いのですが從來新卒業生が出た

りその他の故障があつて缺員を

生じたりするので止むを得ず異

動を生ずるのでありますすが爾今

此の範圍内出來得るだけ少數に  
止めるといふことにつとめませ

5

▲張河根君（安邊） 中等學校の

施設が少ない、又同一學校にお  
ける内鮮人の歩合を改めること  
を望む

▲曾原學務課長 卒業後の指導方  
法について詳細の説明あり

▲議長 教育費關係を今日のこれ  
で打ち切りたいと思ひます如何  
でせう

満場異議なくこれに賛し午後五時  
三十五分閉會

# 忠北道評議會 山 1

## 第三日午後の議事 3.

### 午後の議事

午後二時三十分重開  
十七番へり明求議員 櫻仁馬州  
開議は多年陳情なり議會毎に要  
望して居る實狀として櫻仁の歴史  
を綴じ、物資移出人の關係を論  
じ、常州へ移入一ヶ年八萬六千四百  
四圓餘、移出二萬四千四百圓、移  
入差に鑑みても如何に經濟道路  
なるかと論じ、豫算計上なき理由を  
たず、更に和泉町々は區々陳  
情あるにもかゝらずいまだ豫算  
に計上なきは如何と責任あるを  
望む

松澤内務部長 櫻仁、齊州縣で  
父子事費は戦慄、懷仁、齊州縣で  
約四十萬圓を要するので県下の狀  
態では不可能であり又將來もいつ

計上するやも計り難しと答へ、利  
町ふくは未だ調査中にて計上せず  
と、これに對して議員は未調査  
とは甚だ無責任なりとなしる

十三番(金嶺くん)議員 櫻川  
道路及河川改修を希望して一千五  
百町歩の良とりの被覆状況と百五  
十名の滿學生の教育上に及ぼす影  
響を慮及に悉き本年の豫算に計上  
なきを問ひ、續いて鍾川、成鐵道  
なきを問ひ、續いて鍾川、成鐵道  
路の開通に移り忠州との關係及經  
濟關係を説きこれ又計上なきを論  
じ、若し本年度に計上出来ざる際  
は來年度教育事業の一端として之  
を割き賡する意思なきや

松澤内務部長 松澤内務は實地調  
査の上なる可く早くき望に副ひた  
いと思ひます、現在來年度も不  
可能と思つて居ります、鍾川、成  
鐵道路同様です、からと突き返す

十八番(李基る) 古來、風役は朝  
鮮の美風と賞揚して居るが、これ  
は惡風であると思ふ、後述より論じ、  
議長はききは後述に對ふと注意  
す、永向、鍾山道路改修を要望し  
其必要の補助なるを述べた

李基る(松澤部長) 只今の處境  
から御覽目にその難しと答ふ  
議長 質問はこれにて打ち切ら  
いと思ひますが如何、全員異議な  
し、續いて勸業費、授産費、經濟常  
部、臨時事業に一括して議題に附  
すと宣す

五番(李基る) 鍾山、鍾山、鍾山、  
如何なる仕事するや、人本費のみ  
削減せる理由、及技術員採用に比較  
的供給は如何と問ひ、鍾山、鍾山、  
二、百八十圓は餘りに少額にて一郡  
廿圓位では何程の効果ありやとな  
じり、寧ろ鍾山等に振りまくるは  
實を得たのではないかと問ふ

李基る(高木産業課長) 簡宜に懸  
賞場、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
なりと答へ、品評會は鍾山、鍾山、  
輕視し、慶留の三百圓ばかり、豫  
り、而して六百圓近くになりますか、  
と長々と述す

櫻川、成鐵道の比較を早く、鍾山、  
落の時、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
なきか、なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、  
今日不適で徒らに鍾山、鍾山、  
状態である故に、幼樹を保護し、  
なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
と長々と述す

櫻川、成鐵道の比較を早く、鍾山、  
落の時、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
なきか、なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、  
今日不適で徒らに鍾山、鍾山、  
状態である故に、幼樹を保護し、  
なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
と長々と述す

櫻川、成鐵道の比較を早く、鍾山、  
落の時、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
なきか、なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、  
今日不適で徒らに鍾山、鍾山、  
状態である故に、幼樹を保護し、  
なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
と長々と述す

櫻川、成鐵道の比較を早く、鍾山、  
落の時、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
なきか、なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、  
今日不適で徒らに鍾山、鍾山、  
状態である故に、幼樹を保護し、  
なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
と長々と述す

櫻川、成鐵道の比較を早く、鍾山、  
落の時、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
なきか、なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、  
今日不適で徒らに鍾山、鍾山、  
状態である故に、幼樹を保護し、  
なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
と長々と述す

櫻川、成鐵道の比較を早く、鍾山、  
落の時、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
なきか、なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、  
今日不適で徒らに鍾山、鍾山、  
状態である故に、幼樹を保護し、  
なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
と長々と述す

櫻川、成鐵道の比較を早く、鍾山、  
落の時、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
なきか、なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、  
今日不適で徒らに鍾山、鍾山、  
状態である故に、幼樹を保護し、  
なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
と長々と述す

櫻川、成鐵道の比較を早く、鍾山、  
落の時、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
なきか、なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、  
今日不適で徒らに鍾山、鍾山、  
状態である故に、幼樹を保護し、  
なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
と長々と述す

櫻川、成鐵道の比較を早く、鍾山、  
落の時、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
なきか、なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、  
今日不適で徒らに鍾山、鍾山、  
状態である故に、幼樹を保護し、  
なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
と長々と述す

櫻川、成鐵道の比較を早く、鍾山、  
落の時、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
なきか、なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、  
今日不適で徒らに鍾山、鍾山、  
状態である故に、幼樹を保護し、  
なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
と長々と述す

櫻川、成鐵道の比較を早く、鍾山、  
落の時、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
なきか、なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、  
今日不適で徒らに鍾山、鍾山、  
状態である故に、幼樹を保護し、  
なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
と長々と述す

櫻川、成鐵道の比較を早く、鍾山、  
落の時、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
なきか、なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、  
今日不適で徒らに鍾山、鍾山、  
状態である故に、幼樹を保護し、  
なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
と長々と述す

櫻川、成鐵道の比較を早く、鍾山、  
落の時、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
なきか、なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、  
今日不適で徒らに鍾山、鍾山、  
状態である故に、幼樹を保護し、  
なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
と長々と述す

櫻川、成鐵道の比較を早く、鍾山、  
落の時、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
なきか、なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、  
今日不適で徒らに鍾山、鍾山、  
状態である故に、幼樹を保護し、  
なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
と長々と述す

櫻川、成鐵道の比較を早く、鍾山、  
落の時、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
なきか、なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、  
今日不適で徒らに鍾山、鍾山、  
状態である故に、幼樹を保護し、  
なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
と長々と述す

櫻川、成鐵道の比較を早く、鍾山、  
落の時、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
なきか、なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、  
今日不適で徒らに鍾山、鍾山、  
状態である故に、幼樹を保護し、  
なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
と長々と述す

櫻川、成鐵道の比較を早く、鍾山、  
落の時、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
なきか、なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、  
今日不適で徒らに鍾山、鍾山、  
状態である故に、幼樹を保護し、  
なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
と長々と述す

櫻川、成鐵道の比較を早く、鍾山、  
落の時、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
なきか、なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、  
今日不適で徒らに鍾山、鍾山、  
状態である故に、幼樹を保護し、  
なへ木、鍾山、鍾山、鍾山、鍾山、  
と長々と述す

# 忠北評議會 新

第五日目——二期八月 3. 1

(清州) 午前十時半着席議長は諮問案第二號より第十三號迄一括して議事に對する旨を宣す

▲原田君 第四號案不動産取得税賦課規則第二條中五項の法人の合併又は共有權の分割による不動産の取得に付き法及團體にのみ適要するや又個人にも適要するや

▲番外内務部長 一般に通じてゐる

一番原田君の第九號案砂防工事費に付き砂防施行地適願ひに付き要領的質問ありその他四五名の議員より質問あり番外の明答で議事は進行四番盧君地方費は道内不偏的徴収するものであつて議員或はその他の人に依つて運動が施行せらるるに思はれるが最も公平に行はれないと嘲諷すれば議長今の四

番の説にはお答へする限りでないと思ひますが私は知事として申し上げますと前提し報恩郡に對して決して不公平な取扱ひはしてゐないと報恩橋梁橋問題等より教示的説明する

▲原口君 前に一番の質問したる不動産取得税中第二條の五法人の合併又は共有權の分割といふ字句に付き法人にのみ限定される如く解釋するゝが如何

▲内務部長 法規上の文言として簡明を期す上において爲したるを以て決して本案の意思に相違することはない安心せられたいと答へ次で數回の質問答ありこの時議長は他に質問の有無を質し一議會を打ち切り二議會を省略し三議會にうつしたき旨を語り一同賛成議長三議會において原案の決定

起立に問ふ二名起立せざる外全員  
起立原案可決時に十一時十五分休  
憩を宣す

午後再會議長昨年度提案に對する  
而職員の待遇その他河川・森林保  
護組合等に關するお尋問に對し審  
外より説明せしむと述べ審外内務  
部長明細に説明を爲す十二時十分  
休憩午後一時半より再開すること  
を宣す

## 建議案

第一號 美湖川改修及砂防工事急  
施方の件

(提出者宮本政義、賛成者中昌  
休外四名)

第二號 農業倉庫若しくは同支庫  
を永同及曾郎に建設せられたき  
件

(提出者岡清太郎、賛成者宇都  
宮善市外七名)

第二號 永同農業學校設置に關す  
る件

(提出者宇都宮善市、賛成者岡  
清太郎外五名)

第四號 天安大邸第一等道路未改  
修沃川永同間、黃淵秋風嶺間改  
修速進方要望の件

(提出者宇都宮善市、賛成者原

口一二外七名)  
第五號 國費砂防工事の擴張に關  
する件

(提出者原口一二、賛成者原田  
武男外十四名)

第六號 朝鮮鐵道株式會社の經營  
に係る忠北線を延長し堤川を經  
て江原道に至る様本府並に朝鮮  
鐵道會社に要望の件

(提出者原田武男、賛成者中泰  
駿外五名)

第七號 銀行支店を永同曾郎堤川  
に設置の件

(提出者岡清太郎、賛成者中泰  
駿外六名)

右建議案はそれ／＼提出者の説明  
あり議長は一二議會を省略し三議  
會にうつすことを諮り全員賛成を

以て議長三議會において何れも採  
擇の可否を起立に問ひ全案採擇可

決時に二時四十分當日の議事終了

につき議長閉會を宣したる後議長

は時間の餘裕あるを以て一人平均

二十分以内を以て議員の意見を

述ぶることを諮り賛成多数あり二

番申請員に次ぎ五番申請員十番議  
員等より各種問題に關する意見あ  
り午後四時十分閉會した

地方の聲を反映する

盛り澤山の希望意見

建議案を蒸し返さんとして一波瀾

慶北道評議會(第六日)

釜山 6. 3. 1

平道路完成、邱安鎮速成、農林學校に畜産科新設、貧困兒童救濟面の廢合、保健衛生、教員問題等永々とやつて議長より既に十五分間経過せる旨を注意され一漸、引、込む

榮橋の完成、機業組合地方贊助助で練習所設置、蠶種代補助増額、面書記増員、毎日申報面費購讀廢止

△十一番(達城朴定永君) 自動車に自家用、乗合、トラックに付けて増税し牛馬車自轉車税を全廢すること、中華學校校費料引下、消立醫院の減收は醫員看護婦までが内職的に患者に接するので普通患者が減ずるとの噂がある、又嶺南時報の征額八千圓支出を廢して之れを秀才(貧困者)奨學資金に振當てること、八公山の砂防工事、華外道路昇格、玄風普通學校に實業教育實施を要望

△十二番(義城吳國詠君) 農村救濟、桃李院架設、永川華城間二

窮民救濟、米價對策を要望し  
△七番(尙州吉野君) 尙州報關道路を三等に昇格すること、咸昌米院間道路速成、棉作技術員配置、農產倉庫保管料低下

△八番(安東權賢泰君) 安東入口の永興川洪水對策、種南場支場設置、青年指導等を要望し  
三時半議長十分間の休憩を宣し同四十分再開

△九番(清道李鍾玉君) 磨山清道間道路、清道昌寧間同上昇格、大邱清道間八助峠を華外道路として至急開通すべきこと、土地改良費補助、棉作獎勵、面の廢合、時代おくれの偏道振興會廢止  
△十番(榮州張斗圭君) 慶北線の榮州奉仕延長、カンセン橋及び

(大邱)道評議會第六日の二十七日は午前中大邱府内に於ける社會事業視察を行ふたので午後二時十分開會、出席議員三十三名(缺席四名)一番議員より順次二十分間以内の程度で希望意見の開陳に入るべき頭五番議員(はい、德文明き君)發言を求めて建議案に對する取捨に就いて意見を述べ邱安線並に安東えい、德間の鐵道速成に對する建議案の採擇を切望し議長の裁斷になつて得、一番議員發言を保留したので二番議員(漆谷入山君)より順次開陳に移る  
△八山君 先づ文明奇君の建議案不當意見に對する一身上の辯明を試みた後米穀検査手数料低減產業組合及び備荒貯蓄組合の獎勵普及及金融組合増置、學校費問題、授業料低下、靈系兼實習場擴張、普通學校新設寄附金減額教員採用方針、普通學校卒業生指導、女教員配置、下水溝修築並に新設、市街地決潰護岸修築仁同海平間道路速成、仁同龜尾間同上、東明面排水溝等を要望し  
△三番(大邱武尾君) 大邱に普通學校一校増設、大邱高女地方費移管要望  
△四番(蔚州日浦君) 税制改正、初等學校の實科教育  
△五番(はい、德文明き君) 國產愛用の不徹底を難じ國產自動車の獎勵、實科義務教育、はい、德入の道路幅員擴張  
△六番(星州李基永君) 郷校財産を學校費に利用せよ、鮮人女子教育を家庭に適合するやう改めること、教員の俸給改正、一面一授主義實現の爲め寄附金低減

△十三番(慶州さい、明君) 慶州に工藝學校新設、上米道の至急着手、種南場支場設置、安康邑後青松間道路昇格、二千三百餘町歩の郡内砂防工事、要望し  
△十四番(禮泉李應玄君) 產業組合増設經費補助として地方費から無利息一組合一萬圓以上の貸付を要望し更に道令を以て特

産物の検査規則制定すべしと説く、其他華外道路の地方費補助晋州面コウヘイ川の堤防工事を因果關係ある朝鮮から工費の六割以上補助せしめて速かに着手すること救濟事業の急速着手、新實水利工事等を要望し終つて五時三十分議長閉會を宣す

盛澤山な

# 希望陳述

議場ダレる第五日再開後の

慶北道評議會

邱

大6.3.

希望陳述の事とて盛澤はグン  
氣味である武尾君（大郎）簡潔に  
希望意見を陳述したいとて

武尾君 一、大郎に普通學校

一校増設の件

二、大郎高等女學校の地方移

本題は數年先の懸案であるか

ら一日も早く實現するやう希望

すると頗る簡單に終り

正を要望したい第一に戸税雜稅

現の合併第二に家屋稅の稅率減

下第三營業稅附加稅を地方費に

繰入すること次に米穀檢査手數

料の引下げを斷行して貰ひたい

昨年より道當局が初等校の質料

教育に重きを置いて呉れるのは

感謝に堪へぬが實科擔任教師に

して實科の知識に經驗に乏しき  
者がある、之が剛敏と同時に實  
科教員養成機關を設けて貰ひた

文明綺氏（勿徳）發言と同

時に「我々人生はなんて議會を

笑はせながら國產愛用の鐵道を

希望し更に多年の議論であると

て普通學校教育を小學校と同様

義教教育とせよと叫び次は地方

問題として郡鐵道路橋梁の改修

架設を希望す

李基承君（星州）各地に儒

道並興會と云ふものがあるが老

人許り集めて過去の夢を語りせ

て何になるか、之が主眼となつ

てゐる卿牧財産を學校教育費に

運用して貧困兒童の救済、教育

の振興に使用して貰ひたい

一面一校完成の爲め地元各附の撤  
廢を希望し更に初等學校高給教員

の整理を叫ぶ更に

米價暴落策による低賃融通は結構

だが價選期限の六月を延期して

貰ひたい

吉野尙太郎君 一、尙州報

恩同、化學永洞間道路を三等清

路に編入し咸昌米因南濱路の一

部改修、橋作梁廠技術員の配置

農倉庫保管料金の引下げを斷

權賢燮君（安東）

安東の永興川の橋梁架設、義城

桃李院の道路改修と架橋を速

成して貰ひたい安東は母より田

作が主であるから種苗場を支援を

安東に設置するやう希望する

青年指導の徹底を助せよと鐵々陳

述し三時半議長休會を宣し三回

十分再開

## 道令を設けて

特産品の検査を行ひ

規格を統一せよ

張斗奎氏（榮州）一、禮泉

安東間の鐵道完成後榮州奉化へ

の延長が實現するやう道當局の

御努力を希望する一、忠州益德

間二等道路の開鑿一、禮泉榮州

間の橋梁架設完成一、榮州機業

組合の補助増設、機業傳習所の

設置一、靈種代の補助増設一、

面書記の増員等を希望し

朴芝永氏(漢城)

一、自動車課税を乗合、トラック

一、家用共に盛んに増加せる

一、車輻輳は今平均一割引下げ

てゐるが自動車等は全廢せ

一、自動車の道路損傷率尙金の増

加

一、中等學校の授業料の引下げ

一、醫院職員、材料藥の需用を嚴

重取締れ

一、嶺南報は實質的に何等効果

がないから廢刊して舊校卒業生

指導に使用せよ

一、公山間の小崩れ後の修繕及砂

防の施工

一、昌寧への道路を等外道路と

て改修せよ

一、玄風普通學校に醫藥科を併置

せよと盛徳山の希望を連入

吳國泳氏(漢城)

一、漢城へ米穀査支所の増設

一、農倉の共同購入肥料の配給を

敏速にせよ

一、米穀販賣組織の合理化を圖れ

一、第廿救濟事業に弘恵から一掃

還失業者を使用せよ

一、食糧不足で高利の勸借入れの

苦境にある小作人救済

一、安溪の米を改修道路開修

一、豊林學校へ畜産科の設置

一、面鏡令の發行、實業補習學校

の施設等を希望し

崔潤社(慶州)

一、慶州工農學校を設立して買ひ

たい

一、慶州へ種畜場の設置

一、安溪田溪間道路の改修を希望

し更に砂防工事について要求す

るところあり

李膺鉉氏(禮泉)道内に産業

組合を増設して地方費より一萬

圓以上の補助をなし普及をはか

ることを

一、絹布、麻布、聽絲等本道特産

物の品質向上を圖り規格の統一

を申すため道令によつて特産

物検査規定を設けて賣ひたい體

一、泉から興地に通する等外道路の

開鑿改修、砂防工事の均霑等に

つき要求

この時、定刻五時を過ぐること十分

罷退を聲明を宣して收會した

# 慶北道評議會

(第六日)

## 尙州農産學校の

## 甲種身格を急げ

## 引つゞいて希望の陳述

邸 1

18.3.

めよ  
一、砂防工事を開慶郡全廳に亘つ  
施工して貰ひたい

一、咸昌米田間の道路開通を促進  
せよ

一、普通學校の授業料減下して七  
十錢にせよ

一、副業生産物の簡便な作業場を設  
置せよ

一、鹽産代金補助を増加せよ

一、山刈草の禁止は林業保護から  
云へば妥當だが、鐵道に堆肥の

増産上支障があるから農業上特  
殊なものに限り緩和せられたし

一、水稲苗代收良田助の増額

一、收良田深耕衆の地方費補助等を  
希望し

高崎平吉君、金泉一、黒

産物の加工販賣の改善を促進し  
家庭工業の發達を助する爲め、製

絲、麻、機械、主、織機の獎勵をせら  
れたし

片岡君、慶北島の船舶  
工事の完成を一日も早く實現せ

られるやう望む道路も同様だが  
之は書面で見解を陳述する

慶北道評議會第六日は廿八日午後  
一時、議事堂より十分遅れて開會、議  
長、開會を宣し出席議員三十一名、六  
名の旨報告し直に日程に入り前日  
に引續き意見交換の希望の開陳をなす

朴寅洙氏 (尙州)

一、根川堤防の改修を速行しなけ

れば尙州邑内は洪水の度に生命  
財の脅威を受けるを以て速かに  
改修を實現せられたし

一、尙州郡で堤防工事の急務を要  
するは沙材、中東、洛東なるを  
もつて直に施工計劃をせられた

一、堆肥獎勵を更に徹底せられた

一、尙州農産學校の甲種身格は前  
評議で建議案が通過してゐるの  
であるから促進せられたし

李柄稷君 (陽山)

一、農民救済事業が一部分に偏し  
過ぎてゐるから道内に均霑せし

# 醫學講習所生

内鮮同數にとれた

金泉趙鳳來君の希望

各議員の希望意見開陳に入る

慶北道評議會 (七日目)

報 1  
民 3.  
16.

慶北道評議會第七日目二十八日は午後一時十七分開會、出席議員三十一名前日に引き続き十五番議員から希望意見の開陳に入る

朴寅洙君 (尙州) 尙州の北川堤防の改修は尙州市民の生命財産を保護する上から緊急を要するから至急考慮されたい、尙州

郡沙伐、中東、洛東三面の砂防工事を実施すること、農家の經濟を緩和する上から堆肥奨励に一層力を注ぐこと、尙州農蠶學校を甲種學校に昇格して貰ひ度い次に

李炳稷君 (聞慶) 窮民救濟事業は一地方に偏してゐるやうな感があるが出来るだけ普遍的に

實施して頂き度い、尙聞慶郡門戸西南面外四面に速に砂防工事を實施すること、咸昌、米院間の道路の開通促進、生産物作業場の施設、麻城面に市場を設置すること、蠶種代金の引下げ、山刈草の禁止はこれに代はる緑肥が必要であるから當分寛大にすること、水稻苗代改良に補助

高崎平吉君 (金泉) 農村は農繁期以外は暇で遊んでゐる者が多いがこの農閑期を利用して副業を奨励する意味で罌吸は勿論棉は綿布に、繭は絹布に、其

他原料に加工して移出するやう施設して頂き度い、露蘭の道外移出を防止する意味で自由販賣を禁止する件は建設案で出すつもりだつたが採用されなかつたので一層研究の上提出する、尙面の廢合を斷行すること

### 片岡吉兵衛君(靜陵島)

靜陵島には優良港灣が無いので出來れば港灣施設、欲しいがせめて船揚場を擴張して頂き度い、これは後日書面で御希望すると戰艦に切り上げ、續いて

### 趙鳳來君

は産業組合金融組合を新設し五萬圓乃至十萬圓低資を貸出すること、金泉高普の認可が速急に實現するやう取り計はれ度いことを希望し

醫學講習所の醫專昇格を前提とする校舎新築は心から希望するところ、満腔の賛意を表すると共に一日も早く醫專昇格の實現を希望するが、たゞ現在醫學講習所の生徒募集人員が内地人三分の二、鮮人三分の一と制限されてゐるのは不公平で内鮮人同様にされることを希望する

### 金鍾吳君(慶山)

慶山公立普通學校は昭和二年に設立され今年四年生の卒業生を出す、其儘中等學校に進級出来ないので一

面一校計電報の公普は六年制に昇格して頂き度い、慶山水利組合は災害救済事業として蒙利面積千四百町歩で計畫され更に其後二百町歩を増加したが目下事業遂行困難で災害救済の目的を遂行するやう救済策を講じて貰ひ度い

其他道路問題を希望し、次に

### 諸鹿央雄君(慶州)

慶州實業學校の設置、大邱、浦項、蔚山間の幹線道路に面する丘陵の砂防工事實施、慶州古跡遊覽道路の完成、尙當局は國產品獎勵を口にされるが現に道評議員に附付された鉛筆は外國品である、當局の一石二鳥の窮民救済事業も一石一鳥の結果に終はらないやうに全く國產品を使用されたいと暗に、日の窮民救済事業に支那人勞働者非使用希望をのべる、二時三十分休憩、昨報文、諸君が議長に叱られた、とあるは注意されたの誤りにつき本人の希望により訂正

# 道路の開通等々

## 希望條件百出

報

6. 3. 1

廿八日の慶北道評議會

(夕刊續き) 廿八日の慶北道評議會は二時五十分再開

石原堯春君(禮泉) 甘川橋の架け替へ、禮泉橋上流の堤防工事實施、禮泉農業補習學校の昇格を希望す、更に大邱醫學講習所の醫事昇格實現近いこの機會に公醫の配置充實、癩患及モヒ中毒患者の治療施設等醫務機關の充實を圖ること、醫學講習所の内容について非難のないやうに御注意を望む

沈相完君(青松) は青松、禮泉間道路開通を簡単に希望し

鄭雲奭君(高靈) 棉作の共同販賣が強制的であるのと、生産費の高率であるのは非難の聲があるが其點考慮を望む、蠶種代の半減、桑苗の無償配付、苗代改良の補助復活、高靈に穀物検査支所設置大邱高靈間洛東江に橋

梁を架けること、窮民救済事業を高靈郡に實施して頂きたい

次に姜敬熙君(奉化) は朝鮮語で希望を述べ通譯を附す

姜敬熙君(奉化) 榮州、蔚珍間道路は重要な經濟線であるから改修を望む、火田民は死線に立つてゐるがこれを土木工事に使用し或は植林工事に使用する軍救濟策を講じられたい、乃城、榮陽間三等道路は工事着手以來十年になるが今年は窮民救済事業に入れ完成して頂きたい、奉化郡法田面に警官駐在所を増設すること、乃城春陽間三等道路改修促進を希望する

金斗河君(迎日) 本道で認められてゐる私立學校は五十五校であるが一校宛補助金三十圓をいまま少し増額され度い、漁業振興を圖る意味で水産補習學校を

新設すること、浦項、九龍浦間三等道路、浦項、盈徳間二等道路の改修、松羅面の橋梁改築、浦項、良浦間道路改修其他浦項灣の練漁業問題等について希望意見を述べ

次いで杉原長太郎君發言を求め杉原君(大邱) 既に希望意見の開陳は三十一番議員まで終了し後一日日程が残つてゐるから今日はこれで閉會しては如何と動議を提出し動議成立議長閉會を宣す、時に三時五十分局明日は日曜で休會二日再開を續いて希望意見の開陳に入る



抑らず、朝鮮に於ては政務監督の更迭を見ずに済んだが其處に何等か圓滑を缺く存在が残つて居るのではないか。

△

何れにしても今後の朝鮮統治が善かれ悪かれ政黨と無關係交渉に置かれると云ふ事は、夫れを望むと望まざるとに關係なく到底有り得べからざる事實である、故に今後の問題は如何なる政策方針を持つ政黨に依る内閣が最も朝鮮の進歩と發達の爲に望ましかと云ふ事を朝鮮の在住民が考慮しなければならぬ時代となつた。

△

その形式は多種多様であるかもしれぬが要するに朝鮮をよく諒解し朝鮮の進歩と發達を其の政綱に加味され而してその實行力を把握する政黨に對して朝鮮の在住者は後援をなすべきではあるまいか

△

人多く政黨の弊を説き之れを忌避すべきを説く、又各國の政黨史も應接に還なき程に其黨弊史をサラケ出して居るは事實である、然れども政黨政治以外の政治には弊害は無かつたかと言へば誰しも比較的に政黨の弊の未だ微少であつた事を認めるであらう

△

人動もすれば、現代の政黨と朝鮮古代の政治的朋黨を混同して論議するの恐れがあるが現代の政黨は所謂公黨にして即ち「同様の政治的信念と目的を以て人間の公的結合」であり國家社會への正しき奉仕の集合力である事を認識しなければならぬ。

△

何つれにしても今後の朝鮮が深き聯繫を内地の政黨に有し、最近一二の出来事が其善きと惡きとに拘らずそれが一時的政治現象でない事を深く考慮に置くの必要がある。

# 京城府協議會

2

新 三案を可決 3.

五案委員附托6.

京城府協議會は二十八日午後二時府廳會議室で開會出席議員二十五名に日程に入り

諮問案第四一號 京城府特別營業稅雜稅條例中改正案(第一讀會)

を上程田虎熊、中村郁一兩氏と中村税、議長との間に質疑應答あり議長指名の十名の委員附托

諮問案第四二號 京城府聯合運賃費充當償還方法變更案(第一讀會)

は中村郁一氏より本券經營の演説あり建築許可につき誤し

安藤氏尹、財団法人の議の許可がないから土地の却交渉に進まない

と答へ竹内菊太郎氏、同地の買収に依りて豫算不足を充當策を質し府尹より『不足額は責任を以て補充する』旨を答へて讀會省略原案可決

諮問案第四三號 昭和五年度府歲入出追加更正案

△同第四四號 京城市區改修費充當償起債案(金十九萬圓)

△同第四五號 昭和五年度特別會計公益質屋賣歲入出追加豫算案(竹添町増設の件)

△同第四六號 公益質屋經營貸付資金並に建築費充當起債案(會員會を開く計諮問案の審議に入る二萬五千圓)

は藤村忠助、中村郁一、濱田虎熊、韓萬熙、竹内菊太郎諸氏の質問あり藤村忠助氏の提議で右四案を一括して前同様の委員附托

△諮問案第四七號 府外給水の件(黄金町七丁目朝鮮産業貿易株式會社)

は議會省略で原案可決最後は急務案として

諮問案第四八號 昭和五年度府歲入出追加更正豫算案(前府理事官吳斗、氏十ヶ年勤続慰勞金として金二千圓贈呈)

は韓萬熙氏より一千圓増額の提議ありたるも結局議場一致で原案通過可決確定し安藤議長より左記十氏を前記四諮問案の委員に指名して午後四時二十分散會

委員 韓萬熙、濱田虎熊、田中半四郎、曹秉伯、藤村忠助、田端俊純、中村郁一、成松綠、尹宇植、李升康(以上十氏)

## 委員長互選

田中氏當選

△同第四四號 京城市區改修費充當償起債案(金十九萬圓)

△同第四五號 昭和五年度特別會計公益質屋賣歲入出追加豫算案(竹添町増設の件)

△同第四六號 公益質屋經營貸付資金並に建築費充當起債案(會員會を開く計諮問案の審議に入る二萬五千圓)

黃海評議會

黃海評議會

新朝

第四日目（廿五日午後五分）

（海州）黃海評議會第四日目二月二十五日は午前八時に引續き午後一時開會室に入る

▲趙東淳君（黃州） 根拠製造に對し造林上弊害なき上は製造せしめても宜からうと思ふが當局の方針如何

▲産業課長 從來の例に於て造林弊害多きに就き根拠製造に對しては不許可の方針である

▲趙東淳君 礦價暴落に對する養蠶獎勵の當局の方針如何人絹の需用多き今日これに壓迫される憂ひなきや

▲農務課長 礦價暴落せしとは礦も昨年の反當り收入は十五圓以上になつてゐる此の點に鑑み一應獎勵する考へであるは人絹は一部の需用であつて礦糸の需用は益々多きを加へ壓迫を感ずる憂ひなしと思ふ

▲東草君 米國方面の話では天然絹は廢れ人絹が盛んになつ

てゐるから本道においても養蠶の獎勵を廢止しより多き收穫のものを選び獎勵されたい若し獎勵するとしても本年の如き不況の際は獎勵を中止し礦價の當應に復して獎勵されたい

▲内務部長 礦價の暴落は一時世論を沸騰せしめたが本道の如きはすでに冷靜に復し昨年中も相當の利便を得てゐるなほ一時不況中は獎勵を中止せよとの説であるがそれは數年を續けられて後獎勵の効があらはれるのである米國における現狀も追々日本の絲を求め様になつて來てゐる今日不況の適合は兎に角當時舊態に復する傾向を示してゐる點を御考慮ありたい

▲趙東淳君 本員は人絹の發達の著しきもので、を優遇するに足ると思ふが當局の考へは如何

▲農務課長 質問の點は有機化學上の問題で現在此の席上での問

題でないから後からゆつくり御話する

▲趙東淳君 農業倉庫は何處に建てらるゝか

▲農務課長 信川邑に百二十坪建三棟を建てるのである

▲趙東淳君 農業倉庫は評議會の諮問を経ずして建築するのは如何なる理由か

▲地方課長 農業倉庫の經營主體は農會である從つて道評議會が之れに對し豫算の審議をすべき筋合でない

▲趙東淳君 畜産組合の役員に對し道當局は監督に宜敷を得てゐるかとかく、數々多くの質問を發し農務課長、内務部長と問答を繰返すその時間凡そ一時面以上に亘る議論漸く倦意を生ず

▲阿波弘司君（岡山） 緊急動議

ありと發言を求め此の調子で行けば到底七日間の會期では終了し得ない一層の事なほ十六日間位に會期を延長し各議員にはその間日當は給せずして審議され度い議長責成ありやと問ひ小數の爲め否決す議長よりなほ質問の簡便ならむ事を希望し

▲朴相燾君（長淵） 勸業獎勵に

副し道當局の方針に對し改正する考へなきやと問ひ且養老の獎勵を高唱する

▲農務課長 簡單に答へ且養老は密原の無き關係上困難と思ふ

此の時議長質問も盡きたと思ふから第二議題に廻しては如何と諮り異議なく可決次いで歳出經常部教育費、衛生費、社會救済費、評議費、選挙費、財産費、地方費、取扱ひ費、難支出豫備費及び同臨時部教育費、衛生費、社會救済費、地方費取扱ひ費及び補助費中教育費補助、衛生費補助、社會事業費補助、臨時恩賜金繰戻し積み立金公債費、河川費、難支出及び歳入全部の第一讀會を開く

▲盧君(魏津) 昨年の景氣は本年より宜かつたと思ふが昨年豫定の十四校中三校は寄附金の關係上設立未了となり本年に繰延べられたが寄附金が過大な關係ではないかなほ普通學校卒業生指導に對してはその効果如何

▲學務課長 普通學校設立は一面一校主義より出でたる計畫で地方各位の御援助に俟たなければならぬなほ普通學校卒業生指導に對しては農村青年講習會を開き指導に努めてゐる農村振興の基は此邊にあると思ふ

▲盧君 それでは患者の養實績は立案者と患者とに實際上相違があり患者は絶対に治せないといふが然るか

▲衛生課長 三週間は療養すれば全治するが意志の薄弱の者は例外である

此時盧君 君車輛税を廢止するかんがへなきやと内務部長との間に問答ありたる後再び學務にその税率を向け

▲學務課長 御説尙尤もである出来得る限り地方費で補助し適當に設立したいと思ふ。卒業生が農村に落ち付かないとの御説であるが本參與員はその見解を異にしてゐる指導の宜敷を得れば充分農村におちつき家を樂しむ状態が見える二十番議員の悲觀に對し本員は充分樂觀してゐる

▲金鍾護君(延白) 現在普通學校授業料は六十錢であるが此の不況の際これを半減される考へなきやなほ鮮人校長を置く考へなきや

▲内務部長 授業料は五年度において二十一萬五千圓である今これに替はる財源なき限り半減する事不可能であるなほ鮮人校長としてはその資格少きため實現が僅しか見てゐないが追々はその御要求に耐たし得るやうにならうと思ふ

▲金鍾護君 本道は女子高等普通學校がないこれ迄々々要望したがが本年度は是非實現されたいなほ農業學校は本道の産業開發上最も重要であるからこれも延白に一校設立されたい

▲内務課長 經費關係上本年度において實現し得ないのは残念であるが追々これも實現の域に至ると思ふなほ農業學校のかほりに農業補習學校もあり不充分ながらも相當の成績をあげてゐる此の點諒せられたい

次で李鍾護君道立醫院の設備公費の配當飲料水困難なる箇所を對する施設その他二三の質問を行ひ内務部長、衛生課長等との應答あり午後四時散會

# 忠北道評議會山

## 第四日目午前の議事

2

3

6

清州午前十一時十分一同入場午前  
七時十五分開會議長開會を宣す  
(十三番金福源議員) 第六款社會  
救済費 第二項地方救済費 救済  
託費百八十八圓計上しあるが餘  
りに少額にて之れにて相當なる目  
的の救済をなし得るや次に勸農  
共済組合の現況を問ひ衛生費の模  
範組合のケ所及施設内容たゞし  
納分費二千七百四十四圓は多額  
計上しあらざるやと徴収状況を説  
明されたと追る  
(河村地方くわ長) 救済託費  
は少額の様な感じを致しますが勸  
農共済組合の施設と共通なし居れ  
ば大體に於て差支ないと思ふと答  
へ補農共済組合の現況は一七一組  
合五十九ヶ面四千九百七十四人貧  
付額九萬九千六十圓となりる貯  
金額は個人で最高三十七圓九十五  
錢一人平均一圓四十七錢となつて  
居ります衛生費模範部落につき野  
世後警察部長より答辭す一般人民  
の努力を俟つて改善したいと思ふ  
と答へによりまして模範部落を模範  
し之れを中心に一般に及ぼす様に

したいと思ふてゐる其の計畫は各  
郡に二又は三部落とし十二ヶ所設  
け之れに種々なる改善を施し以て  
模範を示したいと思ふと例を挙げ  
て説明す納分費に就いて近隣  
事務課長より徴収状況を述べ徴得  
税、車輛税の如きは未だ滞納者多  
く其他を合せて一萬二千円の數に  
のぼる様な状況にて計上額は決し  
て多額にあらずと述ふ  
(四番議員) 各所古蹟保存補助  
百圓計上あるは少額ならずやと朝  
鮮入景の一たる俗離山の今昔の状  
況を聞く陳情し之れ等の補助を増  
額する意思なきやと質し教育費に  
移り農村の状況よりして授業料輕  
減の意圖はないかと問ふ  
(番外松澤内務部長) 御説の如く  
俗離山補助するにせば多額の費用  
を要する現状で地方費では之れ以  
上計上出来ざるを遺憾とす授業料  
輕減を希望するも現下の狀態では  
已むを得ず一人民の學校費負擔し  
居るものにして入學者と利益を得  
る點を説いて授業料納入義務を言  
ひ補助額に對し四割五分地

方費補助より見る状態を述べて答  
ふ  
(十八番李景賢議員) 普通學校學  
費兒童をたゞし森田學務くわ長は  
只今調査中なればお待ちを願ふと  
答ふれば李議員は一道の學務くわ  
長が學費兒童を知らぬとは無實  
ではないかと断り突き込めば  
森田學務くわ長はタヂ／＼の受太  
刀で知らぬのではありません詳細  
を申上げるため調査中であると述  
ぶ森田學務くわ長の状況を問へば學  
務くわ長は二校の從來の成績に徴  
して考案中で増設も企圖して居な  
い然らば必要ないと云ふのか若し  
必要ないならば多額費を年々計  
上する必要ないか又も相互問答  
をかはす番外松澤内務部長はたち  
て補足的に説明を得て引續いて卒  
業生指導費一千七百四十四圓計上しあ  
るが如何な方面に使用するやとた  
だす  
(森田學務くわ長) 指導圖を作り  
其の組織の方法を詳しく述べ共に  
協力し懇問する處あり此間各は双  
方共堅強味を帯びて情氣を自覺せ  
しめた最後に議員より南部永同に  
農學校新設の希望を述べれば  
(番外松澤内務部長) より御説に  
は同意なるも目下の處農學校上  
已むを得ぬ次第であると述べ後

(森田學務課長) 先刻御尋ねの學  
費兒童を調査したから只今報告し  
ます十五萬五千五百八十四人であ  
ると答ふ

七番 齋しやくより議員 實業補習  
學校について述べたいと思ひます  
本件は多岐議段よりし間あり今改  
めて質問の様であるが沃川出身た  
け實業學校の實情をよく承知して  
ゐる故駄足ながら尚ほ一言をす所  
以を述べ實業學校入學生の状況よ  
り其の効益を説き學費此費目を廢  
止し實業事業費に振り替へては如何  
又若しこれ等が實行できるとせば  
實業學校は如何とたゞし終り  
に消ドルたき口のドストルは物  
下落の今日高價ならずやと問ふ  
(番外森田學務課長) よく川實  
業補習學校の實績の上りさるは如  
何との御此りを受けましたができ  
得る大御期待に添ひたいと思つて  
居ります 授産事業監督又授産料全  
廢は現下の状況にて己むを得ず御  
了承を乞ふと答ふ 消ドルたき口  
については番外森田技師より答へ  
たき口の販賣價格は二、三年前よ  
り二、三割方は下落してゐる 價道  
としてもなる可く安價に供給を計  
り製造元へ照會をする等最善の努  
力を竭ふ考へであると答ふ時に午  
後休憩となる

### 午後の議事

午後一時三十分より議長開會を宣  
す

(十四番 宮本議員) 衛生費につい  
てと冒頭し費目中衛生展覽會費を  
見るに客年六百十五圓に對し本年  
度三百圓の計上ありこれ等の費用  
を以て衛生思想の普及の完壁を  
期し得るや次に水質し驗費百圓は  
如何様まで實行し得るかとなし  
更にモルヒネ中毒患者の治療状況  
社會事業發明會助成は現社會の  
さう勢のおもむく處よりの見地か  
らして少額ならずや

(番外 野田溪澤警察局長) は衛生展  
覽會費は昨年は清州に於て全米  
大會を開催した之れを期として  
大々的計畫をせしたる多額を要し  
たるも本年は特殊の催したる故通  
つ十五圓ばかり施行する計畫であ  
る水質し驗費は本年新設の費目に  
て客年までは他の費目の中より僅  
か割て行ひたるも件數より見てす  
こぶる必要を感じたる故斯費目計  
上したゆゑである件數は大正十  
四年より昭和五年迄水質試驗數が  
四千三百件内三千件迄飲用水に適  
水千三百件が不適水の成績状況を  
見て豫算を十分とは思はぬが先づ

本年はこの程度にとめた次第で  
ある、モルヒネ治療費も本年度新  
設費にて客年本府の方針より登録  
制度に順應し一人二十圓位目當し  
二十人位づつを清州道立醫院の一  
室に於て治療せしむる計畫ですと  
患者登録簿を示し極めて詳細に説  
明す次に明倫會に就ては番外松  
澤内務部長より會界思想の漸く變  
動を來さんとする今日此種の施設  
を要するを説き就中偏道の普及は  
すこぶる必要なるゆゑんを述べ豫  
算については他に社會救濟費中講  
演講習費又月刊等も發行して居る  
から此れ等の相通し補助し得る事  
項ある故に此の程度ですとみたい  
と思ふと答ふれば宮本議員は愛を  
よく謝辭を述べ大いに官議振りを  
發揮した眞摯は議員一同々二科目  
を繰返し漸く議を催した

(五番 森田議員) 豫算面に道公醫一  
名増員を見るが内容如何而してど  
こに配置するや問ふ公醫は比較し  
て高級であるこれ等を減額して其  
の餘りやを以て増員し置る意思  
はないかとたゞして忠州縣學校寄  
宿舎及講堂新築は單位井園の同價  
であるが漸次へなく出來得るや更  
に卒業生指導費に入りたるも既に  
他議員と同様の質問であつた  
(番外 野田溪澤警察局長) 簡單に公

醫は國費負擔に屬し豫算なきため  
地方費より公醫一名を増員した公  
醫給料低減問題は國費にわたり本  
會議の事項にあらざるも折角の問  
なれば御答へすると一寸カラカイ  
此れは多分忠州の公醫の話であ  
らうと思ひますが考慮しますと答  
へた寄宿舎講堂の新築問題には森  
田學務課長より宿舍は生徒の實  
習用にも使用する目的であります  
から此の程度で差支ないと思ひま  
す、時に午後三時三十分議長以上  
の議案は質問打ち切り議入籍常  
及臨時部を第二議會に移しますと  
宣す

(四番 内務部長) 地附附加税、  
戸税、河川使用料等の減額を民情  
を述べて要望し更に車輻税は減額  
の必要を認めず前年通賦くわすべ  
しと力説す更にカマス検査手数料  
の撤廢を叫び農村救済を唱へる  
(番外 松澤内務部長) 地附附加税  
及戸税、河川使用料等は十分考慮  
して賦くわしたので致し方もあり  
ません 車輻税に對しても他道方  
面を調査して賦くわしたる次第で  
あるから御了承願ひます、時に四  
時二十分議長五分間休憩を宣す

# 販賣に花が咲く

## 全北道議第四日目

(全州) 全北道議議會四日目は二十四日午前十一時三十分開會勸業費に入る

### 畜産の奨励

▲礦部課長氏(群山) 畜産奨励費が昨年と同額計上されてゐるが、村邊の今日此種事業は大いにやるべきものと思ふが、當局が現在やつてゐる状況及將來の方針如何、融資資金貸付金につき詳細な説明ありたい、又水産界は陸地の諸費より非常に少額であるが、この水産方面にも豫算の許す限り多額の豫算を計上して水産事業を奨励して貰ひたい

▲訓導課長 養蠶は昭和十四年まで改良蠶を普及せしむる方針で現在二十三萬羽の改良蠶となつてゐる状況で名古屋種と白色レクホンの二種でこれを養蠶改良所部落や種生産部落に所付せしめてゐる養蠶は六年度より五年計畫で種豚部落に所付し一般に普及せしめつゝあり種豚はパークシヤと種豚である、副養資金貸付は種豚及預託とくと吟製作機に對し貸付するはずで合計三千八百圓である

▲原田地方長 副養資金貸付につき内容説明を足する

▲産業課長 漁業資金貸付中サバ流し網製造に千五百圓、漁船建造に二千圓を三ヶ年無利子で貸付る又水産事業が振るはないとは心配であるが豫算の關係上如何ともなり難いが將來は豫算の許す限り水産事業の發達に努める

### 人件費が多い

▲林田氏(淳昌) 新設すべき米穀検査所は何地か砂防工事、淳昌郡内になせ施行しないか、淳昌に製紙廠を設けてもらひたい

ついでには常に苦心考慮してゐるのである

▲訓導課長 米穀文庫設置場所は淳昌、任實、望城の三ヶ所である

▲産業課長 砂防工事施行地は目下本府で審議中であるから淳昌郡もは入るかわからぬ、製紙廠は淳昌はうけたまはつておく

▲山本氏(全州) 勸業費につき大體の説明を求むれば訓導課長

# 堆肥増産難

▲岡本央氏(金恵) 紫雲英、綠豆の成績如何、堆肥増産獎勵に對する當局の方針如何と堆肥増産につき三大難件を説く

▲調農務くわ長 紫雲英は四万五千町歩栽培して九萬町歩に施肥する方針で既に三萬町歩の栽培をしたが成績不良失敗した地方もあつた、六年度より五年計畫で五萬町歩栽培する考へである、堆肥増産計畫に對する意見は同感である、堆肥増産には家畜飼育が第一要件で本年度から家畜飼料獎勵費千四百圓を新たに計上した

## 植桑の延期

▲吉桑かう氏(錦山) 副業助成費中に山間部に於ける木棉織に對し改良機械購入費に貸付しては如何植桑獎勵は購買安のため延期しては如何

▲調農務くわ長 植桑は不景氣時代に植ておかねば好氣質になつて採收をやる困難、桑は植て三年後でなくては區にくはせるとは出来ぬのである

▲平産業くわ長 木棉織機に貸付せんといふとは同感であるが組合があらねば貸付る譯にゆかぬ

## 勸業費僅少

▲調農務くわ氏(茂朱) 勸業費の増額は極めて少いがそれで百四十萬道民の福利増進が出来るか、商工業に對する當局の方針如何

▲松下内務部長 財政の許す範圍内で道民の福利増進を圖つてゐる百四十萬道民の生活安定には常に苦心してゐる處である

▲板井信藏氏(益山) 勸業は需要を大ならしむるか要諦である、勸業費の削減を見れば生産に重きをおき販路については何等考慮してゐない

▲松下内務部長 今後は生産品販

## 官吏の減俸

▲金き一氏(南原) 官吏の俸給を減俸して人事費を整理せよ

▲松下内務部長 人事費の減少した方面もある仕事が多くなつても人事費は増加してゐないから御了承を乞ふ

## 蠶種代低下

▲さい鎮烈氏(佐賀) 蠶種の獎勵

が要であるが購買がない今日であるから蠶種代を低下せしめよ山林組合は同一に徴收せず等級をつけよ

▲調農務くわ長 五年度から蠶種代は十五錢乃至二十錢低下せしめてゐるが六年度は目下蠶種組合と交渉中である青森水利組合は設計が來ばかりで地主側と協調した上實施する

農林組合等に等  
級をつけることは必要であるが未だ  
基本調査もできてゐないから今の  
處では致し方ない

### 貧弱な水産界

▲光富壽八氏（靜山）水産事業を  
盛大なうしめとこれは産業立國の  
大方針であるが本道の水産界は誠  
に心細い水産し驗場の内容を充實  
し又水産物の加工場を設けよ魚類  
の養殖を奨励し漁業取締の勵行を  
望む

▲李産業くわ長 水産業に對する  
この意見は將來の參考としてうけ  
たゞはつておくと輕く受け流す

### 鎮安に種苗場

▲金ていたく氏（鎮安）鎮安に  
種べう場を設置してもらひたい收  
穫と同時に國に等級をつけてもら

ひたい

▲調農務くわ長 山間部に種べう  
場を設けるとは目下困難である  
從來國の標本がなかつたので等級  
が思ふ様でなく不平もあつたらし  
いが昨年から國の標本を贈へてゐ  
るから等級決定には無理があるま  
いと思ふてゐる

### 収の合理化

▲齊藤勤氏（全洲）穀物がますます  
検査所費につきこれを合併したの  
は如何なる點が合理で利益である  
か

▲調農務課長 穀物ときますと検査  
所を合併した合理的と經濟的は  
穀物検査員はかますのとがよく判  
り又一人で兩方の検査が出来ると  
で經濟である穀物を検査させるひ  
まな時かかます需要期で穀物検査  
に支障を來さぬ

# 慶北道評議(六日續き)

## 慶山水組の

## 救済を要望

### 嶺南時報の經費を

### 嶺南時報の經費を

大3. 大6. 趙鳳來氏(金泉)

一、面の慶合銀行  
一、金泉、鐵橋附近の荒地五千町歩を速かに處理して附近住民の安定を期せられたし  
一、普通學校の年限延長の執行  
一、金泉高等普通學校の富附金募集を速かに認可せられたし  
本道の教育は他道に比して進歩してゐるのであるが慶南開學校の無いのを遺憾としてゐる  
今同講習所新設を見るに至つた事は幸とするところで之を前程として醫學界格へ努力せらるべき當面に望む  
醫學講習所の學生募集に當つて内地人を三分二餘八三分一の割合として人懷せしめてゐると聞

根拠は何によるのであるか承るが果して然りか、然らばその

金鍾吳氏(慶山)  
昭和四年に新設した慶山押雲院

普通學校は建設費一萬七千圓全部を面民が負擔したのであるが

本年第一回卒業生を出すのに昇格してゐないので中等學校の入學困難であるから速かに昇格し

て貰ひたい  
慶山、河陽間の道路開闢、

道路に輸入して貰ひたい  
慶山、安心橋面の砂防工事

の鐵道  
一、慶山水利組合が目下極度の

鐵道に陥つてゐるから救済方法を

法を講じて貰ひたい

一、郷校財産の大部分が嶺南時報に費してゐるから之を止めて

嶺南時報は地方に移せ

一、郷校財産の小作は官公吏が獨占してゐるから之を鄉民に與

へよ

諸鹿氏(尙州)

一、慶州工農學校の設置  
一、慶山、蔚山間沿線の砂防施工

一、慶山道路の完成

石原曉春氏(金泉) 甘川統

の架橋を完成して貰ひたい、體

泉閣下流の堤防修築は沿岸住民の生命財産に關するものである

から御考慮を願ひたい

一、農業補習學校は清泉にもある

か中堅青年、養成思想指導の感

道内普通學校全體に普及せられ

たい

一、道内醫療機關の充實について

一言を語りたい

## モルと不患者の

## 收容所新設と

### 癩患者の治療所を

一、公營の配置、モルと不患者の治療、癩患者治療は現在では不充分であるから經費の請求限り充實を圖りたい  
一、本道内には特殊の地方病が多いから之が撲滅策を講じて貰ひたい  
一、モルと不患者の收容治療所の新設  
一、本府及隣接各道と連繫して癩患者治療所の新設を實現して貰

一、古蹟遊覽道路の定收を希望すると同時に國產獎勵の實行を徹底して貰ひたい不徹底の實施は道評議會開當日我々に配つた鉛筆は國產品ではない、先づ從所から言行一致徹底を期して貰ひたい  
と諸鹿君一本痛いところを衝いて希望を語り二時三十分懇長休憩を宣す

ひたい  
一、大町醫學院の教育方針を  
確立して人格第一の醫師を養成  
せられたい

沈相完氏（青森、青森縣泉  
田の道路を速かに改修して貰ひ

創雲氏（高知）生蘭の持  
實について潜では共同戦闘を強  
制的に獎勵してゐるが生産者は  
農家の感をしてゐる、依つてこ

の價格協定には生産者代表も入  
れて決定し、その内容を公表せ  
よ、蠶種の無償配付が不可能な  
れば半額補助を桑苗配付も同様  
にせられたし、高知邑内に穀物

蠶桑の指導地を設けて貰ひたい  
高知邑内の護岸工事延長及び其  
道路改修と洛東江の改修を實現

して貰ひたいので高知郡内の  
現狀を進んで當局の考慮を願ふ  
姜敬熙氏（奉化、榮州蔚珍道

の道路の改修を實現せしめて貰  
ひたいが、貫通すれば無盡蔵の  
木材が搬出出来るのである火田

民の火田耕作を禁止してゐるが  
餓死線上にある彼等の生活安  
を圖つて貰ひたい、乃城、湯田

の道路は着手以來十一年になる

が完成してゐないものであるから  
是非共明年度中實現して貰ひた

い、乃城、蔚珍道の應田に醫官駐  
在所を設けて貰ひたい、乃城、泰

陽田の道路の修繕を變更して貰  
ひたい、乃城の隔離病舎の改修

金斗河氏（浦東、本道内に  
五十ヶ所の私立學校があり地方費  
より一校年額三十圓の補助とし

てあるが之を増減して五十圓に  
せらるゝ、水産補習學校を新設し

て貰ひたい、浦東附近の漁業地  
に道路網を完成する事、浦項、

九龍浦項の三等道路、橋梁の架  
設、浦項、徳部の二等道路の橋梁

を架設、浦項良浦間の道路改修を  
なし東海岸道路の完成を助せら

れたし浦項二十名の水産開墾が  
あるが數隻の漁業組合の組織を

となるさ之等開墾の死活に關す  
る問題、あるから御考慮を願ふ  
杉原氏（大町）議員の意見

陳述も大部分を終へ然も日程は  
あと一日を餘してゐるのである  
から本日は之で打切つては如何  
との動議成立し三時五十分閉會  
した

嶺南時報を廢して

郷校財産の利用を望む

高靈から洛東江の架橋を持出す

慶北道評議會(第七日)

釜山

6. 3. 2

(大政電報) 道評議院第七日に二

十八日午後一時十五分開會出席議員三十一名(缺席六名)十五番議員より順次意見の開陳に移る

△朴寅朱君(尙州) 雨期に於ける危險の實例を舉げて邑内北川堤防の改修を要望し續いて砂防工事、低利資金、堆肥獎勵、農産學校の昇格等を要望す

△李丙稷君(開慶) 窮民救済事業の均霑、都四面外四面の砂防工事急施、咸昌米院間の道路速成、普通學校授業料を七十錢以下に低下、特産品作業場設置、等外道路完成、蠶種代金引下、水田綠肥用の山林刈草禁止の免除、苗代改良補助費及び深耕スキ購入費補助増額要求

△高崎平吉君(金泉) 備蓄貯蓄の徹底的獎勵に次いで漫閉期利用生産品加工家内工業の獎勵に就いて道令を制定すべく建議案とせしむ不幸審査委員會に於て採擇に至らず依つて具體的には書面を以つて提出すべき旨を述べ續いて前日來清道、義城の議員等よりも要望のあつた面の廢合實施に就いて金泉郡の如きは五百戸足らずの面もあるとて利害關係を明かにし更に金泉鐵橋附近の荒廢地五千町歩の雨期に於ける土砂流出の被害を訴へ對策實施を要望す

△片岡吉兵衛君(蔚陵島) 東海の一孤島は何れも措いても港灣設備が第一である然るに設備らしい設備もなければ道路もない先づ船つき場としての設備を急設されたいとて詳細は後日書面とすべき旨を述べ要望に代へる

△てうほう來君(金泉) 貧民救済低利資金、小作料問題、産業組合及び信用組合の増設、普通學校學年延長、金泉高聲寄附金募集許可、道路改修補助、醫學講習所生徒募集の公平等を要望し△金せう吳君(慶山) 押りよう面の普通學校は昭和三年一萬四千圓を國民の負擔に依つて新設し

本年四學年の卒業生を出すので

あるが昇格せぬ爲め中等學校への入學が困難である至急昇格されたい其他慶山河陽間の琴湖橋架設、慶山慈仁間經濟線の昇格經費の關係で中止中の河陽安心兩面九百町歩の砂防工事急施細民救済を目的とする慶山水利組合の失態對策、郷校財産の嶺南時報編輯振興會經費負擔撤廢、尙その所有地小作を窮民に讓る事等を要望し

△諸鹿英雄君(慶州) 實業學校の設置並に慶州を中心とする大邱浦項、うる山道路沿線の砂防工事急速實施、慶甘道路並に古蹟遊覽道路速成要望、國産品愛用の口頭禪として議場に於ける船

來館筆の使用を擧げ

時に二時半議長休職を宣す二時四十五分開

△石原きよう春君(贈泉) カンセン橋の完成並に鶴泉橋附近の堤防改修を力説し一轉して教育問題に移り職業教育實施を謳歌して農業補習學校の新設を要望し更に職業教育を各普通學校にまで普及すべしと説き再轉して専門の醫療機關に言及し醫學講習所の新築を稱讃して更に公醫の増置を望み地方病の撲滅、モヒ患者收容所、癩病患者に對する國家的施設其他醫學講習所生徒の教育方針を述べて醫術の商品化、技術偏重の弊を避けひたす

ら人格の養成を切望す

△枕相完くん(青松) 簡単に青松

永川間の道路速成を切望

△鹿雲せきくん(高麗) 生駒特賣

價格並に露種無償又は半額配布

苗代改良奨励費、深耕スキ補助

復活、高麗邑内を穀物検査指定

地とすること若し能はざれば玄

風の検査員を出張せしめられた

い次に慶南金海では高麗に勝る

約三倍のらく東江架橋が決定し

て居る高麗としてもらく東江の

架橋は多年の切望であるから御

考慮を煩はしたい

△鹿雲せきくん(奉化) 榮州うる珍

道路の完成、火田民救済として

榮州道路の改修を利用されたい

と述べ更に乃城榮陽間三等道路

改修は着手以來十年を経過する

もまだ完成せず至急開通の實現

を望み續いて法田面に駐在所新

設、乃城榮陽間道路のキヨウセ

ウ面變更並びに乃城隔離病舎の

改築補助として二百圓切望

△金斗河くん(迎日)私立學校五十

五ヶ所の年額補助一校當り三十

圓は寡少なるを以て増額を至當

とす、浦項に水産學校並びに道

立醫院の設置、クマン洞道路開

設、浦項九龍浦間三等道路の徹

底的改修及び浦項の德間二等

道路中松羅の橋りよう、昭和三

年着手せるは、項長は間の岩石

切取りは項長間の道路を切望

したる後漁業令の改正に及び疎

の陸上買置が漁業組合の手に移

つた爲め十數年來これを業とせ

る約二十名の問屋組合は今や路

頭に迷はんとして居る此結果は

漁業者に對する資金の融通關係

から自然にしんは釜山に導はれ

るので特例を設けて之を救う

か漁業組合の代行をせしめるこ

とに御考慮が願ひたい

時に三時五十分杉原君の勸議に依

り議長休會を宣す

# 道評議會와 地方民의 權益

哀...의 態度를 버리라

各道 道評議會는 只今에 한창 開會된다. 어떤道는 이미 開會된지 一週日이 지났고 어떤處는 아직 開會되지 안했지만 近日를 前後하여 이 開會는 한창 開會되는 形勢이다.

道評議會란者 그議員의 選舉에 있어서 그 三分의 一이 道知事의 任命에 屬하고, 兩餘三分의 二는 地方民中 各郡都守의 任命한 面協議員府協議員과 選舉에 屬하여 可謂半官半民의 機關이라 할수있고 그機能에 있어서도 何等的 決議權이 없고 道知事의 諮問에만 應하여 一種諮詢機關에 不過 하는것은 世人共知의 일이다. 또 비록 今年부터 地方自治案이 實施되어 來明年 或은 明年內에 道會가 決議機關이 된다 할지라도 道會議員의 選舉는 府, 邑, 面, 稅五圓以上을 負擔하는 府邑面會議員 選舉被選舉資格者가 互選하여 그 府邑面會議員들이 다시 重新選舉케 되었으니 徹底한 民選機關이라 할수없으며 그機能에 있어서도 議長이 道知事가 되고 道知事는 展家執行權, 解散權을 가지고 있어서 完全한 決議機關이라 할수없다는것은 吾人의 이미 論評한바이다.

그러나 이 不徹底한 道評議會라도 그取扱하는 事項은 全然히

地方民의 權益에 對한 大權을 握하고 있는것은 更히 言說할 必要가 없다 地方民은 多少를 莫論하고 一旦 道評議會의 諮問을 要하게 되었고 이의 贊成은 直接 地方民의 權益의 消長에 主張할수 있을줄 안다. 좀더 說한다. 今年만 보더라도 昭和 衰頹의 態度를 버리고 積極的 六年度 地方費豫算額이 歲入歲出 共히 三千二百 餘萬圓인바 이것을 善用 不善用하는것은 直接該地方民의 權益에 關係된다.

地方民의 權益에 對한 大權을 握하고 있는것은 更히 言說할 必要가 없다 地方民은 多少를 莫論하고 一旦 道評議會의 諮問을 要하게 되었고 이의 贊成은 直接 地方民의 權益의 消長에 主張할수 있을줄 안다. 좀더 說한다. 今年만 보더라도 昭和 衰頹의 態度를 버리고 積極的 六年度 地方費豫算額이 歲入歲出 共히 三千二百 餘萬圓인바 이것을 善用 不善用하는것은 直接該地方民의 權益에 關係된다.

## 二

그런데 一般으로 道評議會를 보면 大概는 地方民의 權益을 念頭에 두는것보다 恣意는 一家의 虛榮과 便利를 爲하여 當局의 意思를 거슬러서 反對에 餘念이 없다 이리하여 主道의 道評議會機關으로 하여 公命令의 訓示와 哀頹의 實情이 一種의 流行性을 作한觀이 無하다 이로써 地方民의 權益을 擁護할수있으며 發展할수 가잇스라

勿論 道評議員 個中에는 地方民의 權益을 主張하여 或은 水利組合의 弊害點을 論하며 或은 土木事業費의 公正한 使用 無產兒童의 授業料免除 地稅附加稅의 減收等을 主張하는者이 있으나 此等의 議論이 結局은 徹底히 貫徹되지 못하는 原因은 議員들의 大部分이 學問은 迎合的 또는 微溫의 態度를 取한 까닭인가 한다.

## 三

吾人은 道評議會의 力도 無能力함에 慨然치 않을수 없다. 그 制度와 不備와 機關의

# 新 京畿道評議會 3

## 第六日目再開

夕刊所報京畿道評議會は第二款勸業費に對する第一讀會を終り二時三十分休憩同四十分再開  
昭和六年度京畿道地方費兒童獎學基金特別會計歲入出豫算

勞働教育の擴張による

一、面一校促進

一、兒童入學費緩和策

一、職業教育に對する當局の方針

等につきかなり突込んだ質問あり

▲張植氏（京城） 初等學校の不足から最近兒童の入學難を訴へられてゐるがこれに對する當局の對策は如何又一面一校促進の方針並に職業教育に對する當局の方針如何

▲矢島内務部長 一面一校主義は總督府の方針に基き漸次各郡面に普及擴張されつつある又職業教育に對しては各初等學校においてこれを施行し更に京畿道公立職業學校にては専修科において鐵道、土木、時計課を置き更に印刷課も増加せしめる方針である又本科にてはこの外建築機械科を設置し漸次成績を示してゐる

▲入學難に對しては

▲小田學務課長 毎半入學志望者の一割六分まで收容入學せしめてゐるが二面一校の充實と共に漸次緩和されるものと思ふ

▲金直氏（夜州） 初等學校

おける授業料の負擔は貧困家庭にとり頗る重いやうであるがこれを全廢しては如何又全廢が困難であれば初等學校に對する補助を増加してこれを實行しては如何

▲矢島内務部長 授業料納入せしめる事に對しては當局は勿論學校當局者間においてこれを容易に納入せしめるやうにするかと云ふ事に對して頭を悩ましてゐるが學校當局者においては兒童に對して極力副菜を奨勵しこの収入によつて納入せしめるやう努めてゐる又授業料を引下げては如何といふ事であるが授業料を引下げれば地方賦課税を増加せなければならぬと思ふがこれが果して良策であるか否かは疑問である

▲沈圭澤氏（利川） 土木費を始め他の事業に對しては莫大な経費を計上されてゐるが刻下の重大問題である管下各初等學校の教育費頗る僅少でこれが普及充實を計る上において他の豫算を削減しても教育費の増加を計り普及徹底せしめては如何

▲矢島内務部長 京畿道教育費は全豫算について約四割六分を占め決して他の豫算より少なくはないこの點から見ても教育に對しては決して冷淡ではない

▲金泰卓氏（永登浦）

一、農村の疲弊に退學者が續出し

つゝあが當局はこれ一策とし

朝鮮總督府京畿道評議會  
第六日目再開  
議事録  
昭和六年九月二十一日  
午後二時三十分再開  
出席者 矢島内務部長 沈圭澤氏 金泰卓氏 金直氏 小田學務課長 張植氏  
欠席者 金泰卓氏 金直氏 小田學務課長 張植氏  
議程 一、京畿道地方費兒童獎學基金特別會計歲入出豫算  
二、京畿道公立職業學校の設置  
三、京畿道公立職業學校の専修科の設置  
四、京畿道公立職業學校の印刷課の設置  
五、京畿道公立職業學校の建築機械科の設置  
六、京畿道公立職業學校の成績を示してゐる  
七、京畿道公立職業學校の成績を示してゐる  
八、京畿道公立職業學校の成績を示してゐる  
九、京畿道公立職業學校の成績を示してゐる  
十、京畿道公立職業學校の成績を示してゐる

# 京畿道議會

毎3 朝 3. 3  
二日午後開議

京畿道評議會は二日午後一時より開議日程に入り勸業費の第一讀

金泰準君(始興)水利組合費の經入は事情によつて之を延期する

八尋課長 組合費納入の延期は事情によりて參酌するであ

金泰準君(始興)豚は畜産の要に對する施設如何、小作人

八尋課長 豚のコレラ病は獸疫後防令に依つて防縮してゐる

金部長 農家の生活窮乏は懸念するに各目的の實現に待つことが

周防衛生課長 豚コレラは病原菌の發見が甚だ困難であつて之が處置に就ては萬全を盡してゐる

趙漢鳳君(連川)桑苗及小蠶種を前年より半減する意志はな

八尋課長 物價下落の今日の狀態では半減は困難だが三職位は安くなるつもりである

掛場山林課長 特に私山林に對して嚴重なる意志はない

沈圭澤君(利川)勸業事務に携はる人の努力が足らぬと思ふ

金部長 官吏が職務に忠實であるべきは無論だが勸業事務

李潤永君(龍仁) 穀の改良並にその検査販賣についての當局の施設桑苗を植る組合地主と小作人との間に往々意見の衝突があるがこの對策如何

八尋課長 出來ただけ優良種を選定して増殖を勵む方針であり、検査は郡農會が主體となつてゐるがなほ改良すべき點もあらうと考へてゐる、桑苗は苗木から養蠶までは三年乃至四年を要するから地主の理解を求めて徒らに小作地の返還を迫らざるよりする必要がある、又地主と小作人との間に組合を設けし兩者協同して養蠶の普及を計つてゐる、尚本年の春蠶は昨年より増加の傾向である

掛場山林課長 本道の造林計畫は成林の保護を第一義としてゐるので新規造林は餘り奨励してゐない、併合當時十一萬町歩に過ぎなかつた山林が目下六十萬町歩に達し漸次荒山は緑化しつつあるのであつて成績は大體良好である、勸業費に就て二一三縣農會を求めて質問を試みるとすれば、を長休態を宣す午後二時三十分

各議員の要望を最後に

# 忠北道評議會終了

邱 3 議員を二班に分けて

大 3. 道内各方面を視察す

(清州)二月二十七日午前十時振鈴を合圖議長開會を宣し通告順により

原田武男氏 丹陽郡梅浦

面一圓及赤城面佳谷而魚上川面各一部を組合區域とする丹陽金融組合支所設置の件

二、丹陽郡梅浦棉花共同販賣所建築費として地方補助の件

丹陽堤川間三等道路の内丹陽を離る一里の地點玄川里附近道路を窮民救済費中より改修方の件、丹陽永春間三等道路佳大里より任縣里間等外道路改修に對し地方費補助の件、丹陽郡中永春佳谷上川三個面を區域として畜産技術員配置し地方費より補助の件

畜産同業組合令申畜類飼育管理せざる所有を組合員に加入の件

公立普通學校設置なき面にある學術研究會教員給料として地方費補助の件

忠北製絲同業組合へ原料増配方要望の件

右諸件に對しねつれつなる希望を述べ、次は四番議員の

鄭錫溶氏 本道内の各區長に付き一言申上げます、私内地の各地にある區長の身分を見るに内地では區長ですする人は何れも相當の財産を有し又知識あり其附近に

於ても相當信友のある人を以て區長としてゐるに我道内で勤めてゐる區長は殆ど其日の食物もなく又字は知らずほとんど無知識者の様な者はかりであるから補助を充分に出して知識を有する立派な者を雇ひいれる事が出来得れば實に結構である。

安東正氏から先日來議員中女子高等普通學校設置に付二、三度承りましたが此件に付本員の思ふのは現在の清州女子高等女學校内に女子高等普通學校を附添して置かれるものならば内鮮女子の親睦を計る上にも又内鮮女子の融和の實を擧げる上にも實に結構な事と思ふ

宮本政藏氏 道民の福利増進を計るにはなんとしても産業開發にあるのであります故に今後本道内に産業調査會を設置し道民一

致を以て産業開發に勤めたいと思ひます

午後四時十三回忠北道評議會も無事終了し議長より各議員の勞を謝し又議員を代表して原口一二氏當局の勞を謝し目出度く閉會す二十八日より議員を二分し一方は北方忠州丹陽堤川地方を二泊の豫定で視察す其一方は南方沃川永同報恩地方視察二泊の豫定で出張す

# 忠北道評議會山3

## 大風一過の感奮3.

### 一瀟千里に通過す6.

(別)忠北道評議會第五日は、昨の大雨で會場外は見渡す限らず、相當議員連は憤氣を催れん事を重ねて明言すると述ぶるに對しき望を述べ(香外)河村地方課長)より詳細なる説明をなす

案第二十番(安東正議員)第四號、案第二條の二項附録による不測の取得は如何なる場合に可なり

案二十一番(原田武男議員)第四號、案第五項法人會又は共有の取得は如何なる場合に可なり

案二十二番(近藤勝久議員)第四號、案第六項の取得は如何なる場合に可なり

案二十三番(近藤勝久議員)第四號、案第七項の取得は如何なる場合に可なり

案二十四番(近藤勝久議員)第四號、案第八項の取得は如何なる場合に可なり

案二十五番(近藤勝久議員)第四號、案第九項の取得は如何なる場合に可なり

案二十六番(近藤勝久議員)第四號、案第十項の取得は如何なる場合に可なり

案二十七番(近藤勝久議員)第四號、案第十一項の取得は如何なる場合に可なり

案二十八番(近藤勝久議員)第四號、案第十二項の取得は如何なる場合に可なり

案二十九番(近藤勝久議員)第四號、案第十三項の取得は如何なる場合に可なり

案三十番(近藤勝久議員)第四號、案第十四項の取得は如何なる場合に可なり

案三十一番(近藤勝久議員)第四號、案第十五項の取得は如何なる場合に可なり

案三十二番(近藤勝久議員)第四號、案第十六項の取得は如何なる場合に可なり

案三十三番(近藤勝久議員)第四號、案第十七項の取得は如何なる場合に可なり

案三十四番(近藤勝久議員)第四號、案第十八項の取得は如何なる場合に可なり

案三十五番(近藤勝久議員)第四號、案第十九項の取得は如何なる場合に可なり

案三十六番(近藤勝久議員)第四號、案第二十項の取得は如何なる場合に可なり

案三十七番(近藤勝久議員)第四號、案第二十一項の取得は如何なる場合に可なり

案三十八番(近藤勝久議員)第四號、案第二十二項の取得は如何なる場合に可なり

案三十九番(近藤勝久議員)第四號、案第二十三項の取得は如何なる場合に可なり

案四十番(近藤勝久議員)第四號、案第二十四項の取得は如何なる場合に可なり

案四十一番(近藤勝久議員)第四號、案第二十五項の取得は如何なる場合に可なり

案四十二番(近藤勝久議員)第四號、案第二十六項の取得は如何なる場合に可なり

案四十三番(近藤勝久議員)第四號、案第二十七項の取得は如何なる場合に可なり

案四十四番(近藤勝久議員)第四號、案第二十八項の取得は如何なる場合に可なり

案四十五番(近藤勝久議員)第四號、案第二十九項の取得は如何なる場合に可なり

案四十六番(近藤勝久議員)第四號、案第三十項の取得は如何なる場合に可なり

案四十七番(近藤勝久議員)第四號、案第三十一項の取得は如何なる場合に可なり

案四十八番(近藤勝久議員)第四號、案第三十二項の取得は如何なる場合に可なり

案四十九番(近藤勝久議員)第四號、案第三十三項の取得は如何なる場合に可なり

案五十番(近藤勝久議員)第四號、案第三十四項の取得は如何なる場合に可なり

案五十一番(近藤勝久議員)第四號、案第三十五項の取得は如何なる場合に可なり

案五十二番(近藤勝久議員)第四號、案第三十六項の取得は如何なる場合に可なり

案五十三番(近藤勝久議員)第四號、案第三十七項の取得は如何なる場合に可なり

案五十四番(近藤勝久議員)第四號、案第三十八項の取得は如何なる場合に可なり

案五十五番(近藤勝久議員)第四號、案第三十九項の取得は如何なる場合に可なり

案五十六番(近藤勝久議員)第四號、案第四十項の取得は如何なる場合に可なり

案五十七番(近藤勝久議員)第四號、案第四十一項の取得は如何なる場合に可なり

案五十八番(近藤勝久議員)第四號、案第四十二項の取得は如何なる場合に可なり

案五十九番(近藤勝久議員)第四號、案第四十三項の取得は如何なる場合に可なり

案六十番(近藤勝久議員)第四號、案第四十四項の取得は如何なる場合に可なり

案六十一番(近藤勝久議員)第四號、案第四十五項の取得は如何なる場合に可なり

案六十二番(近藤勝久議員)第四號、案第四十六項の取得は如何なる場合に可なり

案六十三番(近藤勝久議員)第四號、案第四十七項の取得は如何なる場合に可なり

案六十四番(近藤勝久議員)第四號、案第四十八項の取得は如何なる場合に可なり

案六十五番(近藤勝久議員)第四號、案第四十九項の取得は如何なる場合に可なり

案六十六番(近藤勝久議員)第四號、案第五十項の取得は如何なる場合に可なり

案六十七番(近藤勝久議員)第四號、案第五十一項の取得は如何なる場合に可なり

案六十八番(近藤勝久議員)第四號、案第五十二項の取得は如何なる場合に可なり

案六十九番(近藤勝久議員)第四號、案第五十三項の取得は如何なる場合に可なり

案七十番(近藤勝久議員)第四號、案第五十四項の取得は如何なる場合に可なり

案七十一番(近藤勝久議員)第四號、案第五十五項の取得は如何なる場合に可なり

案七十二番(近藤勝久議員)第四號、案第五十六項の取得は如何なる場合に可なり

案七十三番(近藤勝久議員)第四號、案第五十七項の取得は如何なる場合に可なり

案七十四番(近藤勝久議員)第四號、案第五十八項の取得は如何なる場合に可なり

案七十五番(近藤勝久議員)第四號、案第五十九項の取得は如何なる場合に可なり

案七十六番(近藤勝久議員)第四號、案第六十項の取得は如何なる場合に可なり

案七十七番(近藤勝久議員)第四號、案第六十一項の取得は如何なる場合に可なり

案七十八番(近藤勝久議員)第四號、案第六十二項の取得は如何なる場合に可なり

案七十九番(近藤勝久議員)第四號、案第六十三項の取得は如何なる場合に可なり

案八十番(近藤勝久議員)第四號、案第六十四項の取得は如何なる場合に可なり

案八十一番(近藤勝久議員)第四號、案第六十五項の取得は如何なる場合に可なり

案八十二番(近藤勝久議員)第四號、案第六十六項の取得は如何なる場合に可なり

案八十三番(近藤勝久議員)第四號、案第六十七項の取得は如何なる場合に可なり

案八十四番(近藤勝久議員)第四號、案第六十八項の取得は如何なる場合に可なり

案八十五番(近藤勝久議員)第四號、案第六十九項の取得は如何なる場合に可なり

案八十六番(近藤勝久議員)第四號、案第七十項の取得は如何なる場合に可なり

案八十七番(近藤勝久議員)第四號、案第七十一項の取得は如何なる場合に可なり

案八十八番(近藤勝久議員)第四號、案第七十二項の取得は如何なる場合に可なり

案八十九番(近藤勝久議員)第四號、案第七十三項の取得は如何なる場合に可なり

案九十番(近藤勝久議員)第四號、案第七十四項の取得は如何なる場合に可なり

案九十一番(近藤勝久議員)第四號、案第七十五項の取得は如何なる場合に可なり

案九十二番(近藤勝久議員)第四號、案第七十六項の取得は如何なる場合に可なり

案九十三番(近藤勝久議員)第四號、案第七十七項の取得は如何なる場合に可なり

案九十四番(近藤勝久議員)第四號、案第七十八項の取得は如何なる場合に可なり

案九十五番(近藤勝久議員)第四號、案第七十九項の取得は如何なる場合に可なり

案九十六番(近藤勝久議員)第四號、案第八十項の取得は如何なる場合に可なり

案九十七番(近藤勝久議員)第四號、案第八十一項の取得は如何なる場合に可なり

案九十八番(近藤勝久議員)第四號、案第八十二項の取得は如何なる場合に可なり

案九十九番(近藤勝久議員)第四號、案第八十三項の取得は如何なる場合に可なり

案百番(近藤勝久議員)第四號、案第八十四項の取得は如何なる場合に可なり

密實するは甚だ過大に失する感あり、當局はこれ等の點に相當考へ、當局員一致を以て第一號議案以下第三號議案迄全部可決確定し、時に午前十二時、議長休養を望み、午後二時三十分議長開會を宣し、議案第一號より第七號迄を上程し、附議する旨を述べ、

第一號案 美油川改修及砂防工事 急施方の件(提出者宮本政藏、資成者申昌休外四名)

第二號案 農倉庫若しくは同文庫を永同及會坪に建設されたき件(提出者岡清太郎、資成者宇都宮市外七名)

第三號案 永同農倉庫設置に關する件 永同農倉庫若しくは同文庫を永同及會坪に建設されたき件(提出者岡清太郎、資成者宇都宮市外七名)

第四號案 天安大畠線等道路未改修、沃川永同間、昔間秋風嶺間、改修速進方第望の件(提出者宇都宮市、資成者原口二外七名)

第五號案 國費砂防工事、撫養に關する件(提出者原口二、資成者原田武男外十四名)

第六號案 朝鮮鐵道會社の經營に係る忠北線で延長し堤川を経て津原道に至る樺木府並に朝鮮鐵道會社に希望の件

第七號案 銀行支店を永同、會坪、堤川に設置の件(提出者岡清太郎、資成者申昌休外六名)

以上の議案に對し夫々提出者は理由及關係を詳細に亘り説明をなし、其の必要を論じ、議長は採擧の可否を決定し、夫々各議員の二十分間意見を述べ、希望、陳情に移り先頭第一番に二番(申義隆氏)より新設學校増設に關し、教員の選任を要望し、農倉庫の建設を述べ、

次ぎは五番(李春雄氏)の忠北省、沃川永同間、昔間秋風嶺間、改修速進方第望の件(提出者宇都宮市、資成者原口二外七名)

時に午後四時、議長は之れにて本日は議事終了と宣し一同散會した

# 黃海道評議會

釜山 3

## 第二日議事 (二月廿三日午後)

(海州) 午後一時十分議長開會を宣す

△一四番(海州) 金泳澤くん 議事進行上第一議會に於ては單に質問にとめたいと意見を述べ窮民救済事業中の一、二、三等道路の改修工事費六十三萬とあり其區域を詳説ありたい、道路修築に對しては賦役を要するは論をまたないが一年間の賦役數何名なるや賦役者は主として窮民なるを以て此れ等生活に幾分かの救済は如何

△一七番(載寧) 金基秀くん 窮民救済土木事業は主として困ばいの底を知らない地方農民を救済する上に於て最も密接を有すると思ふ依つて一、二、三等道路橋梁の改修より寧ろ等外道路の修築を實施すると共に之等救済に資するは一舉兩得ではないか、海州廣石川改修も最も必要と認めるが本川より水害のあつた例は認めないから之れは寧ろ海州の南門外を流れ廣石浦にそく河流の改修に振り替へた方が不當でないか、窮民救済土木事業實施に對し其の内容説明をさけられる様であるが之れに對する何等の秘密はないと思ふ如何

△一六番(海州) 池一貫君 土木救済事業中一、二、三等道路改良工事、釜浦港修築工事、西江改修工事、廣石川改修工事あるひは龍と浦築港の如く各項に相當の事務費を計上してある、然らば直營に付して差支ないとも思ふ、傾直營と請負は如何なる利害關係を有するや、之れ等も時と場所に依ると思ふが全く養老院の氣持かすると質問す

△一八番(釜山) 龍と浦港の如き危険を認むるヶ所は直營を適切とするも其他は請負工事に附する考へであるが又直營を適當と認むるヶ所がないではないと思ふ

△二〇番(をう津) 金善顔くん

不可能である、廣石川の改修は現在、如く東方へ發展する海州として最も必要と認め計上したのである、救済事業に付其詳細をこの要求があるが之れ等は未だ研究畫策中であるから今こゝに於て即答は出來兼ねる

窮民救済事業に對し國庫補助が從來の經驗上實際の窮民を救済するにあらず労働者の如きは主として支那人、請負業者、資本家の救済の如く認められて居る實に遺憾である依つて實際の窮民を救済することに努められたい現在窮民と稱する數は幾萬であるか道當局としては判明すると思ふ、然らば三ヶ年總額土木事業に依り幾十萬を救済出來得るか、内務部長の説明に依ると人件費は出來得る限り節約したといはれるが斯かる實況を認めない

△八卷參與員 窮民に於ては失業及其他もあるで幾人あるかと確言は出來ないが此の三ヶ年間に使用する人夫數は約一百四十萬人以上に達する考へである

△二五番(ほう山)阿波弘司君 沙里院、安所間の道路は交通頻繁に拘はらず今尙惡道で交通に困難を來して居るから急々修築を要すると共に本年度目的を達し得る計畫なるや

△八卷參與員 該道は路面非常にあしく之れが改修に於ては當局も考慮してゐるから一層調査の上改修する考へである

△二七番(最良)洪淳健君 請負事業は人夫賃の支拂ひ遅延を來し困難を感じる傾きあり、之れ等けすべて直營を要する

△八卷參與員 總督を嚴重になし努めて支拂の急速をはかる

△二五番(金川)慎久範君 金川郡は黃海道の開闢である、然るに郡内各線道路橋りようが不完備の爲め不便を感じる處があるから此際これ等方面の改修を望む

△八卷參與員 金川郡内は比較的完備を期して居るが御説に依る必要と認むる處は此際で得る大改修の目的を達する考へである

△二六番(長淵)朴相かくん 第十一款土木費總額費の豫算面を見るに事務費として六三、〇〇の多額を計上してある、斯程の人件を要する時は弊害のある請負工事を

廢除し直營の方最も可とする如何

△八卷參與員 人件費多額を要されるが道としては決して左様でない之れを直營とせんか尙一層の人件を要するので矢張り請負工事の方が可と思ふのである

△一〇番(海州)金鍾謨くん 救済事業に依り一、二、三等道路釜浦港修築廣石川改修等夫々豫算計上本年度から着工の趣きは同慶である救済の意味は一般に及ぼすが本來であるから此の見地から論ずる事は前記以外の事業が出來得ると思ふ如何

△泉崎參與員 御説最もであるが救済事業は多少の制限を附してあるから實に全部に應ずる譯に行かないが當局としても出來得る範圍まで擴張を構する考へであると打ちきつた時に午後四時三分議長開會を宣す、二十三日二日目の評議會は窮民救済土木事業費に對する前記の如き各員からの質問と各參與員からの答辯とで議場に花がさいた

# 黄海評議會

新 3

## 第五日目——二十初日

(海州) 黄海道評議會第五日目二月廿六日午前十時開會昨日に引續き教育費以下の質問に入る

▲吳昌煥君(海州) 普通學校生徒中貧困兒童の授業料免除は當局において考慮せしことなきや

▲學務課長 授業料免除は經費の問題でもあり且兒童訓育上面白からぬ點ありと思はるゝが然し出來得る限り適當なる方法を講じたいと思ふ

▲吳昌煥君 豫算面を見るにその人件費の如きは昨年度に比し何等節約の跡見えず内務部長の御話では節約云々との御言葉があるにもかゝらず更に節約の趣旨に反してゐるが如何

▲内務部長 年々の昇給その他人員整理を行ふ結果人件費は依然たる儘の如きも實際は小額の人件費で内容は多數の人員となつてゐて却つて費用は減額されてゐる

▲萬代龍助君(海州) 道立醫院は外觀は立派であるが内容は貧弱であるとは一般の批評であるが人件費は依然として従前の通りである斯くては貴重なる人命を

託するに安ずることが出來ない人件費を増額し醫師の充溢を計られたと思ふが當局の方針如何

衛生課長御意見として承つて置くと答へ呂運赫君(松本 道立醫院を一般的に使用し得る便を與へられたいと述べその他二三の質問を重ね衛生、學務、地方の各課長と應答あり

▲金泳澤君(海州) 師範學校に伴ふ女子高等普通學校の設置實現も明年度には出來得るとの御話しであるが結構と思ふが本道には女子教育機關がすくないから是非設置されたい普通學校の授業料は貧富の度に應じて徴收されたい私立學校補助額一千三百圓はすくないから増額されたい評議會費は減額して他の經費にあてられたい之れ等に對し當局の方針如何

▲内務部長 女子高普の問題は出來得る限り努力する普通學校授業料に等級を附する事は考へもので之がため別に學校費において等級を附してある授業料は一

昭和十二年四月、農林省は、  
地方自治に關する法律を制定し、  
地方自治法を公布し、  
地方自治の基礎を固め、  
地方自治の発展を期す。

地方自治の発展を期す。  
地方自治の基礎を固め、  
地方自治の発展を期す。  
地方自治の基礎を固め、  
地方自治の発展を期す。

般兒童平等に教育するに對し

内務部長 兒童の数の多い学校の

李鍾毅君 徴収は、農業税に

が如きは弊害を生ずる私立學校  
補助は現在の處置の方がいい  
地方課長 必要の場合には減額す  
る考もあります

内務部長 兒童の数の多い学校の  
廃止は考へてゐない沙里院醫學  
校寄宿舎は必要は認める財が政  
上未だその運びになつてゐない  
が下宿方法にも公認的のものを  
定めて便宜を計つてゐる職業學  
校の設置も財政上本年度は實現  
不可能である會期延長はあまり  
必要なしと思はる

李鍾毅君 徴収は、農業税に  
加税を認めて地稅附加税を減額  
せられるが適當と思ふ  
財務部長 營業税等は未だ朝鮮  
の現狀としては附加税を課す程  
度の發達を見てゐないなほ釐税  
は徴収困難であるがゆゑに附加  
税を課する事は考へものである  
李鍾毅君 大正十四年以降昭和  
四年迄に本道の人口は二萬を減  
じてゐるが徴税にも關係するか  
ら御伺ひする

▲金泳澤君 學術講習會の普及を  
計られたし  
▲學務課長 御意見として承つ  
て置く

▲學務課長 卒業生指導は可及的  
經費と努力を以て之に當つて  
ある此の點も道内に二十數校の  
指導學校がある位であるからそ  
の點を設けられたい  
と述べその他財務部長、地方課長  
農務課長、衛生課長の答へあつて  
後

▲官房主事 統計數字に誤りあり  
目下訂正中であつて人口は増加  
してゐる

▲池貫一君（海州）納税の義務は  
一般に承知してゐる然るに徴税  
吏は官廳を空に壓迫を加ふると  
の噂があるが如何

▲財務部長 朝日新聞の様な事はな  
い然し多少地方人の財産調査に  
立ち入るといふ事はあるが官廳  
を空に云々といふ事はない

▲朱成鎮君（釜山）地稅の負担に  
對し何等施療營業の施設なきは  
遺憾に堪へず本道は火田民が多  
いが之に對し當局はその行爲に  
就き如何する方針ありや先年  
州高普校及沙里院農業學校に同  
盟休校があつたこれは生徒の方  
にも悪い點があつたことは本員  
も認めるが學校當局の監督上未  
然に防止し得なかつたことに對  
し當局は如何なる方針をとつ  
たか

▲池貫一君 モヒ申張患者の中毒  
程度、道立醫院の藥價規定を改  
正する事往診料の低廉地方病即  
ち肺デストマ等の豫防方法に關  
し獨特の皮肉を交へて當局の答  
復を求むるに對し衛生課長内務  
部長之れに答ふ

▲監察部長 仲居の取締問題は豫  
算に關係がないが切角の御質問  
であるから答へる此點は益々  
嚴重なる取締を行ひ御希望に添  
ひ度ひと思ふ

▲衛生課長 公營又は道立醫院等  
に施療機關がある外社會事業救  
濟費において相當施設されてゐ  
る

▲金基秀君（載寧）兒童小數なる  
小學校は之を廢止するも他に教  
育の方法はあると思ふが廢止の  
意志なきや沙里院醫學校に寄宿  
舎の設置なしその設置を求む普  
通學校卒業生指導を關却せる傾  
きあり本道に職業學校の増設公  
館の配置各地には仲居といふ名  
目で多數の美人がある之れに對  
し衛生當局の対策小農生業資金  
貸付は國庫補助のみで地方費よ  
り補助なし之れは當局が誠意が  
ないと思ふ評議會費剩餘せしむ  
る位なら會期を延長しては如何

▲李鍾毅君（鳳山）地稅附加税は  
附加率高率である之れは農付便  
弊を來す基であるがそれ以外に  
他に附加税を増加し地稅附加  
税の意志なきや檢査手數料全  
額の意志なきや

▲衛生課長 公營又は道立醫院等  
に施療機關がある外社會事業救  
濟費において相當施設されてゐ  
る

▲農務課長 本道穀物の賣價を揚  
げ販路を増大する事に思ひを及  
ぼせば手數料は小額なものであ  
る他道の振り合ひから見ても全  
額の要なしと認める

▲財務部長 地稅は他の税の基を  
なしてゐるが之に對し附加税六  
十錢は他道に比し十錢だけ少な

▲學務課長 高普校の同盟休校は  
昭和四年四月の出來事、前部  
會でも答へてゐる又責任者  
は現在ゐない農業學校の問題は  
學校の處置と生徒の意志との線  
外より與つた問題であるがこれ  
はすでに諒解も出來たのみなら  
ず重大なる過失ありまゐるもの  
でないと認めてゐる

▲財務部長 地稅は他の税の基を  
なしてゐるが之に對し附加税六  
十錢は他道に比し十錢だけ少な

▲學務課長 高普校の同盟休校は  
昭和四年四月の出來事、前部  
會でも答へてゐる又責任者  
は現在ゐない農業學校の問題は  
學校の處置と生徒の意志との線  
外より與つた問題であるがこれ  
はすでに諒解も出來たのみなら  
ず重大なる過失ありまゐるもの  
でないと認めてゐる

▲學務課長 高普校の同盟休校は  
昭和四年四月の出來事、前部  
會でも答へてゐる又責任者  
は現在ゐない農業學校の問題は  
學校の處置と生徒の意志との線  
外より與つた問題であるがこれ  
はすでに諒解も出來たのみなら  
ず重大なる過失ありまゐるもの  
でないと認めてゐる

▲財務部長 地稅は他の税の基を  
なしてゐるが之に對し附加税六  
十錢は他道に比し十錢だけ少な

▲學務課長 高普校の同盟休校は  
昭和四年四月の出來事、前部  
會でも答へてゐる又責任者  
は現在ゐない農業學校の問題は  
學校の處置と生徒の意志との線  
外より與つた問題であるがこれ  
はすでに諒解も出來たのみなら  
ず重大なる過失ありまゐるもの  
でないと認めてゐる

▲學務課長 高普校の同盟休校は  
昭和四年四月の出來事、前部  
會でも答へてゐる又責任者  
は現在ゐない農業學校の問題は  
學校の處置と生徒の意志との線  
外より與つた問題であるがこれ  
はすでに諒解も出來たのみなら  
ず重大なる過失ありまゐるもの  
でないと認めてゐる

▲財務部長 地稅は他の税の基を  
なしてゐるが之に對し附加税六  
十錢は他道に比し十錢だけ少な

▲學務課長 高普校の同盟休校は  
昭和四年四月の出來事、前部  
會でも答へてゐる又責任者  
は現在ゐない農業學校の問題は  
學校の處置と生徒の意志との線  
外より與つた問題であるがこれ  
はすでに諒解も出來たのみなら  
ず重大なる過失ありまゐるもの  
でないと認めてゐる

▲學務課長 高普校の同盟休校は  
昭和四年四月の出來事、前部  
會でも答へてゐる又責任者  
は現在ゐない農業學校の問題は  
學校の處置と生徒の意志との線  
外より與つた問題であるがこれ  
はすでに諒解も出來たのみなら  
ず重大なる過失ありまゐるもの  
でないと認めてゐる

は諸税が増加すると思ふが當局の針如何

▲倉庫補助の關係もあり回収不能といふ事なし

▲申元卿君 なほも追求を重ね地が課長、内務部長等と問答を重ねし後

▲河波弘司君（鳳山）市立醫院の薬價を引き下げ貧困者に迄その施設を及ぼされたいと思ふが當局の意向如何なほ本員の意見に御同意下さるとすれば大進捗が望めて之れが改正を行はれたし

と述べ衛生課長之れを受け流し慎久範君（金川）納税並に學事に關し約三十分に亘り質問し張場けん意の色澤ふ内務部長學務課長交々起つて簡單に答辯を與へ課長本議案を第二議會に廻す旨を語り異議なく可決次いで歳入歳出全般の第二議會に移る

▲趙東淳君（黃州）普通學校授業料免除は現在最も重要である年

齡超過の兒童は私立校又は書堂に入るが之等に對し補助されたいなは黃州川の鐵橋は是非本年施工されたい酌量の検査を嚴重にせられたい傳染病豫防費を増額補助されたい

學務課長、衛生課長より簡單に答辯し一蹴し去る時に午後四時書記明日の日程を報告し議長閉會を宣す

▲内務部長 火田民の整理は大問題で道地方費では手もつけられないので本府で研究中であるが本道でも放置してはならない私見を申し上げると正農に歸する方法もあり土地改良事業も進展してゐる今日火田民の正農に誘導するのが適當と思ふのでその方法をとりたいたが各位も火田民の正農に歸する様御努力ありたい

▲申元卿君（平山）多額の歳出申請附金が多いが回収不能の場合

34

▲吉田雅一氏(龍川)

如何 この動議を提出し、議長に譲つた結果、全議員起立しこれを承認し第十 時議案の審議に入り

救済の土木事業費であり、ます六  
年以降三ヶ年毎にわたり支出せ  
んとするもので六年度において  
支出する道路修築及橋梁改良費

費四十萬圓中六年度において文

田中 (家生) 田中 (家生) 田中 (家生)

議長 今義利議員より動議がありましたから議長に諮るに付、

て一過千里間、獨々一旅に  
 豫定の日程を終り午後零時  
 各議員の地方事情陳述に入る

（本橋氏）楚山の

であるから宿金も新設してある

議長 これで休憩いたしました（  
午後發着時二十五分）  
後一時四十五分會場閉鎖

修は急務一、國々填道路の速成三、國々填道路の増々配置四、前川平南鎮間道路の收修及戰後川五、界部前川の變遷に對する調査を果せ

立花通學校の學年を延長して

れ二、慈城公立普通學校に在學  
補習學校に就學せし上二  
康基源氏（寧海）一、本郡南  
宮根骨養子（清江）  
宮根骨養子（清江）

旋を頼む  
議長 明日は月曜であります  
から休會いたします本日これ  
散會します時に午後三時五分

# 咸南道評議會

## 第五日の議事 (廿五日午前)

3. 6.

咸南道評議會第五日は前日に引續き勸業實業課に就き實問を繼續する事となり午前十時三十分開會出席議員十九名と通へ通譯の件に就き満場にはかり國語に依る實問は國語に答辯する事となる

△さい相玉くん(咸興) 尙幾多の實問款項あり此邊で勸業實業實問を打ち切つては如何として地方實施設を見る方がよいと思ふ

△さい鍾律くん(新興) 火田民整理指導費は六百圓である現在本道農民戸數の二割六分を止める二萬三千戸に對しては甚だ僅少に思ふ如何向火田民整理案はあるか

△甘度内務部長 月下火田調査委員會は組織されてゐるが五十萬人に上るので具體案は未だ出来ないうのである六百圓は本府より技術員を派遣される事になつてゐるので其の事務費に過ぎぬ

△張河根くん(安邊) 水利組合は有利と云はれるが安鶴水利の如きは山流以下殊に困つてゐる水利組合の普及より自給自作農を養成して根本的に救済しては如何以類の限定生産を廢し其賦を一層督勵しては如何

△甘度内務部長 大正二年以來獎勵してゐる事業で永遠業に出でたものである故に水利組合の實績は起債償還後にある既設ヶ所で相當の年限を経過したものは良好である成績不良は天災其他に依るものが多い

△岡田農務課長 賦は賦路を考へる必要がある故に限定してゐる施置せば農家を苦しめる事になる

△金ほうき(高原) 地方産業授手の内地人は指導徹底に缺陷があるそれよりすべての事情に精通せる鮮人を採用しては如何火田民の現況如何

△甘度内務部長 第二回は既に答へた所である何分内地人と鮮人と技術の點に相違があるのやむを得ぬこれは李朝三百年の歴史的結果であらう

△沈子變(端川) 羅蘭共賦は一面鐵道あつて利あらず競争入札に改めては如何

△岡田農務課長 競争入札は一部に於て行はれるに過ぎぬ一時的價格つり上げはあるもかへつて農家は永續性がないので不利益である

△金基くん(洪原) 模範林費一萬三千二百十四圓を計上してゐるが實績如何各郡に部分的に指導獎勵しては如何林業諸費の使途及私有林保護規則制定後の徹底はしてゐない肥料獎勵費はどうか根炭の取締は不徹底でないか、ろ田調査費六百七十四圓の使途如何

△りう産業課長 咸州、定平、文川各郡に一万五千町歩の模範林がある既に文川の如きは四、五千圓の實収を見てゐるので此方面に林業諸費使はれてゐる將來は本道地

が賣のまゝなるものなるものであるが林業は應從からざるものなる將來は停止となるであらう林の取締は枝炭にかへるべく地方官勵してゐる

△岡田農務課長 廣田調査は全道に亘つて行ふものである之れに依つて相當の財源を得る見込である

△さい相玉くん(咸興) より實問打ち切の動議でたるも林昌虎(長津) はさい君は自分勝手に長時間を費して實問打ち切とは怪しくらぬとカットなり

△さい鍾律くん(新興) からもし君は吾々議員を無視してゐるから注意して吳と請寄せる議長はさい君の動議を満場諸君起立に問ひたるに少數否決となり晝食の爲め休憩となる時に午後零時十分午後一時四十分再開

第五回

二十六日午前十時二十分開會元山  
伊藤君本日病氣頓痊本日の日程は  
衛生費その他歳入まで進みたいと  
思ひますから成るべく御質問は問  
單に御總ひ致しますと議長前提し  
て經常部臨時同補助費の審議に  
入り丹下警察部長一通りの説明を  
なしたは質問ありとすれば御問ひ  
しますと述べ

▲崔鍾律君（新興）道の衛生中心たるべき道立病院内で昨午十時、数名の傳染性思病を出したといふ噂であるが、實なるや事實とすればその原因は如何なる點にあるか。

▲杉田衛生課長 事實であります  
誠に申し露ありませんが、これが原因は當時外部の同和患者の多数にて職員の高勞といふことにつ  
け入つて傳染したものと思ひま  
す

なほ丹下醫藥部長補足して答へず  
崔鍾律君（新興）現在の醫師の數  
及その分布狀態を問ひ  
杉田衛生課長 數字をあげてこれ

を説明す

▲崔鍾律君（新興）獻宇の上から  
全鮮での率がよいといふことが  
すが、全鮮は標準にならない都市  
は都市での比較率であつてほし

警察部長 學校卒業生の配置は  
本道の現狀に見て目下のところ  
不可能である

▲崔漢植君（永興）施<sup>せ</sup>費<sup>ひ</sup>が少な  
いが何とかならぬか

△杉田衛生課長 道衛生課を中心とする巡回診療をなしたは遠内二百の駐在所に重要薬を配布して施療を行ひ五分貧民救済に力をつくし相當成績もあげてゐる

崔漢君（永興）道立病院に名額の經費を要し過ぎる而して取扱ひについては甚だ不親切である

▲丹下部長 明快に答録す  
▲金基協君（洪原） 傳染病預防  
補助額を問ふ、次ぎに恵山鐵道  
病院設置の理由を問ふ

▲杉田衛生課長 傳染病豫病費補助費についての御理解ある議員

して、漢を討つその類も、し  
 どし／＼陳をして下さい次に  
鞏山、嶺院は國境で萬事にわた  
 り不安の點が多いので實はもう  
 一ヶ斷位ほしいのであります

▲議長 時間の都合がありますので残り八款をも一括して御審議を願ひます

▲崔鍾律君（新興） 巡回診療は僅にその地に一日の滞在で塗布一服の服薬であつてその効果については頗る不徹底なものであるからこれ以上の以上の良法はなから

▲杉田衛生課長 巡回診療は形式に止るのとことであるが、實際は五バーセントの全治者を出してゐるのです。

△杉野名市君（元山）　モルヒネ中毒患者治療費及その人員は過客の形であるが何が標準であり、それが次に衛生補助手に共同せしむに七百圓を計上してあるが、それは特殊の非戸なるや。

杉田衛生課長　モと患者治療問題に國際聯盟の規約にもあり、新鮮では先皮切りであるのであります。本道で登録してある患者は七〇名で完全に治る日數を十日とみて七〇名十一日分の豫算であり、ます次ぎに井戸は飲料に適するか又その量は如何等の調査に要する費用で昨年すでに二ヶ郡八ヶ所の井戸について調査してゐます。

次で▲沈享變（端川）かつて起  
た端川事件に質問し關聯して社會  
指導費に關し質問したが、丹ト部  
より別室において答辯する旨答  
藤内務部長社會指導費に對す  
明及行旅費は當然なることを説

を爲し沈亭(瑞川)林君(長津)兩名同様に二十五名の議員に對して何故二十六名の豫算を計上してゐるかを質問

▲内務部長 昨年十月歳興面が府に昇格した結果二十六名が定員で從來の感興は失格となる形でありましたが當局としては慎重に審議しましたが斯る場合の規定がないのであります本人が進んで辭退するまでは制度の上から何とも出来ないもので自然その儘にして置いたのであります二十

六名分計上したのは六年度の分でありす

▲崔鎮植君(永興) 中央政府をはじめ地方的にも個人的に節約して今日だから人員を減じて人

費を浮かすべき豫算の組方にしなかつたか

▲崔鍾律君(瑞興)も同様に人費節約の質問と希望とがあつた

▲甘肅内務部長 昨日も申した通り事業費は増加しましたが人費は減少してゐるのであります林業機業の技手増員希望があつた

午後の分

此の時南百祐君(元山)質問打切の動議を提出議長は満場の議員に計り質問打切りとして退食の旨宣した

▲金基協君(洪原) 車税に付て一

車自家用自動車年三十圓、自家用自動車年二十圓、馬車三圓、自家用車二圓とあるが自家用よりむしろる營業用について高くすべきである自動車などは奢侈品であるからものと高率にして農家實生活に必要な馬車などに對しての課税は當を得ないが

▲淺間稅務課長 車税は物件税であつて車より得る収入の税ではない自家用車は今日奢侈品とは見えない又疲弊したる農村現狀から見ても三圓は高いと申され

▲崔相玉君(成興) 中等學校の授業料等で退學した生徒に對して一歩進めて教科書でも與へて自宅でも修得出来る様な設備は出来ぬか次ぎに病院の賄を直營とすることは出来ぬか

▲甘肅内務部長 授業料減額問題は重大であり且延いては通學校にも及びますので現在の狀態では不能でありますついでに申しますが普通學校だけで二十三萬餘の歳入になつてゐるので

▲杉田衛生課長 病院收入についてはより多くの收入といふことについては當局としては不審考へてゐることでありすまかな

ひ直營問題に付てはそのかんが

▲張河根君(安邊) 以検査手数料を下げて頂きたい

▲岡田農務課長 以のあたひが下落したから検査手数料を下げてくれいとのことですがこれは検査に對するすべての費用でありまして以價の上下には關係しないのであります

この答へに對して然らば以價と手数料と同價になつても下げないかとの押問答があつて兩場笑つたが質問議員は眞剣であつた

▲朱觀植君(豐山) 戸税は年四期に徴する標考處して頂きたい

▲淺間稅務課長 從來此の種の徵集は面に依頼してありますがこれがため面の苦勞は一通りではないのでありますから一圓未満の戸税などはむしろ二期を合して一期に徵集したい位のかんがへてあります

▲盧周君(甲山) 甲山の如き山間限の地にして河川使用料は酷であるから一考を煩はしたい

▲種谷土木課長 色々他に關係がありましてここに確答は出来ませんが事情はよく解りましたから今後考へて置きませう第二の流役問題も平南との關係もあり且重大な問題でありますのでこれらもたゞ今こゝで速答致し兼ねますが將來考慮して置きます

▲議長 これを以て賛成を打切り  
これ迄の一議案において着んだ  
歳入歳出の全部に付き二議案に  
移ります(午後二時四十分)

▲崔相玉君(威興) 火田民の行先  
を定めないので追放したり嚴罰に  
附することは當局として苛酷で  
あるから一定の區境を定めて移  
住させるやうに致すのが至當で  
はないか諸教育費補助費を増額  
して山間地帯の細民子弟にも教  
育の恩典に浴せしむるやう書呈  
令に依り任意に獎勵あるやう望  
む郡部の内地人戸數小さな土地  
においては小學校の設置を嚴し  
普通學校に共學制を設け(但し  
教科書の特に異なる點は時間割  
に依つて別とす)内地人の義務  
教育費負擔過重を免れしめ且内  
鮮兩利の實を計り以て教育諸補  
助を輕減すべしなほ最後に土地  
改良費の計上を増して水利組合  
の積極的の監督指導をなし收支  
の伴ふやうにして地方民をして  
水利組合を理解するやうにして  
ほしい要は現下の狀況では數十  
年後の地主は利益を見るやも知  
れないが現在の所有者は土地を  
捨て離散する現況にある故にこ  
れが政策を講じて頂きたい

▲李善君(定平) 公民學校の設  
置の件水利組合の提防改修の件  
及新上に農業補習學校設置の件  
を希望せり

▲西田常三郎君(元山) 各方面か  
ら實例をあげて明年度から本道  
の如きは雪について考慮して頂  
きたい次に八方美人的な豫算の  
計上をせず或は一面に犠牲を拂  
つても本道特色のある産業上の  
或ものがほしいと熱辯を振つた

▲甘肅内務局長 熊のある山々も  
な御説でありまして當局として  
は豫算の許す範囲で出来得る限  
りの力をつくして見たいと思ひ  
ます同時に謹んで御意見を拜聴  
いたしました

▲金基協君(洪原) 道路の改修に  
當り先づ一等道路を先きにしま  
に二、三等道路に及ぶべきであ  
る筈であるが共原郡内の一等道  
路にして未だ修の分がある同時  
に橋梁に附いても同様至急然る  
べく取計らひを乞ふ

▲杉野多市君(元山) 大體一番議  
員(西川)に同意でありますが  
と前提して人費について意見  
あり次いで昨年の風水害當時の  
事柄についての意見もありて山  
本地方課長詳しく答辯あり

▲夢野成君(徳源) 普通學校卒業  
生指導上に關しての意見あり

▲崔漢君(永興) より植桑につ  
いての希望あり

▲林馬虎君(長津) 火田民整理  
について遂に放りその儘にして  
置く方が却つて被害が少なくい  
ふこと授業料の減額問題労働  
者問題等について意見あり

▲張河根君(安邊) 安邊は本質の  
立開口である故を以て道路の改  
修を急いでもらひたい

▲種谷土木課長 南大川各修は窮  
民救濟事業で起工されることに  
なつたのは感謝しますと述べ蒙  
利區域内の住民負擔率について  
質問があつた

▲種谷土木課長 いろ／＼意見  
ら質問が澤山ありましたは何れ  
も小さな問題でありましたり又  
明日述べましたりしましたこと  
ですから御答へいたしません

▲崔相玉君(威興) 三議案の否  
動議を提出せり

此の時議長より三番の動議につ  
加へてなほ二、三、四號諸議案を  
本日中午に終了したいからと  
今の動議に對しては如何ですと計  
り二、三の反對はあつたが多數に  
より三議案を省略して全部可決と  
する旨宣す

▲山本地方課長 諸議案二、三、  
四號について説明を與ふ崔相玉  
君外二、三議員の質問あつて諸  
議案略とあつて異議なく可決し  
議長明日の日程を述べて午後三  
十五分第六日評議會閉つ

實のある質問

一貫した教育費

6. 3.

全北道議第五日目

(全州) 全州道評議會第五日目は廿五日午前十時三十分開會教育衛生費等に入る

學校經營策

△李康元氏(全州) 全州高普校に寄宿舍を建設してもらひたい全州女子普通校の學級増加をしてもらひたい湖英學校を簡易商業學校となし道營としてもらひたい貧民兒童救濟育英の方法は如何普通學校を一日も早く一面一校にするにも必要であるが先づ普通校で備品を充實し實物教育に努力してもらひたい普通學校兒童の授業料を全廢する必要はないか半減する方法を講じてもらひたい

△山田學務課長 全州高普寄宿舍建設は同感で本件は昨年より要望してゐるが本府で認めてくれないのである全州女子普通校學級増加は二教室増築するのみで今の處如何とも致し方ない湖英學校の商業校變更は到底六ヶしい育英會創設に就ては財團法人として本府の承認を申請したが今進行猶みとなつてゐる普通校教員設備の充實を計りたいと日夜苦心してゐる授業料半額は全群にわたる大なる切實な運動であるが朝鮮の普通學校授業料はやすい方である學校費の四割四分が授業料を以て財源にしてゐる状況であるから人件費も整理して何とかしたいと月下苦心慘憺中である

額に差違あるは學生數の多寡による群山中學授業料額は組合費で設立中をそのまゝとしてゐるので何とか方法を講じたいと思ふ

授業料面移管

△張泳臺氏(沃溝) 普通學校授業料徴收方を面に移管せしめられたい、群山中學に三分一の鮮人子弟入學を許されたい  
△原田地方くわ長 普通校の授業料徴收に就いては本府でも考慮中であるが本道でも苦心中である  
△山田學務くわ長 群山中學に鮮人子弟を多數入學せしめよといふとは切實な希望と思ふがこれは當該校長の權限でし驗の結果入學を許す状況で現在も將來も法令の改廢なき限り三分一を入學せしむるは出来まいと思ふ

授業料半減

△黃仁杓氏(長水) 普通教育は朝鮮現狀で重大案件であるが入學

群山商業設立

△磯部謙哉氏(群山) 群山中學の授業料五圓は高い評判であるから減額してもらひたい商業學校を群山に設立してもらひたいとを要望する  
△原田學務くわ長 商業學校の設立は

△山本悦藏氏（全州）

△山本悦藏氏（全州） 普通校の増設授業料の軽減は全議員の要望する處である全州に中學校を設置する當局の意思ありや道廳の所在地にして李朝發祥地たる全州に中學校なきは遺憾千萬である全州市民は兒童の中學教育就いて群山大田、京城あるひは内地と二戸を構へて教育してゐる現状である今日當局に於て何等計畫なきは遺憾である七年度には計畫して貰ひたい△松下内務部長 全州に中學校なきは遺憾であるが、覺の通りの財政であるから七年度に作るというとは今日言明出来ない

△金英武氏えいぶし（淳昌じゅんちやう）

△金英武氏（淳昌）中等學校で移  
管された學校と然らざる學校との  
國庫補助の有無を問ふ次に高麗生  
の風紀暴亂してゐるから生徒の頭  
を健實に養成せねばならぬので軍  
事故練を施行する必要がある裡  
農林校に畜産科を設けよ全州農校  
の五年延長は六年からと聞いてゐ  
たが本年度の豫算に何等經費の計  
上を見てゐない南原農藝學校は何  
年度から設立するや私立高嶺高普  
校に僅五千圓の補助は目くされ金  
であるから更に多額を補助する必  
要があると思ふが更に進んで七年  
度より公立とするとか急務である  
△金基一氏（南原）甲種農藝  
學校を七年度に於て南原に設立し  
てもらひたいなるべく無人校長を  
任命せよ

△片桐和氏（益山） 裡山農林  
校に畜産獸醫科を増設せんとを  
希望してやまぬ各方面に完全な六年  
程度の普通學校を設立してもらひ  
たい里に道立醫院分院を設立し  
てもらひたいとを希望しておく  
△松下内務部長 中等校の移くわ  
へんせらるゝので、情願を、せざるに及ば

目下、考中である。其時、松に當り、恩科を立、本府に、聖してゐる次第で、來年度は實現せしめたい考へである。全州慶祝五年延長に、すべく進行中である。本年入學生よ

り五年制度とするかんがへである  
南廬農藝學校設立は六ヶしく道内  
農學校の費用が現在十四萬圓使つ  
てゐる次第で生徒一人に三百圓位  
入るので、經費と農校の配置振りと  
いひ困難な問題で來年度に設置す  
るか今申し上ぐる譯にゆかぬ高敞  
高峯の道立移管は財源の都合もあ  
るので今俄かに言明するとは出來  
ぬ、現員の俸給は本道が一番高いの  
で高敞者は此際勇退してもうと  
にしてゐる又鮮人移長登用に就い  
ては全鮮で本道が一番多き任命し  
てゐるが今後とも學識德望とへあ  
れば何時でも任命する方針であるか  
ら御承知願ひたい  
△清水儒生課長 裡里に道立醫院  
の分院を建設するとは國費の補助  
なく地方費と地方の寄附を仰がね  
ばならず經費困難でもあるから今  
暫く研究して見たいと思ふ

學校と醫院

△尹和重氏（益山） 各晉湊學校  
に醫療機關を設けてもらひたい裡  
里農林校に内膳人同一に入學せし

所は五十五校である昨年は女の師範の衛生講習會を開き教師に防疫の素養を與へたとある

先生の更迭

▲光富第八氏（群山） 群山中學の授業料五圓を他校同様三圓に低下してもらひたい。學校職員の類々たる更迭は兒童に非常な影響を及ぼし父兄も困るから轉宛は其時期を見て實行してもらひたい。又測候所は道所在地にあるのか立て前かとは思ふが實際に必要な群山に移轉して貰ひたいと思ふがそれが出来ねば支所でも出張所でも建て、貰ひたいモノ治療所の本所支所の指定地はどこかうかゞびたい。山田學務課長拜廳の旨を述べ

△清水衛生課長 モヒ治療所は本  
所を全州に支所は群山、裡里、金  
堤、井州、扶安、出浦、南原、新  
泰仁、泰仁の九ヶ所である

△松下内務大臣 群に測候所新  
築の件は今少し研究させてもらひ  
たい何分經費問題であるから  
△金議長 本日の日程はこれにて

打ちきりたしと諮るや異議なく一  
二議會可決したので散會を宣す時  
に午後五時半

# 全北評議會

第七百一十二期日

新 3

全北評議會最終日たる  
廿二日(二月二十七日)は午前十  
時五分開會、議員から提出した次  
議案を主席上朗讀全部採擇  
する  
一、公立公産學校を昭和七年度  
より五年制度に改め、學年の延  
ばらんと事を建議す(傳議者朴  
聖外五名賛成者十六名)  
二、中農林學校に農藝畜産科を  
添せられ度き件(建議者板井  
聖外六名賛成者十五名)  
三、市より慶全北部線へ連結

せしむる海陽郡昌南郡由梁陽  
原間の鐵道敷設工事を速に施行  
せられ人事を當局に付勢力せら  
れ度き件(建議者林鳳閣外三名  
賛成者十八名)  
四、萬次江架橋完成の曉は引續き  
東津江架を實施せられ度き件(建  
議者橋本央外四名賛成者十六  
名)  
五、續き次の要請意見あり  
▲山本悅藏氏(全州) 全州郡國  
東面民からの鐵道開地の昨年の  
水災後舊の仲扶安郡から開地の

温泉、泉源のため當地所有を連方  
購置の移置方水産學校設置促進方  
併せて御考慮を願ふ  
▲趙在敦氏(金堤) 新設農地許  
可を可成多く許可してもらひた  
い、なほ東津水租組合内の水災  
買換の輕減方を願ふ  
李康元氏(全州) 現在金堤組合  
は多く資本家のみの利用である  
總民の利用を考案せられたした  
は、通學校の學務委員を全州農  
學校の評議員式にせられたい  
▲黃仁杓氏(長水) 貧民救済の  
可成り農地を山陽部へ派遣を望  
む、なほ新設農地を上下貧富の別  
議長閉會に當り採擇

なく許可してもらひたい  
▲朴碩泰氏(井邑) 細民救済の  
機關である勸業共濟組合を再設  
せられたい、なほ區域の産業組合  
の設置包服獎勵と同時に斷髮  
行を望む  
▲議長 謝意には反對者はあるま  
いか一齊は困難ならん  
▲林鳳閣氏(寧昌) 寧昌郡であ  
る双基面と敬興面は寧昌と井邑  
と那々の吾記を要する不便があ  
るから支所を設直されたい  
以上にて要請意見の陳述を打切り  
閉會

本道第十二回評議會は開會以來  
各位の誠意ある御審議を以て、  
定通り和氣團結の裡に圖政に  
了を見たとことに就き感謝の意  
を表すと町重な挨拶あり  
▲橋本央氏(金堤) 議員側を  
表して議長はじめ參與員各位  
の誠意御審議を下されしこと  
の謝意を述べなほ、評記者通譯諸  
君の諸君の勞を酬すと町重  
な挨拶あり  
第十二回全北道評議會も愈々午  
十一時五十五分終了

# その最終日の

## 慶北道評議會

除外された建議案を提げて

中谷竹二郎君大熱辯

大邱 6.3.

未議の兩院の議合を断行して貰ひたい土木方面では義興、永川、龍宮、新寧間及び軍威を中心とする各路線の改修及び橋梁の架設を一日も早く實現せしめたい。同産業組合の補助増強、鹽樞、代金の引下げを断行して貰ひたい。中谷竹二郎君(連日)本會議に於て建議案の審査に當つて自分の建議案は餘りに大きいと云ふので除外されたが今日希望意見として茲に陳述する譯である、其は米價暴落に關する件である。即ち米穀取引市場法の改正である、昨年は未曾有の豐作に依つて鹽作鹽價を招集し鹽民は鹽坑の苦しみにある、尤も不況は世界的に深刻であるが工業の如きは工場の一時期閉鎖も出来るが鹽民は米價が暴落したからさて業を擱くことは出来ないのである。故に之が徹底せる救済には種々の議があるが米價の決定を單に商人にのみ一任する事に破綻があるであつて此點幾多收斂すべき點が多いのである依而一石は八公山の山崩れ後の砂防工事は是非急應して貰ひたい、次に鹽民の負擔輕微を計る爲め五百戸

慶北道評議會最終日は二日午後一時二十分、定刻より二十分遅れて開會出席議員三十三名缺席議員四名の旨議長より報告し、開會を宣告するやう希望する、本道で目下一番困難を極めてゐるのは水利組合である、地主農民の利益を計る目的の水利事業が却て地主農民を苦しめる事となつてゐる、當局は此點に深く留意し水利組合の新設に際しては特に民衆の輿論を尊重して設け及び計劃を樹て、負擔の輕微を計り一萬湖池の浚渫を促進せしめられたい。金任彦君(英陽)鹽業振興は大いに今後獎勵しなければならぬが先づ鹽種の改善が急務である、さうの桑田の配給指導を敏速にやつて貰ひたい次に英陽におけ

議長 陳情書を出てみますか

書記をして朗讀させます

野田書記から大體の内容をお話する

とて

「道内癩患者四百八名、連名の陳情書であつて之等四百八名は目下總督府で行つてゐる注射で非常に助かつてゐるが最も困るのは衣食住であり現在では貧家其他路傍の隅を我家として放浪してゐるのであるから餘命を懸くべく生活に興へて欲しいこの意味を道評議會に陳情してゐる報告し直に日報に入る

る小作人の状態をみますと公課其他を差引くと却て貧困となつてゐるのみで年々十萬六千餘圓の借金を増加してゐるから之が輕減を圖ると共に鹽業鹽價を統一して總額を節約し負擔輕微を圖つてもらひたい普通教育を今後一層實科に力を注いで貰ひたい、中等教育を受けて遊んでゐるものも多いが又一方普通學校を終へて進んでゐるものが多いから此の點を深く考慮して實科教育の徹底を期せられたい。金緯君(軍威)窮民救済事業はその本旨から考へて道内に均霑せしめて貰ひたい。八公山の山崩れ後の砂防工事は是非急應して貰ひたい、次に鹽民の負擔輕微を計る爲め五百戸

たい、現在の如き不安状態に  
本年赤鯉作であつたならば米價  
代果して如何なる相場を現すで  
あらうか、本員は此際二百萬農  
民の生命擁護の爲め道では臨時  
附議會を開會し他道に旅を飛ば  
して金銀舉つて立上り本府及び  
中央政府に電請して貰ひたいの  
である。  
次に小漁業者は漁場が幾度  
一度認可を得てやつてゐるので  
あるがこの手數が省き小漁業者  
を救済して貰ひたい  
東海岸にあつては最近交通の便  
が開け裏日本への航路も出來た  
のであるから浦項に農業倉庫設

置を要望する譯である  
本道に於る自由消防夫は數百名  
に達してゐるが一旦事ある時は  
無窮なるに拘らず家業を捨て數  
日間或は母娘の際には十數日間も  
献身的努力を拂つてゐるのであ  
るから之に幾分の補助を與へて  
は如何更に水産試験場の發動機  
船建造の事であるが本問題は再  
三本員より要求してゐるのであ  
るのである、咸南北、全南北、  
慶南の各道では既に實現してゐ  
るこの無限の寶庫を開拓する爲  
動機建設を進かに實現せし  
めて貰ひたい

## 議長の挨拶で 閉會の幕を閉

充實を計つてもらひたい  
文明場君、寧海の簡易上水道設備  
之をもつて希望意旨の陳述を終  
議長閉會に際し御挨拶を述べると  
て  
十日間の會期を無事終了すこ  
その出來たるは喜びと感謝に堪  
へません議員各位は會期中熱心  
眞面目に今までにない移天な偉  
大な師範六、れ一風一毛の創  
感なく可決して下されたことは  
感謝にたぐへぬと共に本道のため  
御同慶にたなませぬ  
而も私始め各參與不敏なるにも  
かゝはらず議長は和氣識々たる  
中に終結した事は本道諸議會の  
傳統的精神を發揮されたもので  
新鮮に範を垂れ得るものである  
と信じます、この移天な豫算の  
實行にあつては議員各位の御  
希望に即ふ可く誠意と努力致し  
ますから地方の先覺者である皆  
様の御指導御援助を賜りたい最  
後議員諸君の健康を祈ります  
と丁重を極めた挨拶があり之に對  
して議員を代表して  
伊藤吉三郎君 本道最初の移天  
豫算が聊かの遊戯もなく成立し

たことは御同慶にたなませぬ從  
來本道諸議會は和氣識々たるこ  
さを認りとしてゐるのであるが  
今回は特に我人共に春の氣分に  
溢り切つて議事を進めえたこと  
は喜びにたなませぬ昨年は着任  
勿々であつたに拘らず知事閣下  
の經驗の一鑑が示されてゐたの  
であるが本年は我々の間接通り  
豫算面に閣下の祿臣の御總繪を  
拜見することゝ出來たことは喜  
びにたなませぬ、今後共道民の  
福祉増進の爲閣下始め幹部諸公  
の御努力を御願ひ致す次第であ  
ります

前日に引つゞき

# 希望意見開陳に入る

民 報 6.3.3

慶北癩病患者相助會から  
患者收容所設置方を陳情

## 慶北道評議會（最終日）

休會明けの慶北道評議會第十日目は二日午後一時十分開會、出席議員三十三名で第九日目に引續いて三十四番議員から希望意見の開陳に入る。これより先議長は慶北癩病患者相助會から道評議會に提出された陳情書の大要を讀み上げさせる。

道内四百八名の癩患者は總督府の醫院から受ける注射薬で或程度の苦痛は免かれてゐるが、一番困るのは衣、食、住で殊に住居は生命をつなく上から最も必要で癩患收容の住宅を設置して頂き度い。

次で直に希望意見に移り

金在炳君（大邱） 水利組合は農村救済の目的で計畫されてゐることは言を俟たないが、中には事業遂行困難なものもあり今後計畫される水組の事業は設計及工事方法等農村の利害を密重に考慮され、尙溜池沢の浚渫並増設されることを希望する。

李鉉煥君（英陽） 疲弊せる農村を救済するには産業の振興を圖ることが最も必要であるが、最近の米價暴落で農村は精神的にまた經濟的に失望してゐるがこ

れが対策の一部として農種代金を引下げるか若くは現在より以上の優良品種に改善する事、桑苗は出来るだけ郡内産を配給すること、希望する、尙農村小作人の収入は最高九十六圓から最低四十七圓九十錢でこれから各種公課金、電燈料金等一切を差し引けば生活は殆どないとして小作人の窮状をのべこれが対策として地方産業團體の積極的な活動と經營節約によつて負擔軽減を圖りまた授産科を低下するか直に義務教育を実施するか方法を講じて頂き度い。

金澤君（軍威） 希望意見書を通譯に讀み上げさせ本年度から實施する、窮民救済事業は出来るだけ道内全般に均等に頂き度い、昨年山津浪で慘憺たる被害を蒙つた八公山の農民を救済する意味で八公山に砂防工事を実施工されたい、尙負擔軽減を圖る上から二百戸以下の面の組合を

中谷竹三郎君（浦項） 私は先日米穀取引市場法改善の件を建議案として提出したが審査委員會でこんな大きな問題は必要ないと見られたものか審査洩れとなつたので希望意見として述べる。

とて最近の米價暴落による農村經濟の逼迫及これによる購買力の減退、各種産業の没落を述べこの米價暴落誘因としては昨年未曾有の豐作が關係することは勿論であるが、この他に米穀商の入爲的値建が不自然な穀價を現出している、これを防止し農村經濟を安定する対策として米價は農家の生産費を基礎としてこれに對し農家が或る程度の犠牲を拂つた場合を最低とし尙最高を定めて米價の安定を圖るやう政府に建議して頂き度い、小漁業者の救済策、浦項に農業倉庫設置、義勇消防に多少の補助をなすこと、水産試験場の試験設備建造を希望する更にこれに議員の希望は一併したが

孫炳楹君（永川）永川驛の移

轉、永川郡廳の新築を希望する

伊藤吉三郎君（大邱）從來

各般の施設は知育偏重の感があり最近漸時体育に努力されつゝあるがまだ体育は單に遊び半分といふ氣分が除去されてゐない体育は國民精神涵養の上から極めて重要であるが朝鮮の体育は内地に比して可なりの遜色がある、陽北には大邱体育協會が主となり各部門が設けられてゐるが經費の點で活潑な活動が出来ないので三千圓以上五千圓程度の地方費補助を計上し積極的獎勵施設をして頂きたいと希望し更に文明瑤君（盈德）は盈德郡寧海面に上水道を施設することを望む

議長 これで各議員の希望も終り十日間に亘つた陽北評議員會は閉會するが一言挨拶として頂き度いとつぎのやうな演示を試み、次いで伊藤吉三郎君（大邱）から議員代表として答辭をのべ一時三十五分無事終了散會した

# 京畿道評議會

日 4

## 教育費第一讀會終了

6. 3.

京畿道評議會は三日午後一時十五分より再開、昨日に引續ぎ教育費關係の第一讀會に入るや、金泰準(始興郡)は立つて

一、授業料の低減の意志ありや  
一、學校費負擔金の低減のため教員の整理に依る負擔金捻出の方法なきや

▲矢島内務部長 一、授業料の低減に就いては目下財源捻出研究中でその捻出に餘裕のない限り低減は不可である

一、教員の整理に就いては教育の程度を低下せしむるものがあるもので教育の程度を低下せしめてまでこれを實行する意思なし

▲韓萬熙氏(京城) 財界不況に依る退學児童の多きに就き對策ありや

▲矢島内務部長 道内の退學児童数は昨昭和五年四四八一名で昭和四年度と大差なく、一割一分の割合であつてその理由としては當局は副業の奨励を行つてゐるのでこれに依つて退學者を出さない様に努力してゐるが具體的の對策はない

▲韓萬熙氏 開豐郡において二割の退學児童數を出した事に就ては何等かの原因ありと思惟されるがその對策及方針如何

▲矢島内務部長 普通學校設備費としては參考資料設備として百圓を補助してゐるので、次第に完備されると思ふ授業料の督促に關して教員が無理をいふ

事一つあるがその他には聞かない、開豐郡の一九八名の退學者に就いては副業を奨励して居り道及び學校は特に特別の設備をしてゐるのでやがてこれに依つて退學児童數も減するであらう補助の減少してゐることは昨日説明した通りで實業補習學校の設置の意思なし

二時四十五分休憩

▲釘本藤次郎氏(京城) 緊急動議として公職者大賣の決議文忠南道廳移轉問題の決議文を朗讀二時四十五分再開

▲韓相龍氏(京城) 普通學校學級地方費補助を平均せられる意志なきや改正された謄文は將來これを使用するか、教科書中に倫理道德的のものを入れられたし

▲矢島内務部長 普通學校學級補助に就ては大體地方と比較して見れば良く京城府内の學級補助に就ては目下考究中

一、謄文改正に就いて將來まで使用されるか否かは斷定出来ない

▲武田屬(學務) 教科書中に道德的のものを入れることは學務當局で努力してゐるが大體教育勅語に示される方針に従つてゐる

▲岡本豐登氏(開城) 實習學校に於ける不成績なるものゝ學級を整理し優秀なるものに指導學校等へ振替へる意志ありや

▲朴福秉氏(安城) 學校の補助が

減少してゐるので増額して中等程度の學校にされたし地方民児童の救済の意味で増額せれる意志なきや中等學校は將來新設の意思ありや

▲矢島内務部長 中等學校新設は現在の財源では困難である

▲武田屬(學務) 實習學校における不成績漸次好成績を示してゐるので意思なし後援會なるものは全父兄及有志その他が年額二圓程度の會費に依つて組織され當局としてもこれを監督してゐる

▲徐丙軾氏(長湍)

一、授業料を全免低減する意思なきや

一、授業料を面郡に寄託して徴收しては如何

一、指導學校を新設する意思なきや

一、長湍邑内に指導學校設置の意思ありや

▲矢島内務部長 一、授業料全免低減はその地方に依り事情を異にし財源を伴ひの全免、平均等困難である

一、授業料を面、郡に寄託して徴收する方法は學校の少ない時にはやつたが今日では困難である

一、長湍に指導學校を設立することとは尙研究の結果にする

▲朴魯宣氏(驪州) 普通學校卒業生の遊んでゐる者が多いが當らうとしてこれに對する對策ありや

▲矢島内務部長 當局としては農村に土着せしむべく努力してゐる

▲成松綠氏(京城) 京畿道商業が入學志願者保護より納税證明書を取つてゐると聞く事實なりや

▲矢島内務部長 昭和四年度より參考として財産を調査することとしてゐる事を聞いてゐる

▲成松綠氏(京城) 非難の聲があるやうでこれを警察等に調査せしめたら如何

▲矢島内務部長 明年度入學せしむる學生より調査せしめる方法をとりたい

以上で教育費の第一讀會の質問を終り午後四時五十分終了した

# 京畿道評議會

## 第七日目議事

### 京畿道評議會 第七日目

第四款教育費に對する諮問事項は前日に引續き三日午後一時假令と共に開會此の日の教育費全般に亘り開會以來みざる處緊張味をみせた(べき)頭

黃祐天氏(江華)

(一) 授業料半減する意志はないか

(二) 授業料増納者に對する差押へ處分を當局はどう考へてゐるか

(三) 内鮮人教員の給料同額にせよ

(四) 教育費に對する財源がなければ高給者を整理せよ

これに對し

矢島内務部長 授業料の半減は昨日も出た質問である。半減すれば戸税賦課税を増さなければならぬが税金關係は總督府が取扱つてゐるので現在の所一寸むづかしい。又高級者の整理と云はれたが教育の内容充實を計る上に於ては量と質の問を計る必要があり高級者が不必要とはみられない。又朝鮮人校長を増員しては如何にと云ふ質問も出たが、局として優秀なる教員を養成して可及的に増加をはかる方針である。假令押へ退學者等に對する數字は豫算に直接關係しないから後に願ひたい

韓萬興氏(京城)

(一) 私立學校補助費が少ない今少し増加しては如何

(二) 授業料未納のため退學兒童が續出してゐるが現代教育界にとつての大問題であるこの問題の真相を伺ひたい

(三) 又授業料未納による退學

者の數字如何又(三)に對する對策如何

(四) 一面一校は誠に結構ではあるが或る面においては一校の入學數を満當に處(る)から狩り集めなければならぬと云つた所もあるかと思へば又現在一面校があつても入學難を訴へてゐる所もあるこれに對する對策如何

矢島内務部長 私立學校の補助は可及的に増加したいのは山々であるが緊縮の折柄成べく經費を節約しその剩餘金をもつて一校でも多くの學校に補助を與へたい。後刻退學兒童の數字は申上げます。又一面一校に對しては寄附を出しても學校を作つてもらひたいといふ緊急なる希望を有する所から建設してゐる

と教育の根本問題に對する猛烈なる質問。答が行はれた後後刻退學者數字及それが對策について

矢島内務部長 昨年度の退學者は四百四十八十三名又前年度は九千八百四十三名である

と説明した。對策として

極力副業奨励し退學者の減少をはかつてゐる

とのべたが各議員猛々たる質問をあげせ質問に太刀打出來ざる番外にかはつて

矢島内務部長 『孤獨奮闘』よく

應答に努める

韓萬興氏(京城) 再び立開豐郡の如きは僅か一千五百餘名の學童

中百八十餘名の退學者を出して

ある當局としてはこれが真相原因を極めずその儘看過する事は

餘りに當局は誠意がないではない

いか又退學學校中において別導が兒童に授業料を督促するこれが真相如何

矢島内務部長 開豐郡に多くの退學者を出した事は誠に氣の毒である。そうした方面に對しては家庭なり各方面に對して施設をなしつゝあるから漸次緩和されるであらうと思ふ(續)

## 府協議

## 委員會

三日午前開會

審議に入る

去る二十八日召集の京城府協議會で議長指名十名の委員附托となつた

- 一、諮問第四一號 京城府特別營業稅雜種稅條例中改正案
- 一、同第四三號 昭和五年度府歲入出追加更正豫算案
- 一、同第四四號 京城市區改修費充當起債案(金十九萬圓)
- 一、同第四五號 京城府特別會計公益質屋費歲入出追加豫算案(金二萬五千四百二十九圓)
- 一、同第四六號 公益質屋經營上貸付資金並建築費充當起債案(金二萬五千圓)

以上五諮問案附托の府協議會委員會は三日午前十時から府廳四階委員會議室で開會、田中委員長外各委員出席し府から安藤府尹以下各課長及び關係者列席して審議に入つた

# 思想問題の質問

新 4

珍らしくも緊張を見せた 朝 3.

## 七日目の京畿道評議會

第七日目の京畿道評議會

▲朴弼東氏(安城) 實業教育は

現在地方の現狀において誠に適切な施設で道内における實業学校の施設を益々充實し又初等學校における職業教育に對しても充實をして頂きたい又安養は道内でも有数の社會的色彩を帯びてゐる地であるが未だ實業學校がないがこれを建設して貰ひたい

▲矢島内務部長 従來卒業補習學校を開設して卒業生を指導にあつてゐるが相當の成績を擧げてゐる故に現在實業學校を設けるか否かは考へてゐない

と説明し議長休憩を宣す時に二時四十分

## 再開

午後二時四十分再開に先だち釘本

藤次郎氏立つて三日會催せられた忠南道鐵道轉輸問題に對する公職者大會の決議案を朗讀し終つて會議に入る

▲韓相龍氏(京城) 昨年朝鮮總督府において諺文改正されたが良否き全の諺文を改正されたが良否區々である今日地方の意向を徴するに改正諺文は紛らはしく随つて漸次廢止しつゝあるか當局は徹底的にこれを普及する方針であるか現在朝鮮における重問題に思想問題であるが勿論學校の教育も必要だが思想惡化の根柢は既に家庭の感化からも發生するのではないか而してこれが對策は如何  
とはじめて思想問題に對する質問

が出で少なからず議場を緊張せしめたが右質問に對して

▲矢島内務部長 諺文はどの程度まで普及されてゐるか又これを徹普及するか否かは尙今後の研究に待なければ分らない

又思想問題に對して

▲武田學務課長 初等教育は總て東洋道德を基礎として我國の修身などは世界に類例をみない完備したもので初等學校の思想方面に於ける教育方針としては可及的に健全を期してゐる又家庭と父兄間に連絡を保ち善導に専念せしめてゐる

▲岡本豊吉氏(開城) 道内管下には私立學校以外私塾も相當あると思ふが之等も一つの教育機關である以上相當の補助を與へて

夫が如何なる程度か又中等學校を將來本道において新設する意思ありや

▲矢島内務課長 中等學校の建設は今日の場合不可能と思ふ

▲武田學務課長 從來相當の私立學校においてもまだ充分補助が行届かない折柄私塾に對しては困難と思ふ又後援金の會費は強制的でなくそれ〴〵有志から後援を仰いでゐる

▲徐内軾氏(長崎) 現在授業料の納入方法は兒童自身が直接學校に持つて行くがこれは種々なる弊害を伴ふがこれが納入改善方法はないか長湍邑内に普通學校を建設する意志はないか

▲矢島内務課長 授業料の徴收方法は從來屢々問題になつたのであるが以前は郡又は學校組合において徴收してゐたのであるが兒童の増加學校の増加で到底手が廻りかね學校の援助を得てゐる次第である併し一面一校の完成の曉には他の方法になつて徴收したいと思つてゐる又長湍の普通學校建設に對しては將來よく研究します

▲朴魯申氏(驪州) 一般學校卒業生は勤務精神に缺け結局浮浪者のやうになつてしまふこれに對する當局の對策如何

▲矢島内務課長 出來得る限り指導機關を設け勤務精神作興に努めてゐる

▲成松綠氏(京城) 京畿道の中等學校入學志望者に對して納税證明書を徴收してゐるやうだがこれに對する真相如何

▲矢島内務課長 昨年來各中等學校生徒の退學が増加したのでその結果を調査してみると最初から學資能力がない者が無理失理入學して途中退學してしまふ事によつて豫め資産状態を調査してゐる事にしたのである

▲成松氏 そんな事は廢止しては如何

▲矢島課長 これは全校に行つてゐるのではなく商業學校のみに對して施行してみたのである

▲向は成松氏と番外との間に猛烈な質問應答あり更に各議員より學校費細目に亘つて質問を試み第七日は開會以來にない異常な緊張裡に

一般學費の諮問を打ち切り午後五時閉會

# 京畿道議會

毎 4

## 教育問題で賑ふ

三日午後の開會

學校費負擔が過重であるが初等教育に於ける高給者を淘汰して人員の整理をする考へなきか、黄君尙も普通學校新設に對する當局の方針に就て繰々述べ議論に亘るので廣長再三注意を促し

矢島部長 授業料の低減は新

財源のない限り目下之れを實施することは困難である、教育の内容を低下して迄も教員整理をすることはどうかと思ふ、又内地人の學校長が多く韓人のそれが少いのは止むを得ないことで京畿道に於ける韓人校長の相當は二名になつて居るが是は近く増加されるであらう  
竹田視學 道内に於ける韓人校長は二十二年九千七百十九

名にして就學兒童は僅に二萬四千六百七十三名であるが然し此内就學應募者は一萬九千九百十名で收容學童は一萬四千六百七十三名になつて居る

韓萬淵君(京城) 善隣商業其

他に對する補助金が少くないのは如何なる理由か又私立學校に對する補助も亦少額ではないか開墾部では就學兒童が一千四百十名であるに退學者が二百二十一名に及ぶといふこれに對する對策如何一面一校主義は理論上正當ならずと思ふ、即ちある學校では應募學童がないといふ状態がある新設の場所については相當考慮せられたし  
矢島部長 善隣商業其他私立學校に對する補助は多額なるを希望とけるが財政の關係上

京畿道議會の議決事項は、京畿道民の便より増加してゐない、京畿道の一面一校主義は、根本的に、一議院があつて大體地元民の希望により寄附金の集まつた所から新設してゐるので、必要の所に學校を設けたり又は入學希望者が少い所に學校の設けられてゐる、事實は京畿道管内にはないのであるとて、本府地方課長として池上總監の計畫せる一面一校主義に參照せる當時の事情を詳細に述べ

退學兒童數の状況について五年四月から十二月までの中途退學者は四千四百八十一名で就學率からみると八分に過ぎない、旨を報告

韓君 豫算案に對する修正の限ありや

尙授業料未納者に對して教員が抑制した事實ありと思ふが如何  
矢島部長 京城の一部に於て教師が多少誤解を受けるようなことはあるが道全體として教員が抑制した事實はない  
尙退學者續出に對する對策としては、職業の獎勵などに依つて設家の家計を助けてゐるが直接間的なる退學者對策はないのを遺憾とする  
議長 修正は認め難いが一括して賛否を表するのが諮問機關の使命だから其の意味で審議され

朴弼秉君(京城) と矢島課長との間に實業學校の新設補助に對する質問應答あり二時五十分休憩。

いよく蓋をあけた

# 第十二回慶南道評議會

釜山

6. 3. 4

渡邊新知事最初の小手調べ

議場頗る緊張す

慶南道第十二回評議會の第一日は、  
昨恰も桃の節句に相當する祝日三  
日定刻より遅ること廿分の午前  
十時廿分より開會されたが何分窮  
民救済を初め多數の新規事業を施  
へ未曾有のほり大なる豫算をし開  
するのみならず渡邊知事としても  
地方行政に接する最初の小手調と  
も云ふべき會談だけに知事以下各  
議員は元より各評議員共に緊張  
味を呈し一同着席するや左評席次  
を抽籤に依つて決定し

議員である  
次いで渡邊知事議長席に就き開會  
を宣すると共に別席の如く約五十  
分間にわたる演説をなし終つて大  
野參議員より定員卅三名中出席卅  
名けつ席三名の定員數報告、更に  
參議員、書記、通やくの氏名通告  
議案の附付をなし次に議長より會  
議録署名入選定に就いて議場には  
かり賛成を得て

十一番橋本寛(釜山) 十

たが

廿一番佐演國(泗川) 議

九番金慶鎮(昌原) 廿七番北川成  
三郎(晉州) 卅番河駿しやく(昌  
寧)の四議員を指名し愈々豫算案  
を附議する旨宣告しこれに先達て  
竹内々務部長より豫算編成の説明  
があつて議事に入り議長より時間  
が十二時を過ぎたるを以て午前は  
之で休會したいと兩場の賛成を得

十九番金慶鎮(昌原) 議  
員より本日のみ休會を希望すると  
求めたるに對し議長は兩動議を議  
場にはかり起立に問ひ十九番議員

## 席次議員氏名

(番號順)

李鉉(慶安) 李鏐年(固城) 鄭福  
德(山淸) 李朝衡(河東) 金練(宜  
寧) 慎庸喜(居昌) 權稔(りよう山)  
(吳德相) (る山) 金斗贊(昌寧)  
橋本寛(釜山) 河俊泳(咸陽) 守谷  
利助(る山) 金泰鎬(ま山) 魚大  
成(釜山) 李章喜(晉州) 香柳源太  
郎(釜山) 姜周秀(泗川) 金謙鎮  
(昌原) ベン泰圭(陝川) さいしよ  
う朱(南かい) 裴しよ夏(昌原)  
金化壽(東らい) 金九源一(統營)  
鄭泰均(居昌) 孫興(密陽) 北川成  
三郎(晉州) 迫間房太郎(釜山) 田  
中玄黃(ま山) 河駿しやく(昌寧)  
さい演國(泗川) 坂田文吉(釜山)  
松尾重信(昌原) 以上の中缺席議  
員は十七番香柳源太郎、廿番ベ  
ン泰ちん、卅三番松尾重信の三

毎時午後一時より開會に日座を決定し更に二日の提出議案は議事進行便宜上議案と土木費に關連せるし開案

▲第八號 道路橋りよ改良工事費を繼續費と爲し其の年期及支出方法を定むるの件

▲第九號 らく東橋の一部及南宮橋架設工事費を繼續費と爲し其の年期及支出方法を定むるの件

▲第十號 繼續費太田郷々鑿工事費の繼續年期及支出方法變更の件

▲第十一號 溫泉川改修工事費を繼續費と爲し其の年期及支出方法を定むるの件

▲第十二號 砂防工事費を繼續費と爲し其の年期及支出方法を定むるの件

▲第十三號 谷山府南港防波調岸工事費に對し道地方費より補助を爲すの件

▲第十四號 太田郷かい底道路工事費に對し道地方費より補助を爲すの件

▲第十五號 密陽面上水道工事費に對し道地方費より補助を爲すの件

▲第十六號 三千浦面上水道工事費に對し道地方費より補助を爲すの件

▲第十七號 岡城面上水道工事費に對し道地方費より補助を爲すの件

▲第十八號 晋州面下水道工事費に對し道地方費より補助を爲すの件

▲第十九號 晋州面下水道工事費に對し道地方費より補助を爲すの件

を上程する旨を宣して午後零時半開會したが、偶忠南道廳移轉問題に關し京城公職者大會より左記決議の電報が議長あてに到着せる爲これを議長より議場に報告した

一、忠南道廳移轉案に關する問題は朝鮮統治に及ぼす影響重大なるに鑑み、曩に總督の聲明せる處に依り之を斷行せんことを期す右決議す 京城公職者大會

# 壓倒的多數を以て 大田移轉を可決す

忠南道民の公平な意思は

道評議會で表示せる

日 4  
京 3  
6.

廳を移轉すべしといふ  
道民の聲は確乎不拔であつた。この議決は時勢の  
目に使するのみならず、この意  
表こそは、問題解決のための最  
高權威とならねばならぬ。在實のも  
のといはねばならぬ。

四日は休會

五日再開す

公開特選秘密會に移つた道評  
議會は遂に四日休會、五日再開に  
決して散會したが、三日出席議員  
は公州光山、宮本、大田村尾、吳  
の四氏を除く二十名

全會緊張、舌端火を吐  
田移轉建議案が可決せ  
られた。

果は賛成十三、中立四、  
反對三の絶對多數で大

一款項の削除でも

反郷言は重大である

貴族院豫算總會に於ける

阪谷男と松田拓相

阪谷男 中樞院の議を絶た  
のだといふ陳情が來てゐるが、  
これは誰りであるか、朝鮮  
に關する問題は内地  
で起きた此種問題と

會に集積せられてゐる  
はずである。

如何は、風の音に決つてゐるはず  
ではあるが問題がかくのごく紛糾

した今日、改めて天下に呼ぶ『道  
民の聲』こそ、何ものにもまさる

大田か公州。道評議會は何れを可  
とし、何れを否としたか――

忠南道評議會は三日午後開かれた  
出席議員總數二十名である。定

員は二十四名、四名の缺席者は大  
田雄二名に公州雄二名、何れも陳

情のため東上中、このところ公平  
なくてよろしい。『道廳移轉

建議案』はかくして當  
日の議題に供せられ、

三月後の貴族院豫算總會におい  
て左の問答が行はれた  
阪谷芳郎男 (公正)  
政府は忠南道廳移轉費を衆議院  
で削除されたが復舊を計る意思

松田拓相 衆議院で既に  
削除されたのだから政治の大局  
から見て敢て固執しない、中樞

院には語つてゐない

は性質を異にするから問題は一款項の削除てもその反響は重大である。朝鮮統治上からこの問題で朝鮮半島民の感情を害することは内鮮融和のために支障を招くものだと思ふから、この點に朝鮮半島民の納得の行くやうに方法を盡さねばならぬ

松田拓相 中樞院の議に諮つ

てゐないのは事實である、この問題のため朝鮮統治、内鮮融和に支障なきやう考慮する

### 公職者大會

實行委員會

京城公職者大會は三月午後九時から京城ホテルにおいて實行委員を閉き

- 一、出席遅延形勢漸行に關する上
- 二、委員選定の件
- 三、全鮮公職者大會開催に關する件

につき協議した



# 細民救済と

## 牛車税軽減論

山 4  
6. 3.

### 全北道議第六日目

(全州) 全北道議第六日目の二十六日は漸く午前十時三十分開會社會事業費計議會より廢入全部等に入る昨夜の疲れが眞實を發するもの容易になく漸く全州柳議員起つ

#### 牛車税軽減

△柳直義氏(全州) 細民負擔を軽減するため人力車税、牛車税を全廢又は低減するよりも、牛車手車税を軽減した方が細民救済にもなると思ふが其意思はなきや若し意思あらば修正してもらひたい牛車税の六圓は貨物自動車流行の今日荷物も多いので其率から見ても高いと思ふが低減する意思はなきや又河川使用料とは如何なるものか其内容を問ふ

△信原財務部長 元來牛車税は道路損傷税も加わり道路利用税も加味してゐるので道路損傷の點に於て牛車馬車の方が多いので人力車税等より多くしたわけである他道

#### 細民救助費

△てう在致氏(金堤) 社會事業の救恤費は如何にして整理してゐるか説明せられたい救恤費中に細民救済費を計上して細民の病者者を救済するやうにしてもらひたい

△原田地方長 救恤費中の行旅病、死亡人諸費は前年通千五百圓で充分と思ふ内容は今はつきりしてゐない又細民救済費新設は考慮する

#### 都會へ移居

△金貞三氏(鎮安) 戸税が高いので近來田舎の金満家が都會に移居するもの増加するため田舎に於ける面の財政は將來甚だ心細いものであるが當局は如何なる成算あるか又普通戸事補助金二萬三千餘

#### 色服の奨励

△黄仁杓氏(長水) 色服奨励費が少いこの良風は津々浦々にまで普及せしむるがよい

△原田地方長 御説同感であるが各様でも計畫してゐるから奨励上今年度は幾あるまいと思ふ

圓の減收になる理由如何、又製作奨励費とは如何なるものか

△信原財務部長 戸税賦課額は一圓五十錢を一圓にせよとの要請であるが今の處如何ともなし得ぬ家屋税も其通りであるが當分時期のくるまで減税は待つてもらひたい

△原田地方長 製作は製作の奨励補助ののである

#### 人力税軽減

百圓位の減収で、大した収入に影響を及ぼさぬと思ふ。他道では人力車税を全廃してゐる處もあるわけである。本道でも漸次其方針である。

### 穀物の検査

△市来かう氏（錦山） 穀物検査規程の内に販賣するものをも検査する様規定を改正しては如何。  
△關農務くわ長 移出販賣するものも検査方法に就いては研究中で違からず實施したい方針である。

### 可憐牛車業

△市来嘉八氏（華山） 人力車税を廢止したのは細民負擔の輕減を計るためとあるも、人力車業者は多く資本家で、ひき子は少合で働いてゐるから、何れも細民たるひき子の利益にもならず、府邑の收入にも影響を及ぼすところあるから、何とか考慮してもらひたい。  
△市原財務部長 人力車税は約四車引續き課する方針が、怖ふに、荷牛馬車は六年度限り微税をやるか、將來引續き課する方針が、怖ふに、荷牛馬に取替され、殆ど失業の狀態であるから、税をくわするとしても、税率を低下する必要がある。此の状況な

るを以て、郡吏員の微税も非常に困難である。

△市原財務部長 車輛税は改廢を要するものあるを認むるが、本年度は財政上、已むなく、荷牛馬車にくわへ、税した次第で、財政の都合を見て、何とか考慮したいが、當分は見込めない。尙失業とか、廢業とかいふと、何れに、なく、車製造數が逐年増加してゐる狀態でもよくわかるがある地方には、この様な狀態の營業者もあることは思ふてゐる。

△金議長 これで、歳入歳出全部の一二議會顧問を打ち明けますと述べ、午後二時五十分休憩を宣す。

△金議長 歳入歳出全部の三議會

に入り、まず一二議會で各位の希望意見を聞き、ましたから、もう意見はなからうと思ふから、豫算案に異議なき方は、起立を乞ふと述ぶるや、一同起立し、以て豫算案確定す。次いで、同案第二號、恩給特別會計より、同第十二號、關稅中、毒者治療所、收價規則を一括して提示す。

△片桐和三氏（益山） 原案に賛成します。

△金議長 第二號より、第十二號までの、同案に、原案賛成の方は、起立を乞ふと述ぶるや、一同起立し、以て原案確定した。これで、本日は散會します。時に午後三時十分。

# 黃海道評議會

## 第三日議事 二月廿四日午前3時

午前十二時二十五分議長開會を宣し議案は昨日に引續く土木費臨時部に對し審議す

△一〇番(延白) 金鍾謙くん 延白、白石浦間の通路は最も惡道で

一般内務部長出張の際も半量位は自動車に依ることができなかつた

と聞く此等道路に昇格は如何

△八卷參與員、御質問を遂行するは不可能であると云ふのは等外道路を直に一、二、三等道路に昇格云々は規定にもつき其節の承認を必要とするのであるから左様御承知ありたし

△八番(越前) 廣益夏君 賦役は朝鮮古來慣習で何等支障はないと思ふが本豫算面に依ると前年度に比し減格されある點から云ふと賦役暫減の方針と認む依つて此際全廢は如何、救済事業に支那人夫を全然使役せざるも國際上何等差支ない様に考へるを以て此際朝鮮のみの使役を要望す

△八卷參與員 賦役は一戸當り五人平均の例に依り出役させつゝある、其勢役は非常に多額にのぼるのである、今直に全廢と云ふは至難であります

△泉崎參與員 支那人夫の使役は御質問通り得る丈使用せない積りである

△一六番(海州) 池田一くん 救済事業に依る補助費は一、二、三等道路に規定され等外道路は附却されるか之れ等は相當須要と認むる個所あり之れに對する補助あるや人件費に依る技術者は如何なる者を採用されるか餘り人件費が多額に上る感あり之れ等は相當節約の上他にむけるも差支へないと思ふ

△八卷參與員 等外道路にも貧弱ながら補助はある事になつて居る技術者の採用は從來の者あり又新に採用の者であつて土木費全體に對し人件費の多いとは云へない

△二一番(安岳) 元孝せうくん 救済事業實行に伴ふ内務部長及八卷土木くわ長の答辭は其の内容を詳

述出來ないと云はれたが吾等は不安に堪へない、依つて四百七十餘萬の補助は如何なる方面に使途するかを説明されたと突突き込む

△泉崎參與員 再三説明せる通り道路の種類橋れり數等に於ては御承知と存するかより以上はこゝに於て開陳出さないと打ち切る

△七番(谷山) 朱成鎮くん 二日間審議は薩張り要領を得ない、土木工業實施に付其ヶ所の指定がでない當局の答辭は何の役にも立たない、其の指迷のできない根本理由は如何とするをよく質問の矢を放つ

△泉崎參與員 其の根本理由としてこれまで再三申上げた通といよく切り抜けた

△六番(海州) 吳世さいくん 三ヶ

年繼續事業費の四百七十八萬圓たる巨費の補助は道民の最も歡迎する處で當局としてもこれが使途に就いて公平かつ確實に實施されると思ふが其の救済事業に對し内容説明を専かる點ありとせば委員附託となし其の内容を聞くの外なく斯くせざれば各議員が審議も何等の効なく單に議場に出席したのみであると、質問の矢を放つ贊成の聲起る、時に十二時を指す議長は機を失せず附會を宣す

### 黃海道評議雜觀

(海州) 二十四日午前中の土木費午後の勸業費問題で質問百出議場騒然であつた△議長は救済土木事業に付各員説明の點ありとて詳細にわたり説明其の豫防策を講じたのは適策であつた△内務部長は議事進行上各款審議に付一二審議及建議案等の日程を更に指示實行を促した△窮民救済土木事業の實施に示し全議員は其内容説明を要求してゐる各參與員は極力答辭に努めてゐるが仲々聞き入れない議長の説明で了解はしたものの△本案はあくまで内容指摘の目的を達する決意である△當局は如何なる處置に出るか之れも指摘するは差支へないが中途變更の場合は窮するであらう然らば一層これを開陳し變更の場合の了解を求めおく方が安全でないか△本案は第二二讀會にはいつて相當紛きうされるものと思像されてゐる當局に於ても大いに考慮の餘地がある

# 咸南道部議會 4

## 第五日の議事 (廿五日午後續き) 3

△委ひつ成くん(廣源) 格勤者と事なかれ主義者と同一視して能率増進に人材費用に没却せられてゐないか、産業合理化から組の統一は考へぬが林産物の多い割合に經費が少いと思ふ、此點はどうか

△甘庶内務部長 人件費は事業費にくらべて節約してゐる、實與其に他は現行の外神ならぬ人では出来ぬ、産業合理化に就いては考慮してゐる、林業技術員費は増額してゐる

△林昌虎君(長津) 田作改良増殖費中にある技手六名はどこに配置されてゐるか、平地帯と山地帯の不公平はないか

△岡田農務課長 現在火田迄に手が伸ばぬ、然し考慮はしてゐる技手は總費の許す限り増員したい現在火田民までの點にまで手がのび兼ねるが、然し本府を始め吾々も考慮してゐる、田作方面の技手六名は平地帯に屬するが、無題の許す限り増員したいと思つてゐる

△朴道善君(文川) 勸業費中畜産技手十三名分を計上してゐるに抑はらず

△朴道善君(文川) 利原、文川には何れ畜産技手を配置せない、其理由如何

△岡田農務課長 地方畜産の貧弱は重要性なきによるのである、増

置すれなれば重要性ある地方を選びたい

△西田常三郎君(元山) 産業調査費の計費は計上してないがどう云ふ譯か

△岡田農務課長 僅少の經費では出来ななし甲山には本府で開拓事業調査に着手してゐる今日であるから一時見合わせる事にした

△杉野多市君(元山) 勸業補助費は組合のみに補助してゐる部分的補助はせぬのか

△甘庶内務部長 部分的補助に就いては考慮したが財源關係で實施を延期した

△南百祐君(元山) 蠶繭暴落に依る養蠶家の現狀及水産加工費獎勵とは如何なる方法か種苗検査は圖書提出と同時にできるか罰則中法定代理人に科する點は法理上何うか

△甘庶内務部長 蠶繭價の暴落は他の物價に比して遙かによいか一層獎勵する考へである

△岡田農務課長 本年の養蠶成績は開作桑園一反歩十四圓九十七錢純桑園同三十三圓七十五錢となつてゐて極めて良好を示してゐる糸價の維持に就いては政府當局に於ても萬策を講じてゐるから悲觀の要はない

△りら 産業くわく長 近來カニかん詰を輸出するやうになつたので之れが改良を必要とする事になつたからである樹苗検査規則は他道を参照したものである

△齋藤技師 産苗總數は千二、三百萬本で概ね元山、德源附近である検査上には万全を期する積りでゐる

△さい 漢貞くん(永興) つむぎ検査は如何なる効果があるかはたして圓滑に行はれるか

△りら 産業くわく長 永興つむぎの精華今日あるは検査の施行に依るものと考へる緊難はやむを得ぬが圓滑に施行する積りである茲に於て議長は勸業費一讀賣賣問を打ち切る旨をけかり満場異議なく休議を宣す(午後三時)

# 平北評議會

第九百一十三號 新 4

平北評議會 第九百一十三號

本道の公衆に關する意見  
本道の公衆に關する意見  
本道の公衆に關する意見

本道の公衆に關する意見  
本道の公衆に關する意見  
本道の公衆に關する意見

本道の公衆に關する意見  
本道の公衆に關する意見  
本道の公衆に關する意見

本道の公衆に關する意見  
本道の公衆に關する意見  
本道の公衆に關する意見

本道の公衆に關する意見  
本道の公衆に關する意見  
本道の公衆に關する意見

- 一、次田民救濟策として國有要  
存林内農耕地開放進進を要望  
せられたき件（金昌合外十人）  
二、次田民に對する取締政策を  
緩和せらるゝ條其の筋へ要望せ  
られたき件（美濃縣外九人）  
三、厚島公立普通學校に木工補  
習科を昭和六年に設置せられた  
き件（金榮縣外九人）  
四、道視學を郡に駐在せしめら  
れたき件（金榮縣外十人）  
五、公立普通學校内に高等科二  
年とあるものを農業補習科に變  
更せられたき件（白河縣外十人）  
六、一面一校制に依り新設する  
公立普通學校の建設費の半額を  
補助せられたき件（美濃縣外九  
人）  
七、不普通學校に農業補習科  
を附設せられたき件（濃尾補外  
十人）  
八、新設公立高等普通學校に  
生徒の中途退入を許されたき件  
（佐賀縣外十人）  
九、中等程度の工業學校を設立  
せられたき件（郡田玉外十人）  
十、女子高等普通學校の設置促  
進を期せられたき件（全縣根外  
十人）  
十一、江界郡に農林學校を設置せ  
られたき件（孫應縣外九人）  
十二、學務公立農業學校の充實を  
期せられたき件（康基縣外九人）

- 一、次田民救濟策として國有要  
存林内農耕地開放進進を要望  
せられたき件（金昌合外十人）  
二、次田民に對する取締政策を  
緩和せらるゝ條其の筋へ要望せ  
られたき件（美濃縣外九人）  
三、厚島公立普通學校に木工補  
習科を昭和六年に設置せられた  
き件（金榮縣外九人）  
四、道視學を郡に駐在せしめら  
れたき件（金榮縣外十人）  
五、公立普通學校内に高等科二  
年とあるものを農業補習科に變  
更せられたき件（白河縣外十人）  
六、一面一校制に依り新設する  
公立普通學校の建設費の半額を  
補助せられたき件（美濃縣外九  
人）  
七、不普通學校に農業補習科  
を附設せられたき件（濃尾補外  
十人）  
八、新設公立高等普通學校に  
生徒の中途退入を許されたき件  
（佐賀縣外十人）  
九、中等程度の工業學校を設立  
せられたき件（郡田玉外十人）  
十、女子高等普通學校の設置促  
進を期せられたき件（全縣根外  
十人）  
十一、江界郡に農林學校を設置せ  
られたき件（孫應縣外九人）  
十二、學務公立農業學校の充實を  
期せられたき件（康基縣外九人）

- 一、次田民救濟策として國有要  
存林内農耕地開放進進を要望  
せられたき件（金昌合外十人）  
二、次田民に對する取締政策を  
緩和せらるゝ條其の筋へ要望せ  
られたき件（美濃縣外九人）  
三、厚島公立普通學校に木工補  
習科を昭和六年に設置せられた  
き件（金榮縣外九人）  
四、道視學を郡に駐在せしめら  
れたき件（金榮縣外十人）  
五、公立普通學校内に高等科二  
年とあるものを農業補習科に變  
更せられたき件（白河縣外十人）  
六、一面一校制に依り新設する  
公立普通學校の建設費の半額を  
補助せられたき件（美濃縣外九  
人）  
七、不普通學校に農業補習科  
を附設せられたき件（濃尾補外  
十人）  
八、新設公立高等普通學校に  
生徒の中途退入を許されたき件  
（佐賀縣外十人）  
九、中等程度の工業學校を設立  
せられたき件（郡田玉外十人）  
十、女子高等普通學校の設置促  
進を期せられたき件（全縣根外  
十人）  
十一、江界郡に農林學校を設置せ  
られたき件（孫應縣外九人）  
十二、學務公立農業學校の充實を  
期せられたき件（康基縣外九人）

# 黄海評議會

新

第六日目——二十朝 6.3. 4

（海州）黄海評議會第六日目の二月二十七日午前十時議長はじめ各參與員着席議長開會を宣し昨日に引續き諮問案第一號歳入歳出全般に亘り第二議會の論陣は張られた

▲吳世暉君（海州）水利組合の目的は産米増殖である然るに水利組合に對する一般批判は最も悪い傾向があるその理由は結局施設が悪いといふ事になる現在水利組合施設により地方民は非常に困ばいを見てゐる當局はこの人民の苦痛を顧みず單に産米増殖といふ目的のもとにその露政をつづけるかんがへであるかと論じ水利組合工事請負業者の暴利をとる事、水利組合水税賦課の過當なる點水利組合企業者の横暴等を並べ立て約一時間に亘つて長崎君を振ふ

▲農務課長 水利組合設置初期はどこにおいても種々なる問題が起るのであるがやがては數年後には之に依り至大の福利を得ることとなるであらう、質問者は翠野水利組合の創立者としてすでにその有利なるを御承知の上のことと信するがゆゑに多くの言を用ひないから諒せられた

▲吳世暉君 當局は困ばいせる人民の爲め宜敷く弊を改めて遺憾なき施設のもとにこれが助長を計られたい

▲阿波弘司君（鳳山）本道の穀物検査が嚴重に過る從つて粟の儘にて他道に出て行く傾向がある内地では朝鮮米の移入防止の方針なりと聞くが何等か之れに關しその關係別な關係ある爲ではあるまいか果して然らば頗る

本道米の爲め悲しむべき事であるから考慮せられたい、なほ本道の養蠶は産蠶十萬石を目標とせるもこれ數の事では物足りな

いより以上二十萬石位に目標を置いては如何、本道の製糸工場は沙里院一ヶ所であるがなほ各地に二三ヶ所を設けし斯業を奨励しては如何此れに附随して蠶業傳習所の増置を願ひたい

▲農務課長 御質問の條々關係云々は絶対にない検査方法に關しては天候その他の爲難を管轄してゐるのでその點については嚴重にしてゐる、養蠶に關しては御希望に添ふべく努力する

▲萬代龍助君（海州）昨日道立醫院内容充溢を計られたといふ本員の質問に對し單に承つて置くとの御答辭に至極不親切の感があると突込みなほ藥價及び往診料の引き下げを要望し次に等外道路の補助額は十萬圓位に増額してこれが完成を期せられ度いと述べ

▲衛生課長 本年度は豫算の關係上御希望に添ひ兼ねるが將來は

考慮する

▲土木課長 窮民救済費を等外道路に廻せといふ御要望であるが箇所を限定されてゐる關係上残念ながら御求めに應じ難い然し出來得る限り他の方からでも融通して完成を期したいと思ふ

此の時議長午前中の會議はこれで行切り休憩すと宣す午後一時引續き開會

▲總坂秀一君（黃州） 兼二浦の木道に對する經濟上の地位は重要なるものである一日も早く之れを開場として施設され度い、なほ農業技術員を一層督勵され度い道當局の施設は廣く淺い、それはすでにその時代を経過してゐる宜敷く各方面に對しては深みのある施設をしてもらひ度い

▲内務部長 道當局もそれを認め本府に對し要望してゐる次第である次に農業施設に關する件も有益なる御意見として承り置

▲幸鍾駿君（鳳山） 農村振興、農民生活の安定を計る施設としては地稅を減じ銷稅を増され度

と思ふ歸業家は本道より金を採取し去り附近十里の河川には鰻を養うのみである現在の狀態では農民の負擔額を減する事が出來ないとの御説である然らば農民は如何なる點に於てその福利を増進せしむるや他なし宜敷く農業の理化を計りてその適切なる施設を要す本道民の八割を占むる農民の爲めに果して當局はその誠意ある施設をなせりやこひねがはくは彼等農民のため

に深甚なる考慮を拂はれむ事を内務部長 御意見の點は充分考慮し御期許に添ふべく努力する

▲金鍾連君（延白） 水利組合現在の状態では到底農民の爲めその福利を増進せしめ難い當局は周到なる計畫のもとにこれが助成を計られたい

▲慎久範君（金川） 貧困者の口税を減じられたいとの希望に對し財務部長より簡單なる説明する處あり

▲盧蒼顔君（倉津） 本道民に對しては例年よりも一層慎重に審議したいその理由は土費負擔額のほう大なるものがあるが故であらう第一土木費は出來得る限り

全般的に各等道路の改修を行つてほしい勸業費では出來得る限り土地の人々に理解を與へられて施設されたい普通學校々長は今後鮮人校長を採用されたい

▲趙東淳君（黃州） 黃州郡においても一萬餘町歩にわたる水利組合も創立されたが道當局の方針如何、輸入方面においても地方民の負擔減額に對する當局の方針如何

▲内務部長 至極簡單に答へる

▲藤澤俊二君（瑞興） 本年度豫算中林業豫算において申し上げたい今豫算面を見るに八萬八千圓が林政に使用さる事となつてゐるが僅少に過ぎる出來得れば豫算を増額し道有林の増植を圖りたい、水利課を設置するといふことであるが林務課も獨立されたい

この時議長は大分御意見もあつた様だから三議會に廻しては如何と語り異議なく可決し金基秀君（載事）より本議案はその儘原案通り可決決定されたいと述べ議長は本動議に對しその賛否を問ひ異議なく可決し議長は今日はこれにて散會致しますと宣す時に午後四時

# 咸南評議會

4

最終日——二十七日3.

6.

(咸興) 咸南評議會第六日目は二十七日午前十時四十分開會出席者缺席者は前日と同じく議長先づ初日以來第一號乃至二〇號の諮問案に對し原案通り可決したることとその旨答申いたしますと述べて答申書の朗讀あり

▲議長 次にこゝに建議案が出てをりますから御諮りいたしますと宣し次の如き建議案十數件に對し一々朗讀説明の上審議を経て採擇することになった

## 建議案

- 一、永興農器學校昇格要望の件(崔漢植君提出)
- 二、元山府に漁港を設置せられんことを望む(元山南百祐君提出)
- 三、本道内公立普通學校加設及授業料半減要望(金鳳鳴君提出)
- 四、道當局に北青南大洞川整理速進の件
- 五、北青邑に中學校を設置されんことを望む(北青方義錫君提出)
- 六、新浦水道架設の件(北青方義錫君提出)
- 七、農會畜産組合、森林組合各種商業團體を合併して一個團體を設立されんことを要望す(永興崔漢植提出)
- 八、道評議員會議の會期延張の件(恒次回より(端川沈亨燮君提出))
- 九、咸鏡線内聖岬里に簡易驛設置の件(永興崔漢植君提出)

- 一〇、朝室の專用溝内湖を利用して國費を以て擴張工事を施行し地方溝として公開せらるやう幹旋の勞をとられん事を望む(咸興崔相玉君提出)
  - 一一、咸興府の都市計畫實現の速進を望む(前同)
  - 一二、咸興に女子高等實業學校の設置を望む(前同)
  - 一三、醫生講習所設置さんことを望む(前同)
  - 一四、洪原新興兩郡界たる元川嶺附近の水路跡に對して一日も速かに改修工事をされんことを望む(洪原金基協君提出)
  - 一五、城川江整理を全體に涉り經費着手を望む(咸興崔相玉君提出)
- やがて議長は莊重なる態度で別項の如く閉會の辭を述べ
- ▲西田常三郎君(元山) 今回國勢多岐の折柄にも關らず地方居民救済のため多額の土木費及勸業費國庫補助の御諒解にあつかり感謝に堪へないことを議長を通して總督並に總監に電報を以て現して頂きたい
- と動議提出爾後一致を以て贊成原文その傳達方議長に一任し最後に總理の姜瑞成君答辭を述べた
- 連日議長の偉大なる統裁振りに對し碩腔の感謝を現すと共に參

興員各位にはこれ又連日熱誠のあまり激論甚だしきは服膺的感言を吐きましたるにもかゝらず願る圓満に然かも丁寧懇明に微に入り細にわたつて御説明下さつたことを深く感佩し、まことにこれは要するに今回の豫算編成が完全に出来て審議の餘地がなかつたのではなからうか無事可決したといふことは當然の當然であると思ひます吾々が歸りましてこれが運用に當りまして一層指導とべんたつとを希望して止ない次第でありますと結び午後零時三十五分閉會したなほ議員の希望に依り一時間の間を得て各議員の五分間意見希望を述べることとなり一時二十分全く解散したがこれよりは府内は勿論内湖方面の視察をしてそれ今明日中に郷の豫定の如し

### 閉會の辭

閉會に方り一言御挨拶を申上げます  
各位には寒なほ酷しき折柄且御多忙の際にも拘はらず病氣の爲め一名の缺席がありましたのみでその他全部御參會に相成まして七日間に亘り前年の四倍に相當する二十件といふ多數の諮問案であり且つその内容も從來

にない幾多の新事業もあり重要案件極めて多數であつたに拘はらずこれ等各諮問案に就て毎日時間を延長して最も熱心に而も議長として議場整理上幾多御不滿に感ぜられた點もあつたのではないかと案じてゐる次第であるにも拘はらず別段の御旨もなく極めて和氣藹々の中に各諮問案を議了せられ全部原案通可決確定を得ましてここに閉會を告ぐるに至りましたことは本道々治上誠に御同慶に堪えないと共に道當局と致しまして感謝に堪えない次第であります殊に昭和六年度以降二ヶ年乃至三ヶ年にわたる窮民救済事業に極めて大事業で數百萬圓の國費補助を仰ぎ施行するものでありまして之によつて幾萬の道内窮民の更生を圖ると共に一面において從來多年の懸案となつておりました幾多の問題が解決せられ道民の福利増進に甚大なる効果と實績となるのでありましてこの大事業が各位の協賛によつて實現することとなりますことは洵に欣快に禁べない所であり、ます道當局と致しましてはこれが遂行に對し充分なる力を致し萬遺漏なきを期する覚悟でありますなほ昭和六年度道地方費豫算の執行その他今回協賛を得ました諸件の實施にあたりましては各位連日の御審議に際し御述べになりました御意見を參酌しこれが萬全を期したいと考へますここに閉會に方り連日の御勞苦に對し深く感謝致しますと共に各位一層御自愛の上本道々勢の伸展と道民の幸福のため御盡瘁あらむことを祈ります一言を述べて閉會の辭と致します

# 未曾有の大豫算を

## 満場一致で賛同した

釜山

6. 3. 4

### 和やかな道評議會

要望と陳情で最後の幕を飾る

(大邱) 慶北道評議會第八日は二日午後一時十五分開會、林護出席議員三十三名、缺席議員三名なる旨を述べ、次いで相評會大邱本部よりらい患者救済に關する陳情書をもち上した

即ち本道在庄癩患者、目下四百八名で總督府より下附される注射薬によつて効果の收めつゝあるも、彼等は殆どよるべき浮浪者のみで衣食住の點に頗る困窮してゐるので收容所を設置して貰いたいと

石終つて前回(第七日)に外續き三十四番議員より順次き望意見の開陳に移る

△李在煥君(大邱) 現在の水利組合は非難の聲が属いので地主及一般農民が迷惑せぬ様事方法其他を改善してもらひたい

△李玄覺君(英陽) 農村の疲弊を訴へ、優良蠶種の供給及び蠶業獎勵方法について述べ更に敬

府問題に入り現在の普通教育を義務教育とすることを要望し

△金卓君(車威) 窮民救済事業を普遍的に施しすること並びに昨夏の八公山山津波事件を再發せぬ様八公山に砂防工事を実施すること及び面の聯合、郡内道路、橋梁の施工等を要望し

△中谷竹三郎君(源昌) 米價對策を論じ、即ち昨年は未曾有の豐作によつて畫期的米價安を招來し、従つて一般購買力の減退、穀價の暴落、失業者の續出等を述べ、二百四十萬道民の代表たる吾等は道民の福利増進の爲めに道當局の手を経て本府當局に更に中央政府に民意を傳へて適當なる方法をもつて農村救済を講じてもらひたいと述べ更に浦項に農業倉庫設置の件、義勇消防組に對する補助金増額、小産試驗場に道内漁場巡回指導獎勵助建の件等を要望

# △孫柄盈君（永川）

河川の

# △伊藤吉三郎君（太郎）

整理永川郡運動場問題等を要室

より相當の補助を得、簡易水道の施設をしたい。以上で各議員の希望開陳終り林議長は、

健全なる精神は健全なる身體に宿ると云はれまことに體育は武士道である近時朝鮮に於ても體育には非常目覺めて來たけれど尙且つ朝鮮の兒童は内地のそれに比すると著しく劣つてゐる故に體育奨励は今少しく徹底的にやつて實實剛健なる處の若者を造らねばならぬと大邱體育協會の現狀を例にとり、これには少く共年二千圓以上の地方費補助を支出、道體育協會が主體となつて活躍して貰ひ度い。

# △文明基君（えいこ）

郡内

寧海管内に於ける水道施設、同じくへい谷邑及び同亭面長沙市二ヶ所の郵便所設置速成に就要望した寧海管内では現在水行商人から何らかの料金を出し水を買つて飲んでゐる有様でこれは衛生的見地からも重大問題であつて道

かつてないほど大なる豫算を何等の故章もなく滿場一致をもつて御賛同得たことは吾々當局者は勿論二百四十万道民と共に喜びたい、而も開期十日間文字通春風駉蕩、和氣あい／＼として終始したことはこれは本道々評議會の傳統的英點であつて吾々は各位に對し衷心感謝すると共に各位の御熱心なる各要望に對して十分御期待に添ひ得る様努める考へである、どうか各位も二百四十万道民の福利増進の爲に益々御奮勵あらんことを念願する次第である

と閉會の辭を述べ、次いで伊藤吉三郎氏代表の答辭あつて午後二時三十五分散會した

# 慶南評議會

第一日目(三月三番) 3. 6.

(釜山) 第十二回慶南道々評議會  
は既報 如く三日午前十時二十分  
振鈴合圖に道廳會議室において開  
催され先づ議席の抽籤によりて各  
議員の席定まるや出席議員三十名  
(缺席三名)にしてへき頭渡彦知  
事別項の如き演示あり竹内々務郎  
長次いで克明に豫算説明を終り直  
ちに質問戦に入らんとしたが金慶  
鎮氏より本日は休憩したき勸諭出  
で成立し散會せんとしたるその刻  
那京城公議者大會より忠清南道々  
廳移轉に關し本府 報明通り目的  
貫徹したしとの決議文電報を朗讀  
し午後零時三十分和氣範々裡に散  
會し四日より引續き毎日午後一時  
より續行することとなつた

# 道評議會開かる

報 5

第一日は知事の演説につぎ、民 6. 3. 5

内務部長の豫算説明あり閉會

第十二回豫南道評議會第一日は三  
日午前十時三十分より開會、出席  
議員三十名、渡邊知事議長席に就  
き開會を宣し、議席の抽籤あり、  
知事は、左の如く道治方針の演説  
をなし、ついで内務部長の豫算  
の説明をなし、午後十二時二十分  
閉會す。四日は第一號諮問案の歳出  
土木費及これに關聯する諮問案第  
八號乃至第十一號、第十五號乃至  
第十九號を上程する事に決定

## 知事演述要旨

(前略)昭和六年度歳入出豫算編  
成の方針は、之が大綱に付て御  
説明申上ます。歳出豫算の編成に  
付きましては、政府の方針に基き  
まして出来得る整理節約に努  
めました。結果、經常臨時兩部に於  
て總計十三萬七千餘圓を節約致  
したのであります。然しながら一  
面時勢の要求は一日も苟合餘安  
を許さざるものがあります。この  
此の節約致したる經費も、此の際  
緊急差置難しと認むる新規事業  
の施設に充當計上することゝ致  
しました(中略)

窮民救済の事業としては、前述の  
通り土木事業並に砂防事業の合  
計七百六十七萬圓の工事を行ひ  
ます。外に本府直營の洛東江一川  
式改修工事費一千七百萬圓等が  
ありまして、一年二百日以上の日々  
通計一萬數千人の工夫を役する  
ことゝなりました(下略)

## 諮問案

十二回道評議會に於ける諮問案左  
の通り(金山)

第一號諮問案 昭和六年度豫南道地方費歳出 歳入豫算 歳入 一金二、六三〇、八一二圓 經常部豫算額 一金三、六二二、五二七圓 臨時部同 合計 五、六九三、三三九圓	第二號諮問案 昭和六年度豫南道地方費兒童 獎學資金歳入歳出豫算 歳入 千七百八十二圓 歳出 千七百八十二圓	第三號諮問案 地方税賦課規則中(車輛税)改正 の件	第四號諮問案 不動産取得税賦課規則改正の件	第五號諮問案 慶尚南道麻藥中毒者治療所規則 改正の件 注射料モルヒネ量 料 金 〇、一五瓦以下 二十錢以内 〇、三〇瓦以下 四十錢以内 〇、五〇瓦以下 六十錢以内 〇、八〇瓦以下 一圓四錢以内 一、〇〇瓦以下 一圓卅錢以内 以下略す	第六號諮問案 慶尚南道地方税徵收規則改正の 件	第七號諮問案 地方費諸收入徵收規則改正の件	第八號諮問案 自昭和六年度至昭和八年度慶尚 南道地方費道路橋梁改良工事費 繼續年期及支出方法	第九號諮問案 洛東橋一部及南旨橋架設工事費 繼續年期及支出方法 五十五萬圓 同工事費 二十五萬圓 昭和六年度支出額 三十萬圓 昭和七年度同	第十號諮問案 地方費大開闢々々費繼續工事年 期及支出方法 三十萬圓 太閤堀々々工事費 七萬五千圓 昭和二年度支出額 七萬五千圓 昭和三年度同 七萬五千圓 昭和四年度同 七萬圓 昭和五年度同 二萬五千圓 昭和六年度同	第十一號諮問案 溫泉川改修工事費支出方法 十二萬圓 譯 四萬圓 昭和六年度支出額 四萬圓 昭和七年度支出額 四萬圓 昭和八年度支出額	第十二號諮問案 砂防工事費支出方法 百萬圓 砂防工事費 三十萬四千圓 昭和六年度支出額 三十萬三千圓 昭和七年度同 三十萬三千圓 昭和八年度同	第十三號諮問案 南港防砂堤及防波護岸工事補助 の件
--	---	---------------------------------	--------------------------	---	-------------------------------	--------------------------	---	--	---	---	--	---------------------------------

五萬千四百十三圓以内

第十四號諮問案

太閤堀海底道路工事費に對し昭和六年度より二十五年迄地方費補助の件

三萬三千九十八圓以内

第十五號諮問案

密陽上水道工事補助の件

二萬四百十二圓以内

第十六號諮問案

三千浦上水道補助の件

四萬二千五百二十圓以内

第十七號諮問案

固城面上水道工事費地方費補助の件

七千五百圓

昭和六年度

七千五百圓

昭和七年度

第十八號諮問案

南面上水道工事費地方費補助の件

五千圓

五千圓

昭和六年度

第十九號諮問案

昭和七年度

晋州面下水道工事費地方費補助の件

三萬四千二十三圓以内

第二十號諮問案

土木費繼續費の内道路橋梁改良工事費温泉川改修工事費及勸業費繼續費の内砂防工事費に充當の爲並公共團體費資金として貸付のため起債を爲すの件

# 慶南道評議會 (二日目)

## 愈土木事業に關する諮問に入る

釜山

6. 3. 3

### 盧議員先づ洛東橋架橋に就て質問 竹内内務部長懇切に答辯

慶南道評議會第二日は四日午後一時五分より開會、出席議員二名、愈々土木事業に關するし間に入るので

議場一層緊張を呈す、定刻後、議長開會を宣し先づ提出議案に就いて番外よりう誦せしめて議

しへき頭

十二番 盧俊泳君(咸陽) 提出議案が土木費に關するもののみであるが何故土木費のみを提出したか、議事進行上從來同様議案全部を提出した方がよくはないかと、するどく質問す

議長 道評議會規則第五條にもとつき議長に於て決定した規則をたてにとつて突きはたす

廿四番 金丸源一君(統營) 議事に先達て昨日京城公職大會より寄せた情報に對し動議を提出すと即ち本道としては忠實道廳が何れに移轉するとも何事關知する處ではないが然し綱督が聲明し又内閣でも議會に提出したものが僅かのことで削除されることは遺憾である依つて之れに對する返電を打ちたいと思ふ

議長 議題以外に關することは附會後有志に於て相談の上決定されたい

十二番 盧俊泳君(咸陽) 第九號洛東橋架橋に就いて洛東橋架設は窮民救済事業として結構であるがたゞ一部に斯様な七十五萬圓もの莫大な經費を以て行ふが奥地方ではその日くの糊口を窮乞 同様の生活してゐる様

ある 竹内々務部長 道内の窮民は約三万三千人であるが土木、砂防等の工事に依つて土木は一日七十錢、砂防は六十錢見當で銀

が道内に散布される十萬五千人が生活安定する故に奥地もこれに浴するのである、浴所橋の架設のみに全力をそゝいでゐるとの眞實なるもこれは百數十マイルのらく東

江に依つて道内は南北にしゃ爾されてゐて連絡をたつてゐる、従つて道内商權は他道に奪はれてゐる現狀で實に見るに忍びない故にこれが架橋に依つてその商權を保

持することかできるのである、當局はらく東海岸のみに工事を行ふことも考へてゐないが前述した事情に依つて施行するものである  
(午後二時記)

# 慶南評議會に於て

## 道知事の演述(3)

5

茲に第十二回慶南道々評議會を開催致すに當り一言御挨拶申上ぐるの機會を得ましたことは私の深く欣幸とする所であります

私は舊圖らずも乏を本道知事の重任に受けたのであります官民の一致相協力して道勢の進展と福利の増進とに全力を捧げ度覺悟を有して居りますから各位に於かれても此後充分の御援助を賜はらんことを切に希望して已まないであります

昨年七月本道に於ける風水害に際しましては異くも 天皇皇后兩陛下に於かせられましては痛の軫念を御差遣に相成り親く各地に於ける惨狀の跡を察せしめられ恐れたる多量も御内帑金を賜はつたのであります 聖恩宏大誠に恐慙感激の至りに堪へません本道におきましては罹災民に對し夫々學智を傳達致す共に百万力を盡し善

後策を講じ萬遺憾なきを期し第であります、こゝに謹んで御報告申上げます

次に昭和六年度歳入用預算編成の方針並にこれが大綱に就て御説明申上ます歳入豫算の編成に付きましては政府の方針に基きまして出来得るだけ整理節約に努めました結果經常歳入兩部において總計十三萬七千餘圓を節約致したのであります然しながら一面時勢の要求は一日も苟合儉安を許さざるものがありまして此の節約致したる經費も此の際緊急措置難しと認むる新規事業の施設に充て計上することと致しました先づ第一に土費に付て申上ぐれば總督府の方針に順應致しまして最近經濟界の不況著しく隨所に窮民の多きに鑑み之を救済すべく又近時漸く發達の道程に上りつゝある本道としては年々僅小宛の經費を支出して長年累月亘つて工事を施行するよりも寧ろ一經にして成る可く一時に之

を決定承認を受けたのであります

府の決定承認を受けたのであります

府の決定承認を受けたのであります

として自動車の出づるもの

を決定承認を受けたのであります

# 慶南評議會に於て

## 道知事の演述(二)

6

勸業費中普通農事に付ましては最近における農産物價格の慘落之に伴ふ農村疲弊の實情等に鑑みまして從來の農業組織に多少の變更を加ふるの必要を認めて居ます即ち從來の水田偏重の政策を改めて田作の奨励養蠶棉作並に畜産の奨励等に一層力を注ぎ所謂多角形農業の實現に努めたいと思つて居ります即ち稻作に付ましては種子の改良は從來四年を一期と致して居りましたが明半更からは之を三年に短縮致しその効果を速ならしめ水利組合に對しては専任の技術者を増加して先づ既設組合中成績の思はずからざるものより改善に着手することと致しました尙ほ正條植の如きも道の方針として一層奨励致したいと考へて居ります又近時農業の發達するに伴ひ金肥の使用が年々増加致しまして昨年本道内において使用致しました金肥の總金高は實に二百八十萬圓の多きに達して居りますがこの金肥の代金が農家の現金支出の大部分を占めて居ります故に若し之を節約することが出来れば農家經濟の

非常なる緩和となりますのみならず金肥のみの連年に亘る使用は土地を瘠薄ならしむるものでありすが堆積肥の如き有機質肥料は斯の如き缺點なきのみならず却て土地を豊軟ならしめ地力を増進せしむるものでありまして然も之の自給肥料は農家自身の手に依つて之を増産し得るの可能性がありまして此後は努めてこの方面に力を注ぎたいと計畫致して居ります田作に付ては本道亦相當の田面積を有するのみならず之が改良増殖は農家食糧の供給上最も重大なる意義を持つて居りますから本府の田作改良増殖十二ヶ年計畫に基き本道が昨年來着手し來りたる麥作の改良増殖に力を注ぐのみならず粟大豆の増收蔬菜の栽培等に付きましても同様意を用いたいと思ひます尙ほ甘藷は本道の氣候風土に適するのみならず耐旱力に強く農家常時の食糧として頗る好適のものでありますから明年度以降において相當の増産を計畫致しました養蠶に付ましては本府の産蠶百萬石計畫に伴ふ本道既定計畫の實

現に向つて努力し來つたのであります但其の實績は遅々として進まざる状態に在りますので近く計畫の内容に相當の變更を加へ極力所期の目的達成を期することと致しました棉作は前作麥の改良と相俟つて益々これが増産を計るの必要がありましますので相當の補助費を計上致すと共に前述の自給肥料の増産によりこれが反當收量の増加を期することと致しました畜産に付ましては畜力の利用並に食肉の供給は勿論肥料の採取が最も重大なる意義を有して居るのであります然るに近來動もすれば一般にこの方面に對する自覺において幾分缺くる所があつた様でありますが近時幸にして農家の自覺も稍々見るべきものあるに到りましたが尙ほ充分なりとは申し難く奨励の餘地頗る大なるものあるを認めましたので從來の施設の外畜産聯合會の事業たる畜牛共濟事業に對し補助をなすと共に新に探肥養豚を奨励致しました相當面積の耕作を行ひながら肥料の給源を有せざる農家に肥料の採取を目的とする養豚を奨励することと致しました水産方面に於ましてはまづ不正漁業者の取締によつて本道沿岸漁

場保護を完全ならしむることが施設の根幹をなすべきものたることを認めました之が爲に相當優秀なる取締専門の船を建造致すことと致しましたこれが建造に付しましては重を速力に置き出来得る大船足の早き船を建造したいと考へて居ります

林業におきましては從來實行し來りました各地に分散せる模範林の經營の如き單純なる植林の模範を示すことは最早大部分其の目的を達成致しましたのみならず極めて不經濟的のものでありますから今後は寧ろ利用方面の模範を示すと共に一面道模範林の經營を經濟化し將來に於ける本道の基本財産造成の意味を以て從來の模範林一部の賣却代金と五年度迄に六年度に於て節約し得たる模範林經營の費用とを以て本道の居昌郡に在る徳祐山一帯約一萬一千町歩に亘る國有山林の拂下を受け専ら天然更新の方法に依る造林を行ひたいと考へて居ります本道内に於ける國有山林は既に處分し盡されましてただ僅かに残るものは今回道に於て拂下を受けんとする徳祐山あるのみであつて本府に於ては近く之を處分する意向であると聞いて居りますから道が將來に對する基本財産を造成すべく山林を經營せむ

とするには是非此の際徳祐山の拂下を受け置くの必要あるものと認めて計畫致しました

砂防工事に付しましては年々國費を以て道内各地に施行せられ來つたのでありますが經費の關係上工事施行済の面積は合計漸く六四二町歩に過ぎず斯る有様を以てしては本道内に於ける要砂防地二三八二町歩の工事を終ることは極めて遠慮のことと思つて居りましたが今回幸ひ本府に於て窮民救濟事業の一部として地方費を以てする砂防工事に對し多額の經費を補助せらるることとなりましたから本道の財政狀態に照し昭和六年度以降三ヶ年間に總額一百萬圓に相當する砂防工事を實施することゝ致しました此の地方費の砂防工事に對しては國費より約八割の補助金を交付せらるゝ關係上工事施行の場所の如きは全體國に於て承認したる地域内に於てのみ施行することの條件を附せられて居ります砂防工事を施す程度に至らざる林野の復舊は秋の實播に依り成功することの可能性を認めまして來年度は更に此の事業を擴張致しました(續く)

# 新 慶南評議會に於て 道知事の演述(三)

の補養に甚大の注意を拂ひました。又近時における物價等銀の下落は、各學校の工事又は實習地の購入等を遂行するに適當の時期と認め、して中道學校の校舍又は實習地の致しまして、外馬山病院の増築、晋州病院の収容を行ひ、以て最者の利用を増すことと致しました。窮民救濟の事業としては前述の道土木事業並に砂防事業の合計七百六十七萬圓の工事を行います外に、本府直轄の洛東江一川式改修工事費一千七百萬圓等があり、まして二年二百日以上日々通計一萬數千人が此の人夫には出来得る大地元、生活の苦痛を救ふと同時に幾分たりとも將來の生業資金を蓄積せしむるの必要あるを認め、まして一ヶ所に對する工事の重復を避く、と共に等銀の一部を割いて將來の生業資金に充當せしむべく貯蓄を奨勵して、以て救濟事業の眞の目的を達成する様計画致して居ります。又是等工事の着手に伴ふ職員増築のために現在の道廳舎を多少増築することと致しました。地方費吏員は同職員恩給規則に依り本年を以て恩給年限に入つたのであり、ます今に於て相當基金を造成し置くにあらざれば、他日財政上

の補養に甚大の注意を拂ひました。又近時における物價等銀の下落は、各學校の工事又は實習地の購入等を遂行するに適當の時期と認め、して中道學校の校舍又は實習地の致しまして、外馬山病院の増築、晋州病院の収容を行ひ、以て最者の利用を増すことと致しました。窮民救濟の事業としては前述の道土木事業並に砂防事業の合計七百六十七萬圓の工事を行います外に、本府直轄の洛東江一川式改修工事費一千七百萬圓等があり、まして二年二百日以上日々通計一萬數千人が此の人夫には出来得る大地元、生活の苦痛を救ふと同時に幾分たりとも將來の生業資金を蓄積せしむるの必要あるを認め、まして一ヶ所に對する工事の重復を避く、と共に等銀の一部を割いて將來の生業資金に充當せしむべく貯蓄を奨勵して、以て救濟事業の眞の目的を達成する様計画致して居ります。又是等工事の着手に伴ふ職員増築のために現在の道廳舎を多少増築することと致しました。地方費吏員は同職員恩給規則に依り本年を以て恩給年限に入つたのであり、ます今に於て相當基金を造成し置くにあらざれば、他日財政上

識と興味とを享有せしむるの最も必要なるを認め、まして約三十名の校長又は教員を夏期三十日間晋州を行ふことと致します。農學校に收容して農業の實習的講習を行ひ、以て斯業に對する理解と大なる差異はありませんが、最も近自働車の異常なる發達に連れて、人力車自動車荷牛馬車荷車等においては、収益の減少著しきものがあり、ますので、免稅又は減稅することゝ致しました。又農村の不況は遂に屠殺牛の頭數の上には大なる減少を示して來り、ましたので、前年來の實額に徴し、屠場稅及屠宰稅に於て相當の減收率を見込み、ました。又昭和六年度より施行する前述の地方費自體の窮民救濟の事業は大體地方費に對しては土木費において四割乃至五割、砂防工事費において二分の國庫補助を受け入る、こととなつてをりますので、之に伴ひ、起價の金額を歲入の部に計上致してをります。以上は昭和六年度豫備道地方費豫算作成の粗技大槪であり、まして其の詳細は内務部長から説明致す答であります。窮民救濟事業の實施のために本道未曾有の大豫算を提出致すことゝ相成り、ました何卒慎重に御審査下され、まして願くば原案に御賛成あらむことを切望致します(完)

# 忠南評議會新

## 第一日目—三週三

(公州) 忠南道第十四回道議會は三月三日午前十時から道議場において開會二十名出席(缺席四名)先づ劉議長の挨拶から豫算編成の大綱につき演述あり終つて高武内務はその大要につき説くところがあつたが六年所豫算總額は經國總五百二十三萬四千餘圓で經常部は前年より減じ臨時部は例の増徴費を多くもらへ忠南未曾有の大豫算である説明が終つて第一回會に移る劉議長の宣言あるや

赤井君(瑞山) 緊急動議として日程を變更し秘密會に附すべき旨動議提出成立して午後二時半傍聴者新聞記者に退場を命じ秘密會議となつた

# 各種建議と

## 要望の土産

全北道議最終日

山 5  
釜 3  
6

(全州) 全北道評議會最終日は二十七日午前十時三十分開會金議長より提示事項として各位の手もとに差しあげておいたから各議員を願ひます左の建議案は書記をしてらう譯せしめます

一、南原よりたん陽までの南たん線を速に完成せられたきの件

二、知里農林學校に獸醫畜産科新設の件

三、井邑農學校五年制に昇格の件

四、東津江架橋の件

以上全部採擇することゝなつた、それより要望事項陳情の議起り必要なる人のみ三、四分發言すること

△山本悦威氏(全州) 全州郡はう東面民より水害防止の爲堤防設置の件と扶安郡山内面温泉の湧出の實地調査と實現の速かならんを望む件と胄島の全北移く

わん希留の件と扶安郡に小産學校新設の件を述べ

△ちよう在敦氏(金堤) 私設墓地設置を各望家にはなるべく許可せられたき件と東津水利組合水賦課低減の件

△李康元氏(全州) 金融組合には細氏附級者加入せしむる件全州高普校生徒の風紀改善に努力の件

△黄仁杓氏(長水) 山間地に醫院設置の件新設地は便利を圖る件

△金議長 要望事項が多いから時間的關係上後日書面を提出してもらひたい

△朴碩圭氏(井邑) 勸農組合を一層擴張の件産業組合は小區域として多く新設の件色服獎勵と共に商人間の斷交實行の件

△金議長 斷交を實行しても反對なきやと反對すれば朴氏少くは反對あるならんも多數は賛成しますといへば金南原氏斷交しないのは吾々のほちであると呼ぶ

△林鳳周氏(淳昌) 福興面に淳昌金融組合支所設置の件

△金議長 これで開會しますとて今回の議事は各位の誠意にて豫定の通滞りなく和氣あい／＼裡に圓滿に終了するとは本道のため慶賀に堪えぬ參頭員の答辭に不満足の際があるかも知れぬが御了解を願ひます今後御後援の程を願ひします又各位の御要望は財政の都合を見てなるべく實施したいつもりでありますと述べれば橋本央氏議員側を代表して當局の親切に丁寧なる御説明に満足しましたと挨拶つして無事閉會した時に正午

咸南道評議會山

第五日の議事 (廿五日午後續き)

63. 5

午後三時二十分總會、議長威出經  
常及臨時の各部教育費及同補助費  
を一括して一議會に入る旨を告げ  
△さい漢て君（永興）同盟休校  
の原因は二あると思ふ、當局は何  
と考へてゐる、處分に至つてはひ  
どいではないか、普校は何ケ所設置  
するか、更に永興農校昇格問題に  
就き今日までの経過を語り當局の  
意圖をたどす

△偶原學むくナ長 公普校設置は  
九校の積りである箇所は明言出來  
ぬ、永興學校昇格は御同情に堪へ  
ぬが然し士著性に富んでゐるから  
成績はよいので今後大に努力する  
考へである

△安岡禎學官 同盟休校に對する  
敬復訓諭に就いては充分方策をたて  
てゐる、今後は學科の外に思想  
教化事業に力を盡す考へである停  
學處分は時にやむを得ぬと、事情  
を詳細に説明す

△金基協（洪原）公普校の補助額は僅少でないが私立學校補助如何の英會はどうなつてゐる

△樞原學むくわ長一面

△極原學むくわ長 一面一校の達  
成には充分努力したので繰上げ實  
現は財源關係で出来ぬ、私校は當  
分無理

同も視してゐるので、學術講習會  
 を開催せしめてゐる。現在の私校  
 は百三十五校であるが、常に改善に  
 と努力してゐる。

努力しつゝある殊に本年は必ず巡  
回監督をするとした、私校補助  
は優良なるもの交付をこの

教育會補助は學事視察並に研究方面に支出してゐる、育英會の事業は評議會の決定に依つて行つて

あるので不正等はない

▲米糶桶くん（豊山）豊山郡内の  
 普校は財源難で薪炭費もなく生徒  
 は凍飢に掛かりかつ本年は農村疲  
 弊の爲退學者がある、職員の高敝  
 者を廢し低級者を入れて呉ぬか貧  
 困児童に對して授業料の免除は出  
 來ぬか

△檜原學もくわ長 過日調査した所に依ると高地帯である關ヶ上礫料は豊富であるから十分であるとの回答であつた、高綴器具を低綴な教員にかへると云ふ事は現下の状態から至難であるとの理由を述べ授養料の低下あるひは廢止は現財

以ては實行出來ぬ  
 △金にうまくな（高原） 普校四年  
 修養生の入學が出來ぬ何とか緩和  
 の方法はないか月下授業料減額一  
 萬餘圓と聞くこれか防止として半  
 出來ぬか

△橋原學むくわ長 入學無縁和は  
試験の統一及中學校増設であるが  
増設は一寸困難である、中學校は  
全鮮八十五校の中で十校を有して  
ゐるの現況である學年の延長は一  
面一校實現後にしたい、昨年の退  
學生從調査の結果は千七百名であ  
つて家事の都合によるもの多く貧  
困は僅六百名で一校八名となつて  
ゐる、授業料米稱から浪學を命じ  
た事はない授業料の半減は財源の  
ない限り出来ぬ  
△さい漢ていくん（永興）本道の  
進展は實に著るしく變化を見てゐ

る、  
は如何  
△甘  
庶  
外  
に  
下  
藥  
科  
と  
併  
置  
し  
て

ものと思ふ部長、時勢に適したる  
 以て認むるも下業料設備はさる

富局は考へざるが近く實

村の  
 △議長  
 中へある

學校三十分散會

入學者は内地人に多く、鮮人、朝鮮人、

指導は僅少でないか、  
普修卒業

多く計上する事の出来ぬ事を指導せよ

中堅青年と養成するところにある教育費の一割は、これである。

如何、  
贊成、  
午後五時

# 道評議會終了

## 林道知事の挨拶

十日の會期間も無事に満了しまして、御不満の點もあつたこと、思ふが其點は深く御詫びする、尙會議を進めらるゝに當つては和氣よく、實になごやかな氣分の中に進め全縣に蒙北道評議會の傳統的美風の範を示されたこと、深く敬意を表する次第である、昭和六年度の豫算は膨大なものであるだけに當局の責任も甚々重大なものがあつた、あるが全會で可決賛成された全議の期待に叛かないやう豫算執行に當つてはみなさんの御指導により誠意をもつて努力するつもりである

## 伊藤氏の答辭

十日間に及んだ道評議會も蒙北道未曾有の豫算も何の異議なく全會一致で可決し、實にゆつたりとした和やかな氣分で終始したことは道當局共に御同慶に堪えないがこれは蒙北道評議會の誇るべき傳統としてゆき度い、先年擔任された林知事の經綸、昭和六年度の豫算に充分現はれてゐることは敬服に堪へないと共に今後益々御期待する次第である、尙豫算執行に當つては吾々の希望を考慮された上一層道民の福利増進を實現されることを切に御願ひする次第である

# 一大禍根

## 忠南道廳移轉問題

在東京 朴 春 琴

◆去る二月十六日衆議院豫算科會に於て、忠清南道廳移轉に要する豫算三十五萬九千圓は遂に削除せられた、事の経緯は已に新聞通信の報道に依りて世間周知の事であるから省略する、余は茲に忠清南道廳移轉の是非善惡に就て論議するものではない、即ち當局が移轉の決行を聲明するまでには、新舊兩地の比較考察を行ひ、之れを爲したことが信ずるものである、然るに之れが或一部の策動に依り根本的に其の計畫を覆へされた

ることは、少くも朝鮮統治の將來に一大禍根を貽す結果を招來したことを頗る遺憾とするものである。

◆從來政府當局は、朝鮮に於て内地延長主義を以て臨み、政治國の體制を完備すべく努めて居るが、躁急跋扈、民情に適合しない節多く、ために今時朝鮮の統治は、國家制度の完備よりも寧ろ、總督の自由裁量の範圍に於て民心安定の効果を擧ぐべき建設の工夫を必要とする状態にあるのである

◆然るに總督がその附與された權限に於て、忠清南道廳を公州より大田に移轉すべく決定し而して拓務大臣の承認を得て去月既に之を發表したるを民政黨所屬代議員等は道廳移轉に反對し、移轉費として計上された豫算を削除することによつて移轉を阻止する手段を取つた、豫算面から必要な經費を削除されては道廳の移轉が、總督の專權に屬すとはいへ、之を實行することは出来ない、即ち總督は勅令に依り附與せられたる其職權の行使すら議會に於て阻止されたといふことになつた、而して之を阻止したるは政府の與黨である、斯くて總督が一度發表したる道廳移轉は中止の己む無

きに至つた、總督の威信地に墜ちたといふも強ち失當の言はといへないであらう

◆抑も朝鮮總督の位置は二十萬民衆の社會道德の源であるべく要求されつゝあるのである。寺内、長谷川兩總督の如き、その政治思想に對しては世間の非難を浴びたこともあるけれども、多くその履踐を誤らず、中央政府も亦その施政を支援したために威令克く邊隅に及び、合併直後能く社會の安寧秩序を保ち得たのであつた。而して大正八年三月の廳移轉として民心の變化著しく頗る憂心すべき經過を示したのであつたが、齋藤總督の施政宜しきを得ず其德風は二十萬民の敬仰措かざるところ在任八年民心安定の兆を認めたのであつた。然るに後任山

梨總督の醜態は非に對する民衆が極度の侮蔑は延いて朝鮮總督の名に對する輕侮と成つた、漢口首相が齋藤子爵の再起を懇請したのも這間見るところが有つた、めではあるまいか、果して齋藤總督就任以來、一時失墜せんとした總督の威信も漸く回復し來れる折から、政府與黨のために再び威信を失墜せしめらるゝに至つたのは朝鮮統治上一大禍根を貽すといふ所以である、議に與りし民政黨議員等は斯る憂ふべき結果に墜ちるべきを考察したのであらうか、更に總督の權限を侵害するものであることに對して考察を加へたであらうか。

◆況んや近時表面平靜を裝ひつゝある鮮内の民心も一度その裏面を窺ふ時動もすれば官憲の施設に對して徒らに反抗的氣運を醸成せんとする不良分子の

跳梁日と共に深刻を加へ、統治の前途今尙樂觀を許さざる折柄

これ等の事をも考慮したであらうが、與黨は或はいふであらう

「道廳その事を否決したのでは

ない議會が審議權を有する豫算

を審議するに當り事の不急或は

不必要なるを認めて之を削除し

た」と然らば敢て問ふ「一億餘

千萬圓の豫算面に於て、不急細

くは不必要と認めたのは、唯一

つの道廳移轉費のみであつたか

」と否、果して財政上の理由よ

らのみ此舉に出でたるものでな

いことは公知の事實である、權

限を侵害すべき意圖を敢行した

ものである、眞疑元より不明な

るも道途傳ふる處に依れば與黨

一部に於て某閣僚に對する不信

の聲あり、地元公州民が猛烈な

る反對の氣運を昂め來れる忠清

南道廳移轉問題を提へて其の具

に供せりと聞く、果して事實と

せば私怨を挿みて公器を弄ぶの

類に等しく言語道斷沙汰の限りと云ふべきである

◆——此事一度世上に傳はるや、

吾人二千餘萬の民衆が等しく驚

措くなき老總督に對し、巷間既に

其の進退を云爲し、或は總督恃む

に足らずとの説を流布するものあ

りと聞く、固より豫算審議の體立

法府に屬すとは云へ朝鮮統治の將

來に深き意を用ゐ、總督の職限を

無視して遂にその威信を失墜せし

めて禍根を將來に貽すが如きは、

抑も日韓併合の精神に悖り、蔽じ

て吾人の與し能はざる處である。

政府並に當路者は宜しくこれを匡

救するの責任を回避せざると共に

辭つて今後の處置を講じなくては

ならぬ吾等は姑く事の成行を注視

するに止め、敢て蕪文を草して胸

中の悶々を識者に懇ふる而已

# 黄海道評議會 山 5

## 第三日議事 (二月廿四日午 3. 5)

午後一時三分開會を

△二〇番(延白)金鍾龍くん 土地

政民たる水利組合は全鮮第一位を

占めてゐる状態であるがこれが設

置の土地主は次なる損害を蒙り遂

には被害を蒙る實現事勿論の聲が

高い限に延白郡内に延布水利の既

設組合あり又工事施行中の黄南水

利あり、いづれも一萬餘町歩の家

利區いきを有してゐるが後吉け其

必要を認めずとの下に地主協力之

れが際し生解散の陳情を上計に提出

した事物ありこれ等は當局の調査

と實際の利害關係が合致せざる點

あるが故に斯うる問題が頻々と惹

起するのであるがこれに對する當

局の意見如何尙現在の如き救済下

の等に於て打撃で補代金も支拂

ない状態に達してゐるのである

△秋山參興員 本道現在の水利組

合はいづれも日が浅いのである殊

に組合設置の爲め單に水の使用の

みに止まりず耕作上全般に好影響

を及ぼすのであるがそれが十年乃至

二十年を経過せば茲に利害が一致

するのであると思ふ延布水利組合

の如き相當の收穫を見てゐるので

ある、黄南水利組合に就ては更に

客観を行ふと

△六番(かい州)池貫一くん 水利

組合設置の爲め關險者は實益に

堪へないといふので土地を賣却移

居する悲慘事を示してゐる就中登

記科も提出するから何とかして買

收してくれよと買主から依頼する

この等を聞いて居ります方がよく

わ長の耳に入つて居りませんかこ

れ等内事なる問題とせば夫迄であ

るが實に由々敷問題なりとする

べき質問の矢を放つ一般作は相當

獎勵され居るも將來は主として支

那人の手に依る實現で甚だ遺憾で

ある他に損案があるや、道内の林

業獎勵は非常の進取を認めるか目

用品として費消する製炭を制限さ

れた關係上將來富貴を示してゐる

之等は要するに三井の如き大資本

家の一手に期する關係であるから

厥く獎勵せしめ其の實益を緩和す

る要あり如何

△秋山參興員 買收者は水利に對

する全部の買地を以て買收を請す

るのであるが各材料まで買主より

支拂ふから買收し果よとの噂は聞

いた事はない買收調査研究をして

置ます野榮耕作の獎勵は相當に努

めて居る積りで既に長嶺郡内に實

獎勵する計畫にて夫々調査研究申

△全參興員 製炭業者は此際厥く

獎勵する計畫にて夫々調査研究申

である、三井製炭も年度末から

相當價格まで賣下斷行を行ふ等

ある

△二十番(殷興)池後隆くん 股票

郡内に實施して居る製炭議員買

は將來一技術者として世に立つ考

へをもつて購買して居るも其結果

何等の効果を認めない、郡内の火

田民と稱す五十餘戸あるも現在の

耕作地では生活難を來す狀である

る、これ等も道民の一分子である

から一層農所の必要がある

# 黃海評議會 新 5

## 第七日目 二十朝日

(海州) 黃海道評議會第七日目の  
二月二十八日は午前十時二十分開  
會議長諮問案第二號より同第十一  
號に至る件を附議す

▲李鍾賢君(鳳山) 自動車並に自  
轉車の税額を引上げる意志なき  
や

▲地方課長 ただ今の處引上げの  
意なき

▲閔奎植君(信川) 兒童奨學基  
金に關し質問し、事務課長との問  
に應答あり

▲朴洛相君(長淵) 牛車税の引上  
げは結構である

▲池賢一(海州) 會期も今日限り  
である且時間もありませんから  
議事は成るべく早く進行された  
い

▲金基秀君(載亭) 諮問案第二號  
より第十一號迄の議會を省略し  
これを採決され度い  
議長採決の動議に對し賛否を問ひ  
満場一致可決確定し次で提案第

一號より第八號迄を提示後建議案  
の説明に移つたが此の時通譯を廢  
止する事に決定す建議案第一號よ  
り第十五號に至る全部議場異議な  
く採擇することとなり議長附會を  
宣す開會後八日間變度か波瀾を生  
まんとした貴海道評議會も無事終  
了した本會議に上程した諮問案件  
十一件提示されたる案件八件建議  
されたる案件十四件である

### 諮問案件

- 第一號 昭和六年度黃海道地方費  
歳入歳出豫算の件
- 第二號 昭和六年度黃海道地方費  
恩給特別會計歳入歳出豫算の件
- 第三號 黃海道地方費兒童奨學基  
金特別會計歳入歳出豫算の件
- 第四號 窮民救濟土木事業繼續費  
設定の件
- 第五號 公債に關する件
- 第六號 歳入歳出豫算外義務負擔  
の件
- 第七號 黃海道地方税賦課規則中  
改正の件
- 第八號 黃海道不動産取得税賦課  
規則中改正の件
- 第九號 道立沙里院醫院使用料徴  
收規程設定 件

第十號 黃海道瘰癧瘰癧中病者在居  
所收買規程設定の件

### 提示案件

- 第一號 昭和四年度黃海道地方費  
歳入歳出追加豫算の件
- 第二號 昭和四年度黃海道地方費  
歳入歳出決算の件
- 第三號 昭和四年度黃海道地方費  
恩給特別會計歳入歳出決算の件
- 第四號 昭和四年度黃海道地方費  
兒童奨學基金特別會計歳入歳出  
決算の件
- 第五號 昭和五年度黃海道地方費  
歳入歳出追加豫算の件
- 第六號 昭和五年度黃海道地方費  
歳入歳出追加更正豫算の件
- 第七號 昭和五年度黃海道地方費  
歳入更正豫算の件
- 第八號 昭和五年度黃海道地方費  
歳入歳出追加豫算の件

### 建議案

- 第一號 國稅及地方税等を輕減し  
國民負擔の輕減を圖るの件
- 第二號 地方税課率改正に關する  
件
- 第三號 面廢合斷行の件
- 第四號 窮民救濟土木事業の大部  
分を道の直營とするの件
- 第五號 載寧江上流河川改修の件
- 第六號 載寧江架橋の件
- 第七號 兼二浦港開港促進の件
- 第八號 龍浦に給水設備を爲す  
の件
- 第九號 各郡の畜産司業組合並森  
林組合を郡農會に畜産同業組合  
聯合會並に森林組合聯合會を道  
農會に夫に廢合の件
- 第十號 米穀法を朝鮮にも施行し  
朝鮮米買上斷行の件
- 第十一號 小規模の農業倉庫建設  
の件
- 第十二號 水利組合國庫補助増額

の件

第十三號 水利組合施行方法改善  
の件第十四號 窮民救済砂防事業を本  
道に施行の件議長閉會を宣したる後知事として  
挨拶あり 股票選出洪淳翰君議員中  
の青年長者として謝辭を述べ目出  
度く散會す

## 韓知事閉會の挨拶

終りに臨みて一言挨拶致します八  
日間の期間中各位の御精勵や感  
謝する諸問案に對しては全町原  
案を可決され提案者として感謝  
に不堪各位の御意見は出来る丈  
け實現に努めたいと思ふ尙本會  
の結果地方の聲は道治の爲め有  
益なる點多い私として嬉しく思  
ふ各位の御援助に依り今後共一  
層 努力を拂はむ事を期す

洪淳翰 謝辭

今回の議の議員代表として一  
言挨拶中上る六年の豫算の完成  
は苦心を拂はれた事と思ふ我等  
に於ても此點感謝して居る閣下  
始め參與員各位の御指導に依り  
慎重審議を了したるは百五十萬  
道民の爲喜びに不堪茲に謹で謝  
意を表す

## 會期延長で

## 舌戦が賑ふ

新 朝 6. 3. 6

第九日目に於ける

## 京畿道評議會

京畿道評議會(夕刊續き)

▲韓相龍氏(京城)産業開發には資本と技術が必要であるこの豫算面をみるに甚だ高級者がゐるやうであるかと思へば地方産業技術などは三十圓乃至四十圓位である而してこの薄給で生活が出来るであらうか、技術者の優遇は年々なくなりつゝあるやうに思はれるが本當に生活の安定の出来るやうに優遇しては如何

▲金泰準氏(永登浦)現今農村の不振に鑑み、各農村に消費組合を設置しては如何又色服着用の勵行を今一層はかる事又地方産業技術を優遇する事

等につき質問せしめた意見の開陳に止まり平凡裡に二時三十分議長休憩を宣す

## 再 會

二十四十五分時

▲尹成烈氏(楊平)産業開發上出来得る限り朝鮮人技術を採用しては如何

▲吉田秀次郎氏(仁川)豊作の結果米の貯蔵と云ふ事が盛んになつた米の貯蔵に付米の貯蔵する事が最良の方法であるが米の變質を避ける上に於て充分なる乾燥を奨励しては如何

▲李潤水氏(龍仁)産米の向上を爲るため親の検査を施行して貰ひたい、又本道で奨励してある多摩川の普及栽培に對しては補助を與へて貰ひたい

と述べこれに勸業費を打切り第三款議なし第四款教育費に移る

▲沈圭澤氏(利川)利川郡を始め一般地方普通學校の兒童の成績が非常に悪いこれに對し視學などを派遣して教育の向上教育思想の發達を圖つて貰ひたい

▲韓光鎬氏(水原)初等學校は一面一校計畫になつて年々充實をみつゝあるが高等普通は京城において僅かに二校しかない中等教育の普及徹底を期するため増設しては如何

▲石原慶次郎氏(京城)不況打開策として家内工業の普及發達を圖つて貰ひたい京城には幸ひ職業學校もあり之等と連絡とつて

普及を圖る時は豫期以上の成績を収めはしないか

▲韓相龍氏(京城)女子高等の學級増に對して屢々當局に要望したが未だ實現にをみるに到らない現今の時勢に於ては男子と兩立して女子教育も又頗る必要であるから是非増級を希望する

▲金永澤氏(開城)開城の女子高普生は京城に通學してゐるが開城にも女子高普設置を希望する

此の外教育に對して各議員から寄宿舍改善學生の風紀取締等に對する意見も出でたる後第五款衛生費に移る

▲張弘植氏(京城)醫療機關に對する完全なる施設を全道に願ひたい

▲石原慶次郎氏(京城)癩病患者に對する施設に對してはこの豫算面には何等計上してないがこれに對する施設費を計上しては如何

▲朴箕葵氏(廣州)最近精神病患者が非常に増加して來たがこれに對する施設を完全にして貰ひたい

此の外肥田土氏(京城)より傳染病豫防に對する希望並にその他の議員から衛生に關する二、三の意見希望あつて後第六款異議なく第七款社會救濟費に移る

▲韓光鎬氏(水原)納税は義務であつて納税したからと云つて表

彰する必要がない従つてこれを  
廢止しては如何

▲岡本豊喜君（開城）思想の益々  
惡化せんとする今日、今少し當  
局者は眞剣味を以つて社會教化  
に盡して貰ひたい

▲金永澤氏（開城）風俗の改良生  
活の改善等に對して今少し豫算  
を増加して貰ひたい

此の外各議員から託兒所の設置、  
各郡部に對する夜學の設置、青年  
の禁酒、捨子の防止策、學社會救  
濟につき種々希望出で第八款評議  
會費に入り、それ／＼希望の陳述  
があつたが

▲尹成興氏（揚平）從來の會議の  
日程を今少し延長せしめて三週  
間位にしては如何、これに對し  
ては議員の日當會議費を増加せ  
なければならぬがその費用は  
何とかなると思ふ

と會議日程延長陳述をすれば  
▲沈圭澤氏（利川）私は尹議員の  
會議延長論に大いに反對します  
一日日當十圓宛も貰つてゐるが  
決して十圓位もらつては引合は  
ない、寧ろ短縮しては如何さも  
なくば日當三十圓位としたら如  
何

會議の日程並に日當問題で議場を  
論がせ第九款財産費、第十款地方  
費、牧場費、第十一款雜支出、第十  
二款豫費等に多少の希望出で午  
後五時閉會

# 歳出豫算の

## 一一讀會に入る 朝 6.3.6

### 京畿道評議會

京畿道評議會は前日にひき續き五日午後一時三十分より開議日程により歳出豫算に關する第二讀會を開き

合蒙利地域内に於ける地主の苦痛を緩和する爲めものと當局の研究を要する

金永澤君 (開城) 向水利組合問題について當局の反省を促し今後新設すべき組合は出来るだけ其の數を減じその補助費を既設の分に厚くする本府に對し要請せられたし

韓光鎬君 (水原) 勸業獎勵の實績を擧げる區の區長を有給に

してほしい

朴箕煥君 (廣州) 勸業指導に當りて人員の配置を合理的ならしめよ

李鳳烈君 (高陽) 穀物検査に當りその手續を簡易にする意思なきや又又検査の日が一定してゐるので甚だ不便である

沈圭澤君 (利川) 朝鮮服裝は白衣洗濯などに苛性ソーダを使用し甚だ不經濟だから色物を變換する意味で紡績事業に對する補助を徹底せしめよ

岡本豊喜君 (開城) 水利組

當考慮せられたしとて各道の漁獲向と水産補助率とを擧げ大いに水産獎勵の爲め當局を勧奨する所があつた

韓相龍君 (京城) 産業開發に於ける技術員の使命は極めて重大であるからこれに對して優遇の途を講ぜられたし斯くの如くんば即ち技術員を養成する當局の方針と違反する事となりはせぬか

金泰準君 (京城) 糧食費一千六十五圓の減少は寧ろ輕きに失するから更に減少して之れを糧食の獎勵に當てたい農村に消費組合を設置して支出の輕減を計れ農村技術者の生活安定を講ぜよ又検査手数料の撤廢が困難なれば出来るだけ販路擴張を行ひて其の價格の調節を計り農家の收入を増加せよかくて二時三十分休憩

河野竹之助君 (仁川) 水産準備に對する補助獎勵が不徹底である道内の水産魚獲高は百五十萬圓に達し市民重要なる事業である漁業組合に對する補助なども極めて少額である産業開發上に於ける水産業は相當重大なる地位を占めてゐる、依つて水産技術師一名を二名乃至三名に増員されたし又指導船に對する補助も他道に比し少額である京畿道當局は極めて水産獎勵に對し冷淡である殊に水産業は他の勸業事業と異なり其の結果は直接的で直ちに効果は現はれて來る即ち明後年度の豫算に於いて相

# 慶南評議會

6

第二日目(三月四日) 3.

(釜山) 慶南道評議會第二日は四

日午後一時振鈴合圖に道廳會議室

において開會されたるが出席議員

三十一名(缺席二名)にて開議日

程として第一號諮問案中土木費全

部歳出經部第一款土木費九三、

三〇二圓歳出臨時部第一款土木費

一三三四、七五八圓全部第六款第

一項土木補助費一一八、六一七圓

同部第六款第七項航路補助費三、

五〇〇圓同部第八款土木費總額費

本年度支出額一、〇八五、〇〇〇

圓第八號乃至第十號第十三號乃至

第十九號諮問案を一括して上提さ

れ第一議會に入り質問職の火蓋を

切られた

▲盧俊泳君(咸陽) 救民救濟事業

として膨大なる豫算を計上してお

らるゝが救民とは如何なる程度の

人を以て救民とするか又その制當

を見るに洛東江沿岸と釜山のみに

限られてゐるやうであるが此の理

由如何救助を要する人は道内の八

割を占めてゐると思ふが何故道内

一般に救濟事業を起さぬか

▲竹内内務部長(番外) 救民とは

働く力があるが仕事がない従つて

衣食住に困る程度を指してゐる道

内に偏頗なる救濟事業ではない道

内一般に救濟事業を起してゐる洛

東江の架橋は從來慶南道は東西に

亘りてこれに遮斷され交通を遮断

され従つて交通不便物資運搬至難

であるから架橋によつて此の障害

を除き併せて馬山、昌原から奥地

の開拓に努めるゆゑである

▲崔演國君(泗川) 洛東江の架橋

より道内等外道路を完全にするは

道内一般の救民事業になりはすま

いか

▲竹内内務部長 昨日説明申し上げ

げたことをよく御きになればそ

ういふ質問は出まいと思ふ

と突つ破なし

▲金化壽君(東萊) 鄭錦德君(山

清) 質問せしも要領を得ず

▲上田土木課長 洛東江の架橋に

よつて得る運賃その他製産品の増

加利益につき數字的克明に説明し

架橋問題の必要なるを力説する

▲迫間房太郎君(釜山) 交通と言

ひ産業と言ひ他道より本道は遅れ

し感があつたが本年度の豫算を見

て御當局の御苦心の結果その目

的を達し得ることが出来たと

依つて本豫算は意義なく賛成した

いと原案支持に努む

▲李章喜君(晉州) 救民救濟事業

は海に厚く山間に薄くはないか

南江切落しもこんな際決行したら

と思ふ

とくどくしい長談氣に議論やや

ダレ氣味となる

▲竹内々務部長 先般より再三御答

へした様に片よりたる事業はした

い南江切落しと救濟事業とは何等

の關係もなし

▲守谷利助君(蔚山) 發言を求め

て原案を支持し議事進行を圖る

▲金練君(宜寧) 何か質問すれど

徹底せず議長たまり兼ねて午後

二時五分休憩を宣す午後三時再會

▲盧俊泳君(咸陽) 救濟事業は表

文閣ばかりを立派にして奥地方放

てきしてゐるではないか洛東江架

橋の理由は今少しわかる様説明さ

れたし

▲竹内々務部長 洛東江架橋は奥

地を開拓するが爲めに架橋するの

であつて先般上田土木課長よりも

数字的説明のあつた様にすべての點から緊急施設と考へたからである決して表立關のみを飾るわけではない

▲坂田文吉君（釜山） 港政政策に就いて根本より説き起し、地を開發するを誘致するはまづ港灣を完全すべきものなりと前提して土木費中救済事業として繼續したる計畫は誠に結構であるがその償還方法は五ヶ年据え置き十五ヶ年間に均等償還との事であるが道當局においてははその財源に確信あり然してこれに依つて道路網の完成を圖るいやもし繼續してやらるゝとすればその方針如何

▲上田土木課長 本道の交通政策については昭和三年五百萬圓の豫算で向ふ十二ヶ年計畫をたてたのであるが道路改修は四百四十九ヶ年を目標とし三、四、五の過去三ヶ年において八十四ヶ年を完成し更に今回の救済事業で向ふ三ヶ年間に二百十九ヶ年を工し残りの百九十五ヶ年には昭和九年度以降に順次施工し道路網の完成を期したいと思ふなほ橋梁にありては三百七十七ヶ所中過去三ヶ年に九十六

ヶ所を竣工し本年度より向ふ三ヶ年間に百三十ヶ所を仕上げ残り百七十八ヶ所は九年度以降にやりた方針であるが今回の救済事業で六ヶ年間の仕事を三ヶ年に成しとげ償還方法に就いてはこれ等の竣工によつて受けるもので財源については現在の状態から見て充分の自信がある

▲金慶鎮君（昌原） 發言を求め如何にも大質問するらしく大見解を切つたが論旨四離離で他の議員よりヤメル簡單／＼お前の話は聞かぬなどの罵倒を受け遂に金平賀君のためにおさへ付けられに残念さうに引つ込み笑聲冷笑トツと場面に張り活氣立ちし折柄

▲坂田文吉君（釜山） 先般の説明によつて大體了承しましたがたゞここに杞憂する此の三ヶ年間に救済事業をやると従事した労働者が習得づけられて三ヶ年以後によつてお困りになりはしないか更に釜山の道路について補助額が年々減つてゐるが道としての御考へ方は如何と釜山の道路費補助についてそれだけの氣を吐き

▲竹内々務部長 救済事業三ヶ年以後における労働化はないと思ふが考慮はするまだ釜山の道路費補助

助の件は道としては決して輕視してゐるわけではなく下水その他の施設についても出来得る限り盡しておると思ふ

▲金化壽（東萊） 李章喜（泗川） 李鉉覺（感安）の諸君交質問すれども恰拙論にて物にならず議論情氣漫々私語盛んである

▲金丸源一君（統營） 洛東に架橋問題が議論の中心であるようであるがこれは救済救済が目的なるや經濟問題が目的なるかまた太閤堀掘工事及び太閤堀海底工事は緊急なる施設であると大氣焔を擧げたるより議論や緊張を示し各議員就つて發言を求め起立して腰をおろすものもない

▲河駿錫君（昌寧） 土木事業を施行する上において請負事業となすや如何また労働者は道當局で思つておらるゝ程實際に撒布されてゐないと思ふが一人當り幾ら位か又請負工事の下請負は弊害あると思ふが如何

▲竹内々務部長 下請負は認めておらぬ労働者は一人當り六十二錢見當であるなほ請負者については充分調査してやる

▲金慶鎮氏（昌原） 土木費の第一設備を終了したを動議提出し賛成者ありて成立直ちに議長は起立に問ひたるに大多數にて尠大なる土木費の第一設備は終り午後五時二十分散會した

洛東、南旨、兩橋架設問題

徹頭徹尾議論の中心となる

坂田新議員(釜山)獅子吼す

土木費第一讀會を打ち切る

慶南道評議會(四日の續き)

釜山  
6. 3. 6

## 廿三番 金化 諸君 (東)

窮民救済事業を施行するとは誠に結構であるが、工事費に其の利益の大部分を占められはせぬ

## 竹内々務部長

商賈である以上多少の利益をかうむらねば立ち行かぬ然し、工事に對する勞銀はその勞働に従事する者に散布されるのである

## 三番 鄭錦德君 (南)

緊急の間ありと前提し窮民救済事業は山間へき地の未開地方を開發すべきにある、洛東、南百兩橋の如き一地方に偏した施設をやめ而の負擔にかゝる、南百兩路等を改修しては如何、又らく東、南百兩橋で何程の利益となるや

## 廿八番 迫間房太郎君 (釜山)

本員は豫算の總體に就て意見を述べたいとて本道昭和六年度の豫算は六百萬圓に近いほう大なるものが計上されたとは誠に驚きに堪へぬ之れ丈の豫算が計上せられたとは當局の權力は容易でなかつたことと思ふ、本道は三百年前から内地人が移住してゐた歴史を有する釜山を控へてゐる然るに抑はらず道内の産業交通等に卒つては他道に比して遅れてゐる體があるのである幸ひ本豫算を見るに極めて密で而も各種の事業が現はれてゐる、先刻から救済事業に付らく東、南百の架橋反對が唱へられてゐるがこれ等は既に今日

までに實現を見てゐなくてはならぬものである従つて各議員も本豫算に満足し適度な態度をもつて審議されたい——と議場緩和の意見を述べ

## 竹内々務部長

三番議員の救済事業が一地方にのみ偏してゐるとの事であるも決して左様でなく山間に對しても道路改修も相當あり水利計畫もあり當局としてはらく東、南百のみを考へてゐるものではなく道全體の大局を考へてゐるものである又、外道路を改修してゐると云ふことも之れは三ヶ年五百萬圓の一、二、三等道路に對し本府より補助が交付され窮民救済事業として計畫されたもので等外道路に對しては補助がないのである然し、外道路改修といへども昨年より増進となつてゐるものである

## 上田土木課長

らく東、南百の架橋反對の意見は三萬四千五百七十七圓更にその上五十一萬圓の生計増加の見込である南百も亦同様相當の利益あり

## 五番 金練君 (宜寧)

らく東、南百兩橋建設に感謝するが臨時第一款土木費第四項の土木貸付金百九十九萬二千圓を地方費が他の公共體に貸つけることは矛盾してゐると思ふ、斯様な金があれば他に地方費でやる仕事はいくらでもある殊に釜山、韓城、道路、渡津橋及哈爾濱等に九十二萬三千圓、同南港防砂堤築造に十四萬一千九百圓を貸つけその上又第六款

補助費の第四項上水道費補助で釜山に二萬圓を補助してゐるが自體の力で出来得るものに對し斯様な補助の必要はないと思ふとて暗に地方集權主義を攻撃する時に午後二時四十五分議長は休憩を宣す、同三時再會

### 十二番 盧俊泳君（咸陽）

（）洛東江橋に七十五萬圓も投じ架設して左様な利益があるや又窮民救済も洛東江附近にのみ片寄り従つて之に従事する窮民も數が不足して他道の如く支那苦力を使役するやうなことになる道内の救済とはならず又先關先のみ飾つても何等奥地の開發とはならぬ一面橋上の用地も含まれての結果と云はれるが整備の爲ならば何れも地費を架設する必要なく國でやるべきものではないか

### 竹内々務部長

休憩前に

御質問の五番議員に對しお答へする貸付金は地方費のもつてゐる金を貸付るものではなく貸付金の七

割五分低利融通を受けて事業費に貸付るのである次に十二番議員へ洛東橋實現のあかつきこれがかうくると利益は前刻土木課長より述べた額は單に一ヶ年間のもので橋は永久的であるから利益もこれに應じて永久に幾百倍ともなるのである又釜山のみを飾る施設では決してなく洛東、南首兩橋共に奥地開發が目的である今や農民は非常に困却してゐるがそれは生産のみを考へ販賣を顧みない一方で生産他方で之れが販賣しなくては立行くべきものでない故にその販賣を有利にするには先づ道路交通の開發が先決であつて架橋の必要を認むと懇切に答辯するこの時今まで沈もくを守つてゐた

### 世二番 坂田文吉君（釜山）

突如發言を求めた今十二番、十六番議員等の説を拜聴するに今回の施設が釜山の玄關のみをかざると云はれるが本議員は

# 釜山に居住する

## 一人として

### 御参考までに

一言述べたいと思ふと前提し

開港及び奥地の生産を開発するに  
は吾々は地圖に依つて常に考へて  
ゐるものであるがとて先づ吾々の言  
を引用して三ヶ條の港灣價値を述  
べ港灣はその昔奥地に向つて交  
通至便なるを要し奥地は又良港灣  
を控へて初めて開發されるもので  
あつて奥地と港灣は兩々相俟つべ  
きものである、朝鮮に於ける生産  
はいはゆる未だ初期時代である、然  
るに本員が常にその故を拂つてゐ  
る十二番、十六番議員の説では奥  
地のかい發を先決とされてゐるや  
うであるが先づ港灣施設を行つて  
後奥地の發達を圖るとが願しよと  
ある長い海岸を有する本道は釜山  
のみでなく良港さへあれば須へか  
らく施設を爲し以て奥地の開發を  
爲すべきであつて釜山のみ施設を  
希望するものでない——と論曰  
然と一矢をむくい次いで當局に  
質問すると窮て救済事業は貧  
民の救済が第一義であつて工事施  
行は第二であるから工事其ものは

十分救済の實を擧げなくてはなら  
ぬが夫には從來施行の形式をかへ  
て救済すべきで之れに對する當局  
の計畫如何次に道路橋りよりの  
改修は最初の十二ヶ年計畫を窮民  
救済の爲三ヶ年に短縮したかその  
三ヶ年間で十二ヶ年計畫であつた  
一、二、三等道路が完成するやあ  
るひは又た一部完成のものである  
るか又昭和九年後はどうであるか  
もう一つは救済事業には道路橋れ  
う、砂防等の事業を選んだが從來  
財源なくしてやりたくもやれなか  
つたが財源を得て他に出来る事業  
はなかつたであらうかどうか、更  
に今一つ起債償還につき五年すゑ  
置十五ヶ年均等償還となつてゐる  
が道の償還期は來た時支障なき  
かと質問しこれに對し

### 上田土木課長

道路計畫

と三年後の現在に從來の五萬圓  
十二ヶ年計畫を三ヶ年に短縮した  
が道路延長四百九十九町を昭和三  
四、五の三ヶ年で今日八十四キロ

五を施行し更に今後三ヶ年間は二百十九キロを完成する豫定で橋りようは初め四百十七ヶ所の豫定が三ヶ年に二百卅九ヶ所をやり百七十八ヶ所残ることになる要するに九年度後にも相当残されるけれども明年度以降三ヶ年間の事業は十二ヶ年計畫中の六ヶ年分が出来るはずである次に土木費としての純地方費は昭和五年度は五十万八千圓であつたがこれを將來財政に納化なき限り繼續計上して行けると思ふが同七八年度は別個經濟と假定して九年度には道路橋れうを別にし其他は五年度同様にやり臨時的に起る事業を九年度卅七万九千圓として十年度には卅三万八千圓で最少となりその後は又増加する、數濟計畫が道路橋れう以外になかつたかとの質問に對し本救濟事業は地方に財源あり十分償還出来る性質をえらんで決定したものである

のであり又道路橋れうに就いては一、二、三等道路で從來産業の開發に伴はぬ觀あるものを一舉に完成し地方事業は上水道等相當財源を得、償還出来且つ多年希望のあつたものをするにしよう

地方課長 起償償還に就いて色々に區別されてゐるのは償還補助が道路橋れう、河川、砂防に對し本府補助で地方費の純負擔は約十萬圓と補助一萬圓計十一萬圓のみであつて將來償還に對しては何等心配はない

議長 たゞ今時間四時であるが更に時間を延長したいとはかり續行す

#### 九番金斗賢君(昌寧)

洛東道に南浦橋梁設の必要の判らぬものがあるやうである窮民救濟事業の外にこの橋が出来るのであつて一般救濟事業資金から經費が出てゐるのではない橋だけ餘分であるから揮つて賛成すべきであると力説す

#### 世二番坂田文吉君(釜山)

三年の救濟事業はよいがこれに依つて從事する人夫は習慣付られ窮民化しはせぬかと注意を抱くものであるが如何と問更に道路改修に對して釜山府は市内の一、二等道路に對し苦しい財源をさいて年々二万八千圓をつぎ込んでゐる内地では一、二等道路は縣知事が管理しみづから改修してゐる朝鮮はこれを府に移管して道より六千五百圓の補助で府に改修せしめてゐるが釜山府民は道の典拠改修の痛苦痛をしのんで沈もくしてゐるが

# 昭和五年以後 府内道路改修

の意志はなきや

竹内々務部長

救済事業

人々が窮乏化するやうな憂ひは  
ない之れに従事する労働者には労働  
中から毎日五錢以上を貯金せしめ  
生活の安定方法を講ずる方針をた  
てゝある道路補助が少いとのお説  
であるが釜山には外に下水其の他  
相当多額の補助を出してゐる

廿四番金丸源一君(統

籌)

緊縮政策の中央政府が朝鮮  
に對し數千萬圓の救済資金を融通  
したことは感謝すると共にその割  
當に就ても本府は慎重に考へたも  
のと思ふ、らく東、南目の兩橋が  
先刻來屢問題となつてゐるがこ  
れは窮民救済が重であるか、又經  
済的からなるか、尙統籌の太こう  
堀は釜山を中心に西航路の幹線に  
當りそのからむる利益は統籌でな  
く近接せる澗川、南海其の他であ  
る、今回の救済は農村を主として  
あるが寧ろ漁民救済が必要である  
昨年來魚價暴落に加へ不漁が續き  
實に悲惨なる状態にある現在道内  
の漁民は専業が五萬、半農半漁五  
萬計十万人でその漁獲物は本道生  
産物の首位である然るに豫算面に

その救済が計上されざるは甚だ遺  
憾とする處である

竹内々務部長

洛東橋は

經濟救済兩々概まつて計畫した漁

村救済云々はたゞ今土木費の第一  
調査であるから勸業費に於てお答  
へするとあつさり答へ終つて二、  
三議員から更にらく東、南目橋  
反對説があり一番議員李安寛君(成  
安)の如きは交通政策で得たも  
のは何かあるか交通機關が發達し  
産業の開發が出来る程窮民が殖た  
又交通發達する程山間の利益は郡  
會にしぼられる七十五萬圓も投し  
てらく東江に橋をかける必要なし  
斯様に交通政策は寧ろやめたがよ  
い——と極端な消極論さへ出てな  
かく議論はつきさうになく見へ  
たか

十九番金慶鎮(昌殿)

議員より勸業として既に質問も大  
體つきたやうだから土木費第一議  
會を丁二二議會に移したいと提出  
したに對し議長は只今の勸業成立  
により採決するとして賛否を起立に  
問ひ過半数の賛成によつて第一議  
會を打ちきつた次いで本日はこれ  
を以て終り明日は午後一時より開  
會その日程は勸業費並ひに建設費  
の全部と第十二號議案補助工事費  
を繼續事業と爲し其の年期及支出  
方法を定むるの件を議題に供する  
旨をのべて附會を宣した時に午後  
五時十分

# 前日に引續き

## 土木費に關する

### 第二讀會に入る

#### 慶南道評議會(五日)

前日の土、第一讀會に於て終始洛東並びに南日兩橋架設に反對し賑はつた慶南道評議會の第三日は五日午後一時振鈴を合圖に議長開會を宣すると共に昨日々程を報告しておいた處九番議員外五名より土木費に關する全部の第二讀會を開く日程變更に動議が出てゐるから動議成立とし認めておけかりすると述べるや十二番ろ俊泳君(咸陽)日程變更に異議ありと發言を求め反對意見を述べ之れに對し九番金斗贊君(昌寧)動議提出者として之れを反駁したが議長は結局動議に就き採決するとて起立に問ひ多數決として動議成立、前日に引續き土木費に關する全部の第二讀會に入る旨を宣す

十四番金泰鎬君(馬山)私は馬山選出議員であるが昨日來各員の説に依るといづれも我地方のみの我田水説を唱へてゐるやうである、殊に洛東、南日兩橋釜山南港防砂堤、統營太閤掘寺につき反對意見があつたがこれ等は道大局より見る時は夫だけ新施設が出来ると譯であつて等しく各員の満足の意を表すべきである、又窮民救濟事業に對しても輿地に薄く海港に厚いと云ふことも港灣施設は出来得る限り完全にして置かなければ一朝災害に遭遇するや莫大なる損害を蒙るのみでなく人命にも係はるものである、故に慶南道全股の議員として審議されたい原案賛成説を述べ

九番金斗贊君(昌寧)議事進行に就いて本年の窮民救濟事業の道路橋れう其の他の各部に於けるものを報告されたら如何

廿一番崔羽泳君(南海)道内窮民二萬五千名あることは先刻承つたが土木費豫算案に依る

と金山、統營、密陽、三千浦、晋州、洛東、南首方嶺のみに施行されてゐるやうに現はれてゐるが其の他各部は如何

#### 竹内内務部長

本道の救済事業の外に東海岸道路及洛東江の本府改修工事等で数箇の道が講ぜられてゐる、即ち地方費外の鐵道で卅萬圓近く東改修で八十九萬數千圓、本利組合で五年度認可六年度施行又六年度認可等て百餘萬圓が勞働費として散布されるのである

#### 土木課長

九審議員にお答へする救済事業三ヶ年間概要を述べると道路改修二百卅一萬圓の仕事

中施行路線は三浪津馬山線一部、全州晋州線、太邱統營線、晋州三千浦線、居昌々寧線、釜山靈山線、線鎮海下嶺線、密陽靈山線、咸安漆原線、泗川署より車線、河東潭城線、忠州宜寧線、晋州陝川線等の何づれも重要經濟路線を主眼

としてやるものこの計廿一線に達してゐる、次ぎに橋りよりは一等道路四ヶ所、二等道路五十三ヶ所、三等道路七十六ヶ所、合計百三ヶ所の橋を改良し又噴きよでは二百七十六ヶ所、間改修も相當あり、前本は九萬六千五百三本を植栽し外に道路標識を建設する豫定である

#### 廿六番孫興君

(密陽) 道の内の道路は各道に比して不良であると指摘し更に請負制度の缺陷につきこれを廃止して直營とせよと意見を述べたに對し

#### 上田土木課長

本道路の路面の悪いことは認めてゐる、然しこれを改良する程の地方費經費はないのである現在施行しつゝある請負工事の指名入さつを廢して道の直營とすることはそのかん督

其の他遠隔の地の工事には非常な經費を要し従つて現在の制度に依るの外はないが然し本道の指名入札はや、理想的であると思ふ、本

道には内地方面から入りくるものあるひは奥地で失敗し内地に歸る途、中本道へ足を止め一旅擧げんとするもの又は氣候風土良好の爲に入りくる請負人の數は非常に多數に上つてゐて道全體では五十人を越へてゐるのである假りにこれ等全部を指名するとせば本道一ヶ年の土木請負經費約五十萬圓であるから一人當り僅々一萬圓内外であるが今道指名の請負人は十七八名で之れに對し五十萬圓を請負はしめる時は三萬圓となり之れを一割儲けたとしても三千圓に過ぎず之れを以て二ヶ年の生活をやつて行く有様であるが本道としてはこの請負人につき人給と成績の如何を常に考へ一ヶ年中の成績に依つて指名の枚數を増減してゐるのである他道に比し幾分完全な方法であることを信じてゐる

(午後二時十五分記)

# 洛東江架橋問題で 議場彌が上に緊張

道評議會第二日、定款渡邊知事開會を宣し日程に入り、本日の議案土木係豫算を一括して上程。

盧君 咸陽 議事進行のため日程を第一號諸問案より順次にすべきである、と抗議的勸議を提出したが。

議長 「道評議會々議規則」第五條により議長の權限で決定した」と一蹴。

盧君 窮民救濟事業に甚大豫算が組まれて議員として感謝に堪へない、然しながら大工事は釜山、龜浦、南旨と偏つて全道に渉る多數の窮民をどうするか何故釜山、洛東江と一部のみに救濟工事を施行しやうとするか理由を聴きたい。

竹内内務部長 當局の解釋



では窮民とは努力はあつてもこれを振り當てる仕事のない者を云ふのでこの工事によつて餘つた勞力を消化しそれによつて生活安定せしめるので、又洛東沿岸のみに窮民救濟事業をなすのではなく、山間地帯では百萬圓の砂防工事をなし、一二二三等道路の改修其他があり一方鐵道局では東海岸線に約三十萬圓を投ち又奥地では水利組合で散布す、銀が約百四萬圓の見込である、之を普通的に按配した、決して洛東江沿岸のみに偏してはゐない、なほ木工事は現在洛東江一つのため交通の便を缺き物資の交換も困難で慶南

の商圏が狭まかつたのでこれを除くために缺くことの出来な工事である。

金君(東萊) 窮民救濟事業は企業者を救済する工事である企業者に利益を斷断されるものであると考へるが當局の意見は如何

竹内内務部長 請負者と云へども損をして道工事は請負はせいでらうと考へる、幾つか利益は見えるが、窮民は勞働に依つて生活安定するのであるから、企業者は勞銀返取損はないから斷断されるとは考へられない、然し請負工事と直營工事との御質問ならば別にお答へする。

追問君 (釜山) 慶南は他道に比し道路橋梁が完備してゐない朝鮮でもつとも早く開けた慶南として今迄に爲してゐればならぬ物ばかりで六年度豫算を拜見して誠に嬉ばしい、それ故本救濟工事の會議については慎重を旨としたい」と希望をのべ

金君(馬山) 本道に於ては多額の工事を府郡に貸付される様であるがこれを直接道の工事で一萬圓の貸付をなしてゐる様なことをせず、他の緊急工事に使用されたい。

と例を述べつひに農學校の件に及んで議長より注意し十五分間の休憩を宣した三時再開。

坂田君(釜山) 一、今度の工事は窮民救濟工事であるから救濟を主体とし之を第一義としなければならぬのであると思ふ故に從來の工事施行方法以外に救民の本意義を徹底せしめる施行方法でありたいと思ふが當局の意見は二、四年度より十二ヶ年計畫のものを六年度に於て三ヶ年

上田土木課長 道路は九年度で二一九キロ完成し一九五キロ残る又橋梁は現在迄九六箇所仕上、三ヶ年に於て一〇三箇所

完成の筈であるから一一ヶ所残るので完成ではない、なほ窮民救濟事業は國庫補助を受ける工事に制限されてゐるためこの工事で以外に流用されない。

金慶鎮君(金海) 洛東橋架橋工事は釜山を中心としたものであるとの説がある、然しながら釜山は物資の集散地であつて現在では釜山から釜山迄人が行くにも十二度乗物を換えねばならぬ、この時間と手数を省き品物等ならば破損を防ぐことが出来るのであつて、この交通の完成によつて興は發展するの

で釜山のみのためではないと思ふ。なほ洛東橋に就き述べる内、四時になり議長から時間延長可否を提議し可決して再び金慶鎮君は續けると終らぬ内に金東贊君が發言を求め出し満場哄笑、金慶鎮君は「之で打切ります」と清席したが次に

金斗贊君 洛東江架橋の利益に就いては議員の内では知らない人が多いと思ふ」と冒頭し洛東江橋架橋の利益と地元民の輿論を説く。

阪田君 先刻のお答へによつて大略了解した、然し現在の窮民が三ヶ年間の繼續事業に於て純労働者化して救民事業完成後は失業になるの慮れはないかと思ふ、なほ府の道路は財源が管理してゐるが、財源の家屋税は年々増加してゐる之れに反して

道路工事の補助は年々減少する  
のは何故か理由をうかがひたい

**竹内部長** 事業完成後労働化  
すといふ杞憂に對しては當局で  
も憂慮して一日五錢以上の貯金  
をせしめ救済工事完了後資本と  
して生活の安定を計らしめる考  
へである、なほ第 質問に對し  
て府には上水道下水其他種々な  
工事があり道路に限らないため  
自然少くなるので一方に厚く一  
方に薄い譯ではない

**李鉉覺君(咸安)** 『道路政  
策』反對である奥地は交通の發達  
によつて利益が都會に擲られる  
と長々と資本主義説明の脱線をな  
し

**崔演國君(泗川)** しきりに  
議事進行について發言を求めた  
が議長よりたしなめられ

**李章喜君(晉州)** 奥地を弟都  
會及港灣を兄貴として利害關係  
をのべる

**河駿錫君(昌寧)** 救済事業の  
工事施工に當つて從來は請負に  
なつてゐるが請負はその工事を  
下請に委託して利益が二重に取  
られるため今迄人夫は五十錢位  
の賃金しか當らぬと思ふが之に  
對し當局はどんな方針か

**竹内部長** 今度の工事は大き  
いため直營工事にするるとすれば  
人件費が多額に上るため從來通  
りするより外ない、又下請を許

可  
ると二三重の利益を取ら  
れる處れがあると云はれるが之  
に對 當局は下請を認めない、然  
して勞銀は土木工事に於て並人  
夫七〇錢、砂防工事に於て六十  
二錢見當と見てゐる  
金庫鐵石の掘りに第一讀會を終了  
午後五時十五分開會した

## 諸問案

道評議會第二日の諸問案左の通り  
第八號 道路橋梁改良工事費を  
繼續費となし其の年別及支出方

法を定むるの件  
第九號 洛果嶺の一部及南旨橋  
架設工事費を繼續費となし其の  
年別及支出方法を定むるの件  
第十號 繼續費 閘欄掘 工事  
費の繼續年別及支出方法變更の  
件  
第十一號 溫泉川改修工事費を  
繼續費となし其の年別及支出方  
法を定むるの件  
第十二號 砂防工事費を繼續費  
となし其の年別及支出方法を定  
むるの件  
第十三號 釜山府南港防砂堤及  
防波牆岸工事費に對し道地方費  
より補助をなすの件

第十四號 大聖堀海底道路工事  
費に對し道地 費より補助をな  
すの件  
第十五號 密陽面上水道工事費  
に對し道地 方費より補助をなす  
の件  
第十六號 三千浦面上水道工事  
費に對し道地方費より補助をな  
すの件  
第十七號 固城面上水道工事費  
に對し道地方費補助の件  
第十八號 南面上水道工事費に  
對し道 費補助の件  
第十九號 晉州面下水工事費に  
對し道地方費より補助をなすの  
件

# 黄海道評議會 第二日議事 (二月廿四日午後續き)

▲二十席(載夢)金基秀くん  
▲議事録を約めてあるはずで  
▲議長(實録)は御覽通りで

▲二十席(載夢)金基秀くん  
▲議事録を約めてあるはずで  
▲議長(實録)は御覽通りで  
▲二十席(載夢)金基秀くん  
▲議事録を約めてあるはずで  
▲議長(實録)は御覽通りで  
▲二十席(載夢)金基秀くん  
▲議事録を約めてあるはずで  
▲議長(實録)は御覽通りで

▲二十席(載夢)金基秀くん  
▲議事録を約めてあるはずで  
▲議長(實録)は御覽通りで  
▲二十席(載夢)金基秀くん  
▲議事録を約めてあるはずで  
▲議長(實録)は御覽通りで  
▲二十席(載夢)金基秀くん  
▲議事録を約めてあるはずで  
▲議長(實録)は御覽通りで

▲二十席(載夢)金基秀くん  
▲議事録を約めてあるはずで  
▲議長(實録)は御覽通りで  
▲二十席(載夢)金基秀くん  
▲議事録を約めてあるはずで  
▲議長(實録)は御覽通りで  
▲二十席(載夢)金基秀くん  
▲議事録を約めてあるはずで  
▲議長(實録)は御覽通りで

## 黄海道評議會雜觀

▲會場、意見、希望等混同して第

一、二議會、拒して審議する感か  
ある▲偶(地方)から来た評議員連  
は年來の(審議)を拒したいたいのであ  
るから無埒もないはず▲しかし一  
議員の(審議)が約一時間にわたつた  
ので一議員はいわく會期を空に延  
長する(審議)を提議した▲地方  
から上直した議員に十二分(審議)さ  
せたいのは最もであるが適當の期  
に於て打ちきり議事進行を計る認  
長の(審議)▲參與員中の新顔は(大  
河)原(審議)部長と(興村)審議部長の兩人  
答(審議)振り付けたして如何▲(審議)問題  
の(審議)に對し(興村)審議部長の(審議)は(審  
議)が立つた(審議)に明瞭なもので(審議)  
參與員中一番の(審議)を博されてる

# 咸南道評議會山

## 第六日の議事 (廿六日午前)

6. 3.

咸南道評議會第六日は午前十時三十分開會議長は本日議出の全郡並に咸人の全部を議了したと思ふから各位は簡明に質問されたいとて本日日程咸州經濟第五款臨時部第五款の各衛生費並に衛生費補助に對し第一讀會に入る可を宣う然して丹下警察部長より大要の説明ありて質問に入る

△さい 鍾律くん(新興) 一昨年度立院内に傳染病十餘名發生せる由であるが其原因如何

△丹下警察部長 道立醫院職員が他より感染し來つたものと思ふ故に當局としては何ともできぬ

△さい 鍾律くん(新興) 傳染病の分布状況如何

分佈状況如何

△杉田衛生くわ長 目下立院は百三十六名である他道に比し決して少い事はない缺點は衛生で補つてゐる今後は現地開業醫の増加を圖る方針である

△さい 鍾律くん(新興) 今日吾々の人命を衛生にまかせる事は甚だ危険である醫學講習所でも設置してはどうか

△丹下警察部長 講習所の設置は相當研究の餘地あり未だ考へて居らぬ

△さい 漢貞くん(永興) 咸興、惠山鎮の二ヶ所は道立醫院で惠まれてゐる他の地方は惠まれてゐない當局は此邊を所と考へるか

△杉田衛生くわ長 咸興、惠山鎮を除く他の地方は巡回診療と駐在所に救急箱を設置して治療を期してゐる

△さい 漢貞くん(永興) 救急箱を駐在所に配置してあると云うがまだ地方では知らぬ道立醫院に多額の經費してゐながら治療入院患者は死に場所と云つてゐる普通人院患者も開業醫に比較して不親切と云つてゐる

△丹下警察部長 道立醫院は國庫補助と病院収入で經營してゐる入院患者取扱ひは注意せしめる

△金基協くん(洪原) 本道の現状から見れば傳染病予防費は僅少でないか惠山道立醫院補助は高價でないか今少し人口の多い所におく必要はないか

△杉田衛生くわ長 傳染病予防費

に就ては制限外の支出をしてもらふ位に努めてゐるが面等からは通牒を發しても要求し來らぬ各位から奮勵されたい醫院關分佈状況から惠山鎮に醫院をおいたのである尙財源あれば他にもおきたい

△さい 漢貞くん(永興) 巡回診療の人員では安心出來ぬ其病名轉歸を承りたい

△杉田衛生くわ長 巡回診療は地方病並に保健狀況を調査し適切なる措置を取るべくするのである

△杉田多市くん(元山) 元山、モルヒネ患者の實況に就き其内容は如何共同井戸補助の使途如何

△杉田衛生くわ長 モルヒネ患者は五十七名である本年は元山、咸興の二ヶ所で治療する考へである地方に井戸掘き望者あり適當のものに補助する

△杉田多市くん(元山) 前年度の支出状況如何

出状況如何

△杉田衛生くわ長 昨年度は咸州郡外八ヶ所に支出する

△沈亨燮くん(端川) 社會事業費四百餘圓同懇談會費五百餘圓は僅少でないか端川事件に對し警察當局は解散に口寄せ發砲二十餘名の死者を出してゐる之れ等に對する適當な方策ありや

△丹下警察部長 社會事業費の僅少は遺憾である各意の御留意と俟つて万全を期したい端川事件は目下豫審中に付答辭は控へる

△沈亨燮くん(端川) 現在道評議員は二十五名なるに二十六名の豫算計上は何故か

△山本地方くわ長 咸興府制實施に伴ふ増員を見込んだのである

△林昌虎くん(長津) 咸興府實施に伴ふ増員と云はれるが何故に任命せぬか

△甘庶内務部長 未だ内地の如き規定なく現行制度で如何とも出來ぬ

△林昌虎くん(長津) 然らば現在二十五名であるから一名分修正すべきであらう

△甘しよ内務部長 昭和六年度豫算である故に元咸興郡選出議員が自發的辭任した場合を考慮し計上したのである

△さい 漢貞くん(永興) 地方費に於ける人件費は増加してゐる現内閣の方針に普及せぬか人員に就いても増員してゐる減員は出來ぬか

△甘しよ内務部長 人件費は經常部に於て四千三百九十四圓を減して新規事業の増員は已むを得ぬ

△南百祐くん(元山) 質問を打ちきつてはどうかと勸誘す、議長賛否を起立に問ひ多數にて議出臨時部及臨時の全部一讀會を終る時に午後〇時十分

# 忠南道評議會

## 諮問事項と提示事項

山 6

(公州)三月三日午前十時より忠南道評議會が道評議會場に於て開かれた、劉知事挨拶に引續き内務部長の説明あり終つて午後二時十五分赤井賢兒氏より秘密會議の動議出で過半数を以て動議成立し秘密裏に道廳移轉問題を議した模様であるがし問及指示事項は左の如くである

### 諮問事項

- △諮問第一號 昭和六年度忠清南道地方費歳入歳出豫算
- △諮問第二號 昭和六年度忠清南道地方費烈給特別會計歳入歳出豫算

- △諮問第三號 昭和六年度忠清南道地方費兒童奨學資金特別會計歳入歳出豫算
- △諮問第四號 自昭和六年度至昭和八年度忠清南道地方費土木費繼續年期及支出方法
- △諮問第五號 自昭和六年度至昭和八年度忠清南道地方費土木費繼續年期及支出方法
- △諮問第六號 自昭和六年度至昭和七年度忠清南道地方費土木費繼續年期及支出方法
- △諮問第七號 自昭和六年度至昭和八年度忠清南道地方費勸業費繼續年期及支出方法
- △諮問第八號 忠清南道地方費起債に關する件

- △諮問第九號 忠清南道地方費歳入歳出豫算外義務負擔を爲すの件
- △諮問第十號 忠清南道不動產取得税ふくむ規則中改正の件

### 提示事項

- △提示第一號 昭和四年度忠清南道地方費歳入歳出追加豫算
- △提示第二號 昭和四年度忠清南道地方費烈給特別會計歳入歳出追加更正豫算

- 追加更正豫算
- △提示第三號 昭和四年度忠清南道地方費及特別會計歳入歳出決算
- △提示第四號 昭和五年度忠清南道地方費歳入歳出追加豫算
- △提示第五號 昭和五年度忠清南道地方費歳入歳出追加更正豫算
- △提示第六號 昭和五年度忠清南道地方費歳入歳出追加更正豫算

# 二讀會に入

6. 3. 1

## 京畿道評議會

京畿道評議會は前日に召集され六日定刻より一時開会もわけて午後二時二十分開會長矢野竹之助君を紹介し矢野氏目席より挨拶すれば拍手起る、日程に基き歳出入に關する第二讀議を開く

權爾玉君(金浦) 金浦附近に於ける道路が甚だよろしくないから等外道路を三等道路に昇格せしめよ

河野竹之助君(仁川) 京仁道路の完備は極めて緊急である、今や京仁は經濟の中心となり東京横濱間大阪神戸間にも比較する状態となつてゐる殊に對支貿易上に於ける仁川港の使命を完ふせしむる爲めには單に鐵道便のみならず道路の改良も急務であると思ふから京城永登浦間の國費道路を仁川まで不急延長されたし

## 名勝舊蹟保存方

石原議員より意見書提出

京城を中心とする道内各地に於ける名勝舊蹟は歴史的に相當重要な価値を有するに拘らずその維持保存については既に國庫補助金の一部をさいて之れを姑息的に修理する位の程度に止まり甚だしく放任されてゐるのでかくては折角の歴史的名勝舊蹟たるものも漸次荒廢の止むなきに至り、憂ひたしとしない所、現に目下關聯中の京畿道評議會に於て石原議員からこの問題に關し當局に對し勸告を提出する

## 豫算案

改正案

教育費補助に私立學校に對する補助金の増額については道評議會に於ても多數議員の要望を以て、既に關連とされたが、豫算案に於ても多數議員の要望を以て、土木費補助費中道路費、補助費から二千圓道路品評議會補助費から二千圓夫々減じて之を教育費に補助中私立學校に對する補助費を三校に四千圓、私立普通學校設備費に補助費六千圓合計一萬圓を増加した

## 道評議提出の意見書

六日の京畿道評議會に左の條件を關する意見書が提出された

- 一、戸税の免除額及賦課低減の件
- 一、金泰進君(始興)外二十九名
- 一、民生産業調査手数料全廢の件
- 一、金泰進君(始興)外二十八名
- 一、京畿道南北地方に中等學校又は實業學校設置要望の件
- 一、朴爾乘君(安城)外二十三名
- 一、窮民救濟事業施行に關する件
- 一、韓光錫君(永原)外十八名
- 一、部落單位の農産小組合設置の獎勵の件
- 一、肥塚正太君(京城)外十八名

修正案で大紛糾

撤回して漸く一段落 京 6. 3.

六日午後の道評議會

『夕刊つゞき』

▲河野竹之助氏（仁川）京仁道路

はあだかも大飯、神戸間、東京  
横濱間道路に相當する幸ひ窮民  
救済事業、京城、永登浦間は十  
五間道路となるが永登浦、仁川  
間も經濟上忽せに出来ないから  
早く改修に着手して貰ひたい  
▲洪淳達氏（加平）京城、加平間  
は二等道路であるが一等道路に  
してはしい

その他地方道路につき二、三の希  
望を述べ林魯宣氏（麗州）よりも  
同様の希望を附陳  
▲沈圭澤氏（利川）河川費をもう  
少し増額してやつて貰いたい  
▲韓光錫氏（水原）水害復舊費千  
圓は少い、これでは水害に便の  
多い水道では焼石に水だ

▲金永澤氏（開城）肥料奨勵は刻  
下の急務だからこれに費用をか  
けて戴きたい  
▲朴弼秉氏（安城）商工業の補助  
を増して奨勵につとめられたし

▲黃天祐氏（江華）第一高普の運  
動場が狭い體育に力を入れるな  
ら官舎の建築などは後廻しにし  
て擴張して貰いたい

▲金直深（坡州）初等學校教員  
の待遇をよくせよ。地方の教員  
はこれ天職と心得て兒童の教  
育は勿論農作物の改善等、いろ  
／＼のことを指導し農村開發に  
頗る功績がある優遇するが至當  
と考へる

つゞいて沈圭澤氏より教育、衛生  
消防の費援助につき増額されたし

と『簡單々々』の聲をうけつゝ

▲韓萬熙氏 私は審議に入る前に  
修正案を緊急勸議として修正案  
を提出します。その理由は第一  
議會において私立普通學校に金  
二千圓の補助は少なすぎると貴  
問したところ内務部長より言外  
に財源さへあればまだ増額して  
もよいといふ意味の御答辯があ  
つた。

と開會前折衝の修正案をいよく  
提出し臨時補助費第一項土木費  
補助より四千圓を減じ、これを第  
四項私立學校補助二千圓に繰入れ

▲古城菅堂氏（京城）補助費につ  
いては何の補助にせよみな足り  
ないとの御意見が多いが、同じ  
補助でも緩急よろしきを得てさ  
れてゐるものと思ふが、一ツの補  
助に對し餘り多くの補助を注ぐ  
ことはどうかと思ふ、假りにこ  
の修正案を當局に出しても當局  
で果して御採用になるかどうか  
分らないから決議的なものとし  
て出さずこの修正案も穏やかに  
希望として出したらどうかと考  
へる

と修正案に反對的な説を述べ、更  
にこの修正案に對し當局は如何な  
る御意向を持つやと尋ねる

▲矢島内務部長 補助費は財源さ  
へあればもつとやりたいと思ふ  
大體私立普通學校は現に二十校  
あり内五校は財團法人の經營で  
ある一校戸國平均の補助は奨勵  
の意味であるが、一方道路補助  
は先年道路十年計畫をたてた際  
等外道路の改修に對し將來補助  
を増してやるといふ意志をやつ

三分再會、劈頭韓相龍氏立ちて懇  
談會の成行につき内務部長初め關  
係者の誠意により兩者歩みより成  
り、當局も勿論私立普通學校の補  
助はもつとやりたい意向は充分あ  
るのであるから修正提案者も之を  
諒として撤回されたいと調停者と  
して先づ一言述べれば邊議議長は  
『撤回されたのは結構であつた  
六年度は如何とも出来がたいか  
七年度には諸君の意のあること  
を充分參酌する』

と聲明し

と聲明し

と聲明し

と聲明し

と聲明し

▲韓萬熙氏 提案者として六年度に出来なかつたことは遺憾であつたが、當局も御誠意を披瀝されたので修正案は撤回した。これに満場異議なくこゝに紛糾を來した修正問題も圓満に解決して第二讀會を續行関大植氏（京城）らより各種補助費増額方の希望出で更に朴弼秉氏（安城）より治水および下水費補助減額は補助で仕事してゐるものには困るから來年から増額せられたしと望み更に韓相龍氏より學校に對する補助は充分に考へて戴きたいと簡單に意見開陳し午後六時散會した、なほ本月には和田一郎氏（新田）によつて新たに議員となつた矢鍋永三郎氏が初めて出席した。今七日は修正案で遅延したため午前十時から開會すると

# 緊急動議で

## 一と波瀾

異常に緊張せる

新 朝

6. 3. 7

### 京畿道評議會

京畿道評議會第十日目は、  
地方費經常臨時費歳入出  
全般に亘る第二議會に入る開會に  
先だちて

△韓萬卿氏（京城） 私立普通學  
校二十校に對しての補助一校に  
對して百圓宛の割合は過少に過  
ぎ私立學校も一般社會が認めた  
教育機關である以上今少し補助  
を増額して充實せしめる事は最  
も必要であり且又緊急を要する  
問題である

と教育費修正案を提出しその他各  
議員よりも意見を出し議場は異常  
の緊張を示し開會定刻より遅れる  
事一時間二十分二時三十分開會前  
日に川續き臨時部第一款土木費よ  
り意見開陳に入つたが結局教育費  
土木費に對する右の修正案が本日  
提出される事となつたが又實業學  
校設置要望に對する意見書その他  
意見書が提出された

#### 第八款 補助費 修正案

項目	本年度 豫算額	前年度 豫算額	比 増減
一、土木費補助	一三、九五五	二、七六六	三、二八九
一、道路費補助	七、五三七	六、一三三	一、四〇四
四、道路品評會 費補助	一、五〇〇	一、〇〇〇	五〇〇
四、教育費補助	一〇三、一〇六	一〇三、七六六	六六〇
四、私立學校補助	一〇〇	六〇〇	五〇〇
備考 普隣商業學校外三校補助	四、千圓		
時補助六千圓			

# 意見書

一、京畿道南部地方に中等學校又は實業學校設置要望の件  
 本道の教育行政は當局の方針宜しきを得初等普通學校の一面一校、中等學校の擴張其の施設着々進展せられつゝあることは屬實に堪えざる所なるも中等學校の分布動もすれば京城に集中する傾向あるが故に他地方（特に道境に位置する郡部）の道民子弟等は現下朝鮮人の經濟狀況に鑑み到底之が恩恵に浴するを得ず誠に同情すべき現状にあるは甚だ遺憾につき人口相當稠密にして又交通も便利なる京畿道南部地方に小規模なるものなりとも中等學校又は實業學校を建設せられ附近にある將來中堅國民たるべき青年子弟教育に遺憾なからしめられたし  
 右に就ては年々要望し來りたるが未だ實地に至らず之が經費に道地方費の財源不足の場合には關係地方民に於て一部負擔を爲す道なり

右朝鮮道地方費令第十二條に依り意見書提出候也

昭和六年三月五日

京畿道評議員朴弼秉、金泰集、朴魯賓、李潤永、李義榮、洪源承、黃祐天、朴元用、韓光鎬、

金直孝、權爾玉、沈圭澤、金允福、朴箕應、尹成熙、金然宸、張植、趙漢風、李鳳烈、韓萬淵、韓鼎錫、徐丙賦、肥塚正太、金永澤

二時三十分開會前日に引續く道地方費歳入出經常に全般に亘る意見の陳述ありをへて臨時に移り  
 第一款土木費、第二款勸業費、第三款授産費、第四款教育費、第五款衛生費、第六款消防費、第七款財産費  
 等以下各項目に亘り各議員より多少の意見が出たが大體において異議なく一氣呵成に

第八款補助費

に移つたが韓萬淵議員に依つて教育補助費修正案に對する緊急動議提出の爲め俄然議場は道議會はじまつて以來未曾有の大波瀾を惹き起した金直孝（坡州）沈圭澤（開城）、李鳳烈（高陽）諸氏の質問あつて  
 ▲韓萬淵氏（京城）私は此の問題に入る前動議した修正案に對して今此處で緊急動議を提出します第一議會に於て私立學校補助

費中餘りに少ないから今少し増加しては如何と質問した所學務課長は財源の關係上一蹴されたが財源は道路補助費中から四千圓を削減して私立學校補助費中に加へて貰ひたい現在の就學兒童の狀態をみるに就學せんとする兒童は學校に於て學ばんとし殺到してゐる有様であるが併し之を收容する丈の學校がなく従つてこれを收容せしめるには私立學校に今少し補助を増加しこれを完備せしめて兒童の幾分でも收容されたい  
 と教育費修正案に對する説明を爲し張植氏（京城）賛成意見を述べ更に

▲古城管堂氏（京城）私立學校補助には賛成するがこれが按排宜敷を得ることが必要である只一人私立學校のみに三倍を増額せよと云はれるがこれは不公平でこの修正案には遺憾ながら同意する事は出来ない  
 と反對意見をのべたが俄然議場はこれがため開會以來未曾有の緊張味を示した

▲矢島内務部長 補助費には段階がある京城には私立校二十校を有してゐるか何れも皆有力な財團法人によつて組織せられてゐる當局としてこれに補助を出し

てゐるは、對有斐の意味で出しているのである。等外道路費に補助を増額したのは、三等道路並に等外道路等地方開發に資する非常に緊急なる意味に於ける補助を道路費に提出してゐるのである。つてその修正案には當局としては應じかねる。

と一蹴し、韓萬熙氏再び意見を述べんとしたが、此の險惡なる空氣をみて取つた議長は、休憩を宜するからその間よく懇談を遂げられたし。

と休憩を宜すれば、韓萬熙氏外修正賛成議員議長の措置に對し、糾弾し空氣益々險惡化せんとする時、内務部長より

議長の言ひ残しをお傳へします。各議員の方は議長室に御集りを願ひます。

斯くて議員一同は議長室に赴く。

## 秘密會に入る

斯くて階下議長室にて數刻に亘つて秘密會議が行はれたが、教育補助費修正案の運命は如何、時に午後四時二十分、秘密會議は一時間と五分異常の緊要裡に五時二十五分再開。

▲韓相龍氏(京城) 先刻七番議

議の結果、同問題に對して双方の意見が一致を見た事は誠に喜ぶべき事である。同懇談に於て當面でも今年に於ては致し方ないが、來年度から出來得る限り多額の補助を出して、これが充實をはかる事に意見の一致を見、これに對して當局の説明があれば、提案者側に於て今回は先づ修正案撤回しても差しつかへないとの事で、當局の御意見説明を希望する。

▲議長 只今韓相龍議員からお話があつたやうに、双方の意見に一致を見た事は誠に喜ばしい事である。私立學校の補助の増額は最早今年に如何ともしがたいが、來年度からは出來得る限り多額の補助を計上して、萬足を與へる方針である。

と説明し、次いで

▲韓萬熙氏(京城) 私は修正案提出者の一人として、意見を述べ、今懇談の結果、双方の意見合致をみた事は喜ぶべき次第である。今年度に於ては修正案を實行出來ないのは頗る遺憾であるが、只今の御説明通り來年度から相當考慮するといふのであるから、修正案は撤回致します。

道評議會開設以來未曾有の波瀾を豫想された修正案も、參與員の了解運動を奏して遂に圓滿解決を告げた議長は更に會議の延長を宣し

▲金永澤氏(開城) 今日財界不況打開策として、且又窮民救済として家庭工業の發達を計つては如何

▲姜錫祥氏(富川) 産業費豫算をみると前年度に比して六百八十餘圓の減少を示してゐるが、農村不振の今日、これは當を得ないと思ふ。又土地改良費の補助を削減しても一日も早く一面一校の完成に努めて貰ひたい。

▲韓萬熙氏(京城) 京城の普通學校に於ける入學難は地方のそれに比し非常に深刻で、そこに當局は留意して來年度に於て増校を計るか又は入學難の緩和策を講じて貰ひたい。

この外補助費各項目に亘つて各議員から意見が出したが、颯風一過、頗る平穩裡に午後六時五分議長散會を宣す。七日は午前十時から前日の引續き開會。

# 北海道評議會山

## 第四日議事 (二月廿五日午前)

午前十時十分議長開會を宣す

▲二四番(貴州)鹽坂秀一くん

農務當局に於ては新聞其他に於て

實地内は今簡冊に餘裕あり云

々の宣傳あり無論水利組合の設置

等が發達されるも谷山平野の如

き實に二萬五千町歩の開拓地あり

これ等は地理的又付土質等の關係

で至難と云ふも本道として一日も

早くこれが開拓は要と思ふが長

算前に何等の計上ありませんん

局の意見如何

▲秋山松興貴 御註の通當局に於

ても重要視してゐるが該社は地理

的又は土質の關係上開拓は非常

巨費を要するので種々研究の結果

本府植付が有利なりと認めこれを

獎勵してゐる又一面に於ては採

に適切ではないかと懸念したけれ

試験費として二百餘圓を計上した

次第であります

▲二八番(ほう山)李鍾燾くん

産業振興策として當局は常に農村

啓蒙に勵んでゐることは十分

認めて居りますか農業倉庫の設置

は生産地を中心とされてゐるがこ

れ等は各地に不均建設し始めて農

村振興となるのであります、補助

は要合に依つて配る弊害あり一種

フローカの爲めに濫用される傾き

あり當局は餘程考慮を要します、

授産費の建築に一八、二四圓を

計上し尙かつ繼續事業とされてゐ

る様だが建築物の損壞其他は何で

もなないから本核算を削減農村振興

方面に充當されては如何ですか

▲泉崎内務部長 米價調節のため

國が農業倉庫を必要とする暇も

あるが差當り其以前に於いてこれ

が建設の必要ありとの下に本府の

補助に依り一ヶ所を設置するに至

つたか之れを以て差して備せな

いのであるが本年度は豫算削減上

已むを得ません、補助金は如何

については道當局に於ても餘程熟

慮斷行して居ります、いづれにし

ても農村振興の目的を達するには

双方協力せらるゝて始めて萬全を期

するのであります、農倉庫設置所

養蠶取締所の建築費を減せよと

の算出でしたか之等は養蠶獎勵の

根據地であるから出來得る式建て

物の完備を必要とする點から計上

した次第であります取て正午休憩

全北道議員一同

道廳移轉賛成陳情

釜山

總理大臣を初め要路へ

全國五十餘新聞へ掲載方依頼

6. 3. 7

(全州)忠清南道移轉費創除に因  
を發し全羅北道評議員は去二月  
二十二日六年度全羅北道豫算審議  
會の爲め休會當日全州博多屋樓上  
大廣間に議員一同集合他人の出入  
を禁し忠清南道移轉費を衆議院  
に於て創除せる問題は金額や忠清  
道の一郡個々の問題で無く又豫  
總督やこ玉政務總監に對する問題  
でもない將來朝鮮統治上の問題に  
して朝鮮二千百餘萬の住民は衆議  
院又は貴族院に直接連絡なくたゞ  
總督の施政に言及するの外なく然  
るに總督の聲明せる事項を衆議院  
に於て而も與黨代議士より之れを  
創除せられたるは總督の威信を傷  
つゝのみならず朝鮮住民に對し一  
層不安の念を深ふせしめたるは遺  
憾である朝鮮總督の上より幾分  
増減せられるはやむを得ずとする  
も忠清南道移轉は公州住民に對し  
ては各道に共同情に堪へざるも大  
勢上總督は充分考慮の上聲明せら  
れたる事項を特に目して創除せら  
れたるは誠に遺憾の極みである朝  
鮮は内地とは全然事情異りを有に  
も抑はらず衆議院に於て充分考慮  
なく創除せるは當然にして國民に  
大なる惡影響を及ぼすものである  
全羅北道評議員は全員一致以て  
創除復活に努める事を申合せた

本日神山の磯部、光富兩氏を始め  
榎里板井、全州山本、淳昌、金英  
武、林鳳周、南鳳金、井邑村  
碩圭、高做金相高の九氏こもく  
憤激の熱氣を揮ひ此後の對策に就  
いて委員を選擧し委員に全州山  
本悦藏、榎里板井信藏、神山光富  
嘉八、高做金相高、淳昌金英武の

五氏に決定し四時間にあたる重要  
協議した委員は直に陳情書を作製  
し三月三日迄に道評議員全員二  
十四名の署名押印済みの上四日左  
記通り發送と同時に打電し全國  
五十餘社の新聞紙へも本文同様  
転載依頼した

## 陳情書

昭和六年一月七日朝鮮總督の聲  
明せる忠せい南道廳の移轉は拓  
務省の同意を経政府亦之れを認  
め其經費一豫算に計上せられた  
るに不指衆議院に於て創除せら  
れたるは總督の威信を傷つくる  
のみならず將來朝鮮の民心を不  
安ならしめ一層とう治の困難を  
來すの虞れあり朝鮮は民意をだ  
い表するの機關なく一に總督の  
施政に信賴するの外なし然るに  
總督の決定せる聲明事項を恣に  
阻止せらるゝは實に朝鮮二千萬  
民の憂慮に堪へざる處なりこひ  
ねがわくは忠せい南道廳の移轉  
に就ては特に閣下の御覽慮煩  
度立に全羅北道々評議員一致  
を以て請面及陳情候也  
昭和六年二月二十七日  
全羅北道々評議員一同  
右は總理大臣拓務大臣衆議院議長  
貴族院議長其他

## 陳情書

昭和六年一月七日朝鮮總督に於  
て聲明されたる忠せい南道廳の移  
轉は拓務省の同意を経て既に政  
府に於ても之れ認められ其費用  
を昭和六年度豫算に計上せられ  
たるに不指朝鮮統治の如何な  
るものか辨へざる一部論者の  
說聽衆議院に於て之れを創  
除されたるは將來朝鮮統治上  
響く處甚からざるものなる  
憂ふ故に朝鮮總督に最善の方

を設けて盡く聲明せられたる處  
により速く所信を敢行されんこ  
とをこひねがふ  
右陳情候也

全羅北道々評議員一同  
右は齋藤總督、兒玉政務總かん宛  
のこと

尙總理大臣、拓務大臣、衆議院  
議長、貴族院議長宛其他

打電文左記の通り

朝鮮總督の決定聲明せる道廳移  
轉費 衆議院に於て創除せられ  
たるは朝鮮とう治上大なる影響  
を生ずるものと信じ之れが復活  
をき望して止まず特に閣下の御  
考慮をこひねがふ

全羅北道々評議員一同

# 忠南道評議會

禮山成議員が

## 養蠶家の救済と

### 初等教育を論難

忠南道評議會第三十六目の五日は午前十時頃ともなれば議席に大凡顔がふ新聞記者席に村尾議員の顔が見へる丸山議員の挨拶がある金甲淳議員の皮肉も聞へる十分過刻知事がこゝ暖爐の傍に現れる

丸山議員と機嫌の好

さそう皮肉のなやうな挨拶が交換される十五分振鈴と共に着席

劉議長 開議を宣し諮問案第一號より第三號まで一括して議題に供す

丸山虎之助君(公州) 一昨日豫算案を上程する以前に於て本道評議會は決議案を上程されたこれに對して欠席した議員が不服を云ふのではないがこ

は道治上の重大問題である然るに何が故に秘密會議を以て議事を進行したか總督府は明るい政治を行ふことを信條とする帝國の政治も明るい政治を目標とする然るにこの重大問題を何故闇から闇に葬るのか

大見得をきる劉議長の注意があつたが耳にも入れず同二十分私はこれから東上するとして退席

成元慶君(禮山) 朝鮮米が内地に壓倒的に移入されるので色々と制限に就て施設が行けれ内地にては二百萬石三百萬石を買上げて居る外に各府縣に於ても夫れ對策を講じて居る朝鮮にても對策

を講じて欲しい。繭は一年の一千三百五十圓、昨年の秋は六百圓迄暴落、現在も七百圓と出ない云ふので養蠶家は甚敷き疲弊困難の極、年々愛撫せ、桑田を堀り起して麥を蒔と云ふ状態である、今日尙百萬石計畫に邁進することが出来るか最も合理的に生産を改善し、良質の繭を得る方法を講じて貰ひたい

とて極力養蠶家の救済を叫び初等教育施設を移し

初等教育の各施設は整つたが其目的物が生活困難の爲め教育を受ける事が出来なない状態である一面、一校の校舍建築は寄附、俟つて居るので一萬圓の豫定寄附が一千圓しか集まらぬと云ふやうな疲弊困難の情態であるのに豫算案は根本に觸れず從來通りを踏襲してあるのは情けない次第である根本的解決策はないが水利組合は地主の採算上有利であらねばならぬのに不利であつても官權を以て設立を強要する様な事を耳にすると如何

とて水利組合の不成績を痛激し十一時所論を終るや

劉議長 朝鮮語に通譯を求め更に鮮語を以て反復す

高武内務部長 之に答へ二番議員(成君)より熱

誠然ゆるが如き質問があつたが之は全鮮の問題であらう帝國全體の問題であらう道當局もこれに就て出来るだけの努力は捧げて居る米價對策は何とかして米價を調節して憐れな農民を救済したいと苦心したが力の及ばなかつたのは遺憾とする目下小作に關する慣習制度を研究中であるからこれが出

來上つたならば幾分の改善は出來やうと思ふ水利組合の救済は現物に組合費を納付せしめ全鮮でも成績のよい倉庫に預り値上りを俟つて處分決濟の方途も講じた尙長項里の利用等も幾分の効果を擧げ得るものと思つて居る

蠶糸價の暴落は非常に心配して居るが大勢には抗し難い朝鮮としては耕地の餘りがあり勞力の餘りもあるのだからこれを利用することゝ思ふて居る尙養蠶の科學的研究には今後本府に於ても力を入れられることになつて居る蠶種桑苗の代金は出來るだけ下げたいと思つて居るが二番議員の希望のやうに半額に下げることが六つかしいが養蠶家の救済には生産費の節約が先決問題であるから蠶種に桑苗の代金を下げ餘剩勞力の利用と云ふことに依つて不十分ながら對策として水利組合は困難の問題で五割程の國庫補助を仰ぎたい理想で努力はして居るのであるが豫算の關係もあつて實行が出來ない

時に正午議長休憩を宣す（中村特派員發信）

中心満南道

明年度施政方針

山 7

道評議會の席上

知事演述の概要

(前略) 今次の道評議會在於各位の御審議をわすらはさむとする案件は、昭和六年度地方費一般費計豫算の外全部で十件で外に道地方費令施行規則第四十一條の二に依り提示致します事件は、道地方費令第十一條但し書に依り處理したる事件五件及昭和四年度決算三件であります、いつも御手元に配付の通でありますから、御調査により十分御諒承のことと存せられますが、し問案中最も重要と認むべき昭和六年度道地方費一般費計豫算の大綱に付申し述べたいと思ひます、既に各位の御承知の通り府は多年の懸案たる金の輸出解禁を断行し中央及地方の財政を整理し公私經濟の繁榮を圖り國民經濟の基礎を鞏固ならしめんことに努められつゝあるのであります、時局に鑑みるも當然のことと存せらるゝのであります、従つて本道地方費豫算に於きましても、前年度以て國策に因應することに致して居ります、昭和六年度豫算も亦此の方針に則り

極力緊縮

の方針をと

り物價下落に徴し物件費の低減を計りたるのみならず人件費にても特殊の事情を除くものゝ外は一齊その増加を抑制し豫算の編成をしたのであります、殊に本年度豫算は歳入に於て大田醫院の収入等の如き中には増額したものもありま

すが一般と通じ非常に地方費の純入が減額してゐるので、純地方費を財源とする歳出豫算は勢ひ緊縮せざるべからざる實情にあるのであります、尙近時山農山村の疲弊甚だしき折柄なるべく道民の負担も軽減せしむるは時宜の措置と認め新税を起すか又は税率を増すが如きことは絕對に之れを避け、昨年車輛貼及穀物検査手数料の減額又は減額を爲したるに拘はらず本年亦不動産取得税賦課起則中の一部を修正することとし約一萬二千圓餘の減額を行つたのであります、而しながら現下の情勢に照らしまして窮民救済事業の如き、又教育、産業、土木、衛生等、いやくも道民の福利増進の上に眞に緊急難、べからざるものは之れを

を取捨選擇の上あるひは經費の節約に依つて生ずる剩餘金、あるひは其他の特殊財源の考究等により

まするの外新たに起債を爲し之れが實施を企圖致しましたのであります、以上の結果昭和六年度地方費一般費計豫算は歳入總額合計

百八十四萬四千二百三十六圓、臨時部合計三百三十七萬八千二百八

圓、歳入總計五百二十二萬二千四

百四十四圓で其の前年度豫算に比

し臨時部で三萬七百五十八圓を減

じ臨時部で二百九十萬七千六百五

十圓をまし歳入總計で二百八十七

萬六千八百九十二圓を増し又歳出

にては經常部合計九十九萬九千五

十五圓、臨時部合計四百二十二萬

三千三百八十九圓總計五百二十二

萬一千四百四十四圓で其の前年度

窮民救済

事業であり

まず、窮民救済事業と致しましては土木費及副業費で更にこれを工種別に總工費を申せば土木費では

一、二、三等路改良費百四十萬圓  
 錦江下流改修費四百八十五萬圓、  
 美湖川下流改修費六十三萬圓、錦  
 江大平里附近護岸工事費四萬圓、  
 勸業費では砂防工事費で四十二万  
 圓であります、右の内錦江大平里  
 附近の護岸工事は昭和六年度以降  
 二ケ年、其の他はいづれも昭和六  
 年度以降三ケ年の繼續事業で本年  
 度の支出額合計は二百四十五萬圓  
 であります、財源は道路改良費は  
 一部道地方費の捻出額を充當し錦  
 江及美湖川下流の改修費は總工費  
 の二割を錦江大平里附近護岸費は  
 五割を、本工事施行に依り利益を  
 うくる公共團體の負擔金とし、其  
 の他は全部公債及借入れ金に依る  
 の計畫であります、尚以上の各工  
 費に對しては錦江大平里附近護岸  
 工事費は五割、道路改良費は六割  
 其の他は全部入割國庫補助がある  
 のであります、以上の外尙本道の  
 窮民救濟事業と致しましては公州  
 邑下水道工事費十五萬圓太田邑上  
 水道工事費三十五萬圓、論山面上  
 水道工事費十七萬圓であります、  
 是亦何れも昭和六年度以降三ケ年  
 の繼續事業で國庫補助もあり道地  
 方費よりも一部補助することに致  
 して居りますが、共に此の道地方

費の補助額を控除したるの残額の  
 約七割五分に相當する額は道地方  
 費に於て公債に發行し當該邑面に  
 貸付することにして居ります、此  
 の道地方費が公債又は借入金を書  
 し更に下級團體に貸付することに  
 付ましては前に御説明申しました  
 錦江及美湖川下流改修及錦江大平  
 里附近護岸工事費に對する負擔金  
 に對しましても同様の方法をとつ  
 てあるのであります、右は事業の  
 性質上なるべく低利の金を融通す  
 る上に於て大藏省庚金部の資金を  
 運用する場合は同規則に（國債、  
 地方債又は健康保險組合債の應募  
 引受又は買入れ）とありて道地方  
 費ならば資金の融通を受得るので  
 あります、が邑面又は其の他の

### 公共團體

にては之れ  
 が融通を受得られないので斯る方  
 法を講じたのであります

盧君(咸陽)痛烈な質問

輕く受流す鮮かな議長

報 民 3. 7

慶南道評議會(第三日)

三日目(五日)の道評議會は出席者卅名缺席者卅名(釜山)裴君(昌原)下君(陝川)三名、第三日本日日程勸業費臨時第一讀の所開會に先だち金斗贊君(昌寧)の提議により第一號諮問案土木經費臨時費全部及第八號第十一號及第十三號第一九號諮問案の第二讀會に變更せられたいと、李鎔年君(固城)權稷君(梁山)守谷利助君(蔚山)吳德相君(蔚山)金泰鎬君(蔚山)が賛成を得て意見書を提出したので開會勢頭動議を擧り意見書提出者たる金君(昌寧)説明をした後賛否を起立に問ひ二十名の賛成者を得て本日午後二時の續き、土木經費第二讀會に決定

州居陽線、靈山陸原線、南海清涼線、咸陽安義線其他で二十一線橋梁は一等道路四ヶ所三等道路十三ヶ所二等道路二十三ヶ所合計一〇三ヶ所一部改良二百七十六ヶ所其他並木植栽九三、六二三本道路標識三萬六千本の豫定である

守谷君 蔚山)昨日も提議の出たことであるが、救済工事施工に當つて從來通り之を請負師に委すと云ふのは現在これらの工事場に使役される人夫が人夫賃を受取る票を受けても工事の下請乃至金業者及御用商人の手に依らなければ賃金が受取れないため、仕方がないそれ等が販賣する日用品乃至は宿泊所を利用する何等自分の手に残るものはない様に搾取される現況であるが之に對して意見は

竹内部長 當局でも之の點を重大視して、救済事業の本旨を徹底せしめることに努力するたため目下内規として下請を認めず人夫賃の支拂状況も加へて指名人を決定することになつてゐる

李鎔年君 固城)道路橋梁の土木に付いては他の質問に依つて略諒解したが港灣の修築に於て他に港灣の諸工事があるのに何故固城郡に於ける固城灣橋樑工事の修築をしなかつた理由をうかがひたい

竹内部長 私自身としても固城を視察し橋樑の必要な事は承知してゐるが固城に於ては人道上の問題である上水道の施設が急務と思つたから橋樑工事は繰延べたのである

金斗贊君(昌寧)提により

第三讀會を終了する事に決し三十分議長第二讀會の閉會と十分間の休憩を宣す

歳出

- 勸業費(經常部) 四〇〇、二九七圓
一、種苗場費 二六、六六三圓
二、土地改良費 一七、一二五圓
三、植範林費 一五、二七三圓
四、穀物及以検査費 九七、二五五圓
五、蠶業取締所費 一、四九五圓
六、物産陳列所費 一四、二〇六圓
七、測候所費 一一、一五一圓
八、水産試験費 二七、一四二圓
九、勸業諸費 一七九、九八八圓
授産費(經常部) 五七、一五三圓
一、蠶業技術自費 三三、六六二圓
二、原蠶種製造所費 圓一三、〇二四
三、女子蠶業講習所費 五、八九五圓
四、機業傳習所費 四、五七二圓
勸業費(臨時部) 一四九、八〇〇圓
一、林業講習費 一一、三一〇圓
二、砂防監視費 六、〇〇〇圓
三、土地改良費 一、四〇〇圓
四、植範林費 六四、五二三圓
五、穀物及以検査費 三、七三〇圓
六、蠶業取締所費 二、四〇〇圓
七、水産試験費 六〇、〇〇〇圓
八、水産講習所費 二六、五〇〇圓
授産費(臨時部) 二六、五〇〇圓
一、女子蠶業講習所費 二六、五〇〇圓

再開

三時四十五分休憩終了(泗川)の挨拶があつた爲め遅れて再開し日程に入る

上田課長 道路改修は二百三十里圓で豫定は普州三千浦線鎮海下浦線、密陽靈山線、三千浦馬山線、金海普州線、大邱統營線、居昌千浦線、咸安慶原線、泗川露梁津線、河東咸陽線、咸陽九龍浦線、義寧長城線、晋

金君 (昌寧)議事進行上單に道路橋梁費と一括した豫算より、何郡には何工事をなすかとの詳細なる工事の發表は議事を促進すると思ふが如何

竹内部長 「慶南全道 總計 萬五千名である」と各郡内譯をのべ之に應ずる

云つてゐる。それによつて、  
は就任直後農務課を廢止して産  
業課と合併せしめ之に對し農務  
課を廢止しても何等農務をおろ  
そかにする譯ではない。販賣其他  
の合理化をして農産の發展と合  
理化を期すると聲明したが實行  
する意思や否や。第二には蠶業  
棉作及び米作は氣温全鮮唯一と  
云はれる本道に於て何故か衰微  
をなすか？」と各々數字を示し  
棉花其他の共同販賣の状況につ  
き官廳の強制壓迫によつて生ず  
る農民が受ける不便至大なるも  
のである。自家に使用して温い  
多を越さうとすると、自家で繰  
綿をすることは出来ない共同販  
賣にかけよと命令し自家用に供  
する出来ない状態である。共同  
販賣は強制販賣の誤りか否や

### 議長

農務課を廢止して商工と  
合併し産業課となしたことに就  
いては文書規定によるもので議  
長に關係がないから他の機會に  
ゆずる。農産業の不振に就いて  
は全鮮で最も發達した全南及び

慶北の蠶業に比べると産額は低  
いことは周知の事實であるが、  
指導者に當るものは何等劣つて  
ゐない事を認める。今後とも協力  
適材を用ひて各産業の成績を上  
げたい考へである。その後參與  
官の綿作共同販賣に就いて早害  
に疲弊した農村のためを思つて  
少しでも金になるものは自家用  
を節約し金に代へる様奨励した  
のであつて何等強制的意味はな  
く誤解であらうと思ふ

### 阪田君(釜山)

勸業奨励の事業  
は一つの思想を植えつけなければ  
ば効果はないと信ずる如何にこ  
の事業に熱心の指導者であつて  
もその下に従事する人々が勤勉  
質朴を欠いだならば何等成績は  
上るものではない。本月三日知

と云ふ多額でこの事業を重要視  
してゐるものと認めるが當局に  
於ては精神的事業をなしてゐる  
か

### 竹内部長

精神的施設がない  
と言はれたが本道に於ては地方  
課に於て本豫算以外に各部落、  
郡に勤農共済組合を作りすでに  
二十四名に達し道より基金を貸  
し出し養豚、養鶏の副業を奨励  
し共済貯金をなさしめてゐるが  
昭和四年末までに貸出も多分に  
回收し、貯金も最高九圓最低十  
錢平均一人宛一圓十錢であるか  
ら現在では三圓程度の見込であ  
るこの方模範部落、指導面等の  
施設をなし年々農村の指導を養  
成して實績を上げつゝあるがま  
だ満足と云ふ迄にならないのを  
遺憾に思ふ、今後も只に地方費  
に依らず精神的に猛進して御希  
望に副ひたいと思ふ

### 金練君(宜寧)

本豫算を見るに  
人件費と事業費に比し多いが何  
故か人件費節約の聲の多い折柄  
節約されぬか。これ産業試験所  
は學研試験所の聲があるが成績  
は上つてゐるか、農會に補助を  
しなればならぬか、又國有材  
拂下に於て無償拂下は受けられ  
ぬか？

### 南宮參與官

人件費が多いの  
は仕事をすること力があるの  
であつて本豫算は仕事の上に於て  
最も節約した人件費である。森  
林の拂下は在來無償拂下を多數  
受けてゐて無償拂下を受ける餘  
地がない今回も時價の半分以下  
の價額である、陳列館の人件費  
は現在でも不足で即賣會其他の  
折には臨時雇を入れる有様であ  
るから多きに失するとは思はれ  
ない水産試験所の成績に就いて  
は慶南は全鮮水産の三分の一の  
多額に上つてゐる所より見て水  
産試験所の成績がうかがはれる

と思ふ。農會の補助は地方事業  
であつて道よりの補助は止むを  
得ない

### 李輔衡君(河東)

養蠶獎勵事  
業に就いて本員も蠶獎勵は至  
極同感であるが本計畫は計畫

は慶北全南等全鮮主要の蠶業道  
より氣候も良く同位置にありな  
がら年産額二萬五千餘石にしか  
達してゐない蠶業促進計畫は大  
正十四年より昭和九年度十ヶ年  
計畫で本年迄約六ヶ年を経たの  
であるが豫定の約二割二分五厘  
に達したのみであるからこの際  
更に一ヶ年延長して昭和六年度  
より五ヶ年計畫を以て昭和十年  
度迄に完成し農民の副業家庭工  
業の實を上げ生活に餘裕あらし  
めたいと考へるのである、なほ  
蠶業の將來について言へば昨年  
は異常なる豊作で政府の保管に  
なるストックが十五萬担民間の  
ものが五萬担ありその爲暴落を  
來したしたので一月中の日本蠶絲  
會の發達によると此の状況では  
各工場其他の在庫を合しても本  
年六月春蠶迄には二萬三千担の  
不足を來たすことになつてゐる  
から大正八年頃の一圓幾らの暴  
氣はないが少くも一貫五十錢見  
常の蠶價に復するものと見られ  
てゐるから前途は悲觀せぬとも

桑田を堀り起す状態で蠶業の  
來に就き當局では如何に考へて  
ゐるか又蠶業計畫は延期する意  
思はないか

### 朝食課長

産業) 本道の蠶業  
は慶北全南等全鮮主要の蠶業道  
より氣候も良く同位置にありな  
がら年産額二萬五千餘石にしか  
達してゐない蠶業促進計畫は大  
正十四年より昭和九年度十ヶ年  
計畫で本年迄約六ヶ年を経たの  
であるが豫定の約二割二分五厘  
に達したのみであるからこの際  
更に一ヶ年延長して昭和六年度  
より五ヶ年計畫を以て昭和十年  
度迄に完成し農民の副業家庭工  
業の實を上げ生活に餘裕あらし  
めたいと考へるのである、なほ  
蠶業の將來について言へば昨年  
は異常なる豊作で政府の保管に  
なるストックが十五萬担民間の  
ものが五萬担ありその爲暴落を  
來したしたので一月中の日本蠶絲  
會の發達によると此の状況では  
各工場其他の在庫を合しても本  
年六月春蠶迄には二萬三千担の  
不足を來たすことになつてゐる  
から大正八年頃の一圓幾らの暴  
氣はないが少くも一貫五十錢見  
常の蠶價に復するものと見られ  
てゐるから前途は悲觀せぬとも

良い又これが極力計畫を遂行す  
る考へである

と産課には得意の題で御辯を振  
つたが午後五時三十分になつたの  
で吳徳相(蔚山)君の起立によつ  
て勸業成立し課長は可否を起立に  
問ひ、絶對過半数に達したので午  
後五時三十五分第三日の幕を閉ぢ  
た【釜山】

洛東江の架橋地點は

第一候補地龜浦が適當

何故農務課を廢止したと盧議員肉薄

釜山

6. 3. 7

慶南道評議會

(五日の  
續き)

二番李銘年君（昭）  
昭君等は夫々計畫豫算に於て、  
てゐるが、因城は之等各港に比して  
決して遜色なく、然もその物資は釜  
山方面へ四十萬噸、三千浦方面へ  
八十萬噸が通過する、有利な港に  
來歴々陳情もし、又内務、産業各  
長視察の際も陳情してゐる。然る  
に本年度豫算面に計上されてゐな  
いことは甚だ遺憾である、若し本  
年計上出来なければ七年度に是非  
計上されんことを望す

竹内内務部長 たゞ今二

番議員の説は因城の棧橋架設問題  
と思ふが、本道は五百十哩よりな  
る廣大な海岸線を持つてゐるので  
その港灣も奥地に通ずる重要幹線  
道路に面した方面から施設する方  
で第二段に於て所謂支線方面に  
かかることにしてゐる、本年因城  
は貨物よりも先づ人命に感ずる水  
道施設に對し補助を計上したもの  
である

廿七番北川成三郎君

（晋州）只今第二議會であるが、第  
一議會に於て發言の機會を得な  
かつたので議會に對することにあ  
るが、一と斷り本年度の豫算を見  
るに土木費は經常、臨時補助費  
を合して二百五十三萬五千圓で總  
豫算の四割四分と云ふほど大なる  
ものであり、尙二、三年繼續のも  
のが多く、暫くは土木萬能時代  
といふべきである、然し之は時代  
の狀勢に従ひ窮民救濟を目標とし  
て計畫されたものである、故に本  
豫算に對しては當然議會費を表  
すものである、又事業の主旨に對  
しても當局の編成の苦心を察し、  
ノ賛成するのであるがたゞ財源を

考へる時は多額の本府の補填を受  
てゐるとはいへども地方費目體と  
しても相當支出し府面又餘分に貢  
擔をしないでほならないやうに思  
ふ。當局の御考慮を拂はれたる點  
は承知するも今後之等が財政の運  
用上支拂なきものであらうか、尙  
又事業については夫々府面の寄附  
を肩持つてゐるやうであるが之が  
従來支障を來した例あり寄附金  
徴収に對する當局の成案如何、道  
内の窮民は十萬五千人あると内務  
部長の説明であつたが今回の救済  
事業に依りはたしてその全部が救  
済の恩典に浴し得るであらうか、  
本府はその幾割かのみではないか  
と思つてゐる、又事業別に依る勞  
銀散布の率をお尋ねいたしたい

竹内内務部長 昨日地方

議長から述べた如く地方費目體の  
寄附は十萬圓の元利償還額であり  
決して困難とは思つて居らず又府  
面負担もその財政十分なるもの  
に對して貸つけてゐるので心配は  
ない、寄附金の件はらく東、南、西、  
北の地方費目體のことと思ふが夫  
々郡面に於て負擔するものであつ  
て公共團體費の負擔には何等心  
配のなきことを斷言する、次ぎに  
道内窮民十萬五千と云ふは二萬五  
千餘であつて假りに一戸四人家族  
として十二萬程度になるもので實  
際の数は二萬五千人である、然し  
て勞銀の率は土木工事が事務費を  
差引き約五割、砂防工事が九割九  
分となるものである

十九番 金慶鎮君(昌原) 一  
らく果橋の設置位置については

附近住民より苦衷がある如くかね  
て新聞紙上にも報道せられ又陳情  
もされてゐる如く聞くかも知れん  
置については技術方面並びに財政  
問題に關係あると思はれるが然  
し下流住民の熱望であり又  
百年の大計であるから慎重に考へ  
なくてはならぬがこれに對し當局  
は如何なる御意であるか——と  
位置問題をきり出し更に道路改修  
の賦役停止、工事請負制度に對し  
下流住民に依る缺陷を述べ之れが  
爲申問で幾割かを天引されて勞働  
者に支給される勞銀は當局が七十  
錢に考へてゐても三、四十錢にし  
かならぬと事實問題を指摘してこ  
の下流住民の調査取締の必要に論  
及す

# 洛東江の架橋は

## 龜浦よりするを得策とす

下流地點に架設する時は

四十八萬八千餘圓増額となる

竹内内務部長 らく市橋  
架地は道の調査に依る第一候  
補地は龜浦を起點として對岸に向  
ひ架設すれば六百間であり、第二  
候補地ともいふ、只今十九番議員  
の質問たる下流地點に架設すれば  
その橋の延長は八百五十間となり  
結局上流より二百五十間長きもの  
となる、従つてその經費も四十八  
萬八千圓の増額を要するとなる  
ので龜浦より架橋するを得策と  
考へてゐる、賦役問題については

現在は一戸一ヶ年に二人生の割合  
で百五十日に一日出るとなつて  
ゐるが之を公課賦役後に依ること  
は今日の不景氣の折衝當然と考へる  
も何分財政の都合上未だ一部署施  
するに至らない、且下公課賦役は  
道内九十一ヶ面に行はれてゐるが  
他方面も漸次この方針に向ひたい  
と思ふ、議員制度については昨日  
十三番議員にお答へした如く之を  
直轄は財政上困難であるから政務  
事業も議員を進む方針であるが下

議員と云ふことは當局は認めて居  
らないが代理人としてゐる、之に  
對しても資産信用を十分調査しお  
説の如き弊害なきや、勞銀支拂に  
ついても亦傳票制度も注意し適當  
の方法を以てやりたい——と答へ  
時に三時十分、九番金斗資君より  
第二議員打ちきり動議が提出され  
議長は之を起立に依つて採決の結  
果賛成多數として二讀會を打ちき  
り一旦休會を宣す三時四十分再會  
議長 只今より勸業費、樺産  
費の全部と第十二號議案の第一讀  
會を議題としますと開會を宣し大  
會外より議案を朗讀し終つて

十二番 盧俊泳君(咸陽)

農は國家の大本なりと云ふこと  
があると前提して渡邊理事は本道  
に擔任すると同時に農務課を廢し  
て之を産業課に併合したかその理  
由につき當時新聞記者に語つてゐ  
る處に依れば……とて新聞の切抜  
きをろり讀して昔は農事の十二年  
計畫等は農務課あつてこそ一層そ

の月曜が決定されるものではないか、又生産物の有利販賣に立脚し、有利販賣如何——と朝倉産業課長のパンフレットまで持ち出して鋭く質問し次いで養蠶、棉花共に當局の獎勵も効なく却て反當り收量は減少してゐる、之は指導に當る産業技手に鮮語を解さぬものを當らしめてゐる所謂その人を得ぬが爲であると斷言する、今後之等の獎勵指導に對し適當なるものを採用するか否かと結んだが時に午後四時議長は時間延長をはかり決定の上

### 議長

何故に農務課を廢止したかとの質問であるが之に對しては自分からお話する機會を得たいと思つてゐた程であるが然しこの問題とし問案に關しては直接關係がないから何時か時機を見てお話しする——とはつし次ぎに養蠶

の價の決定の事があつたものと、棉作の價に求めたか、其の理由とは甚だ不適切である、養蠶、棉花共に生産額は増加してゐる、僅今後も他道に劣らぬ成績を納める爲め指導員の採用には適材適所へ配置する考へである

### 南呂産業部長

棉作の反當り收量は當局の方では増收してゐるとて年度別の數字を示しこの年に依り多少減少を見たるは旱害に依る影響である、棉花共同販賣に對し自家用まで禁じて販賣を奨励した事實はない——と簡單に片づけ

### 世二番坂田文吉君

(釜山) 勸業授産につき質問する、本員は只今の十二番議員の意見と相違するものであるが豫算上には勸業費は經常臨時補助費合計して八十二萬六千四百圓、授産費は同じく十二萬二千六百八十三圓、計九

十三萬二千六百八十三圓であるとして、勸業費に比し五分の一を削減されてゐて當局の能力も認めざるが此勸業、授産の實を一層擧ぐるための根本條件としては從來の慣習のみでなく之に智識を加へて擧げると云ふ思想條件が必要である、即ち素朴にして勤勉で貯蓄の三つがそなつて初めて効果を擧げるのである、然るに第一日に於ける知事の演説の中に之に對する社會施設の事業に對し言及されてゐない事を淋しく感じたものである、又豫算の内容に於ても同様である、社會教化に手を染め然る後勸業授産を向上すべきではあるまいか、十二番議員の如く如何、産業技手にその人を得ても之を養ふものが素朴、勤勉、貯蓄の精神なくしてはだめである、その社會教化の點に對し當局は如何に考へてゐるのであるかお聞きしたい

思想の善導及び

# 勤勞貯蓄精神の養成

には今後一層努力すると

竹内内務部長答辯す

竹内内務部長

冊二番議員

の有益なお説に依り感奮した次第である、この種の事業は昭和三年以來勤勞貯蓄組合を設けて着々實行しつつあるのである、小額の資金ではあるが生業資金を與へ勤勞貯蓄をやつてゐるけれども之は地方費事業でなく國の事業である爲に豫算面にも現はれてゐないが本道の組合は昭和三年七月に開き爾來各郡部落に施設し二百五十四ヶ所と五年度中八十四ヶ所設置の計畫で現在の實數三百二ヶであり、一組合を戸単位とし六百圓を貸與しこの總計が十三万四千四百圓、五年度には五萬四千圓となつてゐる一ヶ年内に元利金を回收するのである、之に依り養豚或は共同耕作等をなし將來の生活安定を得る爲貯蓄を奨勵し昭和四年三月現在では九千七百三十三圓七十三錢の貯金を有してゐるが、昨年並びに本年を合計すれば一萬圓以上にして一人當り最高十五圓卅五錢、最低十錢平均一圓十錢である、尙又各學校の卒業生に就ては實に寒心に堪へぬものがあり、之れが思想の善導には二三年間その校長の指導下において勤勞貯蓄の精神を養成しつゝあるかその満足程度に至らぬは眞實に存してゐるので今後一層教育精神に向ひ猛進する考へである、と答辯し次いで

六番候補庸福君(居昌)

より、勤業費を見るに事業費より人件費が多いやうであるとして物産陳

列館、水産試験、模範場等の人員淘汰を希望し、之に對し詳細なる答辯を願すると述べれば

南呂産業部長

も早時間

もないのでくわしくは申上げられぬくわしく云ふ所になると今晚中かゝつても云へないとて満場をこら笑せしめつゝ、陳列館も最近各館の催しがあるのだから増員したい方であり、其の他に就ても手不足に感ずる位である、とサツサと簡潔に答辯す

四番李輔衡君(河東)

桑苗を徒らに多數附付して強制的に植栽させる道の方針はあだかも養分をとり過て却つて病氣となるやうなものだ、四年計畫を如何にして少しづつ植栽せしめては如何朝倉産業課長 知事の演示にもあつた如く本道の産額額は全南の六萬餘石、慶北の九萬餘石に比して非常に少額である爲極力養分をそぐ方針と承つたが本道は最初の産増進計畫に對し

二割二分餘の產額にしか達してゐない、従つて今日の桑苗の安い時機に於て馬力をかけて後段々減する方針である——とて我國の昨年來の繭價暴落から將來更に米國の經濟界にまで論及し、その結論として決して非難するに當らぬから

万力をそいで増殖に向つて進むと政談演説口調で答辯があり  
八番吳德相君（うる山）の閉會動議が出て満場賛成し五時廿分議長閉會を宣し第三日を終つた。

# 全鮮一を誇る水産道の

水産豫算は何故他道に比し少額かと

金丸源一議員(統營獅子吼す)

慶南道評議會(六日)

慶南道評議會第四日目は六日午後一時十分開會、前日に引續き勸業授産費全額と第十二號議案の第一讀會を議題に供す

廿四番金丸源君(統營)

水産費一般に對しておたづねしたい經費節減の折柄にも抑はらず取締船建造に六萬圓を投じて實現せしむることは吾々漁業者として感謝する次第である取締船が何故必要かと云へば本道は内地に接近

せる關係上海船底ひき網の横行にまかしてある有様である又一朝暴風に際しては漁業者生命財産を奪はれること虞くない今回の取締はこれ等の救助に就ても當然行はれると思ふがその設備があるであらうか、次ぎに補助費につき從來沖台漁業獎勵の低國費より一萬四千圓、地方費より六千圓を計上されてゐるにも抑はらず本年は小漁業者に對する六千圓を削減した

るは如何、避難港即ち沿岸の小漁業者は昨年の暴風に依り波止場を破壊せられ之れが復舊に困つてゐる之れに對し補助すれば小漁者は救はれるのである本道は總物資の四分の一の水産物高を示し然も全鮮一の水産道としてにこつてゐるものである然るにも抑はらずその豫算は他道に比して少額であつて全南では十五萬八千三百九十九圓で本道は九萬八千六百七十八圓に

すぎない之れでもつて全鮮一の水産道と云へるであらうか昭和三年漁業法改正されこれが出願に對しては非常なる日數や手數を要し經費増加して苦しんでゐるのであるこの水産費を農業方面の夫にくらべて見るに概作は三萬三千八百八十圓を計上されてゐるが、その産額に於ては僅かに十萬圓に過ぎないではないか又養蠶方面も四萬七千七百八十圓である、これに對し水産は補助を加算しても僅かであつて農業に厚く漁業に薄いものである尙知事にお願するが知事は極めて農業方面の道徳が深いのであるがどうか水産方面にも目をそまがれたく從來漁業が一般に認められないことは昔から漁業は一の専業であつた爲めだと思ふが今後は農村と共に漁村の振興に向つて御努力をお願いしたい

南呂産業部長 敬造し

船は勿論救助方面にも力をそぐはつである水産費が昨年比し五

千圓の減少を見たのは、取締船建造の爲である又補助費の減少は緊縮節減に依り各種團體補助が出来なくなつたのである又全南より水産費が少いと云ふも豫算多きのみで實費が擧がるものとは思はぬ農に

厚く漁業に薄いことは智識程度を考へてである

### 上田土木課長

地方漁港

修築に對しては臨時部に於て方魚津、長生浦、統營等の比較的經費を要しない部分を修築し其の他の

小港は經常費の港修築に於て面費全體でやりその不足に對し地方

費で行ふべきである

(午後二時十分開始)

# 京畿道地方費豫算

## 異議なく可決確定

修正案で一日議事遅れ

毎 朝  
6. 3. 8

### 八日閉會の道議會

教育費補助金増額に關し豫算の一  
部修正案を議員より提出した爲  
めこれが採否につき各議員と當  
との間に種々觀察をなし、結局修正  
案は認め難いがその趣旨は明年度  
豫算編成に際して考慮すべしとの  
ことにて一應議決成立し此れが爲  
め、再會外におくれ、七日の京畿  
道議會は豫定より時日を早めて  
午前十時十分より開會前に引續  
き出席人に關する第二議案を開き  
金然宸君（開明）戸税賦課金  
が多き缺するから此れを減じ更  
らに其の徴税方法をもつと親切  
であつてほしい

金泰準君（始興）以検査手數  
料の撤廢を要望

姜錫祚君（富川）以検査手數  
料の撤廢よりも只の販路擴張  
につき當局に於いて努力せられた  
金然宸君（開明）重ねて手數  
料撤廢につき意見を述べ

韓光錫（水原）黃裕天君（江華）  
同様の趣旨を陳し沈圭澤君（和  
川）河野竹之助君（仁川）水産補  
助が減少であるから明年度に於て  
相當の施設を斷行せられたし

金泰準君（始興）初等教育に  
對する補助金の増額は現下の朝  
鮮として緊要のことと信ずる者

張弘植君（京城）窮民救濟事  
業費の借入公債利率が七分七厘  
は現下の公債相場から見ただ高き  
に失すからそれより以下に於  
いて借入れるより留置された

矢島部長 本府の方針では七  
分七厘以内といふことになつて

肥料の低減を圖る爲め國庫又は  
地方費の補助が必要なる所以で  
ある

肥塚正太君（京城）堆肥の奨  
励は極めて適策と思ふから此れ  
が爲めには畜牛の奨励を爲すこ  
とが必要である即ち將來の農業  
は畜農業でなければならぬと  
信ずるの、此方面に於いて特に  
留意された

あるで若し其れ以上の利率にな  
れば六分一厘程度で道債を起す  
ことが出来るので此の點につい  
ては本府との間に研究すること  
になつてゐる

岡本豊喜君（開城）特別會計  
不成立の場合に於ける救済事業  
前途如何

矢島部長 豫算不成立は假定  
だからその場合に於いて如何に  
なるかの答辯は困難である然し  
若し不成立に終つた時はこの事  
業も亦一頓挫を來たすことは事  
實である

斯くて諮問案第四號

京畿道地方税賦課規則中改正の  
件

を附議し、豊山部長の説明あり  
異議なく可決確定

次いで第五號

京畿道不動産取得税賦課規則中  
改正の件

豊山部長の説明あり二三議員の質  
問ありて異議なく可決

次いで第六號

京畿道公立學校授業並入學試験  
手数料徴収規則中改正の件

第七號 京畿道穀物及凶検査施  
行規則中改正の件

第八號 京畿道産業獎勵資金費  
金貸付規程中改正の件

第九號 京畿道地方費土木費一  
二・三等道路改良費を經驗費と  
爲し其の年期及支出方法を定む  
るの件

第十號 京畿道地方費土木費給  
水事業費を經驗費と爲し其の年  
期及支出方法を定むるの件

第十一號 京畿道地方費勸業費  
沙防事業費を經驗費となし其の  
年期及支出方法を定むるの件

第十二號 建物の件

第十三號 開城水道工事に對し  
道地方費より補助を爲すの件

を順次審議に供し一萬千里で満  
異議なく可決確定斯くて昭和六年  
度京畿道地方費總算出入豫算は

大體可決され引續いて各議員より  
提出された各種の意見書につき

長之を朗讀し二三質問ありて可決  
午後零時二十分散會尚七日午後は

休憩し明八日は午前十時開議

諸問案

第二號 昭和六年度京畿道地方  
費兒童獎學基金特別會計歳入歳

出豫算

第三號 昭利六年度京畿道地方  
費恩給特別會計歳入歳出豫算

附案の第二第三讀會を開き、西邊  
郡事より一紙の挨拶ありて道評議

附會の豫定である。

# 京畿道

## 評議會

第十日目

新 願案可決

京畿道評議會第十一回目、昭和六年度道地方費出入決算全級にわたる第二議會は前日に開き開會以下各項一氣呵成何れも可決

▲第四號案 京畿道地方税賦課規則中改正の件

▲第五號案 不動産取得税賦課規則改正の件

▲第六號案 京畿道公立普通學校授業料並に入學試験手数料徴收規則中改正の件

▲第七號案 以検査施行規則中改正の件

▲第八號案 産業資金貸付規程中改正の件

▲第九號案 京畿道地方費土木費一、二、三等道路改良費を總額費となしその年期及び支出方法を定める件

▲第十號案 京畿道地方費土木、治水事業費を總額費と爲し其の年期及び支出方法を定むる件

▲第十一號案 京畿道地方費勸業費、砂防事業費を總額事業費となしその年期及び支出方法を定むる件

▲第十二號案 起債の件

▲第十三號案 開城水道工事に對して道地方費より補助をなす件

と第四號案から第十三號案まで昭和六年度京畿道地方費一號案第一議會並に第二議會を可決しますが異議ありませんかと全議員にはかりこれも滿場異議なく決定此處に於て前日提出された意見書決定

平穩午後零時四十分閉會

# 慶南評議會

第三日目 三月五日

(釜山) 慶南道評議會第三日は五日午後一時より開會され、出席議員三十一名(缺席二名)渡邊議長開會を宣す

▲劈頭金斗贊君(昌寧) 外五名より日程變更の動議提出し盧俊泳君(咸陽)より反對意見出でたるも動議成立多數の賛成者ありて昨日に引續き土木費全部につき第三議會に入る此日各議員は開志満々にて議場中に緊張は崔演蘭君(泗川)當局、救民調査を詳細各郡に亘りて説明ありたし

▲竹内内務部長 釜山府九千名咸南五百六十名、寧八百名咸陽一千名居昌二千名金海千六百名昌原八百名統營六百名蔚山千六百名東萊二千三百名その他南海、河東、固城、梁山、晉州、宜寧、密陽と各郡に亘り合計二萬五千入位と見てゐる

▲慎齋禧君(居昌) 居昌橋に就いて當局の説明を望む  
▲竹内内務部長 居昌橋は本年度において修理に止め來年度本府から橋梁改良費補助によりて架け替へたいと思ふ

▲金斗贊君(昌寧) 土木費を充當して救民救濟事業を施設せらるる概要を地方別に説明されたいし  
▲上田土木課長 救民救濟事業の道路改修橋梁架設費二百三十一萬圓は三等道路の馬山線を初め全州、晉州、三浦、浦津、居昌、昌寧、釜山、靈山、鎮海、下端線、河東、南、東萊、海雲臺間、釜山、靈山間

晉州、狹川間、全州、晉州間、三浪津、馬山間と一二三道路に亘りて百〇三ヶ所を改修又は新設架橋をなし水利組合にありては五、六、七年に亘りて百〇五萬圓鐵道工事に三十萬圓その他砂防工事の多方面に勞銀は全道に撒布すべく最善の道を講じておる暗渠水抜き等にも二百六十七ヶ所なども僅な金で地方民の利益になることは此 施工したる方針である並木は九萬六千二百十三本を植栽するこれが概要である

▲守谷利助君(蔚山) 此のぼう大なる土木費は道直營なるや又購買事業とするか何れにしても賛成であるが勞銀の撒布について當局の思つておる様に完全に行かず弊害のあることを私は見てゐるがこれらの方法は如何

▲竹内内務部長 たゞ今の御質問は最もと思ふから勞銀撒布は充分に注意し請負者にも相常申し渡して置く又道直營が理想であるか何分此際であるから購買事業とする方針である

▲孫興君(密陽) 購買事業の指名方法は如何また競標とはいはないが相當弊害のある様に思ふがこの対策は如何府面道路補助について説明を望む

▲上田土木課長 指名方法は現在道當局が指名してゐるだけでも十七、八名あるが從來五十萬圓位の購買事業であつたから一人當りにすると僅少なものであるなほ本道は請負者の人格成績を常に嚴重監督し少しの間違ひの

ない様期してゐるが今度の洛東江架橋の如き大事業は本道内の購買業者中指名する人は少ないと思ふからたとへ他より希望者のあるものに就ても充分に人となりを注意して萬全を期する考へである

と直營と購買との對照について利害得失を充分に説明し李鎔君(固城)金泰鎬君(馬山)吾德君(蔚山)の諸氏質問し就中吳君は道路網の見地より密陽、彦陽間、釜山、龜浦間の道路を完全にされれば如何との質問に竹内内務部長は答へ各議員熱心に審議され各面上に緊張を示し

▲北川戊三郎君(晉州) 償還期限の十五ヶ年間、均等償還に支障を來しはせぬか又地方の寄附金も見積られてゐる、答だがその成案如何、勞銀撒布について事業別にどの程度に撒布されるや

▲竹内内務部長 償還財源には充分の自信あり寄附金は、費又は面費の公共團體より支出するゆゑ安全であると斷言する勞銀撒布については一人當り砂工工事に従事するもの六十二錢見當土木事業に従事するもの七十錢見當で土木事業にありては工事費の約五割砂工費にありては事務費を控除し約五パーセントの率で各勞銀として撒布される

▲金慶鎮君(昌寧) 洛東江の架橋地點は何處か公課賦役に就いて所信如何また請負は第一第二と下請負さるゝは事實であるが

た。今道常局には議員が人格  
威厳を常に見てをるといはれた  
が肝心のその下請者の人格威厳  
までも見てをらるゝや又労働支  
拂にしても傳票制度に弊害があ  
るは事實である

▲竹内内務部長 洛東江架橋地  
は第一候補地の他浦にしてその  
長サ六百間であるそれを下流に  
すると八百五十間となり経費に  
おいて四十萬六千六百圓の増加  
とがある従つて道當局は交通利  
便と費用の少ない第一候補地に  
架設する方針である賦役は二百  
五十二面中現在九十一面公課し  
てゐるがこれは官民一致なるべ  
く公課賦役する面が多い様にな  
る様此處希望してをく請負制度  
に關しては多額な経費を以て各  
所に施工することは人件費その  
他で非常の損失があるから本年  
度からの数箇事業も成るべく請  
負事業とし傳票制度労働支拂に  
ついては充分の注意をなし下請  
負とゆふ事は常局では認めぬ代  
理人としてゐるがこれ等の人格  
威厳についても希望に添ふべく  
努める

▲金斗賢君(昌寧) 最早土費の  
第二議會は終結したと見らるゝ  
か

と終了の動機を提出する成立し起  
立の結果大多數賛成し第二議會終  
結午後三時十五分議長休憩を宣す  
午後三時三十分再會議事日程と  
して勸業省農出經常部四〇〇、二  
九七圓臨時部一四九、〇〇〇投産  
費十二萬一千六百八十一圓その他  
補助金とも九十三萬二千七百四十

元であるのに何故無断に停止  
され産業課とされたるや又棉作  
費について言語に通ぜざる  
技手を使用するため充分の發達  
が出来ないではないかその共同  
販賣も非常の弊害はないか當局  
の説明を望む

▲渡邊知事 分掌規程によつて改  
廢したる御説は諮問案と何等の  
關係がないから説明の限りでな  
いが或機會に私から望んで御了  
解を求める事があらうと思ひま  
す

▲南宮産業部長 養蠶、棉作につ  
いては極力努めてゐるから杞憂  
さるゝものではない共同販賣に  
ついては何かの誤解ではないか  
▲坂田文吉君(釜山) 勸業費を見  
るに社會教化事業の豫算が少な  
いと思ふまたこれによつて當局  
所見如何と社會政策よりとき起  
し勸業精神と貯蓄觀念を養成助  
長せねば勸業の目的を達する事  
は至難であると突つ込む竹内内  
務部長これに勸業組合その他精  
神的方面より當局は努力してゐ  
るが一層貴意に添ふべく猛進す  
ると

▲金化壽君(東萊) 農業倉庫は  
設立されてもその價值少ないと  
認め穀物検査は至極酷ではない  
か

▲南宮産業部長 農倉は逐日相當  
の成績を擧げてゐる穀物検査に  
就いては從來と何等の變りなし  
どうも昨日から議場の進行を  
見るに未だ充分討議されない内  
に議事進行して行くは私共は道  
民に對して申し譯がない人件費  
が多すぎる様に思ふが節約する

方ではないか  
▲李輔卿君(河東) 産蠶について  
將來杞憂はないか生糸は下落し  
その製蠶額と入費とを對照して  
見るとあまり將來に望みをかけ  
る事が出来ない

▲明倉産業部長 本道の産蠶額は  
二萬五千石であるがこれを更に  
將來において獎勵せんとする意  
向である蠶糸の將來については  
確實なる事業で決して悲觀する  
ものではないと本邦の製糸業の

全般からとき起し營業的に進め  
たい  
▲吳德相君(山) 本日は時間も  
大分遅れたからこれで散會した  
き勸業提出大多數の賛成者あり  
議長散會を宣す時に午後五時  
十五分

# 得意の學校問題で

## 詰寄る田中君

報 民 6. 3. 8

漁業問題と學校問題で賑つた

### 四日目の慶南道評議會

(昨日からの引續き) 勸業費授産費の第二讀會を開催

金練君(昌寧) 先陣を承

つて立つたが脱線し議員の不誠意を攻撃し注意され

金丸君(統營) 近來沿岸航路が

繁くなつたので沿岸漁業者は沖に出なければならぬため先年等は暴風雨のため多數の人命を失つたが今般試驗船は漁業取締りのため建造せられるのであるが之を救助に使用されないか次に豫算を見るに漁業に關しては經常部臨時部合計九萬八千餘圓であり全北に於ては昨年十五萬三千餘圓を計上してゐるがこの南は全鮮一の水産道たるに拘らず誠意が認められないな本年は昨年度に小漁業者に對して國庫より一萬圓地方費補助六千圓であつたにかゝらず大年庫國庫補助のみで地方費の補助が計上されてないのは何故であるかなほ私に漁業に關して述べてゐるのであるが昨日の會議で勸業に關し李君の質問に對し産業課長の演説が答辯ともつかぬ話



南宮參與官 船舶法により救

船に使用します又地費補助が減じたのは取締船の建造によつて經費の都合つかず補助を減ずるのである、桑苗植栽に關しては當局ではさうとは思はない養蠶の眞の内容を知らないためであらうと思ふと突放し

許君(金海) 先刻の金君の説

とは反對の意見を持つてゐる農は國の大本とも云ふしこの勸業費授産費の費目中農村はめぐまれてゐないが當局は來年度に於て農村振興發展のため資する考へであるか?

南宮參與官 其通りである

李君(晉州) 突然發言權を許さ

れ「夢から醒めた様だ」と冒頭し次いで道評議會々議規則第四條に會議は午前十時から午後四時迄としそれを伸縮する事が出来る様になつてゐる、第一日に於て從來通り午後一時よりとの事で私は今の様に發言權が得られなから時間を充分持つて密議をしたいと反對をしたのであるが諸君の反對意見のため上むを得なかつたが此處に發言權を得たことは有難い

と陳述の本性を暴露し農家に關して用紙の長舌を振ふ、まさに三十分之に對し參與官より答辯あり議長より第二讀會に移る事を計り多數の賛成を得てその儘第二讀會に移る

盧君(咸昌) 技術方面へ考慮が足りないため各郡面に配置した産業技師が言語が通ぜず充分な能力を發揮し得ぬ第二に棉花等の共販強制的惡例に對し當局の眞意は如何、第三に農家が米の生産費でも償ひ得る様何等かの施設をなしてゐるか?と窮民の實狀を語り質問すると

南宮參與官 書類を取り

よせ轉手古舞で讀み上げ

議長 十分間の休憩を宣す、



時に三十分再開

### 再開

吳德相君(昌寧) 綿作獎勵に關し疑問がある、農家に於ては一戸につき三反歩の作付を強制せられるために不満ながら承知して其の實約一反歩すなはち作

と共に出さしめるもの強制的に  
共に出さしめる傾向がある  
何故ならば作付統計に比較し共  
販の出廻りが豫定に反し僅少な  
ため数字に拘泥する當局に於て  
各郡面に示達をなすため止むを  
得ず強制的の共販政策を弄する  
のでこのため作つても家用に  
供すること出来ず共販にかけ  
ても所産なためその不採算から  
綿作を投げ出すのである、利益  
があると思れば作るのであるか  
ら現在の奨励の仕方は何等効果  
を見ないと思ふ

**杉課長** 鮮産棉花は品質優良の  
ためインド綿其他より高價であ  
るから之を成る可く賣らしめ廉  
い外綿を自家用にせしめやうと  
の方針であるのであるが、算盤  
では行かぬこともあり調査の上  
考慮しやう、販賣奨励について  
は事實であるならば注意をした  
と思ふ

河駿鑛君の提議により勸業奨励  
費の第二讀會を終了することに決  
し續いて三時五十分より教育費及  
其他の殘餘豫算第一讀會を開催日  
程に入る

**田中君(馬山)** 當局の信奉する  
一面一校主義に對し異議がある  
田舎では入學児童が新學期に於  
て勸誘せねば入學者がないのに  
反し釜山、馬山等の都會では入  
學者が多きに失し入學の望みを  
抱いてゐても三分の二の多數が  
入學をされない状態であるが一  
面一校主義を一部變更し急を要  
する箇所施設する考へはない  
か

**竹内部長** 普通學校教育の普  
及は本府の大計畫ですでに完成  
してゐなければならぬ所、この  
計畫遂行には多分の犠牲はし  
なければならぬと思ふ  
**金練君(宜寧)** 須藤知事時代に

**金練君(宜寧)** 柳聖賢校の親  
設の急務を繰々數字を示して修正  
意見を持ち出し議長の注意なきか  
ず十四萬餘圓の財源を以て十ヶ所  
に新設し六ヶ年間の維持費となさ  
ん事ははかり統籌水産學校の卒業  
生各別の數の指示を要求した

**竹内部長** 第二讀會の問題で  
あるから之は此處では答へるこ  
とが出来ぬ  
**崔君(南海)** 初等教育の急務  
を説き「本豫算を見るに教育費  
に於ては人件費が大部分を占め  
人件費は舍宅料及旅費等加はつ  
てゐるが、この人件費を節約す  
ることによつて一面一校主義が  
促進されはしまいか」

**竹内部長** 「一學級一名の  
教師は是非必要な爲學級増加の  
傾向ある現在減員は出来ない」と  
教員減俸案には他所を向き、宋谷  
君(蘭山)、李鉉賢君(咸安)の兩  
君交々質問あり

**慎君(居昌)** 普通學校には鮮人  
の教員を全部變更しなければ教  
育が完全には行かない點が多々  
あるが全部之れを變えることは  
出来ないか、人件費の節約にも  
なる



**竹内部長** 今突然に更へせし  
める事はその人を求めることが  
出来ないから行く行くはその考  
へである、普通學校教員の内鮮

次に質問した金泰鑛君(馬山)の  
質問途中知事に代つてにつこりと  
議長席についた竹内部長すぐ歸つ  
た知事に追ひ落される

**金君** 一面一校主義完成後は各  
實地を視察しどうしても増級又  
は増設をしなければならぬもの  
は増級増設をなす方針であるが  
馬山府の現状を徴するに入學者  
が三百乃至五百名もあるに反し  
一五〇名の定員で向學心の盛ん  
な今日百五十名以外の児童の心  
理は察するに餘りあるものがあ  
る、馬山以外にも同様な状況に  
あるものもあると思ふが、これ  
に對する方針は

**小田課長** 計畫終了後は御説  
に副ひ足い  
**慎君(居昌)** の提議により賛  
成者を得て閉會五時四十分(釜山)

# 山間僻地の普通學校

## 校長に鮮人を採用せよ

高給教員を整理して授業料を全廢せよ等々と

教育費で議論頗る沸騰す

山 釜

6. 3. 8

### 慶南道評議會

(第四目六  
日の續き)

# 廿番河駿錫君(昌寧) 今

日の農村内部は今すこしくはしく観察すると外面的観たる當局又は一般の觀察とは大いに異り悲惨なる状態にありこれに伴なふ農村の凋落は刻下の急務である故に農村の重要副業たる蠶繭増産計畫及その販賣制度の改善と肥料政策改善外第一線に活躍せる農科技術者が朝鮮語普及の爲に數多し朝鮮人技術員を採用すると共に優遇が急であるが如何

## 南呂産業部長

は目下適宜の方法で計畫實行中である肥料政策は品質等にて改善に努めてゐる又技術員は朝鮮語試験制度で採用中にして豫算の許す範疇に於て優遇する方針である

と答へ終つて

## 議長

より皆様におはかりします既に大體の御質問もつきたやうに思はれるから第二讀會に入りたいと思ふとて議場に起立に問ひ多數決として

## 第二讀會

に移る

## 十二番盧俊泳君(咸陽)

前日坂田議員の述べた勸誘には思想方面の教化が必要であるとの説を反駁した後昨日議員の質問が徹底しなかつた爲か當局者の答辯は不満足極まるものであつた故に問題が重要であるから今一度おたづねいたし之に對し責任ある答辯を

願ひたい」と前置をなし

邊知事閣下の農業政策中最も重要な技術方面に全力をそそぐ農家生産物を有利に販賣せしむると云ふ政策には大なる矛盾がある不合理がある障礙物が横たはつてゐる又施設に缺陷ある間

一、技術方面に直接金力や注ぐ産業枝手そのものがその有する技術を表現する能はざる不合理あり

二、主要なる副産物を有利に販賣する爲の共同販賣が指定販賣と云ふ惡制度の爲その目的を達し能はざる不合理

三、主要農産物である米をせめて生産費でも償ふやうにならしめる施設なきこと

以上三件に就いて質問す

# 南宮參與官の

## 茶目ッ氣タツプリの答辯に

議員連を思はず哄笑せしめ

議場の空氣俄かに陽氣となる

南宮産業部長 農作物の  
有利販賣は努めて有利に販賣する  
施設として

### 農業倉庫

を建設し

低資を融通して適宜の方法を講じてある又指定販賣制度を共同販賣制度に改めることは現在の狀況から見てやむを得ぬものである尤も穀類の産額が將來増産すれば別である、次に第三の質問である米價調節に對して之は頗る問題が大きくて内閣さへもこの問題では泣かされてゐる様で勿論當局としては答辯の限りでない——と例に依つて茶目氣たつぷりの答辯をなして哄笑せしめ議場の空氣は急に陽氣となる、時に午後二時五十分議長休憩を宣す

### 世二番坂田文吉君(釜山)

發言を求め昨日本員が勸業委員の第一議會に於て勸業の實を擧げ得るにけその受くもの、實科

### 勤勉、貯蓄

の精神を養成

する必要ありと述べたるに對し先刻十二番議員は本員を朝鮮の事情を知らざるもの、誤であると云つたが本員も卅餘年來この慶南に住する一人であつて本道の事情に就いては直接實地につき觀察はしないとは云へども諸種の通信機關或は統計に依つて十二番議員持つてゐる位の意見は十分承知してゐるものである——とて鋭き攻撃を加へ更に國勢調査に依る道内の人口戸數を上げてこの總人口中に農、工、漁業等の人口を示し——この外に無職即ち窮民が二萬二千四十人ある五人一家として十二萬二百人である昨日竹内内務部長の説に依る道の調査せる窮民二萬三千ない至五千と述べてゐる之を五人一家とすれば本員の只今申した數と大體一致するのであつて道の調査が決して架空のものでないことがわかるのであつて

# 道内の窮民は 十一萬二千人と

確信するのである

勸業費を議する時には勸業費のみにつき審議すべきである勸業費には救済事業は含まれておらないのであるから救済を念頭においてはいけない昨日本員の述べた説に對する先刻の十審議員は誤解してゐる結果は從來の収入より以上の収益を増すには精神方面の訓練が必要であると云ふものである——と述べ次いで堆肥綠肥等の自給肥料獎勵につき新聞に傳へられた數字ではその獎勵の指導里戸數と生産費及率との相違せる點、農業の比較獎勵の効果、尙篤農家に補助

して他は漸次普及せしむることが適當と思ふが如何と問ひ又東北でけ婦人の家外労働を獎勵しかつ一面稲作の増産を計る爲婦人耕作共同耕作を行つてゐると之れ又新聞に傳へられてゐるこれは所謂一石二鳥を得る極めてよきことと思ふが當局には斯かる計畫あるや

杉本産業課技師 堆肥の指導員洞選定は特に悪い所を選んだ

のではなく指導すれば収益の十分上る見込のものを指導中洞としてゐる、農作の比較獎勵は誠に御同惑であつて之れが當局としても

集中的指導を行ひつゝあるのである、次に篤農家に就ては既に種苗場に乙種は習ひと稱して毎年地方から十名宛を養成して農村に歸し篤農家としてゐるものであると答へ終つて

卅番河駿錫君(昌寧)から産業方面に權威ある渡邊知事を本道に迎へたことは吾々道民として誠に喜びに堪へぬ次第でありか

つ又産業部を設けた點よりして  
も今後その効果は著々實現される  
ことと思ふ、本年度豫算面より通  
覧してもその片鱗は十分現はれて  
ゐるのである故に之を以て第一議  
會を終り次ぎの

## 教育費に

### 移る動機を提出

するものであると動議を提出し

議長（は賛成者あり動議成立  
したから採決するとして起立に問ひ  
多數と認め勸業部授産費の第二議  
會を打ち切り續いて教育費衛生費  
等土木勸業授産を除いた其の他の  
第一議會を開く旨を宣す

### 廿九番田中玄黄君（馬

山）今更申し上げるまでもなく教  
育は最も重大である本豫算面の教  
育費に於て見ても經費部に於て四  
十四萬七千五百十二圓、臨時部に  
於て六萬四千八百八十五圓、計五十萬  
七千九百九十七圓、又補助費も八  
十八萬八千六百十九圓、合計百卅  
九萬六圓と云ふほど大にして之が  
計上には當局の努力は尠からぬも  
のがあつたことと察するのである  
が本府方針の一面一校計畫は誠に  
適切であつて本道の夫は昭和八年  
度に於て完成する豫定であると承  
つてゐるも計畫の當初と今日とは  
餘程相が變化して來てゐる、然も  
本年は窮民救済に全力を傾注しな  
くてはならぬ大切な時機であると  
思ふ左様に一大不況の時代であつ  
て兒童の半減退學がみえひたし

い數に上る承知する之につき都會  
と田舎との状況を承りたい、この  
傾向は田舎に於て一層甚だしく反  
對に都會地は入學希望多くて收  
容出来ない所であるが之に對す  
る緩和策如何、又今日勸業教育が  
やかましく叫だれてゐるがその施  
設を如何にするや

### 竹内々務部長 たゞ今の

御質問は多少時機を考てやつては  
どうかとのやうにうけたまはつた  
が未だ學校が少なくて恩典に浴する  
ことの出来ない兒童が多いので富  
局ではなるべく早く完成せしめた  
い方針であり教育事業は三年であ  
るが教育は百年の大計であるから  
多小の犠牲を拂つてもやりたいと  
昭和六年に十六校同七年十六校同  
八年九校を以て一面一校を完成す  
る方針であり又財政上十六校の設  
立は何等支障ないと考へてゐる、  
次ぎに勸業教育施設に對しては補  
習學校、實業學校或は實習地等に  
依り指導し又各普通學校や小學校  
に於ても全職員が全力をそゝいで  
ゐる状態である、この時議長は四  
時でありますから時間を延長した  
と思ひます

とはかり、引續き竹内部長は道種  
苗樹に於ても甲乙の實習生を養成  
し地方青年を夏期農學校に農の  
實習をやつてゐるが將來更に實業  
教育に全力を盡す方針である

# 昭和十年に完成の 普校一面一校計畫を

昭和八年に完成せしむるとは

誠に感謝に堪へない

五番金練君（宜野）一面一校計畫は先刻承つたが、素藤知事時代昭和十年までに完成の計畫であつたが今回渡なべ知事は二年早く昭和八年に完成せしめることは誠に感謝に堪へない——とお禮を述べて——

教員給の釜山、東萊は本府より補助が出てゐる關係上高給であり、晋州は遺立であり財源乏しく従つてあれ以上支給出来ない、金海農學校實習地は従來借地であつたが

地主の關係上今回買収しなくてはならなくなつた爲めである  
廿一番崔幼洙君（南海）普通學校補助費七十六万六千九百六十九圓に附記がないので内容不

明を述べて——  
中學校の教員俸給廿六人で一人平均百八十三圓餘、東萊高普が十八人で平均百六十六圓、晋州高普が十六人で平均百四十九圓となつてゐるがその差が甚だしい、之を釜山、東萊共に晋州同様とすれば一ケ年には一萬四千二百八十圓の金ができる、且下農家は撥充して授業料に困つてゐるから之を充當して

## 授業料を

撤廢しては

どうか、又金海農學校實習地購入費として臨時に五千四百圓を計上してゐるのは如何

竹内々務部長

中韓農學校

明であるが學年延長の計畫が含まれてゐるのであらうか、傳へ聞く處では

## 一面一校

完成までは

學年延長はやらないそうであるが共に實行してもらひたい、普通教育は急務中の急務であつて一面一校完成後といへども全児童の二割しか收容出来ぬ現状である、學年延長の出きないのは人件費が餘く程多い爲ではないであらうか、宜しく高給無能教員を整理せよ——と勢を上げ、更に俸給加増の減額にまで言及して盛んに論じ立てる

### 竹内々務部長

教育問題

は事重大であつて他の事業と異にしてゐるので到底御意見のやうには出来ぬ、又將來といへども學年

や學級の増設に従つてますます増大してくると思ふ

### 一番李鉉昌君(咸安)

本

論に入るに先立て一言聲明すると斷つて——第二目の土木費に於て道路政策をやめよと云つたことは決して全部中止せよとの意味ではなく、既定計畫ですゝめとの意味であつた、と聲明し日韓併合以來廿數年後の今日今尙内地人教員を採用する必要はない、又授業料の全廢が出来ねば今少し安くし教員の高給者整理の必要はないか

### 竹内々務部長

内地人教

員採用の率は内地人三朝鮮人七の割合であり又授業料は平均五十一錢弱であつて全鮮一の安い率となつてゐる又之れが全廢その調定額から見て廿九萬九千圓であつて教育費收入の六部分に屬し到底出來得ないものであるから左様御承知

願ひたひ、尙教員給引下げ

## 高給淘汰

を行ひ

安い給料で能率の上がるものを従來といへもなるべく採用してゐるのである

### 六番恒福君(居昌)

山

間へき地の學校へ内地人校長を採用する爲に朝鮮語を解せず家庭との連絡は保てずお互に不便であるから鮮人にしては如何

### 竹内々務部長

朝鮮人校

長も、ある一部では採用してゐるも何分學校經營には相當経験を有するので今直に全部を朝鮮人と爲すことは不可能の状態にあると上答へた時に午後五時半六番恒福君の閉會の動議に依り議長之を採決して閉會した

## 青年の思想善導

### 學生の不穩行動に付

橋本寛議員(釜山)當局に質問

#### 慶南道評議會(七日)

慶南道評議會第五日は前日同様六日午後一時十分より開會議長より昨日に引き続き教育費第一調査を實行する旨を宣す勢頭所以て各議員の諒解を得た十六番李章喜君(晋州)發言を求め六、七尺に餘る原稿を手にして初等普通學校を全部六學年制度に延長し内鮮共學を説き更に受業科の全廢、釜山第一第二の商業學校の區別撤廢、高等女學校の道立移管と共に女高普と女學校の區別撤廢、晋州師範の存續、密陽、晋州兩農學校學年延長、技藝學校、工業學校の新設を希望し最後に和田前知事の一面一校計畫け昭和六年度に完成せしむる豫

定であつたので今日まで同知事が在任したなら之等の問題は必ずや解決してゐたと思ふと和田知事果拜論をくどくどと并分に至り述べ更に議員攻撃にまで及んで遂に二度まで議長より注意を喰ふ

竹内内務部長 御明諭を拜聴したがお説は教育制度の根本改正、地方制度の改正等の如き御意見であつたやうで之等は總督府に屬するものであるから適切と認めながら御意見として上申してお

十一番橋本寛君(釜山) 本日は青年の思想に就てお聞きしたいと思つてゐたが前日廿二番

議員の質問に對し當局の御答へを拜聴してゐるが更に一言本員の意見を述べてお尋ねしたいものであると前提し「思想善導について指導者その人の如何にあるものでいやくも青年の信賴し得るものであります、その人は今日當面の社會思潮の各種の問題を批判し得る人でなくてはならぬ最近農村に各種の青年會があるもその有力者なるものは左傾的思想を有してゐるやうである尙學生の不穩行動に付お尋ねする近來思想運動なるものが一種の流行を帶び各地に行はれてゐる點には釜山、鎮海、晋州農學校等に行はれると聞く然もその背後には思想的團體がひそんで

あるようであつて實に寒心すべき  
現狀であるが原因何づれにありや  
昨年中に退學を命じた學生幾名に  
上るや、次いで癩病患者取締問題

に質問の矢を向け釜山府内の狀況  
を述べ更に道内府内の數之に對し  
る取締方針如何と結び之に對し  
竹内内務部長 豫算外の  
御質問であるから簡單に答へる、  
青年恩恵教化は同感である道内の  
青年會と稱するものは内縣百七十  
二團體と外に青年訓練所十一ヶ所  
あり大體良好に向つてゐる道内學  
校の退學處分は中等學校の處分昨  
年中百四十二名の中退學を命じた  
もの廿五名残り百廿名が停學者で  
復校も許したものはない初等學校  
では退學一名、停學三名である、  
長富衛生課長朝鮮には未だたい思  
者取締規則がないが本府小島島取  
容所を年々擴張し從來二百名を七  
百五十名に増加收容し釜山の療養  
所には現在五百六、七十名である  
が更に皇太后陛下の恩賜金により  
約十名を増してゐる本道内には自  
宅或は近親者の扶養を受けてゐるも  
の一千八百五名あり外に浮浪して

山には他道より三十九名  
がついて現存する入りの  
と終つてゐる

第一、第二、第三、第四、第五、第六、第七、第八、第九、第十、第十一、第十二、第十三、第十四、第十五、第十六、第十七、第十八、第十九、第二十、第二十一、第二十二、第二十三、第二十四、第二十五、第二十六、第二十七、第二十八、第二十九、第三十、第三十一、第三十二、第三十三、第三十四、第三十五、第三十六、第三十七、第三十八、第三十九、第四十、第四十一、第四十二、第四十三、第四十四、第四十五、第四十六、第四十七、第四十八、第四十九、第五十、第五十一、第五十二、第五十三、第五十四、第五十五、第五十六、第五十七、第五十八、第五十九、第六十、第六十一、第六十二、第六十三、第六十四、第六十五、第六十六、第六十七、第六十八、第六十九、第七十、第七十一、第七十二、第七十三、第七十四、第七十五、第七十六、第七十七、第七十八、第七十九、第八十、第八十一、第八十二、第八十三、第八十四、第八十五、第八十六、第八十七、第八十八、第八十九、第九十、第九十一、第九十二、第九十三、第九十四、第九十五、第九十六、第九十七、第九十八、第九十九、第一百、第一百零一、第一百零二、第一百零三、第一百零四、第一百零五、第一百零六、第一百零七、第一百零八、第一百零九、第一百一十、第一百一十一、第一百一十二、第一百一十三、第一百一十四、第一百一十五、第一百一十六、第一百一十七、第一百一十八、第一百一十九、第一百二十、第一百二十一、第一百二十二、第一百二十三、第一百二十四、第一百二十五、第一百二十六、第一百二十七、第一百二十八、第一百二十九、第一百三十、第一百三十一、第一百三十二、第一百三十三、第一百三十四、第一百三十五、第一百三十六、第一百三十七、第一百三十八、第一百三十九、第一百四十、第一百四十一、第一百四十二、第一百四十三、第一百四十四、第一百四十五、第一百四十六、第一百四十七、第一百四十八、第一百四十九、第一百五十、第一百五十一、第一百五十二、第一百五十三、第一百五十四、第一百五十五、第一百五十六、第一百五十七、第一百五十八、第一百五十九、第一百六十、第一百六十一、第一百六十二、第一百六十三、第一百六十四、第一百六十五、第一百六十六、第一百六十七、第一百六十八、第一百六十九、第一百七十、第一百七十一、第一百七十二、第一百七十三、第一百七十四、第一百七十五、第一百七十六、第一百七十七、第一百七十八、第一百七十九、第一百八十、第一百八十一、第一百八十二、第一百八十三、第一百八十四、第一百八十五、第一百八十六、第一百八十七、第一百八十八、第一百八十九、第一百九十、第一百九十一、第一百九十二、第一百九十三、第一百九十四、第一百九十五、第一百九十六、第一百九十七、第一百九十八、第一百九十九、第二百

# 忠南評議會

第三日目 三月五日

（公州）第三日目（五日）の忠南評議會は二十三名出席十時十分開會その劈頭丸山議員は既報の大見得を切つて退場し颯風一過後

▲成君（禮山）場なした句調で米價安の對策穀業政策初等教育の授業料制度水利組合問題に關し午前中の時間を占領し午後は

▲沈君（大川）窮救事業・漁業設置問題、道路改良工事費の内容内譯を問ひ夫々答辯あり

▲李君（洪城）桑苗の無償配付を迫り洪城寄陽間等外路の昇格を望めば高武内務部長答辯し議長之に布衛した

▲李重和君（天安）初陣ながら悠々迫らざる態で窮民救済事業の治水治山土木工事はその目的が窮民救済にある以上之れに均霑する人員範圍その他實行方法が承り度い次は教育費補助額を

郡別に示せ地稅附加額も同様郡別に明示せよ但し攻撃材料に供する考へでないたゞ研究の基礎にするとするべく突入る

▲高武内務部長 詳細に調べてない一々明示するは困難である又郡別負擔の多寡によりて施設上厚薄はない

▲李君 再び郡別により施設の厚薄を疑ふのではない補助の分配率と附加の歩合が承り度い

▲高武内務 前答辯の通り地方的議論醸成の恐れがあるその懸念目的を諒とせられ懇談を交へたら如何と道當局の衷情を訴へ飽迄内容を示さず李君の迫及益々急なるを看取した劉議長は例の老獪な句調に微笑をたへへ教へると倒れや十八番議員は内容に暗いところがあるやうに一極の疑惑があるやうであるが決してソナ所はない當局を信用

して任じて置いてもらひたいと推して付けたが此度は

▲成元閣君（禮山）之道當局は再三言實を興へてゐるその郡から取つた金は成るだけその郡に費ふやうにすると云つてゐるではないか

▲高武内務 その郡から出したものはその郡に費ふといふ趣旨ではない之は一面社會政策を加味し換言すれば相互扶助の精神も織込まれてゐるからその邊諒としてもらひたいと哀訴的答辯をなせば李君なか／＼許さず

▲李重和君（天安）何も攻め道具に使ふのではない研究材料にするのだから眞物を見せてもよいではないか又最前議長から當局を信頼云々とあり内務部長から立脚を諒としてもらひたいとありたが此度は私を信頼してもらひたいのじや地方制度の改正を目前に控へ自治の前提たる本會議において斯かる問題を擧げるは遺憾であると追ひせまれば

▲高武内務 答辯は盡きた當局は決して不誠意ではない不公道ではない

第四日目 三月六日

（公州）忠南道議第四日（六日）午前十時三十分十九名出席（欠席五名）開會の續き第一議會發言

▲杉沼君（天安官選）窮民救済の實行方針にいたつたが豫算の内蔵と解剖するに南方に偏してゐる

い如何なる部が、その部計と云ふがその打合の経過を提出した計画内容を明示せよ

▲高武内務 御説尤もである充分考慮して振當てゐるその内多額なのは論山川である被害の最も大で急なるものから手する此外にもあるが、經費その他意の如くならぬ道路橋梁も道全般を見流して可成整備的に着手する

▲杉沼君(天来) 田作改良計畫により生産となり米作に影響はないか又農倉の設置場所を明示せよ

▲高橋農務 田作改良計畫の大要を述べ數量數字を並べ結論として十二年度における收穫量から金高迄長々と導き立て生産過剰に陥らぬ證據として、洲外米の輸入状況を述べ農倉は國補の關係から本府との條件があるの、で今その位置は決定してゐない

▲李伯春君(青陽) 教育費補助の内容を示せ、山都新設小学校は組合員一名生徒一名で存続は不得策と思ふ

▲高田視學官 補助費の内訳はその方針として明示し難いのでその大綱だけをとして數字を掲げ新設小学校は廢校の必要なく普通通學校の新設ヶ所は未定で言明は出来ぬと突き放つ

▲守山土木 大峙峠の改修は必要であるが此度の計畫には漏れてゐる青陽川架橋、本府で認めてくれぬから計上出来ぬと理由を述べ

▲龍淳君(忠津) 殿稿の前に吾輩も讀み上げ質問やら讀み方の試験やら輕んぜず要點として

は、財政部、教育、農務、衛生、土木、各課の所管に属する、と述べ普通通學校の教育補助費の内訳につき前日同様の質問をした

▲高武内務 前者への答辯を詳しく繰返し繰返して親切に答辯を終るなほ守山土木から改修路線を讀み上げ終る

午後一時再開、成元慶君(禮山) 新設小学校存続の答辯は不徹底である存続の理由を問ふ

▲高田農務 教育その他諸般の事情と經濟的方面から別に廢校の必要を認めぬ

▲赤井(彌山) 緊縮時代に拘らず窮民救済費を多額計上された事は感激に堪へぬ道評議會の名において總督總監に謝電してもらひたい

と珍らしい注文を提出し學校衛生(寄生虫の止除) 教育費、養育費、供膳費、耕作法改良、外道路費補助費等を持出し謝辭と需求と意見を交へて質問した

▲高武内務 窮民救済はいはゆるその名に反せず充分期待に副ふ考へである道路保護組合、他の實績に鑑み設置せよ、等外道路中自動車運轉線、雖も當分不可能であるが構造物はなるべく地方費で造りたいと思ふ

▲高田農務 學校衛生は深甚に考慮し本年度相當計上し將來大いに注意する

▲高橋農務 桑畑増殖は法定生産量を設定し需給を圓滑ならしめ自給自足の方針を取る、田作改良も御希望に副ふ事と信する、農業傳習所の補助金は以上不可能であると答へ

▲高武内務 工事竣工検査は迅速にやつてゐる當然之に反する實例があれば考慮する

▲高武内務 工事竣工検査は迅速にやつてゐる當然之に反する實例があれば考慮する

▲高武内務 工事竣工検査は迅速にやつてゐる當然之に反する實例があれば考慮する

▲高武内務 工事竣工検査は迅速にやつてゐる當然之に反する實例があれば考慮する

▲高武内務 工事竣工検査は迅速にやつてゐる當然之に反する實例があれば考慮する

▲高武内務 工事竣工検査は迅速にやつてゐる當然之に反する實例があれば考慮する

▲高武内務 工事竣工検査は迅速にやつてゐる當然之に反する實例があれば考慮する

# 守山土木部長 江原清一郎の演説

公州江原郡の一部は格も必要と思つてゐるが意の如く行かぬ。江原林川間は三等道路の豫定線になつてゐるが本年は實現不可能である。

▲高橋農務 産米改良組合を造りその他の方法を盡し極力玄米調製を奨励し米價が全北に劣らぬやう政策を講じ各種の施設をなす期待に副ふべく大努力を續けてゐる。

## 消議傍聴記

◆道廳移轉問題の建議案も超特急で通過し重荷を卸した、議場は極めて靜謐な第二日目東京からはせ參つた丸山比尋議案の密葬を喝破しサツト退席したのは鯛茶の味がした。

◆知事の議長振りは圓熟といはんより老獪に近く小面が憎い點がある。

◆高武内務の答辭は徹頭徹尾懇切で羅如としてその人格を髣髴させる。

◆空重地方課長の答辭は答辭その

物が文章で實に立派だすが官廳のなれの苦勞人だ。

◆守山土木部長昨午揚足を取られ目を白黒させられたに懲り本年は餘程慎重に且町に失言なきを期してゐる。

◆高橋農務課長田作政良 講演で百萬言を費したが今少し簡潔に願へば助かる。

◆議員側では成元慶君が筆、總務格で新顔では天安の李重和君が群を抜いて異彩を放つ。

◆天安の李重和君教育費補助で穴熊を捕へそれに成元慶君が警援したので局愈々窮地に陥り哀を嘆願之れ努め辛ふじて危地を脱したのは李君こそ殊勳第一。

◆唐津の李龍淳君初陣だに大事を取り原稿を前に讀本的な質問を發したのには弱らせられた。

◆赤井の御用ぶりに一寸齒が浮くやうだ窮民救済費は大恩恵であるから總督總監に謝電を送れと提議した處などさすがに公選さまだ。

◆益田君（燕岐）の初音を聞いたが及第點は充分で來議會の論戦は蓋し期待するに足る。

# 忠南道評議會

論議の中心は

## 窮民救済費振當

3. (第四日午前)

忠南道評議會第四日は六  
日午前十時三十分鐘に  
開會議長開議を宣し前日に  
引續き質問を許す

▲七番杉沼議員(天安) 窮  
民救済事業の振當が南に  
偏す窮民は南の方のみ  
居らず豫算の編成に當り  
ては各地方より夫々請求  
もあり考慮も拂はれたも  
のと思ふが豫算編成當時  
の内容を承りたし

田作堤勵の曉生産夥多と  
なり又々米作奨勵の如き  
生産物の暴落を招く憂な  
きか農業倉庫一棟の建築  
は國庫補助を見込んで居  
るが財源の確實を云ふと  
を得ないと思ふ

▲高橋農務課長 六年度  
の畑作の改良に一段と力  
を入れたことになりまし  
たが大正十二年より大麥  
小麥の改良はやつて來た  
のでありますが大年度よ  
り本府の方針によりまし  
て大麥小麥裸麥大豆粟の  
改良の計をこにたりまし  
たこと其内容を説明し  
生産物の過剰の就いては  
現在何れも多量の輸入に  
俟つて需用を満して居る  
状態であるから其心配は  
なからうと思ふ農業倉庫  
の補助金七割は下附され  
ること決定して居る位  
置設計等は夫れ規定  
されて居る方だからそれ  
に準據して調査を進めて  
行きたい

改修を先にしたのであ  
るから南方を早く北方を  
遅くすると云ふことは  
い本道の河川の中に被  
害の最も多いのは論山川  
でありまして美古川扶餘  
郡錦山等これ、欠い  
居る道路橋梁も腐朽甚だ  
しいものより改修の方針  
をとつて居る

▲一番李議員(青陽) 普通  
學校費六十二萬八千八百  
圓一面一校計畫に依る三  
萬一千二百圓の新禮院小  
學校の児童が唯一名で  
あるがこれを廢止されて  
は如何公州 青陽間大峙  
の改修の意志なきや

▲高橋視學官 新禮院小學  
校は國庫補助と組合費で  
立派に營業して居るから  
廢止の意志はない學校費  
の分配普通學校の新築は  
調査が出来て居ないから  
發表することが出来ない

▲守山土木課長 青陽公州  
間の大峙の道内屈指の難  
路であるが經費の都合に  
て改修は出来ない青陽川  
の橋梁は六年度には出来

ちいが後年度に於て架設  
の方針である

▲二十三番李議員(唐津)  
朝鮮に於ける農民救済は  
農民救済であるが都市の  
窮民は異動性に富むも農  
村の窮民は土着して居  
るから郷里を離れ難いも  
のである近來農村 青中  
が郷里を離れて都市に集  
中するがこれは都市が生  
活に都合がよいからであ  
るが青年の離村は思想が  
危険ならしむるのである  
から農村の生活力を瀧  
いで貰ひたい

▲高武内務部長 二十二番  
議員の質問要旨は忠南道  
の窮民救済費が全鮮各道  
中の第一位にあるが其施  
設が都市に偏して農村に

偏るのは此結果は農村青年  
の離村となつて青年思想  
の危険を招く患がある  
云ふのであるが論山川改  
修は六年度割三十二萬圓  
三ヶ繼續總額百四十六萬  
五千圓美湖川改修は九萬  
一千圓扶餘 錦江改修一  
萬一千圓とあつて論山川  
の改修は附近 論山川  
景 兩都市はあるが農村  
に介在して居つて都市  
偏して居る譯ではない尙  
又廿番議員 憂慮される  
青年思想 善導に就きま  
しては普通學校卒業生指  
導其他の方法は極力方  
法を講じて居るのであり  
ますと尙救済資金に依  
りて改修する各路線と讀  
み上げた時に正午を過ぐ  
る十五分議長休憩を宣す

# 慶南道明年度豫算案

## 大多數を以て可決確定

米檢の苛酷と不公平を鳴らす

釜山 9  
6. 3.

### 慶南道評議會 (五日目七の續き)

教育費の第二續會に移り  
十九番金慶鎭君 (昌原)

現在の農村は疲弊困乏の極に達し家財を賣拂つて都會地に流れ出る傾向がある之は自暴自棄の結果にして斯様な有様で入學兒童の授業料を更に財源の許す限り減免し救済せよ、又普通學校の教科書が餘りに多過ぎ又學用品も商人任せの關係上高價に過ぎる嫌ひがある従つてその負擔も大きくなり貧困に依り退學者續出の有様である、

永井地方課長 農民が自暴自棄に陥り都會地へ流出すると云ふことはその主因たるものは所謂收入と支出の均衡を失した結果で、喚言すれば餘りに文明の空氣を吸集し過ぎた爲借金が多くなつたのである故に之が救済には精神療法と對照療法に依るの外はないのである

小田學務課長 道内普通學校の昨年に依る退學者數の狀況は總數五千四百六十六人中貧困に依るもの一千九百卅三人にして一校當り九人に相當してゐるのであつて左程貧困退學者が多いものとは思

つてゐない向一面一校計畫に依り學級を多減減少したと云はれるも各地に學校新設に依り兒童數の減少を來した自然減であつて尙ほ六年度も九學級の整理を行ふことになつてゐる、授業料に就いては昨日も申した通り經費に重大な關係があるので減免のとは考へてゐない學用品は先般各學校に於て研究をすゝめたので適當に提供されることと思ふ、尙又、

### 教科書は

六年度から幾分値下げされる

ことと思つてゐるから左様御承知願ひたい、と答へ三時十五分休憩、同卅分再會

十四番金泰鎭君 (馬山) 馬山公立商業學校は道内十三、

四郡の生徒が入學してゐるがその卒業年級は乙種學校として三ヶ年である、之が學年延長と共に昇格されたい、若し昇格出來ないとすれば學年のみでも延長を望む、尙馬山普通學校は學級不足にて入學

難に苦しんでゐる之が救済の爲増加を切望するものである  
竹内々務部長 只今十四番議員より學年延長の御希望があつたが現在本道には三つの商業學校があり釜山の第一第二は共に五學年制度なるも馬山は三學年制度である、然しながら五年制度のみが實社會に出て必ずしも必要でなく却て三年制度の卒業生が歡迎せられてゐること、從來銀行、會社、商店等の成績により明かである、然して五年卒業は何れかと云へば上級學校に入學希望者又三年卒業は直に實社會に活動するものを養成するのがその目的となつてゐる、之を軍隊にたとへて云へば五年制度は將校を養成するものである、三年制度は下士を養成するものである、然も今日の軍隊はその兵

卒を直接指導し中堅ともなるものは下士であつて將校は之を統率するに過ないと云ふ夫は下士の養成は重大なことが叫ばれてゐる時代である、この意味に於ても商業學校の三年制度は最も必要にして全鮮に誇るのもであると思ふのである、次に普通學校の學級増加に對しては一面一校の完成後に於て都會地方へ増加し次いで他地方の學生増加の方針で行きたいと思つてゐる

**六番 慎鏞福君（居昌）** 居昌では當局の御努力により農業補習學校が設置され郡民等しく感謝してゐるが中等學校なくして非常に不便を感じてゐる、この程度の學校はその地方々に適したものを設置すること勿論であるが居昌郡は山間部であるから長林學校を

## 醫療機關

の設備極めて不完全であり

之が爲大邱或は曹州等に出なくてはならぬ故に道立醫院の分院を設置されたいとの希望に對し

**小田學務課長** 農林學校の設置は目下當局としては意圖を有してゐない

**長富衛生課長** 醫療機關の不備の點はお氣の毒に存してゐるが道立醫院分院設置には十分考慮する

**十番 許撥君（金海）** 朝鮮語で諸問外の洛東橋梁設置問題を述べると三番議員が議長十番議員は只今議題外のことを言つて居ります——と叫ぶと議長は「通譯がないから判りません」と笑はせ更に十番議員が續き「密陽農道と金海農業兩校の學年延長を望み尙金海農業學校實習費の減額理由をたゞす

**小田學務課長** 金海、密陽共に乙種學校で夫々特色を有してゐるので本道としてはこの種學校の存續を希望してゐるので學年延長の意志を有して居らぬ、又金海農業學校の實習費削減は他校も同様であつてたとへ節約しても財界不況に依る物價が下落してゐる關係でこの程度の經費で十分と思つてゐると答へ次いで卅一番さい眞國君（泗川）既に大體質問も終つたから歳出の第二議會を打ちきる動議を提出し議長は之をはかり採決多數として決定時に午後四時四十分引續き歳入全部並ひに第二、三、四、六、七、廿號議案に對する第一議會を議題に供す

## 貨物自動車

が道路を破壊する事夥しい

ものであ——と多少不況でも増税は左程苦痛でないという意味深長な意見を述べた

**議長** おはかりします一議會も既に議論つきたやうであるから二議會に移りたいと思ふが如何とばかり賛成を得て二議會に入る

**廿四番 金丸源一君（統營）** 許可漁業である小漁業者は道内のみで従業出来ない爲他道にまで進出してくてはならぬ、故に一年に三つも四つもの税を支拂つて

ある然も全納であつて遭難等があつても之を納めてゐるのである農村は災害があれば救済され免脱の方法もある然るに漁業者には何等の途もない、年額六萬圓からの税を負擔する許可漁業者は實に過重に苦しんでゐるが之に對して當局は如何なる見解を有してゐるか

**駒呂稅務課長** 漁業者の救済は免許を取消さぬ以上税金は課してゐる、之は酒税と同様の取扱ひである

**南呂産業部長** 小漁業者の爲めに沖合漁業の制限を行ひ又期限を附して保護してゐる又漁業組合に對し四萬七千圓の起債で資金を貸付獎勵してゐる——次いで廿六番孫興君（密陽）歳入以下議案全部の第二讀會を終る動議を提出し議長採決し多數決として二讀會を終り

**議長** 皆さんにおはかりします連日御勉強を願つて第二讀會の全部を終ることになりましたが別に修正意見もないので歳入出議案全部の第三讀會に入りたいと思ひますが如何がですか——はかり賛成々々の聲あり、夫では之れから引續いてし開案全部の

## 第三讀會

を開きます

**廿八番迫間房太郎君**（釜山）發言を求め、今日まで歳入歳出豫算案につき各議員共に熱のある質問あり當局又親切なる答辭に依り満足である別段の修正意見もないので總議案を終了したい動議を提出する各員も賛同されたい——その動議に

# 米穀検査は

## 頗る苛酷に失し

不公平だとの噂があるが

事實とすれば看過出来ない

三番鄭錦徳君(山陽) 經常地方税の三萬一千九百十九圓減は財界不況の結果と思ふが農付はこの不景氣の折衝國稅、地方稅或は農會、山林會、畜産組合等多種多様の負擔に苦しんでゐる減稅又は免稅等の途なきや次に米の検査につきおたづねするが米の検査が多少にても缺點ありとせんか直に以て農村に及ぼしその生産に重大な影響を與ふるものである、然るに新聞紙上傳へられる處に依れば當局の検査は頗るか酷に失し不公平とのことである、はたして事實とすれば看過できない問題である——と鋭く詰寄り次いで平州咸陽何れにか米穀検査所を設置する意志なきやと詰ひ

神谷財務部長 農村の疲弊には同情する然し之が救済は歲出豫算審議で議した如く土木防

等の救済方法があり、又勸業方面に於ても富を増し負擔を軽減する施設が計畫されてゐる、尙ほ税金の減免の途は災害等特別の場合はあるも本年は左様な事情なきものとして計上したものである

南呂産業部長 米穀検査は決して酷に非ず公平と認めてゐる——と鄭北との比較數字を示し昨日も述べた如く乾燥不十分の爲に不

合格米が幾分多くなつてゐるも然し検査の標準は一定不變である、平州咸陽間に検査所の必要はないと思ふ

四番李輔衝君(河東) 米穀検査より前年より無事が語くよう

てゐる夫は昭和四年に三等合格のものが五年は四等となり又四等であつたものは等外に落ちてゐるこれを以て見ても明白である多少乾燥不十分としても直に之を等外とすることは農村の最も苦痛とする處である、四等米は大部分釜山で消費されてゐたものが等外になつた爲内地に安く移出され爲に農村では米價安に加へて二重三重の苦痛をなめてゐるのであると悲痛な叫びを上げその

## 検査苛酷

の非を鳴らす

南呂産業部長 先烈三番議員にお答へしたのでお判りと思ふが更に附言するが決して標準を

上げてゐないと説く次ぎに

廿六番孫興君(密陽) 本殿は先刻來つたらん意見を述べるより各議員の御明論を拜聴した方がよいと思つて差し控へてゐたと前置し車輦税につき自動車前に荷牛馬車税が昨年より一圓五十錢減したことは結構である、自動車税に於て年額三千圓の減は荷牛馬車に比して多過ぎる之は漠然たる賦課でなく許可マイル數に依り課税すべきではないか

神谷財務部長 自動車税の減額は本年の如き不況に際し増税は不當と認めるのみならず乗合に於ては特にその感が深いので現在位を妥當と思ふ

卅番河駿錫君(昌寧) 本殿も自動車第一線を行してゐるも

大多數を以て

## 明年度豫算全部

原案通り可決確定

議長 只今廿八番議員から全部の三讀會を終る動議がありまして、先づ採決したいと思ふか之に先だつて一言述べたいと思ふとて、本府の方針で窮民救済事業があり、爲に五百六十餘萬圓と云ふ大きな数字に達した豫算編成に對し當局は重大な責任を感じ慎重に行つて本會議に提出し連日審議をお願ひした次第である、就てはこひねがはくは未曾有の本豫算に満場一致の御賛成を得れば當局の満足とする處である——と挨拶をなし更に夫では三讀會を終る採決をしますと賛成を起立に求め大多數を以てさしにも未曾有の大豫算も茲に何等修正を加へるとなく原案通り目出度く可決確定した、終つて議長は明八日は日曜ですが如何いたしますかと日程をはかり

七番權穆君(れうもつ) 各議員も疲れてゐるから八日休會し當日は龜浦並びに梵魚寺財水池の視察したいとの意見にいつれも異義なく賛成したか九日、十日の兩日は愈々夫々地方を反映する卅三名の議員が希望意見の開陳を爲すこととなつて午後六時閉會した

## 釜山第一、二商業

## 合併説を論ず

晋州の李章喜君

慶南道評議會(第五日)

報 6. 3. 9

五日の慶南道評議會は定数直に開  
會引續き教育及び其他の内土木費  
を除いた豫算第二議會の日程に入

李章喜君(晋州) 内鮮の區別  
をなすことの不合理を説き釜山  
に於ける第一、第二商業學校の  
合併師範學校の存續、晋州農學  
校の林業課の増設、私立農林學  
校其他の昇格、統營女學校の建  
設を主張し

竹内部長 貴問は地方制度の  
改正及び道法令の改正等に及ぼ  
すものであるから慎重協議の上  
地方長官會議に提出若しくは本  
道で審議したいと逃げ

橋本寛君(釜山) 隨所にある  
青年同盟は左傾思想研究目的の  
團體視されてゐるがこれに對す  
る當局の意見は？次に近時諸所  
の普通學校に於けるストライキ  
道内に於ける天刑病患者の現況  
は如何？

竹内部長 道内百七十二の青  
年團の内思潮溫健ならざるもの  
があるが之は思潮定まらざる青  
年の通弊で當局に於ても指導訓

練をなしつゝあるストライキに  
依つて處分を受けたもの中等學  
校一四二名、初等學校に於て四  
名である

長常課長 病院の收容能力は  
五百六十名位で道内に於ける數  
は一定の居所を持つてゐるもの  
一、八〇五名、浮浪者三百九十  
九名、他道より流れ込む者が約  
百名位で病院へ入るため現在で  
は三十名位しか居ないが四月よ  
り十月へかけて約三百名に達す

魚大成君(釜山) 一面一校主  
義による向三年間の十六校設立  
が昭和六年度に於て審附金全部  
を受入ることが出来れば六年  
度に於て完成すると出来るか

竹内部長 六年度に一時設備  
する意思はない

金慶鎮君(昌原) 農村の疲弊  
を説き

永井課長 これに答へ  
議會三時半迄十五分間の休憩を宣  
する(以下次號)

# 慶南評議會

新10

第四日目 三月六日

(釜山) 慶南道評議會第四日は六日午後一時より前日に引き続き勸業費及授産費全部に亘りて質問戦に入る此時出席議員三十名(缺席三名)渡邊知事開會を宣す

▲金一君(統營) 水産補助は年々減額さるは如何の補作桑苗の補助に對して非常に少ないこれは農に厚く水産に薄いではないか然し水産試験船建造費六萬圓を計上されたるは深謝するが從來漁業家の實情については水産方面より香椎中部兩氏が議席におられしがこれ等は漁業家でも大資本家である爲め眞に御漁業連の聲は解らないと思ふ

なほ各島にある小さき砂波堤の如きも昨年の大暴風によりて頗ど破壊されておるからいはゆる漁船の避難場所を完全にしては如何

と大いに水産振興につき徹底したる質問をなし漁業家の爲めに萬丈

の氣焔をあげ慶南道と全南道と對照して漁船避難所の少ないのを指し述べ

▲南宮産業部長 水産關係に就ては出來得る限りの補助がしてあるなほ試験船建造によつて沿岸の漁業振興に充分期したい

▲河腰銅君(昌寧) 農村の疲弊その概に達してゐるから國の大本たる農を振興さすには第一農作物の増收、第二農家の収益、第三技術員の増置であるが豫算面には農家の収益に關して考慮せられてゐないのは何故かと質したほ技術員を優遇せよと追

る

▲許撥君(金海) 農は天下の大本であるのにどうも豫算が少ないやうだこれで當局は満足さるゝや満足されないとすれば將來如何にせらるゝや

▲李章喜君(普州) 本日は昨日から再三發言を求められ共容れられ

と題目がたつと長廣を弄し一紙つきくどくとし長廣を弄し一紙より嘲笑を買つたが本論に入りて米穀乾燥場は昨年開設したが本年度創りしは如何、又補作獎勵に就て慶南道と慶北道と對比して昭和二年度より以降の成績を當局にたいす副業獎勵、土木改良費などに長舌すれ共論旨徹底せず

▲南宮産業部長 豫算の内創られてゐるのは緊縮方針によつてである補作獎勵に就いて慶南と慶北の販賣對照については明日午前中御越しになれば統計表によつて説明するから

と言へば萬場失笑す此時渡邊議長より勸業費及び授産費に就ては大體の質問を終つたから第二議會に移したしと議長に語り賛否を起立に問ひ大多數賛成して第二議會に入る

▲盧俊泳君(咸陽)

(一) 技術方面に直接全力を注ぎ産業技術その者がその有する技術を表記する能はざる不合理(二) 主要なる副産物を有利に販賣せしむる爲めの共同販賣が指定販賣といふ惡制度のためその目的を達し能はざる不合理(三) 主要農産物である米をせめて生産費でもつぐなふ様になつてしむる施設なき事

を一々實例を擧げて當局を難詰し前日來より議長を初め參與員を手古摺らす事において第一であるが頭腦明晰なる彼の質問振りは坂田議員と相俟つて本議場の兩横綱である

南宮産業部長これに對し克明に答へ議長は午後三時休憩を宣す午後

## 三時十分再會

▲吳徳相君（蔚山）棉作實況を論じて當局の棉作奨励に矛盾がありはしないかと詰より

▲坂田文吉君（釜山）勸業の原理よりとき起し數字的に説明して緑肥及び堆肥指導里洞に言及しその錯誤あるを指摘し水産額の統計によりて總書を傾け滿場靜肅して各員傾聴す

▲河駿錫君（昌寧）勸業費授産費の第二議會を終了したしと勸諭提出大多數賛成ありて成立し

▲田中玄黄君（馬山）一面一校計畫は今日の野台かんがふべきではないか就學率の少ないのは何に起因しておると思はるるか尙勸勞教育を今少し徹底に普及されたし

▲竹内内務部長 一面一校の完成を一日も早く急いで何れの地にも教育の均てんしたる意向である昭和七年度十七校八年度十七校を以て新設し本年度に十六校を建設して銳意目的の達成に努める就學兒童率が田舎に少ないとの意見であるがこれも一面一校の完成によつて自ら解決のつくものと思考するから最善を盡す又勸勞教育は適宜普及しておる

▲金鍊君（宜寧）釜山と晋州の職員俸給を比較すると三十四圓の差があるが如何これを道内一率にすると一萬四千圓餘の剩餘金が出るからこれを各郡内の貧民

就學兒童に振むけたら如何なほ職業補習學校を道内に十ヶ所新設して頂きたいと總々數千言を費すので議場全くと氣漫々となと議長より修言をなれば第二議會にされたしと修言を與へられたが金君がまわらず意見を述べ漸く着席すれば萬場を對して意見を述べ内務部長は管理者として別室において答ふと述べ崔演國君（泗川）人件費に就て論じ

▲李鉉世君（咸安）普通學校の職員は朝鮮の人を多數に採用してもらひ度いと述べたがこれには道當局は現在七割の職員を採用してなるべく多く採用してゐると答へ慎備禧君（居昌）質問すれど徹底せず評議君（金州）金海郡農學校實習地について各議員に諒解する機を求め次で

▲金泰鎬君（馬山）一面一校が完成した曉なほ學級増設、私塾見た様な機關でも許可して教育の普及に努めてもらひたい

▲小田學務課長 御意見は確に拜聴しておきますと至極アツサリ答へて慎備禧君より

附屬により之で建設したしと述べ滿場賛成して議長附會を散す時五分時三十分

# 原案通り

## 豫算案を可決

慶南道評議會(五日目午後)

報 10  
民 6. 3.

(昨撮つゞき) 三時再會金泰鎬君(馬山)金練君(宜寧)交々質問をなし

裴翊夏君(昌寧) 當局の答辯は何等誠意なく授業料問題、一面一校其他の質問に對し豫算が赦さぬとか等とお茶をにごしてゐるが、農村漁村の疲弊に對して授業料の減免は重大性を帯びてゐるものと考え

小田課長 お話は承つて置きます

李鉉覺君(咸安) が農村施設に關し内地との比較論を初めるが益々だれ氣味の所議長より四時になり時間延長を諮り延長の上又同じ調子で續ける之に對する神谷部長の答辭中金君(宜寧)崔君(泗川)起立して發言權を得やうと辛抱したがとうと隣りの席から尻をつゝかれ着席

許撥君(金海) 金海農業學校の豫算は昨年より千九百七十六圓の減でこの内實習費一千三十七圓を減じてゐるが最も重なる實習費を減じて農學校の實績が上るか

小田課長 豫算遞減は豫算堅縮によるためで實習費は物價低落したためこの豫算で足りるのである

崔演國君(泗川) 議事進行上と立ち上つた迄はよかつたが、五日目初めて口を開く嬉しさに氣も轉倒して

私は五日目三十回程の發言を赦されたのであるから嬉しい、私發言は何故容れられないのか、三十一番の議席の番號が悪いのかと考へた、今迄多少の質問があつたが土木費の第一第二議會教育費其他の第二議會も大方済んでゐるから最早質問はない、それ教育費其他の第二議會を

李輔衡君(河東)

玄米の検査

に對して質問する、一昨年三等米程度のものが昨年より急に嚴格となり四等に検査され四等程度のものが等外になり、そのため内地輸出が出来ず安價にたかれ直接農民は二重三重の苦痛を負ふのであるがそれに拘らず白米の検査は依然變らず白米製造の精米業者は利益を受けるが農村は最も困難するのである、なほ先刻の産業部長の話があつたが直接業者にはその答辯には満足出来ない、實際の経験者から言へば検査方針を引き上げた實證は判然としてゐるから之に對し白米の検査方針も引上げるか玄米の検査方針を下げられたか、そのため鮮内は米の洪水によつて米價低落の折損農村救済の意味に於て誠意ある答辯が欲しい。

南宮番外

當局はさつきも云

つた通り嚴格であるとは認めない、白米玄米共に水分〇パーセント、デンプンを嚴格に實施してゐるのである。

と検査成績を讀み上げる

金練君(宜寧)書類を靴に入れた所へ發言職を赦され挨拶したのみで退き去る。

孫興君(密陽)牛馬車税自動車税の遞減を賞めつ然しながら自動車税は餘りに少なきに失してゐる、百圓二百圓でもかまわぬと考へる。

神谷番外

財界不況の折柄で

あるから増税は差ひかえる

河駿錫君(昌寧)自動車業者の私として自動車税の増加は賛

成である、然し營業用、自家用貨物、乗合、普通自動車、區別をつけ課税されたい、なほ自動車と荷馬牛車との税に於て普通農作用に使用する後者を前者よりも高い税であるのは本員として奇怪に思ふ。

駒宮課長 來年より希望に副

金丸君(統營)吳德相君(蔚山)交々質問の後孫興君(密陽)の提議により歳入全部の第三議會の終了を議し議長より第三議會を終り第三議會に移る。

迫間君(釜山)本第三議會を終



議長 本府の方針に基き失

救済のため未曾有の大決算を組

んだので豫算案の印刷は最も早く

御手許に差上げたので、今迄慎重

に審議を受けて別修正意見もなく

賛成を受けて有難い、その後多數

賛成を得て評議會をアツケナク

終つた。明日は地方費施政に對

する意見陳述とその成行は如何に

變化するか懇談會に移して新知事

の農務課廢止につき質問するや大

混亂を豫想されてゐる

終り足いと思ふ  
と提議し賛成を得て其儘歳入第一議會に移る

鄭鎬德君(山清)農村の窮乏

を説き戸税を減額してあらずなほ

農村が間接にかうむる米税の検査

方が嚴格なるを訴ふ

神谷部長 農村の状況は了解

してゐる、そのため勸業費其他

の歳出に於て農村の負擔以上の

歳出をなしてゐる、かつ能力に

應じて戸別税を徴収してゐるか

「不都合はないと思ふ、又特別

の天災諸他がないため減免延期

はしないことになつてゐる

南宮番外 御承知の通り一昨

年昨年に於て雨天續きそのため

濕氣で水分が多かつたのを公正

に検査したためその非難が起つ

たので公正な検査をなすため變

南米の驛價が上つたので嚴正な

検査のためものと思ふ

愈々九日より

# 希望意見の開陳

釜山 6. 3. 10

## 慶南道評議會(九日)

昨報の如く慶南道評議會も七日第  
五日目を以て未會有の大豫算も何  
等修正意見なくして大多數を以て  
原案通り可決確定を見八日の日程  
變更して休會英氣を養つた上愈々  
九日第七日より夫々地方の聲を  
反映する各議員の希望意見の開陳  
に移つた午後一時十分議長開會を  
宣し登壇

三番鮮錦德君(山清)發  
言を求め一昨日三讀打ちきり原案

可決に際し解釋の相違から賛成し  
なかつたことは甚だ遺憾であつた  
から本員の立場を明かにすとして議  
決の不滿を述べ

廿八番泊間房太郎君

(釜山)唯今三番議員より三讀會  
の議決決議に對し不滿のあつたや  
う承つたが本員等としても同様で  
はあるけれども之は些細にして大  
體に於ては議決と認め動議を提出  
したものであると諒解を得更に五  
番金謙君同様の意見を述べ最後に  
改めて原案賛成の爲起立したいと  
満場にはかり之に對し

廿二番坂田文吉君(釜山)

山たゞ今の三番、五番議員の御意  
志は誠に喜ばしく思ふ次第である  
然し夫が爲一旦議決したるものを  
更に議決をやり直す必要はなく既  
に十分原案に賛成であつた議員は  
判つてゐる

議長 一昨日の原案可決の場  
合に對するたゞ今各員の勵はしい  
お言葉を承つて感謝に堪へぬ只議  
長は道評議會に臨むことが今回が  
初めてである爲に言葉が議場に徹  
底しなかつたので大各の議員に不  
満を與へたことは遺憾に存して  
ゐる然し再び議決のやり直しは如

何かと思ふので只今の纏いのお言  
葉は議事録に記載し本道の光輝あ  
る歴史にして残したいので左様御  
承知を願ふとして賛成を得次いで提  
示案所付わう讀を終へ意見開陳に  
對し議長より一番から廿二番の順  
に交互に開陳するを以て可決定  
一 一番李鉉覺君(咸安)咸  
安川並びに漆原の西と南に添ふて  
流るゝ河川の改修、馬山商業學校  
の學年延長を希望す

議長 御意見に對し一々御答  
辯しては時間を要するのではな  
く言を述べ

廿二番坂田文吉君(釜山)

(釜山)本員は普通學校教育につ  
き希望意見を述べると前提し普通學  
校就學児童數及一面一校完成後に  
よる收容數等を數理的に述べ就學  
出來ない児童を愛護し現在計畫の  
一面一校計畫を八年度完成を七年  
度に完成せしめ然して學年延長學  
級増加等の實際的普及に入るべき  
ではないかと思ふ然し將來を考へ  
ると教育は實に限り大なるものに  
なる故に夫々地方の面に於ても財  
源配分の何等かの方法を考慮し財  
來の負擔輕減をなす必要がある  
叫び更に社會教化事業に對し更に  
當局の一段の努力を希望して(午  
後二時十分記)

# 咸南道評議會 山

## 第七日議事 (廿七日午後)

6. 3. 10

咸南道評議會第七日は昨日を以て議案全部を議了したので、建議案につき採否を決定する事となり各議員提出の建議案を満場一致で採擇となつたものは左記の十六件である右終つて關水議長は各議員に向つて今期一週間に渡る勞苦を謝すと附會の辭を述べ議員側を代表して姜氏の挨拶があつて無事終了をつげた

### 建議案

▲本道内に公學校加設及授業料半

- 件(方議せき外二十一名提出)
- ▲北青邑内に中等學校を設置せられん事を要望す(方議せき外二十一一名提出)
- ▲道評議會期延長を要望す(沈亨せう外十六名提出)
- ▲朝寧專用港を國費を以て擴張工事を施し地方港として一般に開放する事を要望す
- ▲咸興府都市計畫の速進を要望す
- ▲醫生講習設置を要望す
- (以上さい相玉外二十名提出)
- ▲洪原、新興郡界元川嶺の道路を改修し人馬の交通を圓滑ならしむよう要望す(金基協外二十一一名提出)
- ▲城川江兩岸を全體に亘り繼續施工されん事を要望す(さい相玉外十七名提出)
- ▲當局は本府に對し北青南大川改修方々速にせられん事を要望の
- ▲減望望の件(金ほうせう外十六名提出)
- ▲郡農會、畜産組合、森林組合の各産業團體を合併し一個の産業團體を組織望望の件(さい漢てい外十七名提出)
- ▲咸鏡線内聖けん里簡易驛設置を鐵道當局に幹旋方望望の件(さい漢てい外十九名提出)
- ▲元山公立商業學級數を増加せん事を望望の件(南百祐外十九名提出)
- ▲當局は本府に對し北青南大川改修方々速にせられん事を要望の

中心市南支所議事會

第四日目 三月七日 新 3.11

(公州) 忠南道議第四日(七月)  
は午前七時二十分二十一各出席開  
會、劉議長から議事進行につき注  
文あり質問は簡明に而して豫定範  
圍を越さぬやうとの注文に對し

▲成君(嶺山) 能く限り尊重する  
が會期内には全部議了するから  
改めて制限せられては困る

と一矢をむくふ、次で金君、洪城  
(教育に關して質問すると毎年  
議論の焦點となつてゐる例の洪城  
工業專習學校問題をかつぎ上げ設  
立當時の九萬圓の寄附から辭し立  
て三年度地價費移管の言質の不渡  
をを難し内容の貧弱をなげき擧  
げにわけば

▲高武内務 言質の見界違ひを駁  
し昇格問題は卒業生の良行が他  
の學校よりはるかに優秀で一名  
の失職者を出してゐない上つて  
此程度の學校は時代の要求に適  
應してゐるものと思ふ景氣が立  
直り道の財政が豊かになり世間  
が今より高等の技術者を要求す  
るやうになれば自然昇格する事  
に致しますなほ本年は經常臨時  
部で一萬二千九百五十圓の補助  
を計上してその充實を圖つてゐ  
ます

▲(問) 桑苗の割當は人々を標準  
とするか面積によるか  
▲高橋農務 原則として面積であ  
るが土質風土民情を考慮してで  
ある

▲(問) 結城廣川間道路の長橋は  
腐朽してしるる架替へするか  
▲守山土木 此度の豫算に計上し  
てゐます

▲(問) 隔離病舎の財源は何にか

ら支出するか洪城附近のは形あ  
つて用を爲してゐない如何

▲長和衛生 面で支出して地方費  
から三分の一額を補助します收  
入として病舎の利用法をとくと  
て衛生級に無料貸室を便法とす  
る講話すなほ專習學校と選病舎  
とに關して二三押問答があつた

▲李君(青陽) 本豫算は土木費が  
王座を占め交通政策上至極結構  
であるが衣食住を左右する勸率  
費が少ない如何、次は松毛虫驅  
除であるが從來のやり方では根  
絶は望めぬ之より良方法をかん  
がへてゐるか、堆肥獎勵も結構  
だが穴の堀方が拙ひ一丈の穴に  
小兒が溺死したとゆふ話もある  
實行方法の改善をかんがへてゐ  
るか次は除穢の期が稻の成熟期  
にやるが苗代時がよくはないか  
除穢デーに農業ではやすのは働  
力の濫費だ饒させたらドウダ

▲緑川技師 松毛虫驅除方法は今  
の處之以上の方法を見出さぬ矢  
張り從來通り實行する外はない  
▲高橋農務 堆肥の穴堀は一尺を  
標準としてゐる一丈も掘るもの  
があれば充分注意するなほ除穢  
時期は苗代時と成熟期の二期に  
行ふを有効とす、農業は獎勵し  
た譯でない風習だから自覺喚起  
に努むる(正午休憩)

午後一時二十再會、劉知事は莊重  
な態度を以て本日午後〇時二分内  
親王殿下御生誕を講場にて報告し午  
前に引續き開會を宣した  
▲磯内夏(瑞山) 窮民救済の財源  
を地方債によつて求めてゐる

# 慶南評議會

11 新

第五日目—三月七朝

(釜山) 慶南道々評議會第五日は  
七日後一時十分振鈴合圖に開會  
され出席議員二十九名(缺席四名  
)にて前日に引續き教育費衛生費  
その他歳出全般に亘りて第一議會  
進行さるべき頭數日城口を守りし  
橋本官選議員發言を求めしも入れ  
られず

▲李章喜君(晋州) 釜山第一第二  
商業學校を内鮮融和のため合併  
し統管に女學校を建設してもら  
ひたい金 農業學校を昇格して  
高等農林學校となし又高等女學  
校組合費支辨を廢し道地方費に  
移し一面一校の完成を昭和八年  
度にさるゝけ誠に感謝す 何卒  
實現を速進されよ、いわぬ教育

の普及は朝鮮統治の根本であつ  
てわからない者をおかる様に指  
導し以て内鮮融和の實をあげ本  
道は他に範をたれる様に心掛け  
たそれには……  
と約五十分も續述するので最初よ  
り議場はだれ氣分で議長壇より兼  
ねて簡單にと注意す

▲竹内内務部長 教育方針の根本  
問題地方制度改正に關する意見  
が多かりしがこれ諸問案と何等  
の關係はない  
と一蹴し折角の御進言博士の迷説  
も一とたまりもなく空論となる  
▲橋本寛君(釜山) 思想善導の意  
味においての良なる然して健全  
なる青年の養成に心を致しても

らひたい開くところによれば地  
方にある青年會員中に幾分左傾  
的の青年が有力な地位をメめて  
ゐる風説だが當局の意見如何な  
は學校騒動が源泉にあるがこれ  
は全く深憂に堪へないのでその  
禍根は何れにあるか  
と迫り思想問題を法理論を以て解  
剖しあらゆる過激なる行動がか  
る青年に浸潤し惡宣傳にまよはさ  
るゝは教育方針に缺陷がありはし  
ないかと徹頭徹尾教育方針の覺醒  
を促し最後に

昨年中學校騒動で民學處分に附  
せられしものが幾名なるや又一  
且其學を許されしもの  
が幾名なるや又道民に脅威を興  
へてゐる癩病患者についてマッ  
ケジ氏が收容してゐる人員は  
幾名なるか然して彼等の處分方  
法に對し當局の所信如何  
▲竹内内務部長 青年の教化に關  
しては常に青年の眞理に觸れて  
思想善導したいと思ふ道内には  
百七十二の青年團があるが充分  
に監督し道内に青年訓練所も十  
一ヶ所設けてあつておほむね善  
良であると思ふ學校に在席中の  
者は當局と親學官が常に充分の  
指導をなし學校外の者は土地の

先議議者を以て指導しておるが  
そも／＼教育方針の根本に就い  
ては確固不動なるものでないの

ゆるぎを見せてゐない昨年中中  
學校で良學處分に附したものが  
二十五名停學處分が百十七名計  
百四十二名初等學校は退學者  
一名停學者三名である

▲永富衛生課長 マッケンジ氏の  
癩病患者收容人員五百五十名扶  
助を要するもの一千〇八十五名  
浮浪者三百九十九名で他に他道  
より入り來りたるもの約百名内  
外でこれが處分方法に就ては當  
局にも完全な方法を講じたいと  
努力してゐる

此時議長より一議會を終了し第二  
議會に入りたく満場を圍りしに大  
多數にて賛成第二議會に入る

▲魚大成君(釜山) 一面一校問題  
で昭和六年度に十六校新設との  
事であるが臨時部の各面寄附金  
が若し完全に寄附がなくとも目  
的達成さるや又明年度も寄附  
がよらなくても既定計畫を變更  
さるる事なきか一面一校が完成  
のあかつき釜山統營普州の如き  
多く入學兒童のあるところでは  
到底充分ではないと思はれる  
がこの時の當局の御考へ如何

▲竹内内務部長 當局の一面一校

計畫は何等の變更なし起債關係  
は本案と關係なし  
と答へ次で

▲金陽鎮君(昌原) 農村の疲弊よ  
り來る農民の思想悪化を憂  
ひ一場の講演じみた事をやらん  
とする一彌次しきりにて論旨わ  
からず議長より注意を與へられ  
て初めて正氣付き一段と聲を高  
めて現代の農民の危急を救ふ當  
局の方針如何  
と詰れば

▲永井地方課長 農民が疲弊する  
原因は農民が入る金と出る金の  
均衡がとれなくなつた結果と今  
一は文明の吸収をしすぎた結果  
であるが當局としては土木勸業  
産業と豫算全體にわたつてこれ  
が救済する方針を立てゝゐる  
と大上段に出でこれを救済するに  
は精神運動と所謂療養法即ち社  
會事業によりて満全を期したい次  
に小田學務課長より數字的に説明  
して頭のよいところを見せ金  
陽鎮君の音も出す議場大レん  
とするや議長休憩を宣す時に三時  
十五分十五分休憩午後再開

▲金泰鎮君(馬山) 管内十數郡よ  
り入學してゐる馬山公立商業學  
校は三ヶ年の乙種であるがこの

學年の延長してもらいたい

▲竹内内務部長 學年の延長は考  
へものである同校を卒業して商  
店その他に勤めてゐる成績は良  
好であるから考慮しておく

慎彌禮君(居昌) 寒嶺君(昌威)  
を鉉覺君(咸安) 交々質問し小  
田學務、井地方兩課長神谷財部  
長これに答へ崔國君(泗川) 私  
は三十一回發言を求めて漸く許さ  
れたからあまり嬉しくて言葉が出  
ませぬで満場トツと笑ひ崩れ教育  
費その他支出全部について第二議  
會終了したき動議提出大多數にて  
成立し

教育費其他歳入全體の第一議會  
に移る  
郵鎮君(山清) 米穀検査細則檢  
査並に租稅徵收に就いて苦痛を訴  
ふ

▲神谷財務部長 農民救済につい  
ては當局は細心の注意を拂ひ租  
稅徵收の如きも相當考慮してを  
る一例を挙げれば車輛稅の如き  
一萬三千八百八十圓の減稅を圖つ  
て農民の生活狀態を見て緩和し  
てあるが特別の場合には種々適宜  
とする方針もたてゝゐる  
と述べ次いで南宮産業部長米穀及  
び細則検査について發言をなす

▲李輔衡君(河東) 米穀検査は順  
る酷である一昨年三等米台格し

たのが本年は四等米となり一昨  
年四等米は本年等外米となつて  
その米は釜山地方その他へ賣り  
出されるのであるが格が下つた  
ため値段が非常に安くなつては  
賣れぬこのため農民は益々苦し  
んでゐる

▲南宮産業部長 米穀検査に格を  
あげてをらぬかとの事であるが  
左様な事なしと數字的に説明し  
金練君(宣寧) 教育農業問題を論  
じ孫興君(密陽) 車輛税に減額は  
時宜を得たる措置であるが自動車  
税収入について一萬四千五百五十  
圓の計上は一臺平均三十圓の標準  
をもつて徴收せらるゝは少し安す  
ぎる感がある道論を破るのも自動  
車が重であるから率を上げては如  
何  
と述べ

▲河駿錫君(昌寧) 自動車就中ト  
ラックは特に道を破損するから  
前議員の説に賛成する

此時議長蔵入一讀會を議長に圖り  
各議員賛成の上第二讀會に移り金

丸源一君(統營) 姜周秀君(泗川)  
その他より質問あり第三讀會に  
移り迫間房太郎氏(釜山) より第  
三讀會であるがすでに第一第二讀  
會で各議員とも相當な質問はあつ  
た様に思はれるから道當局を絕對  
に信任して第三讀會を終了したし  
と述べ大多數賛成して蔵出蔵入共  
第三讀會を終結したるより渡邊知  
事(起立して)一駭して連日諸君  
が各項目に亘つて細心御諮問に應  
ぜられこゝに膨大なる大豫算も歳  
出蔵又第三讀會を終了した事は本  
道のため誠に喜ばしいなほ此上は  
本豫算に基いて道民一般の希望に  
そふ様最善の努力を致す考へであ  
ると述べ明八日は日曜につき各議  
員は休養を兼ねて釜山鹽所と梵魚  
寺の水源地その他を視察すること  
とし明後九日は各議員より地方色  
につき各高見開陳のことにし午後  
六時五分和氣露々裡に散會したが  
數日の質問戦に火花を散らした議  
員も答辯これ努めた參與員もヤア  
／＼の聲場内に張り互に聞き握手  
の交された劇的シーンであつた

# 議場収束張を欠く

各議員の意見開陳に入つた

## 慶南道評議會(第七日)

失火救済工事を包含して五百四十餘萬圓の豫算も五日間に無事に終る六日目は日曜で議場一同は梵魚寺水瀝池浴東江を視察、七日は各議員の意見開陳の日、場内の風雲が遠所に窓外はのどかな天氣であつた

鄭錦徳君(山清) 五日間二讀會終了後直ちに三讀會終了を提議したのは議案の採決を取らずに行つたのは議員中の不満を買ふものではあるまいか?

迫間君(釜山) 第一讀會を終了した時も私としては少し議論はあつたが議事進行上止めたので議場圓滿上思ひ止まつてほしい

金練君 私も三番と同じ意見を持つて私等六人が三讀會終了の動議に於て起立をしなかつた原案には賛成であつたが動議に對して不賛成であつたのである

坂田君 議場として金君鄭君の意見は私としてうれしと思つた會規則に第二讀前は議案全体の可否を決す、とある様に第三讀會を終了するに際しては採決を取らなければならぬのを第二讀會終了の動議を提出したものに對して反對されるのは議會の成長上まことに喜ばしいことと思ふ、然しながら終了して終つた現在としては又再び採決を取るのほどどうかと考へる議場の圓滿上御意見も聴いた今ではあるし無事終了したことには

議長 今四君の意見を聴いて道評議會に對する議員諸君の慎重なる態度に對し當局としても感

謝に堪へない、この事は議長が初めてあるし責任は不馴れの議長にあるものと考へるが今再び議事をやりなほすことは裁して終つた現在手遅れであると思ふ、このことは實に慶南道評議會の誇りであるから議事記録に残して置きたい

次いで四年度の決算報告を提示し、朝鮮道地方費令第十一條但書に依り處理したる事件

- 一、四年度地方費追加決算一件
- 二、四年度地方費追加決算一件
- 三、四年度児童奨學資金決算
- 李鉉覺君(咸安) 水田、水利組合の必要論のあとを受けて

坂田君(釜山) 私は普通學校教育について申して見たい、學齡兒童すなはち普通學校に通ふべき年齢の兒童の数は内地に於ては全人口の一割四分三厘であるが、之れに依つて算定すると二十六萬五千人の就學兒童があるが、之れに依つて算定するとあるが、一校完成の後と云へども收容兒童数は約六萬五千人で、實際の數を見て私は慨嘆に堪へぬものがある、一面一校の完成と云ふことは教育の形式的普及であり甲地に於ては實際的普及乙地に於ては普及の普及の普及であつて、普及の要諦は雙方が平衡して行かねば眞の普及は望まれないが現在では一面一校未完成の折柄ではあり、何はさて置いても一面一校を速かに完成しなければならぬ、それで私は一面一校昭和八年度完成のところを七年度に完成して八年度

崔演國君(泗川) 泗川普通學校の中途退學の多いのは授業料の高いため農家では金が出來ず粗を納入してゐる有様で一方納入の出來ない兒童は學校へは

行き足くなし宅へ歸れば怒れるから途中で遊んで仕舞ふのでそのまゝ退學を餘儀なくせしめられるのである、第二に授業料の未納が多く責任者の方で處理し兼ねるものである地方では學校の先生が集金に廻つてゐるが、教育をしようでは金を取つてゐると教師の立場を悪くしてゐるから、廢上を望んでゐる第三に現在でも副業を奨励してゐるが養鶏、養豚、養蠶の他に副業を奨励されたい、第四に朝鮮の習慣としてオンドルを焚くため遠くからはどの山も焚つてゐるが實地に見ると芝草に至る迄燐突燃料に使用し、あまつさえ模範林の盜材が續出するから山林の取締を嚴にして貰ひ足い

其他議員諸君の希望も自己の希望を述べて着席この間坂田君(釜山)の提議により別項の如き六年度豫算案に對する國庫補助につき本府宛議員一同より謝電を總務宛送ることとを決議議長より電送すること

になつた。

鄭錦徳(山清)自動車税値上論者の河陵錫君(昌寧)交々陳し李輔錦君(河東)而吏員の待遇改善諸他につき意見を述べたるが通譯つきのため議場退席する者あり傍聴席も椅子が空ねむくなる。同君の長舌四十七分議長より時間の延長を諮り四時迄十三分の休憩を宣す。

## 四時再開

田中君(馬山)馬山府に於ける緊急諸問題を説き金綴君(宜寧)産業技術諸産業指導者の朝鮮語の普及と被指導者との關係を計る可きことを述べ

迫間君(釜山)教育費の負擔は一面一校完成等の普及が進むに従ひ益々増加するものと思ふからこの財源として共同殖林を提唱する

慎錦禧君(居昌)

の次に北川

君(晋州)種苗場を擴張して貰ひ度い種苗場の一部に土質検査所を設置してもらひ度い。それは從來土質に對する考慮が缺けてゐたためどれだけの損失をなしてゐたか解らないのは先刻御承知のことと思ふ、これより米穀

検査所、検査方針を公正にして貰ひ度いこのことに就いては他の人も大分論議して貰つたがと續け様とする際、北川君の顔面蒼白となり卒倒せんとしたので通譯其他がたすけて會路室外に静養させ

權穆君(梁山)

其後を承は

つたが論旨徹底を缺き誤場だれ氣味にて終つて金丸君(統營)長時間の演事で各議員共疲れ、一方餘り遅くなつたから本日は之れで打ち切り、明日は早く午前十時から開始したいと提議したが賛成なく

田中君(馬山)

明日と本日と

を別にして本日は之れで打ち切り明日に延したいと提議し議長 本日は今迄に始と半ばは済んであります。初めの内大分時間をとつたので長くなつたが、明日は各議員共その邊御考慮があ

れば一時からの開會で充分済むと考へる

そこで田中君の意見に金丸君が賛成し採決の結果種場一致を見午後五時四十七分意見陳の幕を閉ぢ

【釜山】

總督、總監、內務局長へ

御禮の電報を打つ

各議員熱心に希望意見開陳

北川議員演說中腦貧血を起す

釜山

6. 3. 11

P

慶南道評議會

(七日目九日の續き)

一番李鎔年君（岡城）一面一校計畫に對し一校三千八百圓の道地方費の補助あるも一校建設には六千八百圓を要し其約半額を學校費の負擔である然し貧弱なる學校費では負擔出来ない爲之を地方民より寄附せしめてゐる、然し今日の如き穀價暴落農村疲弊の折柄募集難を來し勢ひ八年度完成の計畫も延長の已むなきに至る憂ひあり故に補助増額されると共に各校の學年延長をされたい

廿一番崔演國君（泗川）等外道路の昇格並びに新設、河川改修、普通學校の細民兒童に對する授養料免除、晋州の私立一新女學校は經營困難に陥つて今年六千圓の補助あれば救済出来る故に之れに對し考慮を願ふ、次に農村副業の希望たるめん羊飼育獎勵山林自給肥料の獎勵、痼疾患者の取締等を希望

廿二番坂田文吉君（釜山）議員各位におはかりしたい、砂防工事、土木工事共に原案を可決したるを以て多額の補助を交付されたるに對し敬謝す

## 總督、總監、內務局長に お禮の電報を發し

たいと思ふ——と満場の賛成を  
得左記電文の通り打電した

格別の御配慮に依り多額の國庫補助金を受け昭和六年度以降三ヶ年に亘り窮民救済事業の實施を見るに至り又本道多年の懸案たりし洛東橋及南首橋の架橋を見るに至りたるは洵に感謝に堪へざる處なり茲に全會一致謹んでお禮を申上ぐ

廣南道評議會員一同

三番鄭鎬德君（山淸）各實業補習學校を一九とした高等學校を設置せよ、河東、丹城、居昌宜恩線道路を改修し二部の三等道路の昇格を望む

廿番河駟鎬錫君（昌寧）穀價暴落で農村疲弊にある折柄各種税金の負擔に苦しんでゐる然も農村に重く都會に輕い嫌ひあると思

川改修、普通學校の細民兒童に對する授養料免除、晋州の私立一新女學校は經營困難に陥つて今年六千圓の補助あれば救済出来る故に之れに對し考慮を願ふ、次に農村副業の希望たるめん羊飼育獎勵山林自給肥料の獎勵、痼疾患者の取締等を希望

三百町歩以上を制度としてゐるが先年の大旱はつに際し一農民が僅か米四升の收かくしかなく直に困ふに困る悲惨なるものに對し稅吏が之を賣却せしめて徴収したといふ例があるとてその税金徴収の苛酷なる實例を述べ稅務吏にも恤と涙があつてほしいと訴へ三百町歩以下に對しても免稅の方法を講ぜられたい——と述べ更に農村の疲弊は高利貸がばつこし然もその證書には所以て抵當物件を賣買の形式として一日でも償還期を経過すれば直に之を取上げると云ふ有様である依つて此の方面に對し當局の取締を希望し——終つて三時四十五分議長休職を宣し尙時間の延長をはかり決定四時再會

ふ、次に農村擔稅減を計るには面の廢合を斷行すべきである現在面の豫算はその六割は人件費にしてこの大部分が税金徴收方面にあてられてゐるやうである、尙地方施設には朝鮮の實生活に鑑み行ふべきである然るに現在では山間僻地の學校に對し輪奐の美を飾り又四、五百人の學校に廣汎なる運動場の必要を認めるであらうがよくその實生活をしたしく考慮して適當な施設をせよ、農業用の荷牛馬再稅を廢止し之に代る財源は自動車稅を増加して充當されたい

四番李輔衡君（河東）丹城、河東線の改修災患民の地稅免除は

# 建議案を提議

## 各議員希望意見開陳

### 最終日の慶南道評議會

ひな祭に初まつて陸奥記念日の祝日に森を閉つる慶南道評議會の最終日たる第八日は十日午後一時十分開會前日に引續き希望意見の開陳があつたが先づ

**議長** より各議員より多数の建議案が提出されてゐるので希望意見の開陳に先達て之を議題としてなるべく簡單に審議されたいと述べ別項の建議案を提議したが「郡制施行」建議案に對し」

**十一番 橋本寛君**（釜山）本案は事重大であるから暫く研究の餘地ありと不賛成を唱へ

**十九番 金慶鎮君**（昌原）同様反對意見あり議長それでは郡制施行見合せに御賛成の方は起立を願ひます——として起立に問ひ多數決として原案否決に決したが其の他は全部原案を可決確定し終つてき望意見の開陳に移つた（午後二時半記）

## 建議案

- 一、南江治水に關する件（迫間房太郎氏（釜山）外廿八名）  
 一、都市に於ける入學難緩和の爲普通學校の増設又は學級増加を爲す場合に對し道地方費より相當補助せられたき件（魚大成氏（釜山）外十六名）  
 一、水産専門學校を設置せられたき件（同上）

- 一、りよう山月内線速成の件（樫稷氏（りよう山）外八名）  
 一、小額生業資金貸付事業擴張の件（同上）  
 一、りよう山郡上西館上面公立普通學校の修業年限を延長せられたき件（同上）  
 一、りよう山市區改正速成の件（同上）  
 一、舊馬山海岸堤築及防波堤築造の件（金泰鎬氏（馬山）外廿八名）  
 一、固城文山嶺等外道路を三等道路に編入方の件（李容年氏（固城

- ）外廿二名）  
 一、馬山三千浦嶺等外道路を三等道路に編入方の件（同上）  
 一、居昌に農林學校設置の件（鄭泰均氏（居昌）、慎甫喜氏（居昌）外廿四名）  
 一、三等道路三茂嶺築造速成方の件（同上）  
 一、郡に郡制を施行せられたき件（ひ決（金練氏（宜寧）外十五名）  
 一、三等道路郡北宜寧嶺嶺頭津に橋りようを架設せられたき件（同上）

廿九番田中玄黄君(馬山) 洛東、南目の架橋に依りその物資の集散する馬山や橋を明年度設置されたいとその理由を簡明にうす

五番金練君(宜寧) 日程外のことをとどろく述べて終りに土地改良米増殖と牛検査の嚴重勸行朝鮮奨励、學年延長を希望し統計の材料を指摘して之が正確を促し尙等々道路改修、賦役制度の改善、平州師範學校存続、郡制施行等々も澤山に述べ立

廿八番泊間房太郎君(釜山) 洛西の架橋は知事閣下着任早々實現したことに感謝する之が實現のあかつきは一例を上げると、釜山の梨が二日早く東京に到着し又野菜にしても同様である之は些細な一例であるが斯様に有益な橋があるからその位置等百年の大計を誤らぬやうに御願ひする次に教育であるが貧困の爲授業料の支拂へない爲留學出来ない兒童に對し適當な方法はないか、教育は地方の財源が伴はねば實は

果がらぬ故に將來のための學校林を認め植林を實行せしめらるべきであらうと意見を述べた

六番慎錫禧君(居昌) 警察在所修繕費を國が地方費とされた土木費の補助が釜山、馬山に多く他方面に少いと増額と道路昇格、面の廢合、居昌へ産業組合の設立、道幹部に山間部へ出張されんことを希望す

廿七番北川成三郎君(晋州) 内鮮共文は財源上よりして釜山第一、第二商業の合併共學を實行してはどうかと思ふ同一の實業學が同一地に於て對立してゐることは將來當然統一に至る時機が到來することと思ふ故に先進道に於て先づ斷行すべきである次に晋州農學校の一學級は物たりと級増加と實習方面に於ても種田或は試験場の如く尙農業實習所に對しても今少し積極的に施設されたい、米穀検査に對しては十八番慮してゐると思ふがこの上とも公平に希望したいと尙價格んとして急に

# 腦貧血を起し

## 大騒ぎとなり

直ちに場外に伴ひ

應急手當を爲した

會を宣した時に午後五時半

### 新清酒

### 品評會

釜山馬山で開く

釜山馬山にては、新清酒品評會を開催するは、すである

馬山 三月十五日、十六日

釜山 三月十九日、廿日

釜山 三月十九日、廿日

七番權穆君（りよう山）  
洛東橋梁設置、社會事業に對する希望を述べ又鮮人内地よりの歸還状況に鑑み之が救済策等の意見希望後

廿四番金丸源一君（統營）より本日は之で打ちきり明日は午前十時より開會したいと思ふと動議を出し更に廿九番田中玄黄君（馬山）より開會時間は平日通り午後一時とし本日の日程を打ちきるの動議があり之に賛成するもの多く議長より動議成立と見て閉

一、中農以下の者を以て組合員として一面一ヶ所の生産消費組合

獎勵設置せしめ以て小農の生活安定を圖られたき件（同上）

一、晋州公立農業學校に林業科を併置し學級を増加せられたき件

（同上）

一、道立癩病患者療養所設置の件（同上）

一、洋川江謨岸工事繼續施行方の件（同上）

# 忠南評議會

新 11

第四日目 三月朝日 3. 6.

(光州) 第四日 (七日) 時間延長  
後舒川の曹君左の質問を發した

▲曹君 (舒川) 總決算面を見れば  
事業費より人件費が多いのは港  
灣を長項里に設置する計畫はな  
いか

土木費中一等道路より等外路に  
橋梁費を要求する

勸業費平布田を大擴張して自給  
自足を圖る計畫はないか

畜産組合は農會に併合して經費  
の節約を圖るが有利ではないか  
その計畫如何

實科補習學校の新設場所を明示  
せよ

有名河川計り改修するより無名  
河川も必要である改修計畫あり

干拓事業は大面積の外小規模の  
出願は却下してゐるが如何なる  
理由であるか

▲高武内務 人件費は極力節約緊  
縮を加へてゐるよく検討しても  
らひたい

長項里には本道として極力努力  
してゐる決して等閑してゐない  
のは實情を見てもらへば解  
結する

等外路も可成り地方費から補助  
を加へ改修せしむる方針で應出  
設置は本年度に思ひ切り計上し  
てゐる當然なほ擴張する老へ  
はある

實科補習學校の新設地は今の處  
未決定である

干拓事業も産業の合理化であれ  
ば猥りに却下はせぬ

▲池島烈君 (扶餘) 現下極度の不  
況により歳入減陥を免れずと雖  
も實際民情にのつとり負擔低減  
を期せざるべからずと前提し昭  
和四年の帳尻は殘額四萬圓に過  
ぎず五年度剩餘金額も希望なく  
財源に弾力性なし

公州の下水大田輪山の上水工事  
負擔は計五十萬圓に上る之を起  
償して將來の財政に支障なき  
補助團體の賦課金については學  
校費戸税附加税一人八十錢乃至  
九十錢を賦課するは學校費の經  
濟狀態によれるや又は負擔能力  
によりたるか

純地方費一萬圓以上補助を受け  
る郡において八十錢を附加し地  
附金廢止に伴ひ當時補助すべき  
金を受けず却つて九十錢を負擔  
するは換言すれば法外の金を他  
に廻し重き負擔をなさしめた理  
由

錦江支流扶餘郡金川改修は本道  
としての大問題で生産方面より  
見れば此改修により不毛地の三  
千町歩より幾八萬石乃至十一萬  
石の生産は充分なりその改修費  
を計上したるも大藏省において  
削除されたるは遺憾である改修  
の方法を示せ

之に對し高武内務から懇々説明す  
るところあり午後五時第四日を終  
つた

# 道廳問題では 貴院と一戦の覺悟

日 京 6. 3. 11

◇—民政少壯派中心となり

## 政府、與黨を鞭撻す

【東京電報】道廳移轉費は遂に貴族院第六分科會で復活するに至り、政府與黨は頗る苦境に立つた。政府は遂に全員一致をもつて豫算案を修正し道廳移轉費を削除してある關係上政府および幹部の軟化を極力警戒し、若し復活案を鷄呑みにする如き場合に立至らば公黨の面目は全く失はれるので、たとひ特別會計豫算が不成立に終るとしても貴族院と一戦を交へ面目を保つべしとする強硬論者が多く、密りくその對策につき協議をしてゐたが十日の代議士會においては杉浦、風見氏等の少壯代議士が中心となつて移轉費復活反對の決議をなし政府および黨幹部を激勵する等である

## 政友の逆手

### 院議尊重を楯に 復活案に反對す

【東京電報】忠信南道廳移轉費は九日の貴族院豫算分科會で復活に決定したので政府も結局承認の模様であるが、右につき政友會は松田拓相が院議尊重の意味で復活に反對し、今又復活に會つて再び原案を支持することなれば無定見無節操の甚だしきもので責任を執るべきが當然であるとの意見から復活案が衆議院に廻附の場合に院議尊重を楯とし復活に反對を表明すると

# 外地豫算の不成立は

一般會計を根本的に破壊——

一閣僚の責任は内閣の危機

京 日  
6. 3. 11

## 道廳問題益々重大化

【東京電報】忠清南道々廳移轉問題は九日の貴族院分科會で復活に決定し、貴族院の大勢が定まつたので政府では極力與黨を説服して衆議院をして復活を承認せしむるやう努力中であるが、與黨としても面目上簡単に復活を承認する筈なく、假令復活を認むるとしても必ずその間與黨の一部より松田拓相の責任を持出し、惹いては内閣改造の危機を孕むに至るであらう、しかして萬一與黨譲らず、兩院協議會となり特別會計が不成立となれば、それこそ内閣の存立にかゝる重大問題となる、即ち特別會計不成立となればその一般會計におよぼす影響重大にして煙草元賣捌益金千八百萬圓、各特別會計で負擔さるべき恩給千百廿萬圓および郵便預金取扱による手数料増加額二百七十萬圓等三千數百萬圓の繰入不當となり、一般會計も根本的に立直さねばならぬこと、なる、道廳移轉費問題は今や政府にとつて極めて重大になつて來た

# 黃海道評議會

第四日議事 二月廿五日午後

午後一時議長開會を宣す

△四番 黃州) ちよう東淳くん 根炭製造以來地方細民は非常に困窮を來して居りますから之等救済の一助として他に製炭せしむる方法はありませんか、昨年来米價暴落のため地方農民の疲弊は一層其の程度をかさめました、道當局は蠶桑獎勵、本年も桑苗の配布を實施されたと存しますが此の糸價暴落の爲め収支償はないといふ事になつて居ります、之れに對する當局の意見を求めます

△秋山參事員 生産費から計算して一五、七九錢を餘す實況でありますから收支の償はないといふ事はありません、道當局としては斯かる見地から獎勵は實行する計畫であります

△四番 黃州) ちよう東淳君 只今の御答辯は机上で實際とは合致し

ません、内地の愛媛縣下では人造絹に勝るものなく桑への縛りとりを實行したと云ふ事である、窮民救済事業實行の本年度に於てをや全廢されてはどうですかとするべく質問の矢を放つ

△泉崎内務部長 糸價の暴落と共に米價の暴落は前例のない事例であります、然し之は世界的趨勢で致し方ありません、養蠶の即刻獎勵は最も困難であります、之が達成には相當の準備と施設を要するのでありますから直に御意見に應ずる譯に参りません

△二六番 長(ん)相相くわ君 堆肥、造林、桑苗等諸種の施設の下に農事改良をはかるとともに之等獎勵の爲め各種品評會を開催されて居りますが其の實際の業績がはたして目的を達したるに付疑問あり或は形式に流れる傾きがあり

まず、道當局の意見はどうですか  
△秋山參事員 桑苗、堆肥獎勵に關しては決して左様な事はありません

△金參事員 造林につきましては實用に適應した植樹をしてゐるし第であります

時に午後二時半、勸業費の質問を打ち切り教育費以下の質問に移つた

△二〇番 ちよう東淳くん 前年度に於て十四校の公普校が寄附金の關係十三校は遂に其建設を見なかつた、之れ要するに寄附金の過重に基因すと存します、本年度に於て更に十七校を設置される計畫となつて居りますが、財界不況の今日一層困難と信じますから之れに對する財源は地方費に依るの外ありません、何故今少し多額の豫算を計上せざりしや、公立學校卒業生の指導施設に就き内務部長の説明はありましたか、ばくとして其のとる處がありません、積極的方策はありませんか、牛車税の全廢は毎評議會に提案するの

で本年度は多少削減され居るは認むるも貧弱なる牛車ひきに對する課税はか節であるから其の全廢はどうですか

▲奥村參與員 一面一校の目的を達成せしむるには如何にしても地方民の寄附を仰がねば到底所期の目的を達する事は出来ません、しかし地方民の疲弊と云ふことは當局としても十分承知して居りますから出來得る限り地方費補賚を多額ならしむる考へであります、卒業生の指導に對しては御承知の通り農村青年會を組織し其の振興を計つて居ります、私もその實況を見ましたが、いづれも立派な青年が實際にかつ愉快にその業務につき進展を計つて居ります

▲泉崎内務部長 牛車附全廢は今直に實施は出来ませんが前年度に比し相當額を削減した次第で漸次所期の目的を計る外はありません

▲二〇番(おう津) 慮會頗く人更に發言、モヒ患者豫防に關しては當局に於て各録せられ極力防あつに努めらるゝが患者對立案者の知しき雲泥の差あり到底所期の目

的を達する至難と存します、又此の防止は十年乃至二十年といふ遠定は出來すが、いづれにしても渠等は激謝を要する必要があるとす當局の意見如何かです

▲坂田參與員 患者は意志薄弱であるから或は斯かる煩があるかも知れませんが、じゆう來の施設を續行する時は必ず目的を達し得ると信しますが十年乃至二十年と云ふ定限は明言できません、嚴罰主義採用にしては不日制令が發布されるはずであります

▲二〇番(延白) 金鐘護くん 普通學校授業料の全廢は財政上至難としても半減策は容易と信します京城の評議會に於いて内地人校長を鮮人にせんか年額三百萬圓のねん出と論じたそうです、一舉に實施は至難ですが斯る方策をとれば授業料の全廢は何でもないと思ひます、道内農業學校として一校を認めない之等は在舊校卒業生向學の一途として本校の増設を要します、毎評議會の建議案として提出します女高普の建設は最も緊急問題と存します豫算面に計上なき

は如何ですか、海州、沙里院、兩道立醫院の施設費計上が貧弱で到底目的を達せられない、斯かる關係で急を要する施設患者も入院料を請求され其恩典に浴せなかつた事例もあります、之れでは道立醫院の趣旨に反するではありませんか

▲泉崎内務部長 授業料は學校費の過半を占めてゐる次第で全廢の即行等も論議難であります、が時勢に鑑み本年度に於ては多少輕減してあります、鮮人校長の質問がありましたか、これは政廳たる總廳と素質を要するので直に鮮人校長を採用するといふ事は難問であります、農業學校高女高普建設の急なるは尤もと存しますが豫算の關係上本年度に於いて實現出來なかつたのは遺憾に堪へません

▲坂田參與員 道立醫院の施設費計上が少額であるとの質問ですが、之は他道に比較し決して少額ではありません、施設患者は之に必要なる證明あれば直に施設するのであります、が急を要する場合の措置は夫々注意して置きます、時に午後四時議長は附會を宣した

# 慶南道評議會

## いよく幕を閉づ

各議員熱心に意見希望を開陳

知事の閉會挨拶、迫間議員の答辭

釜山

6. 3. 12

四十三件に達する建議案を協議の後二再五分休憩、同五十分再會議長 十二番議員より先日勸業審議の陸奥縣議を廢した理由に付御質問があつたのでこの機會に於て一言御説明申上げて置ます農は國の大本でその重要なることは十二番議員と同様の意見である従つて豫算面に置まして六年度以降相當の施設を計畫し、又密接なる關係ある道農會に於ても五年度に比し相當の増額を見てゐるのである——とてその廢止に至つた理由を説明し

廿一番佐演國君（酒川）昨日北川議員が昨日勸業血で倒れ目下府立病院へ入院してゐるから之に見舞の電報を打ちたい——と勸業を提出し賛成を得て成立

廿八番迫間房太郎君（釜山）晋州直江浦本は建議案にも提出してあるが最近に起つた問題に非ず、明治卅五年からの建議であるとして歴史を述べ更に物價高騰時代の計畫では一千万圓の莫大な工費を要すると云はれたものが今日では僅かに四百萬圓で出来ること

# 年漁獲高

## 二百萬圓の巨濟島に

漁業施設を考慮されたい

廿四番金丸源一君（統）統管は釜山に次ぐ開港場であるが太閤施設がある爲にその他の施設が遅延してゐる、巨濟島は從來郡として獨立してゐたものである、然るに郡廳が統管に合併した爲施設が遅れてきてゐる、漁獲高も二百萬圓を超過してゐるに拘

仄聞す、然もこの治水工事に依り一萬町歩乃至二萬町歩の耕地が得られるのであると治水速成を説き終つて意見開陳に入つた

廿六番孫興君（密陽）勸業費を見るに八十二萬圓中五十萬餘圓が人件である、然も農業漁業各方面からその施設獎勵に對し不平の聲が上つてゐる——と當局を攻撃し地味の調査を要望、生活改善にはオンドル並に印衣着用改善、各郡の漁船、農會、山林の會を一組にし負擔の軽減を叫ぶ

南宮産業部長 希冀や意見であるから説明の必要はないがたゞ聞き捨ならぬことがあつたから一言説明すると道の勸業方針の間違つてゐない旨を述べ

八番吳徳相君（うる山）小作權の調停につきその制度の缺陷を上げ更に學年延長を一面二校前に施行せよ又普通學校教育の給料は今日から見て卅圓程度に引下げが至當である、酒海會社が一面に二つもあるため競争の弊害あり故に各郡一會社としたらうかと思ふ

地畠は土地收益の八割を占めてゐる爲に農家は非常に困難に陥つてゐるのである故にその土地の收益の名義に依り地畠を徵收されたい

十二番盧俊泳君（咸陽）道評議會が設けられ漸十ヶ年であるが第一如何なる收穫ありや、第二には道民安寧にもたらした効果であると前提して即ち第一は色々な要望懇願したるに拘はらず豫算面では市場税を廢止したるに過ぎないのである、爲せばなる立場にある當局が吾々の懇願を無視してゐる、第二も同様に當局の獎勵する程之が道民の安寧を圖つて居らぬ——と攻撃し教育について希望す、第一は普通學校第一、二、三學年は朝鮮語を教育すべきこと、次ぎに授業料徴收、第三は夜間學術講習會認可制度廢止を望む

竹内々務部長 十二番議員より十年間希望意見が用ひられないと云ふが意見希望に依つて道路も橋れりも出てゐるのである少し言葉の趣んをさうひたい、學校方面に就いては、府廳である三學年まで朝鮮語を教へよとの事には其共は一朝鮮の人を作るのでなく第二の日本の國民を養成するのである、授業料徴收は財政の關係上もあり又相當の謝禮と云ふことは世間の徳義も當然であると思ふ、尙講習寺の認可制度は講師の資格認定上之を廢止することに出来ない、最後に昨年要望したる九割は地方費財源を考慮し又各議員の意見を尊重して計畫してゐるのであると反駁を加へる

廿二番裴湧夏君（昌原）一言本會議中の感想を述べたい

十番許撥君（金海）現在）

が確と希望を感ずるであつたことは議員として耻辱である然し之が原因は議案附付の遅かつた爲に議案の審議餘地がなかつたためであると思ふ

### 永井地方課長

豫算案の附付の遅れたことは申譯ないが然し之が爲に斯の如きぼう大な豫算に就いて當局が同一層盡力し得たのである又豫算案を規定連十日も以前より附付をうけて研究しなくてはならぬやうなものに幾等その豫算を見てもわかるものでない豫算案は僅か五分か十分で一月豫然である鏡く反駁を加へ

### 十三番守谷利助君(うる)

警備船造船の建造されることを感謝する明中度は更に建造して

## 渡邊知事

## 閉會の挨拶あり

### 迫間議員の答辯

議長 一言御挨拶を述べたいとて満場起立の裡に

去る三日開會以來議員各位には連日に亘り然も長時間の提案に對して御審査を願つて本清未會有の大豫算を可決確定したことは衷心感謝する次第である、お手許に差上げた形大なる本年度豫算編成に際しては當局は重大なる責任を考へて慎重に之が編成に萬全を期したる處幸に當局を信頼され原案に御賛成を得て可決されたるに對し尙一層責任の重且つ大なるを感じ今後部下のものと共にきつきよ道政の進展に努める覚悟である、又私としては道評議會の議長が初めてあり不馴れなる爲に皆様に對し迷惑をかけたことが多かつたことと思つてゐる、然るに大過なくして第十二回の道評議會を終ることが出来たことは議員各位の御援助に外ならないものと堅く信ずる次第でこの點につき壇上より厚くお禮を申し上げる譯である、最後に閉會に方り

りい精進の願ひ及び秘密を認置されたし頗る山郡五千八百八十八町歩の山林中三千六百卅二町歩は荒廢地之に破防工事施行方安望し尙續けんとして注意をうけて中止し最後に當つた

### 十六番李章喜君(晋州)

前口上を永々と辯じ立てた後南江治水、道路昇格、府面道路改修補助増額、道路改修賦役撤廢、晋州師範へ工業學校設置、道立醫院醫價値下げ、醫學講習所設置、貨物自動車税を引上げ道路維持修繕費に充當すること其の他数件の希望を述べて各議員の希望を陳の全部を終へ愈々第十二回道評議會の幕を閉づることとなつたので之に對して

各位の益々御健全にして道勢進展の爲め一層御努力あらんことを祈つとの挨拶あり之に對して年長の故を以つて

### 迫間房太郎議員

本會の豫算案は本道開廳以來の多額であつて私共が誠に有難く存じてゐる次第であるが之に對し色々御無理や質問或は意見を申したるに當局の誠意ある御説明なり又意見も聞て頂き又議長に於かれても色々長談請したるにも拘らず議場の整理その宜しきを得たこと、當局の親切なる御説明の賜と厚く感謝する次第であつて本道豫算の確定したことは喜賀に堪へない處である終りに本日私共から色々面倒なる建議案を提出したるに就ては十分熟考したる本道いな朝鮮の爲に建議したものであるから閣下を初め當局に於かれては十分御覽の上願意の實現方をこの上とも御盡力あらんことをお願いする次第であ

と續び五時五十分閉會した

# 慶南道評議會

## 提出の建議案

山 12 釜 3. 6  
昨紙掲載の續き

終日たる十日の慶南道評議會に於ける各議員より提出された建議案は昨晩の十八九議案の外矢きから次へと提出されて實に四十三件の多きに達し郡に郡施行せられたき住のみ否決となつて他は全郵に渡したか十八件の續きは左の通りある

## 建議案

- 二〇、鐵物検査の件(さい列しゅ氏南海、外十二名)
- 二一、慣行を役を撤廢し、課夫役人及び租税制度に變更の件(同上)
- 二二、うる山公立農林補習學校を甲種農業學校に昇格するの件(吳橋相氏(うる山)外九名)
- 二三、水産學校を設置して職き度き件(同上)
- 二四、洛東橋の追先を二尋清路に接続して實に度き件(同上)
- 二五、うる山管内各所の清路橋りよを修築及架設して實に度き

件(金九、二氏(統營)外九名)

- 二六、安陽郡山外面に丹陽川河川整理を來年度内實現せられたき件(孫鍾氏(密陽)外十二名)
- 二七、道内堤防を有する顧患者を一定の場所に收容せられたき件(同上)
- 二八、道内に漢方醫生講習所二ヶ所を來年度に設立せられたき件(所定來年度に設立せられたき件(同上)
- 二九、密陽の山改修工事を來年度に完成せられたき件(同上)
- 三〇、道内に畜産學校一ヶ所を設けられたき件(同上)
- 三一、治山事業推進に關する件(ろ俊淑氏(密陽)外九名)
- 三二、道指導部落建設の件(發周秀氏(川)外九名)
- 三三、昌陽市市區改正及三千浦附近河川整理の件(同上)
- 三四、晉州高等普通學校寄宿舍増築の件(同上)

- 築の件(同上)
- 三五、彌助港に水道を設備せられたき件(さい列しゅ氏(南浦)外四名)
- 三六、西上津灣堤立及防波堤施設の件(同上)
- 三七、ウマセ網、地曳網、漁業區域擴張の件(同上)
- 三八、國立中央試驗場を本道に設置するの件(坂田文吉氏(釜山)外三名)
- 三九、東海岸鐵道は改年廢直にうる山延延長起工方を本府に交渉の件(金化義氏(東萊)外九名)
- 四〇、本年七月迄にて釜山機張間の汽車の開通を期すべき様本府へ交渉の件(同上)
- 四一、釜山東萊溫泉間道路はアムハルトに改むべき件(同上)
- 四二、海雲臺に公設市場設置方の件(同上)

- 四三、慶全線鐵道の内晉州順天間速度方の件(李章喜氏(晉州)外三名)
- 四四、釜蔚線道路、輕便鐵道又は電車を敷設せられたき件(金應鍾氏(昌陽)外四名)

# 希望意見開陳

報 民 3. 12

## 慶南道評議會最終日

慶南道評議會第八日は、迫間房太郎君の南江治水問題の後、孫興君（密陽）色服を極力奨励すべきことを論ず

### 吳徳相君

（蔚山）現在當局でも小作慣行を御調査になつてますから御参考迄に申し上げます、と前提し朝鮮での大地主迫間君を前に一年分の小作料のみで荒地を開拓せしめ後を無償貸與して荒地開拓に盡力してゐる地主の例を引き、小作人の現在の窮乏教育問題に及ぶ

### 金丸君

（統營）巨濟島は朝鮮で有名な漁港長承浦等の漁港の改修も出来ない様な風で巨濟郡廳が統營に合併したため文化が遅れてゐるから一考を望む、なほ人造肥料は却つて土質をいため疏安は草立のみよく結實は不良で却つて施肥しなかつた方がよい現象を呈してゐるから今に人造肥料亡國論が出るだらうと考へる之に代るには全鮮に洪水を來たしてゐる鰯メ粕をすゝめたい、價格は低廉で土質も良くしかつ肥料價值が充分あるのである、之に對しての當局の御意見はどうであらうか

### 金斗賛君

（昌寧）農民の収益に比例する様に低減し農商工の區別をなくされたいとのべ

### 金丸君

（統營）再び立ち金融組合の金肥共同購入に代るに一面一個所の肥料共同購入並びに生産品共同販賣所の設置方を要望した

### 盧俊泳君

（咸陽）第一に普通學校に於いては三年以下は朝鮮

語を以て三年以上は國語を以て教授して貰ひ足い、なほ夜間の初等教育は認可制度を撤廢せられたいと論ず

### 竹内部長

私共は朝鮮の人を作るのではなく太日本帝國の人を作るために教育する方針であります、又私立學校の認可に關しては大事な教育であるから講師に對して資格を求めるのであつて、認可を申請したものに對しては現在九五%の認可をなしてゐるから大體に於て私立學校の不認可はない心算である

### 金慶龍君

（昌原）は云ふことがないと言辭を許されたが直に着席

### 裴翊夏君

（昌原）一豫算案を評議會開催十日以前に配布されたい二、評議員各自研究會を作つて議事の進行を計りたい

### 永井課長

地方制度をよくお判りなら十分か三十分でも豫算案は判るから議員諸君に於て勉強をして貰ひ足いとつゝばなす

### 守谷君

（蔚山）本年度に於て警備船一隻を建造されたに就いては感激に堪へない、來年度に於ても更に一隻乃至二隻を建造されたい

### 李章喜君

（密州）最後の者に同當つて長々と開口を述べたあと提出せる意見書に關し論じてそのあと一面一校計畫から工業

校設置案の補正、私立學校の補正改良等多方面に希望をのべて廿六件に及び五時三十九分になつた

### 議長

今から閉會の御挨拶を申し上げます、三日以來慎重御協議になり無事に終了したのは感謝に堪へません、この甚大な豫算を何等修正意見も出ず満場一致を以て通過したことは必畢私等以下職員を御信頼下さることゝ感ず微力ながら私以下一層努力したいと思ひます、今後も充分議員諸君の御力添えをお願いする次第であります

これに對し迫間房太郎君が議員を代表し之に答へ未曾有の感涙を評議會は大過なく午後五時五十分終了した（釜山）

### 盛澤山な

## 建議案

二日間亘つて審議

無難の慶南道評議會は五日に豫算案通過し、お茶にごしの意見開陳を二日に亘つて各議員から發せられることになつたが七日目半數を終り八日目は定時（午後一時）開會四十四件に及ぶ意見書の審議をなした意見書左の通り

一、南江治水に關する件

迫間房太郎  
二、都市に於ける入學難緩和の爲普通學校の増設又は學級増加を爲す場合は之に對し道地方費より相當補助せられたき件

魚 大 成

三、水産専門學校を設置せられた き件 同	四一、釜山支那通商口岸道路は「ア スハルト」に改むべき件 同
四、梁山月内線速成の件 同	四二、海雲臺に公設市場設置方の 件 同
五、小額生業資金貸付事業擴張の 件 同	四三、慶全線鐵道の内晋州順天間 促成方の件 李 童 喜
六、梁山郡上西熊上兩公立普通學 校の修業年限を延長せられたき 件 同	四四、釜馬線道路に輕便鐵道又は 電車を敷設せられたき件 金 慶 鎮
七、梁山市區改正速成の件 同	右意見書中郡に郡制を敷くことを 慎錫禧君の提議により二十三名の 賛成者を得て意見書を提出したが 橋本寛君（釜山）から郡制は地方 制度の重大問題であるから慎重研 究したいと語り金慶鎮君（昌寧） 内地に於ては郡制禁止であるに拘 らず郡制施行は時代逆行であると 反對賛成意見を述べたものなく採 決の結果否決され他は全議員の賛 成を得て通過した【釜山】
八、舊馬山海岸埋築及防波堤築造 の件 同	二八、道内に漢方醫生講習所二ヶ 所を來年度に設立されたき件同
九、固城文山線等外道路を三等道 路に編入方の件 李 鎔 年	二九、密陽蔚山線改修工事を來年 度に完成せられたき件 同
十、烏山三千浦線等外道路を三等 道路に編入方の件 同	三〇、道内に畜産學校一ヶ所を設 置せられたき件 同
十一、居昌に農林學校設置の件 鄭 泰 均 慎 鍾 禧	三一、治山事業促進に關する件 盧 俊 泳
十二、三等道路三茂線の築造方の 件 同	三二、道指導部落増設の件 姜 周 秀
十三、郡に郡制を施行せられたき 件 金 鍊	三三、昆陽面市區改正及三千浦附 近河川整理の件 同
十四、三等道路郡北宜寧線鼎岩津 に橋梁を架設せられたき件 同	三四、晋州高等普通學校寄宿者増 築の件 同
十五、中農以下の者を以て組合員 として一面一個所の生産消費組 合を獎勵設置せしめ以て農民の 生活安定を圖られたき件 同	三五、彌助港に水道を設備せられ たき件 崔 翎 洙
十六、晋州公立農業學校に林業科 を併置シ學級を増加せられたき 件 李 章 喜、李 鉉 覺 外 十六 名	三六、西上港灣埋立及防波堤施設 の件 同
十七、道立癩病患者療養所設置の 件 同 李 鉉 覺 外 十七 名	三七、ウタセ網（地曳網）漁業區域 制限の件 同
十八、德川江護岸工事繼續施行方 の件 同	三八、國立中央試驗所支場を本道 に設置する件 坂 田 文 吉
一九、避難港及漁港設置に關する の件 金 九 源 一	三九、東海岸線鐵道は改年度直に 蔚山迄延長起工方を本府に交渉 の件 金 化 壽
二〇、織物検査の件 崔 翊 洙	四〇、本年七月迄にて釜山機張間 の汽車の開通を期すべき様本府 へ交渉方の件 金 化 壽
二一、慣行夫役を撤廢し賦課夫役 又は租稅制度に變更の件	

# 北海道評議會

第五日の議事(廿六日午前)

第342号

午前十時議後開會を宣す

△二番(海州)滝代龍助君 海州

道立醫院の入院費計上が非常に少額

であります。これは完全なる醫政

の要求も出来ず、随つて内容の充實

が出来ません。質問の矢を放つ

△坂田參與員 御蔵最も考へ考慮

して置きます。熱のない空城であ

つた

△二九番(松くわ)呂連龍君 道

立醫院は市内の病院であるに拘は

らず、地方民は更に感興に湧き、な

から施の範疇を少し擴大せら

るべき事はありません。松くわ郡

内に今一の公費校設置を要望し

ます

△坂田參與員 面積範圍擴張につ

いては考慮しておきます

△奥村參與員 松くわ郡内に本年

度に於て一校を建設することにな

つて居ります

△四番(海州)全敏彦君 師範

學校が本年度を以て閉鎖となりま

す。毎議建議して居つた通回校跡を

女高學校と充當する計畫はありま

せん。若し本年度に於て設置不可

能となれば、來年度は必ず現出を期

望して置ます

△泉岡内務部長 師範學校跡を女

高麗に充當するも差當り二、三〇

〇圓の經費と年費五、〇〇圓の

費用を要するのである。道として

又本府學務局としても大に賛同し

てゐる次第であります。が豫算關係

上、來年度に於てはたして現出する

や否やは明言が出来ません。御承知

を願ひます

△一六番(海州)池田貫一君 モヒ

患者に中毒料以上の經費を與へ思

ひます

道立醫院の法律料が最低五十圓、最

高二十圓となつてをります。之等

は工合費で、其の額をきめる様な

感かして前向くないと思ひます。適

當の燃料金とさされた方がよい

と存します。一體、自定をとつて

あるのです。か道内の地方病である

シストマは各町に散在して居りま

根、今少し機算を多額に計上され、

△坂田參與員 患者に對する藥品

の供給は、道立醫院の上で實施して

居ります。から左様の不都合はない

と存します。万一斯かる噂があると

すれば一層注意を要することに致

します。地方病の防護に對しては極

力努めて居ります。が何分醫務關係

上、萬全を期せられんのは遺憾であ

ります。應買及法律料は規定に基い

てあるもので、本道ののみ起する譯

には参りません。しかし、往診料は常

に最低料に準し、徴収してゐる次第

であります

△泉岡内務部長 道立醫院の自給

自足は、國庫、道庫、地方、道立、道

收入に依り維持してゐる次第であ

ります。又、應買は他道に比し決して

高價でないと算するのであります

時に正休會

# 忠南道評議會

山 12  
詳 3.

八日目(十日)午前6.

拾時卅分開會諮問第一議案中  
歳入の質問に入る  
拾九番權丙夏(瑞山) 不動  
産收得税に就て質し次いで収  
檢査手数料に就て収手数料は

て普通面にも賦課される  
五番李應相(牙山) 不動産  
收得税に就て質問  
財務部長 之に答へ  
二番成元慶(禮山) 諮問一  
號案歳入及二、三號案歳入歳  
出の質問、打切動議出る

場議長  
一議長致これ  
宜一號案を諮問し拾時  
括第四十一時諮  
上程するは  
一議長致これ  
宜一號案を諮問し拾時  
括第四十一時諮  
上程するは

一議長致これ  
宜一號案を諮問し拾時  
括第四十一時諮  
上程するは  
一議長致これ  
宜一號案を諮問し拾時  
括第四十一時諮  
上程するは

一議長致これ  
宜一號案を諮問し拾時  
括第四十一時諮  
上程するは  
一議長致これ  
宜一號案を諮問し拾時  
括第四十一時諮  
上程するは

# 黃海道評議會 山 13

## 第六日の議事(廿六日午後) 6. 3. 13

午前に引續き午後一時開會  
 △一七番(載寧)金其秀君 遼寧小學校を廢止したことは兒童教育上實に由々しき問題であるが之れに對する他の施設を講じあるやとふ  
 ん然として質問す、沙里院農業學校の寄附金設置は全職員毎年叫んでゐるのですが單に考慮すと迫り中々實現の出来ないのは遺憾の極みであります  
 △泉崎内務部長 組合關係上廢止した次第で之がため教育に支障はない施設を造つて居ります  
 △一八番(ほう山)李鍾駿君 本税に對する種々の附加税額が餘り多額に上ると考へます財界不況の今日更に之が増額を計畫されて居りますか又カマス検査の手數をば實

際、に於て地方農民のこう血をしぼる感あり之は全廢を要望するのであります  
 △泉崎内務部長 附加税は主として學校費補給に要するのであります若し他に財源ありとせば附加する必要はないと存します而し適切な財源を見いだす事は至難と思ひます  
 △秋山参員 以検査手數料の輕減又は全廢の質問がありましたか  
 もち論議を經濟上至難の様に思はれますが一面之が爲農家の益する處も多大であつて僅少の手數料は問題でないと思ひます  
 △一八番(ほう山)李鍾駿君 地稅及附加税問題で参員負小池財部部長と相問答あつて議場を騒然せし

めた  
 △一七番(谷山)朱成鎮君 道立醫院増設は大いに賛意を表するのであります  
 りますが山間僻地の地方民は何等の恩恵に浴せないのでして他に代る施設も又施設方法を講じてゐないと云ふは實に遺憾に堪へません火田民の調査は當局に於ても相當努力して居らるゝが之等行き先の調査又は生活救済の方法等が徹底してない様です、昭和四年四月と思ひますが海州高等普通學校及沙里院農業學校に於いて同盟休校を行ひ爲に犠牲者を出したのは生徒側に於いても缺陷があつたと考へますが道當局は如何なる處理にいたのでしたか  
 △坂田参員 網民に對する治療は各所に駐在する公醫及道立醫院等極力實施して居ります  
 △奥村参員 兩校の同盟休校は生徒共者に缺點はなかつたのですか  
 かたに空氣に煽動され多少の犠牲

を見たのですか本問題は五年度の  
評議に於ても論議したのですが  
斯かる不祥事を惹起したと云ふ事  
は道當局に於ても相當責任がある  
のですから此後嚴重なる警戒に努  
むる計畫です

△八番(平山)申元照君 土木曹國  
庫補助金は悉く起債の形式に依り  
其の實施を見る様になつてをりま  
すが近來の如き財界不況の理由の  
下に萬一償還不可能の場合は如何  
なる取扱ひになりますか

△泉崎内務部長 起債はすべて面  
又は水利組合其他公共團體に對  
してするのであります償還等の  
できないはずはないと存じます

△八番(平山)申元照君 社會事業  
費として毎年計上して農村講習會  
等も開設してありますが之等の功  
績を認めないから之を全廢の上本  
豫算を私立學校に補助した方が適  
切と思ひます

△宇野參與員 社會事業の一種た

る地方講習會は相當の成績を揚て  
居ります殊に自治制施行を目前に  
控へる今日一層必要を來す次第で  
あります

△一五番(ほう山)阿波弘司君 道  
立醫院の藥價及住診料が高い例へ  
ば油紙一枚五錢と云ふてゐる又院  
長往診料として三圓としてありま  
すが醫師は一面二圓と云はれてゐ  
る現在では之れが全廢は不可能で  
あるが何とか最善の方法を講じ患  
家要求を容易ならしむる必要は緊  
急問題であります

△坂田參與員 本御質問に對して  
は最前御答へをした様に考へます  
が決して高價ではありません又規  
定に依るので本道のみ改廢をする  
譯に参りません

△二五番(金川)慎久範君 戸税の  
徴收は最も至難でありますから貧  
困者に對しては今少し考慮の餘地  
はありませんか中等學校設置僅少  
なる爲普通學校卒業者の向學に不

便を極めある家庭は之が爲他に  
居する例もあります實に同情に堪  
へません又書堂が國家制度になつ  
た後開設の數が減少するの傾きあ  
り他に援助の方法はありませんか  
△小池參與員 同様に考へません  
が地方團體は其の地方團體の收入  
に基き支持してゐると云ふ見地か  
ら徴收をしてゐるのであります、  
しかし之れに堪へ得ざる貧困者に  
對しては考慮して置きます

△奥村參與員 希望する處ですが  
一面一校の計畫すら完全を期せな  
い今日の狀態ですから今直に實現  
は至難であります認可制度は決し  
て書堂を廢除した意味ではありません  
寧ろ堅實な書堂造成に努めて  
ゐる次第であると明快な答辯で打  
ち切つた

時に午後四時閉會議長廣田君  
常務臨時部全般を通し第二議會に  
移して差支なきやの動議あり全議  
員賛成廿七日二議會として審議す  
ることとなつた

# 忠南評議會

第七日目 三朝十日 3.13

(公州) 忠南道議第七日 (十日)  
は午前十時三十分開會

▲權丙夏君(瑞山) 歳入部の不動

産取得税の減收理由と地税及戸  
税附加税は時節柄減額すべきで  
ある理由如何以検査手数料が十  
枚五銭は高い十枚二銭位にして

と農民を救ふ氣はないか  
と藁の原料から製造受檢迄の農民  
の勞苦を辯じ立て切に負擔漸減を  
絶叫した

▲下飯坂財務 道民負擔漸減には

絶えず熱慮を凝らしてあるが支  
出その兩者の間に立ちて均衡を  
保つには地税附加税附加金を  
之以上漸減は不可能である不動  
産取得税の減收は不況のため賣  
買行はれず従つて歳入減損とな  
るのである

▲高橋農務 小農保護の見地から

同感であるが以検査の費用關係  
から全廢するとすれば此上一萬  
圓以上の補助を要し實行困難で  
ある各道の手數料は京畿十枚七  
錢忠北九錢全北九錢全南六錢慶  
南八錢であるから本道の十枚五  
錢は止む得ぬかと思ふ

▲曹秉直君(舒川) 歳入の地稅戸

税附加税を現在より二三割減額  
して新財源として漁業區域を變  
革してその方から取上げ緩和調  
節する氣はないか

▲下飯坂財務 減税は同感である

が漁業區域問題は遺憾ながら本府  
の機能に屬し如何にも致し難い  
▲宮軍地方 車輛税と營業税とが  
同額なる事は最高限度の減額を  
圖つたのである

此時成元慶君(禮山) 會期切迫第

一議會を打切第二議會に移る事を  
動議し賛成あり此間議長と押問答  
あり賛成を認め五番

▲李相相君(牙山) 不動産取得税

の實際賣買價格通りに徵税して  
は如何

▲下飯坂財務 登記價格によるも

のと未登記の分は時價によりて  
徵税するのを妥當と信ずる

語問案第四號乃至第十號を上程し  
第一議會に入る者劉議長より宣言

李甲世君(海城) 再び發言をもと

めたが的違を劉議長に諒され美事  
に落第池田君(扶餘) 例により  
て低廉賣買價格を必要とするが  
實問大要は 公債利子は四分 五厘  
借入金は七分五厘之は高いから公  
債利子による方法はないか

▲空軍地方 公債は本府が大藏省

との協定によつたもので道の計  
畫でない利子増加を防ぐため全  
部公債にする事は事業の所要額  
その他により此方法による

成元慶君(禮山) 議事進行係の大  
任は苦勞又既提案全部二議會に移  
す事を動議し賛成あり正午休憩と  
なる午後一時再開

▲朴之赫君(燕岐) 農村振興を肝

要とするその根本政策として農  
學校を増設し卒業生を土着せし  
むる考へはないか鳥致院の下水  
溝は速かに實現させてもらひた  
いなほ鳥致院補習學校の設備を  
完成し寄宿舎を作れ

▲高武務内 傳家の寶刀所謂御

最も御同意で軽く受けよく答へ  
て質問的御意見に副ふべく考慮  
する

此の時劉議長たゞ今は二議會であ  
り質問以外意見の提出に對しては  
必要以外答辯を省略すと豫防線を  
張る

▲李伯春君(青陽) 面吏員採用に

關する意見を述べた面吏員の選  
習會を多く開催せよ春秋二期位  
にしてほしいなほ地方寫眞技手  
の俸給をけつてその費用に充  
ては如何

▲沈相台君(保寧) 施療費が少な

い前年度位に増しては如何  
大川河の護岸工事は焦眉の急に  
迫つてゐる年々議案で可決し  
てゐる道政修めその通り本年  
は恰も窮民救濟事業ありな計  
上しなかつたか、水産施設の一  
つとして水産學校を大川邊りに  
設置しては如何、産業組合の改  
善を要望するかつ産業課長の答  
辯は何も彼も上等との事であつ  
たが四ヶ所の組合中一ヶ所だけ  
で残り三ヶ所の營業成績は不良  
である貧弱である改善の餘地充  
分なり

と嘆願的態度の質問に對し

▲長和衛生 趣旨不徹底のためか  
利用が意の如くくなくないゆゑ此  
方面を手控へて巡回診療を増や  
し若し永病人を發見したらその  
趣旨により施療せしむが待策と

見て如斯

▲尹吉重君(江景)

河川は國家の

ものである國家のものを改修するに地方民にその一部を負擔せしむるは安當でないその例もないゆえに地方民の負擔を全廢し國費のみで改修しては如何、錦江水利設計當時と現在とは穀價その他非常な差がある之は現在に則して設計を變更し速かに實現を希望する

▲高武内務 又も室に結構を前提

してこれ迄の實例は國庫だけではない此緊縮時代に入割の補助は恩澤である既定計畫通り進む外はない負擔は微んたるものである錦江水利組合設計變更も結構である之は本府の技術員と打合せ石八圓四十錢で設計を進めてある之でも一割の利益はある將來の米價については神ならぬものだが之迄の經驗から決して心配はあらぬと思ふ石九圓にあがれば夫以上の利益がある

と見たやうなうまい答辭である次で柳實政君(牙山)牛の種付に對し一回十錢を徵收するは慘酷である無情であるとき直つて猛り立て本員は過般種牝牛の種付實現を視察したが危機一髪といふ處で十錢の金がないため牝牝ひ立つものを慘にも引離して交尾を中止

した二頭とも泣いてゐた實に慘酷であるから一回十錢は止しもら

ひ度いと眞剣に捲くし立て場内ドット哄笑し少時は鳴りも止まずダレ切つた議場はわき立つた次い野犬撲殺である巡查は人命保護の大任を帯びてゐるのに撲殺の御先棒を初むるは不當である實に怪しからぬ之は飼主に課税すれば目的は達するではないかと述べ劉議長御意見として深く意に留めると笑ひながら答へた

▲李甲州君(洪城) 洪城専修學校

と通病令問題につき要望と不満とを並べ立て名利衛生から詳細に至りて答へた

▲李重和君(天安) 二百萬圓の水

産物を有する水産施設が貧弱である産米増産も結構だが此方に力を注げ工業の發達に努めよ以検査料を全廢せよ

▲西鳴寅吉君(江景) 哀愁を帯

びた音聲丸く響き曰く道廳問題は近く落付くところに落ち付くものと思ふが之による地方民の損害は同情に堪へぬ當局は恩威並行で充分慰安的方法を講じてもらひ度い若し個人的に世話が出来れば本員等進んで御世話する覺悟がある本道の各等道路としての體裁を備へず何れも交通上支障を感ずる橋梁そ

の他は現代的であるが路面その他は非常に時代に後れたる觀がある

と一例を引きとき去るとき來りてその整美完璧を要求し次いて窮數事業實施に當り或の反面には多少の犠牲者もあると思ふ改修の爲め立退く人々には充分の温情味を以て合理的に處置を仰ぐ收獲豫想は農家の感情を刺戟し相場を動かすの憂ひあり何を基準として豫想されるや之は一般非常な脅威を感じる問題であるから一應その測源を承り度いなほ洪城工業專習學校問題は議場の花となつて論議されたが之は聞くところによれば多額の固定資金を要する五萬か十萬で完成を期するは望まれまいと思ふ之は何とか善處して地元民に安心を與へてもらひ度い高橋農務から收獲豫想につき繰述しやゝ確實を保證した

▲吳弼永君(大田) 共同井戸の普

及を喜ぶなほ一步進んで各里毎に普及させよ、共同浴場を一面毎に設置して清潔と衛生上思想を向上せしめよ、砂防工事はより多くより速くより廣く施行すべし、社會改良事業推進の爲め各郡に教化善事を配置してもらひ度い

# 慶南評議會

第七日目 三月十日

(釜山) 慶南道評議會最終日は十日午後一時十分より開會し議長より前日に引續き各議員より意見開陳を續行する旨を宣し先づ大野副議長をして前日の建議案につき朗讀せしむ此時追問、金兩議員出席して議員數二十八名(缺席五名)折柄建議案中郡制施行の分は本議員より時代逆行の建議なりとし反對説出で金慶鎮君これに賛成し採否を起立に問へば原案は破れしのみにて左の如き建議案全部可決確定した

## 建議案

- 件名 發議者
- 一、南江治水に關する件(追問房太郎)
  - 二、都市に於ける入學難緩和の爲普通學校の増設又は學級増加を爲す場合は之に對し道地方費より相當補助せられたき件(魚大成)
  - 三、水産専門學校を設置せられたき件(同)
  - 四、梁山内線連成の件(薄穆)
  - 五、小嶺生業資金貸付事業擴張の件(同)

- 六、梁山郡上西、熊上兩公立普通學校の修業年限を延長せられたき件(同)
- 七、梁山市區改正連成の件(同)
- 八、蔚馬山海岸堤築及防波堤築造の件(金泰鎬)
- 九、固城文山線等外道路を三等道路に編入方の件(李鏞年)
- 十、烏山三千浦線等外道路を三等道路に編入方の件(同)
- 十一、居昌に農林學校設置の件(鄭泰均、慎禮禧)
- 十二、三等道路三茂線の築造連成方の件(同)
- 十三、三等道路郡北宜寧線碭岩津に橫梁を架設せられたき件(同)
- 十四、中農以下の者を以て組合員として一面一個所の生産、消費組合を獎勵設置せしめ以て小農民の生活安定を圖られたき件(同)
- 十五、晉州公立農業學校に林業科を併置し學級を増加せられたき件(李章喜)
- 十六、道立癩病患者療養所設置の件(同)
- 十七、徳川江護岸工事繼續施行方の件(同)
- 十八、避難港及漁港設置に關する件(金丸源一)
- 十九、織物検査の件(崔端求)
- 二十、慣行夫役を撤廢し賦課夫役

- 又は租税制度に變更の件(同)
- 二二、蔚山公立農業補習學校を甲種農業學校に昇格するの件(吳德相)
  - 二三、水産學校を設立して藏ぎたき件(同)
  - 二四、洛東嶺の道先を一二等道路に接續して貰ひたき件(同)
  - 二五、蔚山郡内各所の道路(梁山、修築及架設して貰ひたき件(同))
  - 二六、密陽郡山外面に丹陽川河川整理を來年度内實現せられたき件(孫興)
  - 二七、道内に現籍を有する癩患者を一定の場所に收容せられたき件(同)
  - 二八、道内に漢方醫生講習所二ヶ所を來年度に設立せられたき件(同)
  - 二九、密陽蔚山線改修工事を來年度に完成せられたき件(同)
  - 三〇、道内に畜産學校一ヶ所を設置せられたき件(同)
  - 三一、治山事業促進に關する件(盧俊泳)
  - 三二、道指導部落増設の件(姜周秀)
  - 三三、密陽面市區改正及三千浦附近河川整理の件(同)
  - 三四、晉州高等普通學校寄宿舎増築の件(同)
  - 三五、彌助港に水道を設備せられたき件(崔端求)
  - 三六、西上港埋立及防波堤施設の件(同)
  - 三七、ウタセ網(地曳網)漁業區域制限の件(同)
  - 三八、國立中央試驗場支場を本道に設置するの件(坂田文吉)
  - 三九、東海岸線鐵道は收年度直に梁山迄延長起工方を本府に交渉の件(金化壽)
  - 四〇、本年七月迄にて釜山機張間の汽車の開通を期すべき様本府へ交渉方の件(同)
  - 四一、釜山東萊溫泉間道路は「アスハルト」に改むべき件(同)
  - 四二、海雲臺に公設市役所設置方の件(同)
  - 四三、慶全線鐵道の内晉州順川間連成方の件(李章喜)
  - 四四、釜馬線道路に輕便鐵道又は

電車を敷設せられたき件（金匱  
額）

最後に各議員の意見をたゞしいは  
ゆる邊知事赴任當時明せる如  
く机上の空論より街頭に出で、大  
衆の聲を聞くために徹底的に地方  
民の要望を開き午後五時五十分討  
議全了と共被邊知事から左  
の如き挨拶があつた

閉會に當り御挨拶を申し上げます  
各議員が連日長時間に亘つてこ  
の形大なる大豫算を熱心に箇條  
審議になりよく完全に各諸問案  
に御答申になつて満場一致の御  
賛成を得たことは當局を信認せ  
られた結果であると思ひ深謝を  
すると共に道當局に於ても一層  
責任の重且つ大なるを痛感する  
のである、此上は道當局として  
は懸命に道政の伸展道民の福利  
を増進したい決心である、猶ほ  
私は議長が始め方りしたため不馴  
れの點多く御迷惑のあつた事と  
思ふに茲に大過なく無事終了を  
得た事は望外の喜びである各議  
員に於かれても益々御健康で此  
上乍ら道政の伸展、道路の完全  
に御盡力あらん事を切望する、  
と深甚なる言葉に、道評議員を代  
表して道間房太郎氏は

今回の事業豫算は開廳以來の大  
豫算に御招集になつて會議開催  
と共に吾々評議員は實員又は御  
意見を忌憚なく申し述べしに係  
はらず道當局には終始誠意を以  
つて御答辯御指示賜はり且つ知  
事閣下にも最も公平に議場を御  
整理に相なり茲に目出度く大豫  
算の確定したことは誠に喜ばし  
い、猶各議員より最後に各々建  
議案を出した事については議員  
も充分に考慮しての事であるか  
ら御當局にもよく御熟考御精査  
の上吾々の希望に添はれ以て朝  
鮮の開發上資して頂きたる又閣  
下並に道當局の御骨折を論切に  
感謝すると共に將來吾々の御指  
導を御願ひする  
と満場起立して最も有意義なる幕

を閉じた時正午に午後六時

# 東海道評議會

第七日の議事(廿七日午前十時十五分開會)

第14卷 第3頁

6

▲二番(海州)泉世さい君 本道の水利組合設置は相當重大問題と云ふ。参興員の空懸はありますまい。秋山参興員 黄蘗道の水利組合の設置は初めであつて時に利害が伴はない。野村もあつても空懸。地主は小作人の持主多大でありまして組合員なれば紛糾すると云ふ。悲観の態度を示して居ります。現在の收穫に於ては肥料代を遑なく時は何を得る程かない。土地改良の言及した新聞記事を見ると朝鮮の水利組合は將來といへども決して收支償はないと語して居ります。すもゝ組合設置が民衆の怨望を醸すの問題は工事費の多額なるの知や負ふ事。人件費の多額なる事を計に考慮ある事。諸議員諸君の利や負ふ事。人件費の多額なる事を計に考慮ある事。諸議員諸君の

事等が大感因をなして居ると感じます。之は希望として述べるのです。▲秋山参興員 黄蘗道の水利組合の設置は初めであつて時に利害が伴はない。野村もあつても空懸。地主は小作人の持主多大でありまして組合員なれば紛糾すると云ふ。悲観の態度を示して居ります。現在の收穫に於ては肥料代を遑なく時は何を得る程かない。土地改良の言及した新聞記事を見ると朝鮮の水利組合は將來といへども決して收支償はないと語して居ります。すもゝ組合設置が民衆の怨望を醸すの問題は工事費の多額なるの知や負ふ事。人件費の多額なる事を計に考慮ある事。諸議員諸君の

▲秋山参興員 黄蘗道の水利組合の設置は初めであつて時に利害が伴はない。野村もあつても空懸。地主は小作人の持主多大でありまして組合員なれば紛糾すると云ふ。悲観の態度を示して居ります。現在の收穫に於ては肥料代を遑なく時は何を得る程かない。土地改良の言及した新聞記事を見ると朝鮮の水利組合は將來といへども決して收支償はないと語して居ります。すもゝ組合設置が民衆の怨望を醸すの問題は工事費の多額なるの知や負ふ事。人件費の多額なる事を計に考慮ある事。諸議員諸君の

取に付當に損益をかうむつて居ります。一面に於ては黄蘗道米の引取を失ふのであります。今一層のま

▲秋山参興員 黄蘗道の水利組合の設置は初めであつて時に利害が伴はない。野村もあつても空懸。地主は小作人の持主多大でありまして組合員なれば紛糾すると云ふ。悲観の態度を示して居ります。現在の收穫に於ては肥料代を遑なく時は何を得る程かない。土地改良の言及した新聞記事を見ると朝鮮の水利組合は將來といへども決して收支償はないと語して居ります。すもゝ組合設置が民衆の怨望を醸すの問題は工事費の多額なるの知や負ふ事。人件費の多額なる事を計に考慮ある事。諸議員諸君の

▲秋山参興員 黄蘗道の水利組合の設置は初めであつて時に利害が伴はない。野村もあつても空懸。地主は小作人の持主多大でありまして組合員なれば紛糾すると云ふ。悲観の態度を示して居ります。現在の收穫に於ては肥料代を遑なく時は何を得る程かない。土地改良の言及した新聞記事を見ると朝鮮の水利組合は將來といへども決して收支償はないと語して居ります。すもゝ組合設置が民衆の怨望を醸すの問題は工事費の多額なるの知や負ふ事。人件費の多額なる事を計に考慮ある事。諸議員諸君の

▲秋山参興員 黄蘗道の水利組合の設置は初めであつて時に利害が伴はない。野村もあつても空懸。地主は小作人の持主多大でありまして組合員なれば紛糾すると云ふ。悲観の態度を示して居ります。現在の收穫に於ては肥料代を遑なく時は何を得る程かない。土地改良の言及した新聞記事を見ると朝鮮の水利組合は將來といへども決して收支償はないと語して居ります。すもゝ組合設置が民衆の怨望を醸すの問題は工事費の多額なるの知や負ふ事。人件費の多額なる事を計に考慮ある事。諸議員諸君の

# 忠南評議會

新

第七日目 三月十日

3. 14

(公州) 忠南道議第七日(十日)  
午後六時迄時間を延長し第一號諮問案より十一號迄諮問を省略原案通り可決確定となり建議案十六件何れも満場一致で可決した建議案の主なるものは

一、錦江支流金川改修運進の件  
一、西北郡地方に道立分院設立の件

一、天安に高普校設置の件  
一、保寧郡大川漁港築造速成の件  
外十二件で金川改修建議案の内容は錦江支流金川の流域は忠清扶餘郡鴻山面南面九龍場岩岩面に亘りその平野三千町歩なり而して該平野に接する錦江本流には堤塘並に護岸設備なく支流金川も亦堤防として見るべきものなく加之曲折甚だしき爲め大雨降る時に錦江に忽ち氾濫し河平野に逆流浸入しその大り分洪水する處となりその被害甚大なりゆゑにその内二千町歩は草生の原野として農耕する能はず徒らに蘆葦の繁茂するのみにして更に之に連接せる一千町歩の土地亦浸水を免れず甚だしき時は收穫皆無となり之を平均するも四割内外の收穫に過ぎず農民はつねにその堵に安ずる能はざる状態なり然れば金川の改修と平野の開拓は關係五々箇民實に三十年來の宿望にして爾來血と涙の歴史は枚擧に遑あらず然るに今何等の施設も實現するに至らず衷心遺憾とする

ところなり本平野は地味豊饒にして他にその類稀なり治水を完全に之を開拓する時は實に忠南の寶庫として推稱するに足るも當と化す事明かにして土地の改良産米の増殖は本平野開拓の如きは第一に手せらるべきものと信ず而して昨年の洪水は本平野三千餘町歩も亦浸水するところとなり沈水久しきに亘りたるため水稻腐敗し收穫皆無に近き状態を呈しその被害慘憺たるものあり關係民約一萬人は食糧にも窮乏し悲惨の状名狀すべからず到底底なくして之をみる事能はず當局既にこゝに鑑み本平野開拓の根本を爲す金川改修を計

畫決定せられ窮民救済事業として昭和六年度豫算に計上せられたるも不幸にして大蔵省の緊縮政策により削除を受けたるやに風聞す其に千古の恨事にして住民は此窮狀にありてなほ當局の善政に信頼し唯一の活路を本事業の實施に緊き忍苦し來たるも一度此報傳はるや全く落胆爲すところを知らず悲痛その極に達し之が救済も忽にすべからざる状態にありされば金川を改修速成して水害を除去し延いては該平野を開拓するはたゞに國家の富力を増進するのみならず人道に上より見るも實に焦眉の喫緊事なりと信ず依つて昭和七年度より本事業に着手せられん事を  
三月十日 建議者 池 喜 烈  
外二十一名

# 大邱府豫算削減で

## 道幹部の熟議

P

### 大邱 6.3. 結局原案執行となるか

慶北道にあつては大邱府六年度豫算が削減決議を附議されたについて道當局としてその削減内容の検討をなすべく十八日朝より山地地方課長と伊達内務部長は鳩首熟議を重ねてゐる尤も原案執行の如何は桑原府尹の吐一つに秘められてゐるが削減内容が警察關係のものにも觸れてゐるし更に戸別税にもかゝつてゐるので道としては遺漏なき研究を遂げて原案執行後における各方面への關係を充分調査せんとするものであるらしい然し府尹としては削減決議をなされた豫

算の大部分は原案執行をなすべく道として之に諒解を與へる事既に肚をきめてゐるやうであるかとなるやうである

# 一部は認容され

## 一部は原案執行

### 修正の動機が不純だと

#### 府協議員某々氏ら語る

大府協議員の豫算大修正案に對し其後府理事者に於いて善後策を講究して居るが、この修正案を呑みにするか又は修正案の一部を容れるか或は原案全部を執行するかは凡て府尹の方寸に存する處であるが猶決定を見るに至らないが右に就き内鮮議員二三の意見を綜合すると左の通りである

諮問機關であつても修正意見及決議は決して不合理のものでなく諮問に對する一種の答申形式と見る事ができるただ

#### 修正 案議決に至るまでの

出發の動機は多少妥當性を缺くものではないかと思はれる萬一斯かる意識を根柢として將來の自治會議に臨むとすれば自治の運用を阻害する丈で力強き府尹を置きて事毎に原案執行の舉に出でるに至るべく地方自治進展の爲めに甚だ好ましからぬ状態を現出するのではないかと思はれる

今回の修正案に對しては府尹の意の在る處を肘度する事は困難であると思ふに旅費の三百五十

圓削減及消耗品費の五百圓削減の兩修正案を容れて議員の面目を立てるのではないかと思はれるこの旅費及消耗品費も學校組合及學校費許議會の事務費及旅費が府に併合された結果の増加で全體の負擔から見れば減額して居るがたゞ

#### 内鮮

人負擔の權衡上から

主として論ぜられて居る模様であるが其の動機に於て多少の不純と不徹底がある事は勿論である之れは府としては多少の苦痛を忍んでも認容するであらう、夫れと同時に警備費以下は全部原案執行に至るものと思はれる殊に警備費は警察との關係もあり俄に豫算を變更し難き事情もあり特に府民の保安に關する經費の大削減を行ふが如き事は許されぬ事であらう近來大邸に於ては大火災、大水害其他の天災なく多少太平に狎れたる嫌ひなきに非ざれど其の實鮮人側の出火度數など決して尠少のもの

でなく幸にして大事に至らずして防止し得たるは一つに警備

機關の活躍に由るもので更に積極的に其の充實を圖り都市の災害防止と府民の保安を完成の域に達せしめなければならぬは勿論であるからこの豫算は必ず原案の執行を見るに至るであらうと

#### 觀測

されるが更に道路鋪

装費の如きは現在の田舎莫き大邸府としては強て急ぐ必要も無るべく或はこの費目の削除等も修正案を容れるのではないかと觀測されて居る、が要するに今回の府の豫算修正問題は各方面に相當シヨクを與へ新制度に由る議員選舉に關し各府民にいろ／＼の意味に於ける自覺を與へるものと觀測される

# 新制選舉取締標準

注意せぬと直ぐ違反

新 朝

6. 4. 1

京畿道警察部長談

述べて見たいと思ひます

## 選舉運動に關し 重なる注意事項

- 一、候補者選舉運動者に關する事
  - イ、府會議員候補者たらんとする者は選舉期日前三日迄にその旨を府尹に届出づること
  - ロ、選舉人名簿に登録せられたる者他人を議員候補者となさんとする時は前項の期限内に府尹にその推薦の届出を爲すこと
  - ハ、議員候補者たることを辭し又はその推薦を取消したる時は直にその旨を府尹に届出づること
  - ニ、候補者又は推薦者（推薦者數人あるときはその代表者）等にして自己又はその推薦したる議員候補者の爲に選舉運動者を選任したる時は直にその住所及氏名を所轄警察署に届出づること
  - ホ、その選舉運動者に異動ありたる時も同様届出づること、推薦者自ら選舉運動者となる時も届出を要すること
  - ヘ、届出たる候補者又は選舉運動者に非らざれば選舉運動を爲すことを得ざること
  - 但し演説又は推薦狀に依る選舉運動は届出の必要はない
- 以上の各項に違反せられたる場合は規則第十三條の二に依り處分せらるることに注意せられたい
- 参考事項
  - イ、届出なければ候補者たり運動者たることは出来ないもので早く届出らるゝ様せられたい
  - 尙運動員は特別の事情なき限り可成變更せざること
  - ロ、選舉運動者は規定にはその數に制限なきも各種の關係から一候補者に對する運動員は二十名以内と制限することになつて居るから嚴に守られたい
  - ハ、妻其の他の家族の運動も選舉運動と認めますから若し届出なく運動せらるれば違反となります
  - ニ、町總代の方や又は個人において候補者を有権者の宅に案内し紹介するが如き行爲も選舉運動

地方自治制の實施に伴ひ府及邑會議員各位は從來諮問機關であつたのが議決機關となりその機能の上において一步を進めた譯で自治的觀念の上からまことに御同慶に堪へない次第であります、而して地方自治制に準據した處の初めての議員選舉が来る五月二十一日施行せらるゝ事になりましてすでにばつゝ立候補を聲明せられた方もある模様でありますが議決機關になつたといふ見地からか從來よりも立候補者數において又選舉運動の一般の空氣において頗る緊張するやに看取せらるゝのであります、従つてその間或は熱中の結果不用意の間に違反行爲を敢て犯す様な事も出来はせぬかといふ事を取締當局としては非常に心痛してゐるのであります、殊に選舉取締令の制定も一昨年のことであり内容の改正も最近あつた様な譯で御互に經驗も研究も極めて薄いのでありますから一層注意を拂ふ必要があるのであります

元來選舉は最も嚴正に行はるべきものでその間私情とか利害とかの感情があつてはならないのであります、取締當局としましても此の見地より至公至平嚴肅なる取締を爲す筈であります、が間違ひのない前に大體の取締標準などを御示して御互に戒心するといふ事は敢て無駄でないとかんがへますから以下標準の概要に就て御参考

と認められますから注意された

ホ、町會又は縣人會等において候補者と交渉に自發的選舉運動をされても矢張り選舉運動と認め届出ない場合は違反となりません

ヘ、推薦状でもこれを持參して有拂者宅を訪問するが如きは一種の選舉運動と認めます

二、選舉運動に要する飲食物船車馬等の供給又は實費の辨償の標準は

イ、選舉運動の爲に要する飲食物の實費としては京城仁川地方に在つては一食五拾錢以内一日壹圓五拾錢以内其の他の地方に在りては一日參拾錢以内一日壹圓以内を限度として取締ることに

なつて居るからこれを超過すると違反になります

ロ、船車馬等の供給は使用後實費を支拂ふべきものでその地方の状況により又その使用の方法に依り豫め一定の標準は困難ですが要するに公定實金に依る實費以外に支給することは當然違反になります

ハ、選舉運動の爲損傷したる被服とか器物とかの實費辨償は一切これを認めません

ニ、選舉運動員に對し實費名義の下に金錢の前渡しを爲すことは辨償の觀念法規の精神より見て實費の辨償と認めません

三、選舉に關し金錢物品其の他財産上の利益供給等の事項

規則第八條に依つて投票を得若しくは得しめ又は得しめざる目的を以て

或は投票を爲し若しくは爲さざること又は選舉運動を爲し若しくは止めたることの報酬となす目的を以て選舉人又は選舉運動者に對し

或は議員候補者たることを止めしむる目的を以て

或は候補者たることを止めたること又は當選を辭したることの報酬となす目的を以て候補者たりしもの又は當選人たりし者に對し金錢物品其の他財産上の利益若しくは公私の職務の供與の申込み若しくは約束を爲し又は養應接待其の申込み若しくは約束を爲し

或は之が供與、養應、接待を受け若しくは要求し又はその申込を承諾したる時は何れも違反事項となることは説明迄もないが選舉に關し不用意の間に多く行はれ而も違反となる重なる事項は左の通りたるに依り充分注意せられたい

一、いはゆる當選祝賀會と稱し選舉運動の慰勞と自己の當選祝賀とを兼ね祝宴を催すことは畢竟人を養應し又はその養應を受けるものに外ならず

二、立候補聲明又は運動依頼の爲に爲す宴會茶菓の養應も選舉を目的とする養應の一種となる

三、投票券出しの爲の車馬の供給或は電車汽車等の乗車券を提供することも利益供給に外ならず

四、選舉事務所は候補者一名に付き三ヶ所以内選舉當日における休憩所は一ヶ所と制限されたるにつき夫れ以上設けざること尙選舉當日休憩所又はその附近において選舉人に對し名刺の交付等をされない様注意されたい尙休憩所の構造設置に關しては所轄警察署長と協議せられたい

五、立看板其の他に關する事項イ、候補者の立看板は競争の防止費用の節約の見地から由三尺以内高さ二間(足とも)以内且つ其の場所は事務所以外各署管内に各五ヶ所以内を限度とすることに制限せられたるにつき遵守せられたい

ロ、貼紙は競争の防止市街美保存の必要より一切禁止することに

なり只吊ビラの如きは不體裁に涉らざる程度に之を認むることになつて居るので勵行して載きたい

ハ、飛行機とか又は街路に於ける選舉ビラの配布等の街路運動は一切行はれざる様注意されたい

ニ、選舉運動に使用せらるゝ名刺等にして其の裏面に吸取紙を附着しあるものは使用を差止むることに決定しあるにつき普通の名刺を使用せられたい

六、戸別訪問は時間に對しては運動者の便利の爲め別に制限は加へざるも訪問者は一行三名以内とするこになつて居るので實行願ひたい

七、政見發表或は推薦演說會等開催の場合は豫め所轄警察署に届出をせられたい

# 今回の地方自治制を

## 外人側は斯う観る

在城主なる人々の意見

日 京 1  
6. 4.

半島における地方自治制度施行に對する有力なる外人側の意見は大凡左の如くである

トーマス・ホツプス氏

(氏は英國人にして在鮮廿年、英國聖書協會の幹事である)

世界大戰以來自治問題に關聯する顯著な事實は、一國が他民族を統治するに當つて彼等を統治に參與せしめずして支配し得るやうな時代がすぎ去つたことを示してゐる。

齋藤子爵が總督の印綬を帯びらるゝやこの事實を明察され地方自治制度建設に全力を盡さるべきことを聲明され、先づその第一歩として諮問機關たる道府県協議會を創立された。これによつて地方行政上一部重要な地位が朝鮮人によつて占めらるゝに至つたが、更に今回の改正によつて全部でないにしても諮問機關が議決機關に進化したのであるから、タトヒそれは朝鮮民衆の望んだほどでないにしても統治上決定的なる轉換期を劃したものといつて差支あるまい。勿論完全なる自治は最後のゴールであるとするも、それに到達するには幾多の階段を要することは否定することは出来ぬ。たゞ納税五圓を選舉資格としたことは現

在朝鮮の民度に鑑みて高過ぎはしまいかと思はれる。これによつて多數が失權してゐることを考へねばならぬ。これにつき齋藤總督の賢慮と政治家的政策が急速に發展せんことを希望したい。

エム・エル。

スワインハート氏

(氏は米國人にして在鮮十九年南フレスピテリアン派の事務總長である)

四月一日効力を發生する新制度により朝鮮は地方自治への積極的な第一歩を踏み込んだ。或はこれ等の改正も朝鮮人側の希望に十分合致せぬかも知れぬ。しかし齋藤總督、兒玉總監その他當局の公式聲明を見ても總督は朝鮮の地方自治擴充に對して熱心に企圖されつゝあることは疑ふの餘地がない。し

かしてその終局の目的を達成するためには治者被治者の衷心よりの協力が最も必要である。新制度の前途に對する憶測は如何であらうとも、今回の改革が齋藤總督の如き偉大にして自由主義政治家によつて與へられた同情ある助力に與つて力あることは内外人共に等しく認めるところである。

オー・ケー。

エビソン氏

(氏はカナダの人在鮮卅七年、セブランス醫學專門學校長である)

外國人でありまた宣教師である地位からも統治問題について實言の論をなすは欲せざるところである。しかし永い間この國の住民としてまた衷心朝鮮人の幸福を祈るものとして總督府個々の政策に對し

自由に所見を述べて見たいと思ふ。朝鮮において民衆が政治に關與する程度の上進歩に對しては深い興味をもつて注意してゐる。従つてセウルプレスに掲載された四月一日より實施される地方自治制度改正に對する總督總監のステートメントもまた精讀した。幾多の不満は固より免れることは出來ないであらうけれども、今回の改正によりすでに地方自治制に一步を進めたのであるからこれを完成するに急進であることを切望したい。齋藤總督および閣僚當局の進歩的施設について滿堂の祝意を表すると共に、その結果が總督にも民衆にも満足をもたらすことを希望する。特に民衆が新制度を活用して自治能力の發揮に努められたいものである。

## 社說

## 自治制의 前

途를爲하 27

新地方自治制 依하여 全鮮  
的으로舉行되나 回國學는  
大體上으로 觀하여 豫期以上의  
好成績을 示하야 都鄙를 通  
하여 乘權率이 比較的 少하고  
도 選舉戰에 常例의으로 隨伴되는  
矯激한 競爭과 不正手段의 演出을  
見치 아니하게 된것은 我等全體  
의 名譽를 爲하야 地方自治制  
의 將來를 爲하야 무엇보다도 欣賀  
하고 祝福할 바 이엇었다 然而  
不幸히 朝鮮首領地로서 各地에  
軌範을 示하야 할 京城府 議戰에  
在하야 二三不正事實의 暴露를  
見하게 되었다 嗚! 何等怪事이  
며 何等醜態이냐 選舉戰의 激  
甚에 隨하야 不正手段을 演出하  
는 類例가 他에 絶無한 바는 아니  
나 要컨대 그는 成長發達에 伴하  
는 一餘弊에 不過한 것이나 果實  
의 完熟에 障礙이 伴하고 嘉米의  
繁茂에 雜草가 間生함과 如한 것이  
다 그러나 今日我等으로 自治制  
의 運用에 一步를 踏하는 劈頭에 在  
하야 如斯한 不祥事을 見하게 되  
는 것은 實히 結實期에 在하야  
既히 醜態이 生하고 發芽時에 在  
하야 既히 雜草로 蔽覆된 바와 一樣이  
다 할 것이나 또 그 成熟과 生長을  
期待하게 된 다 할 것이나

元來我等社會에는 他를 模倣함  
에 際하야 그 長을 取하고 短을  
捨한다 함은 寧히 短을 取하  
고 長을 捨하는 惡傾向이 存하다  
는 事實을 輸入함에 在하야는 明德  
至善의 眞髓보담은 探章摘句의  
餘弊를 取함에 終始하고 佛敎  
를 崇奉함에 在하야는 諸惡莫作  
하고 諸善奉行의 實踐에 忠實함보

담은 避禍求福의 迷信의 行動에  
만 一貫한 바 이엇었다 그러하야  
近日西歐文明을 輸入함에 當하야  
도 此惡習은 依然히 持續되야  
다 만 文質文明의 餘弊인 輕率浮薄  
을 模倣함에 如恐不及하는 態度  
이다 무엇보다도 深憂하야 羞恥  
할 바 아니라 할 것일가 自治制의  
特長은 民衆의 意思가 正確히 反  
映되고 實現됨에 在한 것이나  
반의 詐術에 欺瞞되고 鄙利에 誘  
惑되야 本來의 意思에 基치 아니  
한 議員의 選出을 見하게 된다 할지  
니 自治制本來의 精神은 全然沒  
覺되는 바이며 또 民衆의 意思가  
誤解되는 그 만치 그害毒은 實로  
甚大한 바이다 京城府 議選에  
生한 不正事實이 果然如何한 內  
容에 至한 것이며 또 如何한 程度  
에 在한 바인지 그는 目下司法常  
局의 審理中에 屬한 바 이어서 詳  
細히 悉히기 難한 바 이나 有權者  
를 買收하야 다는 證據이 濃厚함은  
掩藏할 事實인 模樣이다 地方  
自治制實施의 劈頭에 在하야 如  
斯한 不祥事가 惹起됨은 卽結實  
期에 醜態이 生하고 發芽時에 雜  
草가 蔽覆된 바와 一般인 狀態인 바 이  
서 今에 徹底的 掃蕩과 除去를  
行치 아니하면 自治制의 前途는  
實로 測斷치 못할 危險에 陷하게 될  
바일 것이다

## 三

率然히 思하면 犯行의 內容은  
破廉耻罪와 殊異한 바이며 又  
서 法이 許하는 限에 在한 寬大한 處  
置을 加함도 可하 할 바일 것이다  
그러나 그가 地方自治制史의 第一  
頁을 汚損하엿다是我等一般의 損  
失은 實로 莫大한 바이다 破廉耻  
罪에 屬치 아니한다 하나 犯者가  
專히 自己의 虛名을 釣하고 名譽  
慾을 滿足하기 爲하야 我等全體  
에 不名譽와 損失을 被케 한 바는  
그 心事의 陋劣하야 尋常一義의  
破廉耻犯者에 比할 바 아니며 又  
라서 그를 糾彈하며 制裁함에 在하  
야는 法의 許하는 限의 格嚴을 違

할 必要가 有하다 할 것이다 만일  
그가 初度의 事에 屬한 바 이며 또  
選舉戰에 在한 免치 못할 常事라 하  
야 多少 參酌을 加하는 바 有하다  
할지언 그는 다 地方自治制의

前途를 邪道에 引하는 誤計일가  
密히 叙上한 바 我等社會가 他  
를 模倣함에 在하야 恒常 拾短取  
長보담은 拾長取短하는 惡傾向  
惡習慣을 助長하는 바 이어서 我  
等將來를 爲하야 不幸의 莫大한  
바일 것이다 地方自治의 完熟을  
期하야 我等社會의 善美化를 圖  
하는 意味에 在하야 泣斯馬稜의  
例를 倣지 아니치 못할 것이나 한다

衛戍地は大邱外數ヶ所

移駐兵員約九千名

釜山 二年度に完成の豫定

【東京至急電】内地師團朝鮮移駐着手完成兩年度割、兵數、衛戍地等は極秘に附されてゐるが、大體左の如く觀しうる

一、昭和八年度より着手

一、二年度に完成

一、兵數約九千名

一、衛戍地

△大田 師團司令部、旅團司令部一箇、歩兵一聯隊、騎、砲兵聯隊、工兵大隊

△大邱 旅團司令部及一聯隊設置せらるゝ、結果現在の大邱第八十聯隊は北鮮に移轉する、こ

れが爲め新義州に旅團若しくは聯隊本部二箇大隊が置かれる筈である